山形県埋蔵文化財センター調査報告書第160集

梅野木前1遺跡発掘調査報告書

財団法人　山形県埋蔵文化財センター

梅野木前１遺跡

発掘調査報告書

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 160 集

２００７

財団法人　山形県埋蔵文化財センター

梅野木前（うめのきまえ）1遺跡

発掘調査報告書

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第160集

平成19年

財団法人　山形県埋蔵文化財センター

序

本書は、財団法人山形県埋蔵文化財センターが発掘調査した梅野木前１遺跡の発掘調査報告書です。

梅野木前１遺跡は、山形市街地の北西部に位置します。湧水豊かな田園地帯が広がる当地区ですが、近年大型店舗や住宅建築が進み、急速に新しい街が誕生しつつあります。

本遺跡が隣接する嶋遺跡からは、古墳時代の建物跡や農耕具が見つかり、当時の生活の様子を伝える遺跡として、昭和41年に国の史跡に指定されています。また、周辺には弥生時代の住居と墓が見つかった河原田遺跡や、数多くの墨書土器、木簡などが出土した今塚遺跡などがあります。

この度、緊急地方道路整備事業（一般県道大野目内表線）に伴い、工事に先立って梅野木前１遺跡の発掘調査を実施しました。調査では奈良・平安時代の集落と古墳時代の集落が見つかりました。奈良・平安時代では多量の墨書土器が見つかり、古墳時代では住居の他に、水田や畑の跡が見つかりました。この水田は県内最古の水田跡として注目されました。

埋蔵文化財は祖先が長い歴史の中で創造し、育んできた貴重な国民的財産と言えます。この祖先から伝えられた文化財を大切に保護するとともに、祖先の足跡を学び、子孫へと伝えていくことが、私たちの重要な責務と考えます。その意味で本書が文化財保護活動の啓発・普及・学術研究・教育活動などの一助となれば幸いです。

最後になりましたが、調査において御協力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

平成19年3月

財団法人　山形県埋蔵文化財センター

理事長　　山口　常夫

本書は、緊急地方道路整備事業（一般県道大野目内表線）に係る「梅野木前１遺跡」の第１次・第２次発掘調査報告書である。
既刊の年報、現地調査説明会資料などの内容に優先し、本書をもって本報告とする。
調査は山形県の委託により、財団法人山形県埋蔵文化財センターが実施した。
出土遺物・調査記録類は、報告書作成終了後、山形県教育委員会に移管する。

調 査 要 項

遺　跡　名	梅野木前（うめのきまえ）１遺跡
遺 跡 番 号	平成３年度登録
所　在　地	山形県山形市大字江俣字梅野木前
調査委託者	山形県
調査受託者	財団法人山形県埋蔵文化財センター
受 託 期 間	第１次　平成 15 年４月１日～平成 16 年３月 31 日
	第２次　平成 16 年４月１日～平成 17 年３月 31 日
	整　理　平成 17 年４月１日～平成 18 年３月 31 日
	平成 18 年４月１日～平成 19 年３月 31 日
現 地 調 査	第１次　平成 15 年８月　４日～ 11 月　７日
	第２次　平成 16 年５月 10 日～ 11 月 26 日
調査担当者	調 査 第 二 課 長　　尾形與典（土木部関連事業担当）
	主任調査研究員　　伊藤邦弘
	主任調査研究員　　佐竹桂一（調査主任）
	調 査 研 究 員　　植松暁彦（第１次）
	調　　査　　員　　長瀬えみ子（第２次）
	調　　査　　員　　小林　啓（第２次）
調 査 指 導	山形県教育庁社会教育課文化財保護室（現　山形県教育庁教育やまがた振興課文化財保護室）
調 査 協 力	山形県村山総合支庁建設部道路課
	山形県教育庁村山教育事務所
	山形市教育委員会

凡　　例

1　本書の作成は、伊藤邦弘（第Ⅰ～Ⅳ章・Ⅵ章）、深澤　篤、佐竹桂一、長瀬えみ子、小林　啓が担当した。

2　遺構図に付す座標値は、平面直角座標系第Ｘ系（世界測地系）により、高さは海抜高で表す。方位は座標北を表す。

3　本書で使用した遺構・遺物の分類記号は下記のとおりである。

ＳＴ…竪穴住居	ＳＢ…掘立柱建物	ＳＫ…土坑	ＳＤ…溝・畝
ＳＧ…河川	ＳＰ…ピット	ＳＸ…性格不明遺構	
ＲＰ…登録土器	ＲＱ…登録石製品	ＲＷ…登録木製品	

4　遺構・遺物実測図の縮尺・網点の用法は各図に示した。

5　基本層序および遺構覆土の色調記載については、 1999 年版農林水産省農林水産技術会議事務局監修の「新版基準土色帖」によった。

6　発掘調査および本書を作成するにあたり、下記の方々からご協力、ご助言をいただいた。（敬称略）

阿子島功　辻　秀人　佐藤甲二　宮本長二郎　北野博司

三上喜孝　吉田　歓　村木志伸　松井敏也　手代木美穂

7　委託業務は下記のとおりである。

基準点測量業務	株式会社菅野測量設計
遺構測量業務	株式会社パスコ
木製品保存処理業務	株式会社吉田生物研究所
遺構実測図編集業務	株式会社セビアス
遺物図化・編集業務	株式会社セビアス
理化学分析業務	株式会社古環境研究所

目　次

Ⅰ　調査の経緯……　1
Ⅱ　遺跡の立地と環境……　3
Ⅲ　古代の遺構と遺物……　6
Ⅳ　古墳時代の遺構と遺物……　9
Ⅴ　自然科学的分析……　13
Ⅵ　調査のまとめ……　16

報告書抄録……　巻末

表

表１　奈良・平安時代遺物観察表１～４……123
表２　墨書土器・転用硯観察表１～４……126
表３　古墳時代遺物観察表１～６……130
表４　木製品計測表……135
表５　石製品計測表……135

図　版

第１図　調査区概要図……1
第２図　第１次調査区概要図……2
第３図　第２次調査区概要図……2
第４図　調査区北壁基本層序……2
第５図　地形分類図……4
第６図　遺跡位置図……5
第７図　第１次調査区全体図……17
第８図　第１次調査区遺構配置図１……18
第９図　第１次調査区遺構配置図２……19
第10図　第１次調査区遺構配置図３……20
第11図　第１次調査区遺構配置図４……21
第12図　ST14・ST15 竪穴住居……22
第13図　ST16 竪穴住居……23
第14図　ST17 竪穴住居……24
第15図　ST19・ST80・ST107 竪穴住居……25
第16図　SB120 掘立柱建物……26
第17図　SB121・SB122 掘立柱建物……27
第18図　SB207・SB209 掘立柱建物……28
第19図　SG1 河川跡……29
第20図　第２次調査区全体図……30
第21図　第２次調査区遺構配置図１……31
第22図　第２次調査区遺構配置図２……32
第23図　第２次調査区遺構配置図３……33
第24図　第２次調査区遺構配置図４……34
第25図　第２次調査区遺構配置図５……35
第26図　ST242 竪穴住居１……36
第27図　ST242 竪穴住居２……37
第28図　ST250 竪穴住居１……38
第29図　ST250 竪穴住居２……39
第30図　ST250 竪穴住居３……40
第31図　ST260 竪穴住居……41
第32図　ST265・267 竪穴住居……42
第33図　ST270 竪穴住居１……43
第34図　ST270 竪穴住居２……44
第35図　ST270 竪穴住居３……45
第36図　ST275 竪穴住居……46
第37図　ST276 竪穴住居……47
第38図　ST306・307 竪穴住居……48
第39図　ST314 竪穴住居……49
第40図　ST315 竪穴住居……50
第41図　ST316 竪穴住居……51
第42図　ST317 竪穴住居……52
第43図　ST324 竪穴住居……53
第44図　SB394 掘立柱建物……54
第45図　SB403・406 掘立柱建物……55
第46図　SK246・264・233・320、SX244・247、SD309……56
第47図　SX243・345 性格不明遺構……57
第48図　SD326 溝……58

第 49 図　SD241・371・393 溝 …… 59
第 50 図　SD325 溝 …… 60
第 51 図　SD346・374 溝 …… 61
第 52 図　SD350 ～ 358 畝状遺構 …… 62
第 53 図　竪穴住居出土遺物（古代）…… 63
第 54 図　竪穴住居・溝他出土遺物（古代）…… 64
第 55 図　SQ1 河川跡出土遺物（古代　蓋･有台坏）…… 65
第 56 図　SG1 河川跡出土遺物（古代　双耳坏・無台坏１）‥ 66
第 57 図　SG1 河川跡出土遺物（古代　無台坏２）…… 67
第 58 図　SG1 河川跡出土遺物（古代　無台坏３）…… 68
第 59 図　SG1 河川跡出土遺物（古代　壷・甕１）…… 69
第 60 図　SG1 河川跡出土遺物（古代　甕２）…… 70
第 61 図　SG1 河川跡出土遺物（古代　甕３）…… 71
第 62 図　SG1 河川跡出土遺物（古代　鍋･鉢）…… 72
第 63 図　SG1 河川跡出土遺物（古代　坏･甕１）…… 73
第 64 図　SG1 河川跡出土遺物（古代　甕２）…… 74
第 65 図　SG1 河川跡出土遺物（古代　甕３・灰釉陶器）…… 75
第 66 図　墨書土器１ …… 76
第 67 図　墨書土器２ …… 77
第 68 図　墨書土器３ …… 78
第 69 図　墨書土器４ …… 79
第 70 図　墨書土器５ …… 80
第 71 図　墨書土器６ …… 81
第 72 図　墨書土器７ …… 82
第 73 図　墨書土器８ …… 83
第 74 図　墨書土器９ …… 84
第 75 図　墨書土器 10 …… 85
第 76 図　墨書土器 11 …… 86
第 77 図　墨書土器 12 …… 87
第 78 図　墨書土器 13 …… 88
第 79 図　墨書土器 14 …… 89
第 80 図　墨書土器 15 …… 90
第 81 図　墨書土器 16・転用硯１ …… 91
第 82 図　転用硯２ …… 92
第 83 図　遺構内出土遺物１（古墳）…… 93
第 84 図　遺構内出土遺物２（古墳）…… 94
第 85 図　遺構内出土遺物３（古墳）…… 95
第 86 図　遺構内出土遺物４（古墳）…… 96
第 87 図　遺構内出土遺物５（古墳）…… 97
第 88 図　SG1 出土遺物（古墳）…… 98
第 89 図　SG1・SG2 出土遺物（古墳）…… 99
第 90 図　SG2 出土遺物２（古墳）…… 100
第 91 図　SG2 出土遺物３（古墳）…… 101
第 92 図　包含層出土遺物 1 (古墳）…… 102
第 93 図　包含層出土遺物 2 (古墳）…… 103
第 94 図　包含層出土遺物 3 (古墳）…… 104
第 95 図　包含層出土遺物 4 (古墳）…… 105
第 96 図　包含層出土遺物 5 (古墳）…… 106
第 97 図　包含層出土遺物 6 (古墳）…… 107
第 98 図　包含層出土遺物 7 (古墳）…… 108
第 99 図　包含層出土遺物 8 (古墳）…… 109
第 100 図　包含層出土遺物 9 (古墳）…… 110
第 101 図　包含層出土遺物 10(古墳）…… 111
第 102 図　包含層出土遺物 11(古墳）…… 112
第 103 図　包含層出土遺物 12(古墳）…… 113
第 104 図　木製品１ …… 114
第 105 図　木製品２ …… 115
第 106 図　木製品３ …… 116
第 107 図　木製品４ …… 117
第 108 図　柱根１ …… 118
第 109 図　柱根２ …… 119
第 110 図　柱根・礎板１ …… 120
第 111 図　礎板２ …… 121
第 112 図　石器・砥石 …… 122

写真図版

写真図版 1　1 次調査全景
写真図版 2　SG1 遺物出土状況
写真図版 3　2 次調査全景
写真図版 4　1 次調査・2 次調査完掘状況
写真図版 5　2 次調査北壁・SG1 南壁・1 次調査噴砂土層断面
写真図版 6　ST14 竪穴住居
写真図版 7　ST15・ST16 竪穴住居
写真図版 8　ST17・ST19 竪穴住居・SB120 掘立柱建物
写真図版 9　ST242 竪穴住居
写真図版 10　ST248・ST250 竪穴住居
写真図版 11　ST256・ST267・ST270 竪穴住居
写真図版 12　ST270 竪穴住居
写真図版 13　ST275 竪穴住居
写真図版 14　ST276・ST306・ST307・ST314 竪穴住居
写真図版 15　ST314 ～ ST317・ST270 竪穴住居
写真図版 16　ST315 竪穴住居
写真図版 17　ST316 竪穴住居
写真図版 18　ST317 竪穴住居
写真図版 19　ST324 竪穴住居
写真図版 20　SB394 掘立柱建物跡柱穴と横木
写真図版 21　SB394・SB406 掘立柱建物跡
写真図版 22　SB121・SB122 掘立柱建物跡
写真図版 23　SB207・SB209 掘立柱建物跡
写真図版 24　SB403 掘立柱建物跡
写真図版 25　SK320・SK344・SX345・SD13・SD72
写真図版 26　水田跡検出状況
写真図版 27　水田跡土層断面・水口・足跡検出状況
写真図版 28　畝状遺構検出・土層断面・完掘状況
写真図版 29　SG1 河川跡土層断面・遺物出土状況
写真図版 30　SG1 河川跡遺物出土状況・完掘状況
写真図版 31　SG 1 河川跡・SD374・SD325・SD271 溝跡
写真図版 32　SD326・SD327 溝跡遺物出土状況
写真図版 33　SD245 溝跡・RP643・644・400 出土状況
写真図版 34　RW 386・RP1068 出土状況
写真図版 35　RP1069・1080 ～ 1090・1079 出土状況
写真図版 36　RP1139・1140・1275・1091・1475 出土状況
写真図版 37　竪穴住居・SG1 河川跡出土遺物（古代）
写真図版 38 ～ 40　SG 1 河川跡出土遺物 (古代)
写真図版 41　須恵器甕・壷・鉢（古代）
写真図版 42　土師器甕・鉢・坏（古代）
写真図版 43　土師器甕底部・転用硯
写真図版 44　転用硯・墨書土器 208 ～ 223
写真図版 45　墨書土器 227 ～ 251・272・273
写真図版 46　墨書土器 252 ～ 364・270・271・274 ～ 279
写真図版 47　墨書土器 280 ～ 297・300
写真図版 48　墨書土器 298・299・301 ～ 328
写真図版 49　墨書土器 330 ～ 354
写真図版 50　墨書土器 355 ～ 395
写真図版 51　墨書土器「依」「公」「型」「下」「立長」「下馳」「百毛」「成」「石三」
写真図版 52　墨書土器「百」「守」
写真図版 53　墨書土器「守」
写真図版 54　墨書土器「守」「生」「人」
写真図版 55　墨書土器「守」「並」「足」「百常」
写真図版 56　墨書土器「若」「万」「冨」「万人」
写真図版 57　墨書土器「万利」「大」
写真図版 58　墨書土器「前」「真」
写真図版 59　墨書土器　文字不明
写真図版 60　竪穴住居出土遺物（古墳）
写真図版 61　竪穴住居・SX243・244 出土遺物（古墳）
写真図版 62　SX345・溝跡出土遺物 (古墳)
写真図版 63　SD261・280 溝跡他出土遺物（古墳）
写真図版 64　SD346 溝跡・SG1 河川跡出土遺物 (古墳)
写真図版 65　SG1 河川跡出土遺物（古墳）
写真図版 66・67　SG2 河川跡出土遺物（古墳）
写真図版 68　包含層出土遺物　器台・鉢（古墳）
写真図版 69　包含層出土遺物　丸底鉢・丸底壷（古墳）
写真図版 70　包含層出土遺物　丸底壷・壷 (古墳)
写真図版 71　包含層出土遺物　壷（古墳）
写真図版 72　包含層出土遺物　壷・鉢・甕（古墳）
写真図版 73・74　包含層出土遺物　甕（古墳）
写真図版 75　ミニチュア土器 (古墳)
写真図版 76　ST242・250・265・270 竪穴住居出土遺物（古墳）
写真図版 77　木製品 726 ～ 731
写真図版 78　木製品 732・734 ～ 745
写真図版 79　木製品 750 ～ 758
写真図版 80　木製品 759 ～ 767・769
写真図版 81　木製品 768・770 ～ 772
　石器 773・砥石 774 ～ 780

Ⅰ　調査の経緯

1　調査に至る経過

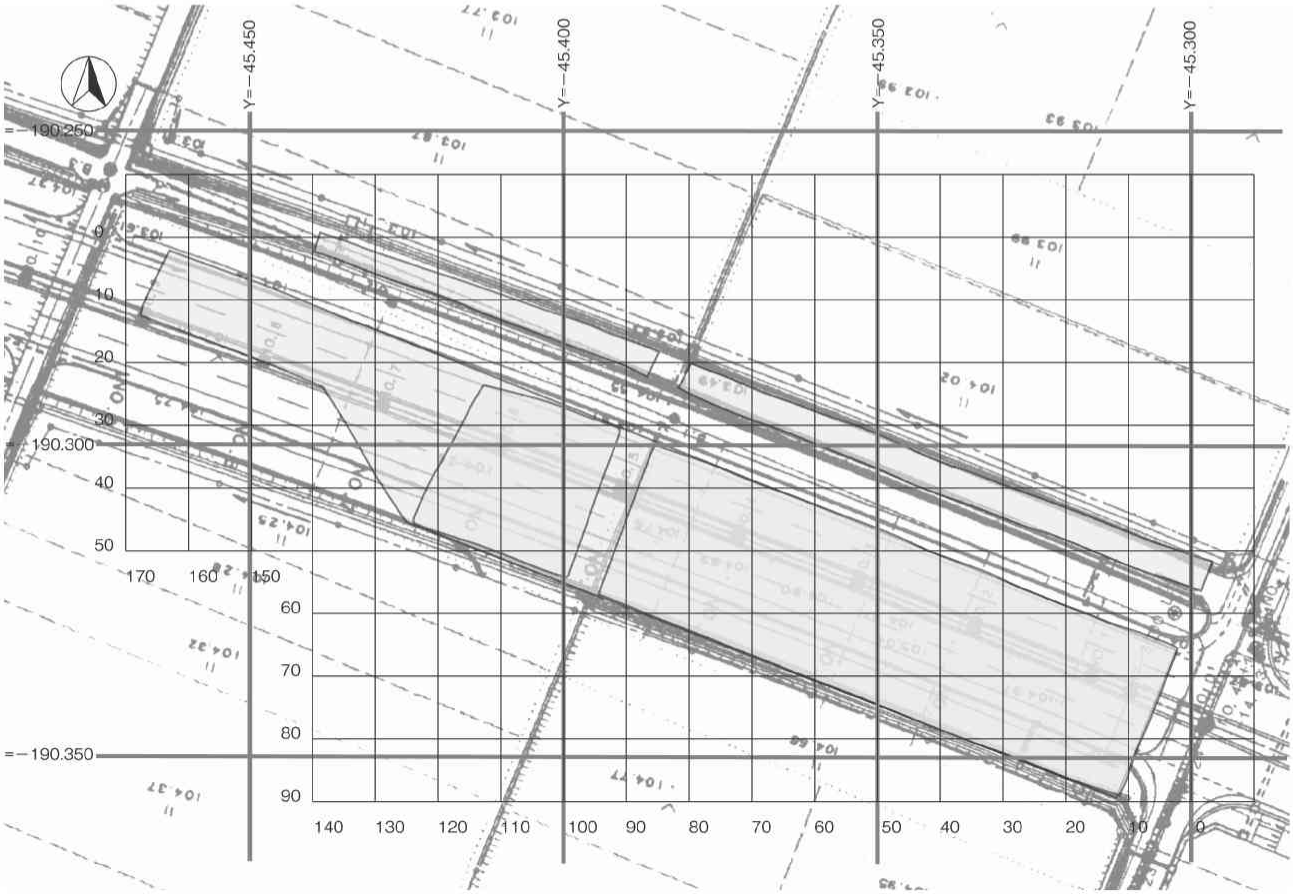
梅野木前１遺跡は、平成３年度に行われた山形県教育委員会による、遺跡詳細分布調査で確認され、登録された遺跡である。その後、緊急地方道路整備事業（一般県道大野目内表線）に伴い、平成14年４月に試掘調査を実施した。その結果を基に関係機関と調整を図ったところ、事業区内について記録保存を目的とした緊急発掘調査を行う運びとなった。発掘調査は、財団法人山形県埋蔵文化財センターが県からの委託を受けて行った。

平成15年８月に開始した調査中に、奈良・平安時代の遺構確認面下で古墳時代の土器がまとまって発見された。これを受けて、県教育委員会は再度試掘調査を行い、奈良・平安時代と古墳時代の複合遺跡であることを確認した。その結果、平成15年度に奈良・平安時代、16年度に古墳時代の調査を行うことに計画を変更した。

2　調査の概要

第１次調査は、平成15年８月４日から11月７日までの60日間である。調査区は、現道を挟んで２箇所に設置した。便宜上、現道の北側を１区、現道部分を２区、南側を３区とした。２区については、水道管等の地下埋設物により破壊されていると判断され、調査対象外とした。なお、１区では第１次調査で古墳時代までの調査を終了し、９月30日に現地引渡しを完了した。調査区西側の古墳時代遺物分布域は、平成16年度に調査することとした。調査面積は3,250㎡である。

第２次調査は、平成16年５月10日から11月26日までの139日間である。調査開始後まもなく、残土置き場として予定していた調査区西側より、遺物の出土が見られたことから、５月31日に調査範囲の変更を踏まえた協議を行った。９月には文化財保護室による試掘調査に



第１図　調査区概要図（S＝1:1,200）

より、調査区西端で検出された水田跡がさらに西側へ広がることが確認され、遺跡範囲の見直しと調査区、並びに調査計画の変更を行っている。最終的な発掘調査面積は、3,800 ㎡である。

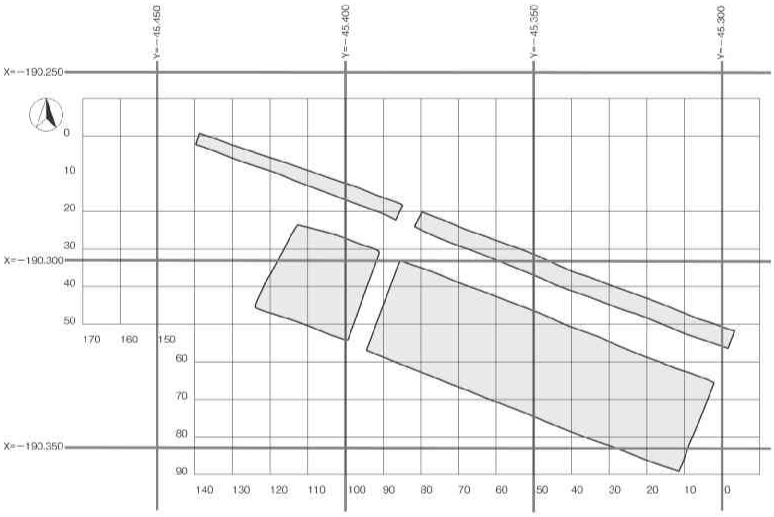
調査用方眼（グリッド）は、1 次、2 次共通のものとし、国土座標を基に 10 m × 10 mを設置した。グリッド最小単位は 1 m × 1 mである。国土座標平面直角座標系第Ⅹ系：X = － 190.337、Y = － 45.330 を 70 － 30 Gとし、南北軸を北から南へ、東西軸は東から西へ番号を割り当てた。グリッドの表記は「南北軸 - 東西軸G」とした。

遺構の登録番号は、第 1 次調査が 1 ～ 208 まで、第 2 次調査が 209 ～ 406 までとした。遺物の登録番号は、古代の遺物については、第 1 次調査が 1 ～ 722、第 2 次調査が 723 からである。古墳時代の遺物については、1 次調査が 1001 ～ 1013、2 次調査が 1014 ～ 1667 である。遺構と遺物の登録番号は報告書中の番号と共通する。

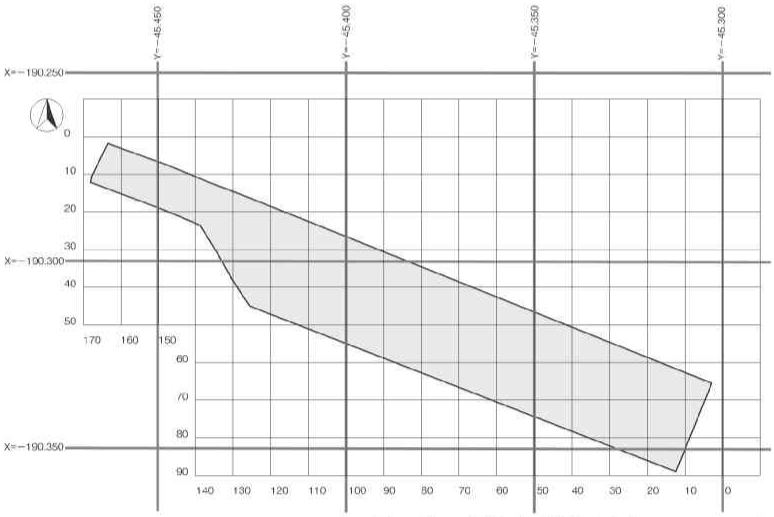
発掘調査は、重機械を用いて表土を除去し、その後、面整理、遺構検出、遺構精査の工程で進め、並行して写真・図面等による記録を行った。第 1 次調査では、噴砂痕の土層剥ぎ取りを行い、第 2 次調査では、水田跡に残された足跡の土層剥ぎ取りを行っている。調査期間中に、基準点測量と遺構測量の一部を業務委託している。

調査の成果について、平成 15 年 11 月 1 日に第 1 次調査調査説明会を開き、43 名の参加を得、第 2 次調査では水田跡の発見が注目を浴びたこともあり、平成 16 年 11 月 7 日に開催した説明会では 130 名の参加を得た。

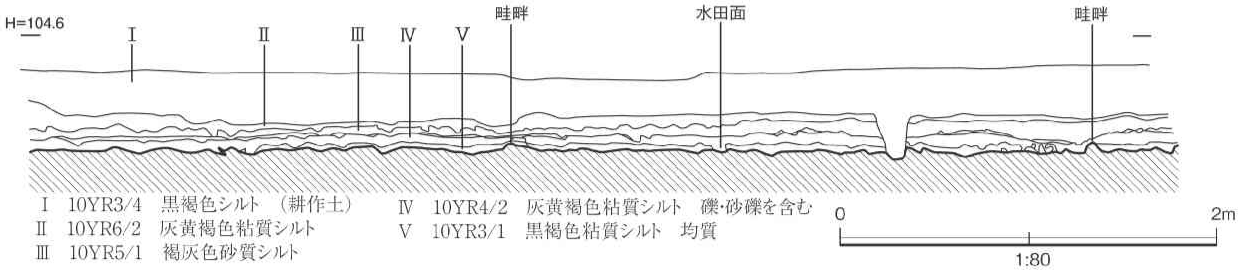
整理作業は、平成 15・16 年度に図面、写真等の資料整理並びに出土遺物の基礎整理を行った。その間、木製品保存処理・理化学分析・遺物図化と編集の一部を業務委託した。平成 17 年度からは、出土遺物の復元、実測、写真撮影など報告書刊行に向けての諸作業と編集を行い、18 年度に最終的な資料整理と報告書を刊行した。



第２図　第１次調査区概要図（S＝1:2,000）



第３図　第２次調査区概要図（S＝1:2,000）



第４図　調査区北壁基本層序

Ⅱ　遺跡の立地と環境

1　地理的環境

梅野木前１遺跡が所在する山形市は、東西 10 ～ 15 ㎞、南北約 40 ㎞の範囲に及ぶ山形盆地の南半に位置する。山形盆地は、地殻変動によって形成された構造盆地であり、約 400k ㎡の面積を有する。盆地東部には、北から乱川扇状地、立谷川扇状地、馬見ヶ崎川扇状地がよく発達している。これらの扇状地の中で南に位置する馬見ヶ崎川扇状地は、盆地の東に連なる奥羽山脈の一部である蔵王火山帯に源を発する馬見ヶ崎川によるもので、扇頂部から扇端部までの距離は約 5,000m である。最大幅は扇央部にあり、同じく約 5,000m の規模である。山形市防原町付近の扇頂部から、扇端部までの比高は約 110m であり、緩やかに傾斜する。馬見ヶ崎川は、川幅に比べ水量は少なく、扇央部から須川に合流する下流域においてはさらに少なくなる。多くは伏流水となり、扇端部に豊富な湧水を供給している。

旧山形城下はこの馬見ヶ崎川扇状地の中央部に形成され、現在も山形市の中心を成すが、市街地は拡大し扇状地のほぼ全域に及んでいる。現在見られる馬見ヶ崎川の河道は、江戸時代初期に山形城下の水害を防ぐ目的で付け替えられたもので、それ以前は南側を流れていた。その痕跡は、旧県庁～江俣～陣場への経路が顕著で、扇央部では帯状の凹地となって、扇端部では細長い帯状の高まりとなって明瞭に見られるという。（阿子島 1994）つまり馬見ヶ崎川は、ある時期、梅野木前１遺跡の傍を流れていたのである。

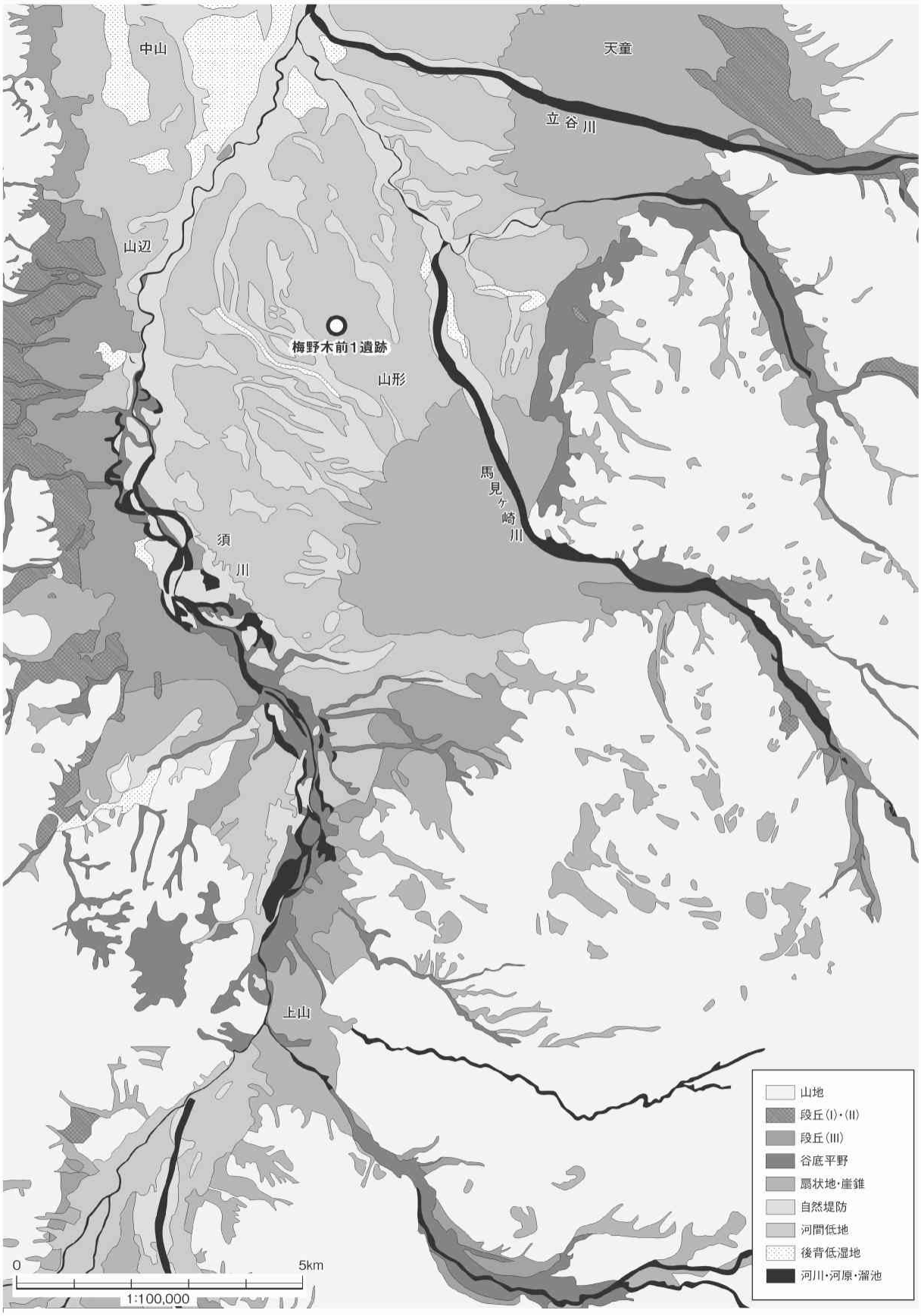
今回の調査で、南東から北西に向けての河川跡が検出された。河川跡は、平安時代と古墳時代の２時期で見られ、ほぼ同じ場所で見つかっている。古墳時代の川幅は約 15 ｍあり、川を挟んで両岸に集落が展開している。平安時代においては、川幅が５ｍ前後であり、やはり両岸に集落が広がる。梅野木前１遺跡は、馬見ヶ崎川扇状地の前縁部にあり、自然堤防の微高地と後背湿地上に立地していた。一時的には馬見ヶ崎川の河道本流や分流も来ていたことが指摘されている。（阿子島 2004）

2　歴史的環境

馬見ヶ崎川扇状地の遺跡分布を見ると、扇頂部付近では縄文時代中期の集落跡である、熊の前遺跡や松山遺跡などが見られる程度と少なく、扇央部に至っては、山形城跡の一部などが立地するにとどまり、極端に少ない状況にある。一方、扇端部から前縁部にかけては、自然堤防や低湿地上に弥生時代から奈良・平安時代の遺跡が数多く点在する。

梅野木前１遺跡の周辺にも弥生時代中期から古墳時代前期の集落跡及び奈良・平安時代の集落跡が確認されている。本遺跡の北東約１㎞にある今塚遺跡からは古墳時代前期の集落と平安時代の集落が見つかっている。古墳時代では、７棟の焼失家屋を含む 30 棟の竪穴住居が検出され、住居跡内の甕から出土した炭化米や導水施設などは、水田遺構の存在を想起させるものとしている。また、平安時代では掘立柱建物のみで構成されていることや紀年銘木簡（仁寿三年：853 年）、多量の墨書土器等が出土して、役所的な性格を持つことが想定されている。今塚遺跡の 300 ｍ手前には、弥生時代中期の住居３棟、木棺墓５基等が見つかった河原田遺跡がある。さらに本遺跡の 300 ｍ東には、古墳時代後期を主体とした嶋遺跡がある。嶋遺跡からは打込柱で草壁構造の住居や高床式の倉庫が見つかったほか、土器類以外に建築材や鍬、鋤などの農耕具、鉢などの生活用具をはじめとする豊富な木製品が出土し、当時の生活の様子を伝える遺跡として昭和 41 年に史跡に指定されている。

扇状地前縁部の北に目を向けると、本遺跡の北東約 1.5 ㎞には、古墳時代前期の棟持柱建物跡が見つかった長表遺跡がある。約３㎞北の藤治屋敷遺跡からは調査区を大きく蛇行する河川跡から古墳時代前期の農具、容器、家具などの木製品が多量に出土した。馬洗場Ｂ遺跡からも古墳時代前期の遺物と、日本最北となる破鏡が出土している。このように扇状地の扇端部から前縁帯には、南東から北西方向への自然堤防上に古墳時代前期、奈良・平安時代を主体とする遺跡が数多く点在する。



第５図　地形分類図（S ＝ 1:100,000）

番号	遺跡名	種　別	時　代	番号	遺跡名	種　別	時　代
1	梅野木前１	集落跡	古墳･奈良･平安	21	今　塚	集落跡	古墳･平安
2	嶋	集落跡	古墳･飛鳥･奈良	22	長　表	集落跡	古墳･中世
3	梅野木前２	散布地	古墳･奈良･平安	23	服　部	集落跡	奈良･平安
4	馬上台	集落跡	平安(10 世紀)	24	藤治屋敷	集落跡	古墳･奈良･平安
5	陣　場	包蔵地	古墳	25	馬洗場 A	散布地	平安
6	塚　田	集落跡	弥生･古墳･奈良･平安	26	馬洗場 B	集落跡	古墳･平安
7	志戸田縄	集落跡	古墳･奈良･平安･中世	27	中　野	集落跡	古墳
8	椹沢楯ノ内	城館跡	中世	28	見　崎	集落跡	奈良･平安
9	下反田２	集落跡	古墳	29	境田 B	集落跡	奈良･平安
10	梅在家	集落跡	平安	30	境田 C	集落跡	平安
11	大　塚	集落跡	古墳	31	境田 D	集落跡	縄文(晩)･弥生･平安･中世
12	熊ノ木	集落跡	古墳	32	七　浦	集落跡	弥生･古墳
13	去手路古墳群	古墳	古墳	33	天　神	集落跡	奈良･平安
14	庚　段	集落跡	奈良･平安	34	新井田	集落跡	奈良･平安
15	柳清水	集落跡	奈良･平安	35	同心屋敷	城館跡	不明
16	一本杉	集落跡	飛鳥･平安	36	向河原	集落跡	弥生･古墳･奈良･平安･中世
17	山辺条里	条里	奈良･平安	37	渋　江	集落跡	弥生･古墳･中世
18	行才１	散布地	奈良･平安	38	漆山長表	集落跡	古墳･奈良･平安
19	八ツ口	散布地	奈良･平安	39	北柳１	集落跡	縄文(晩)･弥生･古墳
20	河原田	集落跡	弥生･平安	40	下柳 A	集落跡	弥生･古墳

第６図　遺跡位置図（国土地理院発行５万分の１地形図「山形」使用）

Ⅲ　古代の遺構と遺物

1　遺　　構

竪穴住居

ＳＴ 14 竪穴住居（第 12 図）　第１次調査区西端で検出された。主軸方向はＳ -16°　- Wである。平面形は、東西 3.5 m、南北 3.2 ～ 3.6 mの方形である。検出面からは 10 ㎝程の深さしか残存しない。床面は地山の粘土を含む微砂がほぼ全面に貼床される。掘り方は中心部が浅く、周辺部がやや深なる。カマドは失われているが、遺物や炭化物の出土状況から南西に設けられたと推定される。主柱穴は確認できない。須恵器蓋・無台坏・壷、土師器長胴甕などが出土している。9 世紀前半と考えられる。

ＳＴ 15 竪穴住居（第 12 図）　第１次調査区南西に位置し、南半が調査区外である。主軸方向はＳ -19°　- Wと推測される。全長が知り得る北辺は約５mを測る。削平は床面にまで及んでいるため、貼床の状態も明瞭ではない。主柱穴は確認できない。須恵器有台坏が出土している。9 世紀前半と推定される。

ＳＴ 16 竪穴住居（第 13 図）　第１次調査区西寄りの南端で検出した。主軸方向はＳ -15°　- Wである。北辺西側がやや北へ開き、東西 4.1 m、南北 4.5 ～ 5.3 mを測る。検出面からの深さは 10 ㎝に満たない。掘り方は浅く、貼床は地山の砂を含み比較的軟らかい。カマドは南辺東寄りにあり、煙道と袖の一部が残る。主柱穴は確認できない。須恵器及び土師器の甕片等の出土が見られるものの、遺物からの時期判断は困難である。ＳＴ 14 と主軸方向を一にすることから、同時期と考えておきたい。

ＳＴ 17 竪穴住居 (第 14 図）　ＳＴ 16 の 1.5 m北に位置する。主軸方向はＮ -89°　- Ｅである。東西 5.2 m、南北 5.7 mを測る。検出面からの深さは 20 ㎝前後あり、地山の砂を含む比較的絞まった貼床が、良好な状態で見られる。カマドは東辺の南寄りに在るが、袖の一部が残るのみで、遺存状態は良くない。主柱穴はＥＰ１・２・４・５の４基と考えられる。須恵器無台坏・長頸壷、土師器甕等の出土遺物から、9 世紀前半代と考えられる。

ＳＴ 19 竪穴住居（第 15 図）　第１次調査区の西側に位置し、ＳＧ１河川跡に西辺を切られる。主軸方向はＮ -77°　- Ｅと推定する。遺存状態が悪く、深さ約 10 ㎝の掘り方と硬く絞まった貼床が残るのみである。南北は 3.1 mを測る。主柱穴は確認できない。出土遺物は須恵器無台坏と鉢がある。9 世紀前半代を考えられる。

ＳＴ 80 竪穴住居 (第 15 図）　第１次調査区のほぼ中央部に位置する。東側は撹乱により失われており、残存するのは全体の三分の一程度である。主軸方向は判然としない。床面は、ほとんど失われており、一部に 10 ㎝程の貼床を留めるに過ぎない。出土遺物は須恵器有台坏・甕等である。

ＳＴ 107 竪穴住居（第 15 図）　ＳＴ 17 に隣接し、ＳＴ 16 の北辺を切る。西側は撹乱により失われており、約二分の一が残存する。主軸方向はＮ -87°　- Wと推測する。東辺は 2.8 mを測る。カマドは確認できない。床面に貼床及び主柱穴は認められない。出土遺物も乏しく時期、詳細については不明である。

掘立柱建物

ＳＢ 120 掘立柱建物 (第 16 図）　第１次調査区東寄りで検出された２間×３間の東西棟である。ＳＴ 17 より新しい。柱間は梁行で約 2.1 m、桁行で約 1.5 mである。柱穴の径は、20 ～ 40 ㎝とばらつきが見られるが、四隅は比較的大きく、深さも 40 ㎝前後を測る。

ＳＢ 121 掘立柱建物（第 17 図）　第１次調査区東寄りで検出された梁行２間の南北棟である。桁行は西面が柱間約 1.1m の３間であるのに対し、東面は２間で約 1.6 mを測る。柱穴は径が 40 ～ 50 ㎝のいびつな円形のものが多く、深さは削平により東側が 16 ㎝程しかない。

ＳＢ 122 掘立柱建物（第 17 図）　第１次調査区東寄りで検出された２間×２間の建物である。規模は、北面が 3.4 m、南面が 3.6 m、東西面は共に 2.8 mを測る。柱間にはばらつきが見られるが、東西 1.8 m、南北 1.4 mが標準と考えられる。柱穴の径の多くは 30 ㎝未満で、深さも大半が 20 ㎝程である。

ＳＢ207掘立柱建物（第18図）　第１次調査区中央付近で検出した２間×２間の総柱建物である。柱間は、北面1.5ｍ、南面1.4ｍ、東西面は1.2ｍと1.5ｍである。柱穴は不整形なものが多い。径も30～60㎝まであり、不揃いである。深さは20㎝前後である。

ＳＢ209掘立柱建物（第18図）　第１次調査区西辺で検出した３間×３間の建物である。１次調査で東側の一部を検出し、２次調査で全体が明らかになった。ＳＴ14と重複するが、新旧関係は不明である。ＥＢ216と217、218と219、220と221が切りあっており、いずれも南側に位置する柱穴が新しい。また、ＥＢ217・219・220と西端のＥＢ222との柱筋が通らないことから、ＳＢ209には２時期あると推測される。即ちＥＢ216・218・221・222を南面とする３間×３間の建物と、その後に立て替えられたＥＢ220・230・229・226を西面とする２間×３間の南北棟とが考えられる。

その他の遺構

ＳＧ１河川跡（第19図）　調査区を南東から北西方向へ流れる。幅は平均で3.5ｍ、深さは約80㎝である。覆土は砂・粗砂・有機物層などであり、洪水の痕跡も認められる。木製品と墨書土器の殆どがこの河川跡から出土している。遺物の出土位置は、川跡の中央部に集中している。層位では川底からの出土は無く、20～30㎝上位での出土が多い。集落が存在していた時期には、ＳＧ１は半分近く埋まった状態であったと推測される。

溝跡　数種の性格が異なる溝跡が見られる。ＳＤ13はその位置と形状から、ＳＴ15に伴う溝と考えられる。同様にＳＤ77はＳＢ120に伴うと推測される。また、ＳＤ93・94・95は畝状遺構と判断できる。

２　遺　　物

竪穴住居出土遺物　（第53・54図）遺構の遺存状態が良くなかったこともあり、竪穴住居内からの出土遺物は少ない。３は小型の壷で、底部はヘラ切りによる。体部下部から底部にかけては肥厚する。４の頸部は弱く押し込まれ、崩れた沈線状を呈する。ＳＴ15出土の８は台部が剥離した有台坏である。身は深く、口縁部付近で僅かに外反する。10はケズリによる調整が外面から底部まで施され、底部中央がやや盛り上がる形態である。11・12はヘラ切りの無台坏である。12は焼成不良のため黄褐色を呈し、軟質である。16は内面の口縁部から頸部付近にかけてコゲが認められる。14は円盤閉塞により頸部を接合した痕跡が見られる。21の内面はハケ状の工具で丁寧にナデ調整されるが、外面はロクロナデによる凹凸が顕著である。22は全体的に器厚が厚い。胎土には粗砂を混入し、多量の海綿骨針も認められる。23・24は成形から焼成状態まで類似するが、別固体である。口縁部から肩部にかけて、自然釉が付着する。

ＳＧ１河川跡出土遺物（第55～65図）　須恵器蓋の口縁端部は、内傾するものと直立もしくは若干開くタイプに分けられる。天井部は丸味を持って盛り上がるものが多く、34のように小振りで扁平なタイプや35・40のように天井部を平坦に成形するものも僅かに認められる。

有台坏は、身が深い型と浅い型に分けられる。深いタイプには47のように小型のものもある。台部の作りは、短く外側に開く形状であるが、端部は50・55・56のように内側に稜を持つタイプや、平坦になるものなどがある。口縁部形態は僅かに外反するものが多く、47・51のように体部から直行するものは少ない。58・59はケズリによって面取りされ、角張った耳が貼り付けられた双耳坏である。60の耳は、側面に幾分ケズリが入れられるが、全体的には手づくねによるもので、丸みを帯びる。貼り付けた位置は、何れも体部上半である。

無台坏の底部切り離しは、回転糸切りによるものも一定量認められるが、ヘラ切りによるものが凌駕する。99のように、静止糸切りによるものは殆ど認められない。底径は、ヘラ切りが76～84㎜、回転糸切りが63～78㎜代にピークがある。ヘラ切りの体部は、僅かに内湾するタイプが多く、外反するものが多い回転糸切りとは様相が異なる。口縁部については、両者共外反するものが主体を占め、体部から直行するものが僅かに認められる程度である。なお、114～116は体部の形態から、有台坏と判断できる一群であるが、底部が欠損するため無台坏の最後に掲載した。

壷は短頸壷と長頸壷があり、短頸壷には大小のサイズが認められる。また、117のような蓋も見られる。長頸壷には、頸基部に環状の凸帯が廻る124と、凸帯が付かない125がある。123の体部下半には、非ロクロのヘラケズリが施される。

甕は口径が22㎝前後、頸部径が17㎝前後を測る。口縁部形態は変化に富む。口縁端面中央が盛り上がる128・133、同じく端面中央が窪む129・130・131、外面端部を下方に強く引き出す134などが見られる。133の頸部には、10本を1単位とする緻密な櫛描波状文が施される。142は摩滅が著しい頸部資料であるが、沈線を挟んで2段に櫛描波状文が施されている。不明瞭ながら4本を1単位とする。タタキ目には132・140のような格子状文と平行線状文が認められる。タタキ後カキメが施される例も認められ、特に肩部には顕著に見られる。

鉢には口径43㎝程の大型で把手が付く149と口径22㎝程の150がある。149と151にはタタキの痕跡が認められる。150は灰被りの状態から、伏せて焼成されたことがうかがえる。

土師器有台坏には、内面を黒色処理した153・155がある。154の内面には、一部にミガキが残ることから、黒色処理した可能性も考えられる。153は断面が三角形の外側に開く高台、154は丸く小さな高台、155は柱状高台の内側を軽く削って作り出したものである。

土師器無台坏には、内面を黒色処理したものと、しないものがある。156は身が深く、底部付近にケズリ調整が施される。158は体部下半に広くケズリ調整が入れられたもので、回転糸切りの底部には「十万」の文字が櫛書きされる。161～165は底径が小さく、ロクロ目の強い体部が大きく開く一群である。

土師器鉢の157は、体部外面にハケメ調整後ケズリが入れられ、外反する口縁部にはナデ調整が施される。167は内外面とも丁寧なミガキが施されている。口縁部にはナデ調整も認められる。底部には網代痕が残る。

土師器甕には、小型平底のタイプと長胴平底タイプがある。小型の甕は、口径15㎝前後、器高は12～16㎝、内外面共ハケメ調整である。口縁端部は、平坦面を持つタイプと丸みを帯びるタイプがある。体部の中央よりやや上方に最大径を持つ。長胴甕は、頸部から口縁部までが長く外反し、口径は22～27㎝を測る。体部と頸部の境が明瞭な183・188や不明瞭な189・190などがある。体部は総じてハケメによる調整が施される。底部にはナデ調整も見られるが、多くは、木葉痕が明瞭に残る。

204は灰釉陶器の椀である。灰釉は体部内面と底部内面の中央部のみ刷毛塗りされる。体部は薄く、緩く内湾する。口縁端部は強く外反する。黒笹90号様式と考えられるが、定型化した三日月高台と違い、高台の開きが小さく、内側に稜を有するなどの差異が認められる。

墨書土器（第66～81図）　文字あるいは墨痕が確認できた土器は192点である。大半はＳＧ１河川跡から出土している。器種別の点数は、蓋7点、有台坏15点、無台坏167点、双耳坏1点、皿1点、壺1点である。墨書部位は圧倒的に底部が多い。底部切り離しは、ヘラ切りによるもの114点に対して、回転糸切りによるものは66点である。文字種は、49種あり、最も多いのは「守」で56点である。次いで「冨」の7点、「大」の6点、以下「足」・「万人」・「万利」各5点、「生」4点、他は1～3点の出土である。残念ながら現時点で判読できないのは57点にのぼる。多くは1文字のみ書かれているが、点数は少ないものの「下馳」・「百毛」と2文字を列記した214や、底部に「吉」、体部に「百」と書かれた215、体部に3文字以上書かれた339など多様である。また316・325のように2文字の間に書かれた時間差を感じるものもある。文字の大きさは「守」・「生」・「万人」・「万利」などが比較的大きく、底部の中央に書かれるのに対し、「下」・「冨」・「刑」・「若」などは小さく端に書かれている。字形では、209～211の「下」、290・291の「前」、293～295「足」、310～312・314～216「冨」、227・228・235・249・253「守」などが同筆と考えられる。人為的な打ち欠きによる破損と考えられるのは、49点である。その内「守」の墨書に見られた人為的打ち欠きは7点のみで、比率としては少ない。

転用硯（第81・82図）　転用硯には、須恵器蓋1点、有台坏9点、無台坏10点、双耳坏1点の21点である。この中には墨書土器でもある5点を含む。有台坏は、全て台の内側に使用痕が認められるが、398のみ内面底部にも墨痕が見られる。無台坏は、内面に墨痕が見られるもの7点、底部外面に墨痕が見られるもの3点である。

木製品（第104～107図）　全てＳＧ１河川跡から出土している。726～370は底径11.4～13.8㎝の皿である。表面は腐植が進み脆弱な状態であるが、漆が塗られた様子は観察できず、木地のままで使用されたと推測する。732は、一辺約45㎝、深さ約17㎝を測る方形の曲物、733は円形の曲物である。744は長さ65㎝、幅24㎝、厚さ11㎝の板を約7㎝の深さで刳り貫いた槽である。

Ⅳ　古墳時代の遺構と遺物

1　遺　　構

竪穴住居

ＳＴ 242 竪穴住居（第 26・27 図）　第 2 次調査区中央部南端で検出され、南半は調査区外にあたる。主軸方向はＮ -30°　- Ｗである。検出面から約 4 ㎝で床面に焼土、炭化材、遺物を含んだ炭化物層が現れる。掘り方の深さは約 10 ㎝あり、粘質シルトで貼床される。炉は確認できない。床には東西に幅 1.4 ｍのベッド状遺構が設けられている。主柱穴はＥＰ 375 ～ 377 の 3 基を検出している。住居跡北側には幅 2 ｍ前後のＳＤ 327 溝跡を不連続で約 4 ｍ検出している。削平により部分的に残ったものと考えられ、ＳＴ 242 の外周溝と推測される。

ＳＴ 250 竪穴住居（第 28 ～ 30 図）　調査区南東側に位置する。主軸方向はＮ -38°　- Ｗである。東西 6 ｍ、南北 5.6 ｍを測り、北側が幾分広がる方形を呈する。検出面から 3 ㎝程で遺物を含む炭化物層を確認する。掘り方は約 10cm の深さで、黒色土をブロック状に含むシルトで貼床される。ＥＬ 298 炉は北西に位置し、径約 80 ㎝の不整形を呈する。皿状で、浅く窪み被熱し硬化する。北、東、南面に、幅 0.8 ～ 1.6 ｍのベッド状遺構がある。ＥＰ 389 ～ 391・305 の 4 基の主柱穴を検出している。ＳＴ 250 から約 2.2 ｍ外側に幅 1 ～ 1.8 ｍのＳＤ 251 外周溝がある。外周溝は東側が開口部である。

ＳＴ 260 竪穴住居（第 31 図）　調査区中央部南端に位置し、南側半分が調査区外である。炭化物が分布する範囲から東西約 6.5 ｍの規模と推測されるが、明確な平面形は不明である。主柱穴の位置から推定される主軸方向はＮ -16°　- Ｅである。ＳＤ 261 外周溝は、幅 1.5 ～ 2.5 ｍあり、南側に 1.5 ｍの開口部を持つ。ＳＴ 276・307 竪穴住居はＳＤ 261 によって切られる。

ＳＴ 265 竪穴住居 (第 32 図）　調査区北東寄りの畝状遺構近くに位置する。主軸方向はＮ -50°　- Ｅである。東西 2.4 ｍ、南北 2.1 ｍを測る。床面直上の炭化物層が検出面で、覆土は残っていない状態であった。掘り方は約 14 ㎝あり、中央部がやや高く壁際にかけて深くなる。炉及び柱穴は確認できない。貼床をはずした時点でＳＤ 285 畝状遺構を検出している。

ＳＴ 267 竪穴住居（第 32 図）　調査区東寄り南端に位置する。北角のみの検出で、三分の二以上が調査区外である。主軸方向はＮ -40°　- Ｗである。床面直上の炭化物層が検出面のため覆土は殆ど残っていない。掘り方は約 20 ㎝あり、ほぼ平坦に掘られる。炉は径約 30 ㎝の不整形で、窪んだ炉底は被熱して硬化する。

ＳＴ 270 竪穴住居（第 33 ～ 35 図）　調査区中央北寄りに位置する。主軸方向はＮ -45°　- Ｅである。東西 6.2 ｍ、南北 5.8 ｍを測る。深さは約 16 ㎝あり、５層に炭化物層、６層に焼土層がある。覆土の状態からも焼失家屋の可能性が高い。掘り方の深さは約 30 ㎝あり、10cm 程の厚さの床が貼られる。床には西を除く 3 面に幅 1 ～ 1.2 ｍ、高さ 5 ～ 10cm のベッド状遺構が設けられる。ただし、ＥＫ 334 貯蔵穴がある北東部には造られない。炉跡は不明瞭ながら、中央部から北西壁にかけて約 1.2 ｍの範囲で分布する炭化物層の下に被熱した痕跡が認められる。主柱穴は、ＥＰ 330 ～ 333 の 4 基が検出されている。外周溝ＳＤ 271 は、東側が削平のため検出されず、北西部分のみ残る。幅は約 70 ㎝あり、南側に開口部を持つ。構造や規模、外周溝に至るまでＳＴ 250 に酷似する。

ＳＴ 275 竪穴住居 (第 36 図）　調査区のほぼ中央に位置する。主軸方向はＮ -30°　- Ｗである。東西 3.9 ｍ、南北 3.8 ｍの方形を呈する。検出面からの深さは約 10 ㎝あり、シルト質の硬く締まった床が貼られる。床面の直上にはワラ状の炭化物が良好な状態で残る。この炭化物については、Ⅴ章自然化学的分析の樹種同定の項を参照されたい。炉及び柱穴は確認できない。中央にあるＥＢ 372 は貼床と炭化物層を切って掘られていることから、ＳＢ 403 はＳＴ 275 より新しいと判断できる。

ＳＴ 276 竪穴住居 (第 37 図）　調査区中央北寄りに位置する。主軸方向はＮ -60°　Ｗである。北東角をＳＴ 260 の外周溝であるＳＤ 261 に切られる。東西 2.7 ｍ、南北 2.5 ｍの方形である。床面直上の炭化物層が検出面

のため覆土は殆どない。掘り方は約18㎝あり、粘質シルトで貼床される。炉は北西寄りにある。長軸30㎝、短軸20㎝の不整楕円形である。被熱し硬化している。柱穴は確認できない。南辺にあるＥＢ378は、貼床を切って掘られていることから、ＳＢ403はＳＴ276より新しいと判断できる。

ＳＴ306竪穴住居（第38図）　調査区中央に位置する。主軸方向はＮ-24°-Ｗである。ＳＴ307と重複しているため南北長は不明だが、4.2ｍ以上である。東西は3.7ｍを測る。掘り方までの深さは約20㎝あり、12㎝前後の厚さでシルト質の床が貼られる。炉跡及び柱穴は確認できない。南東角にＥＫ392貯蔵穴がある。

ＳＴ307竪穴住居（第38図）　上記のＳＴ306の上に作られている。主軸方向はＮ-35°-Ｗである。東西4.7ｍ、南北3.5ｍを測る。掘り方までの深さは約20㎝あり、10㎝前後のシルト質の床が貼られる。北東角に長軸1ｍ、短軸50㎝の不整形の焼土が認められ、炉の可能性も考えられるが、明確ではない。床面には北側を中心に炭化物が広く分布する。柱穴は確認できない。

ＳＴ314竪穴住居（第39図）　調査区中央北側に位置する。主軸方向はＮ-60°-Ｗである。東側をＳＧ１によって削られている。南北3.2ｍ、東西2.8ｍ以上の方形である。覆土は殆ど残っておらず、ほぼ床面での検出となる。掘り方の深さは約15㎝あり、10㎝程の厚さで粘質シルトの床が貼られる。炉跡及び柱穴は確認できない。畝状遺構を切ってＳＴ314が作られる。

ＳＴ315竪穴住居（第40図）　調査区のほぼ中央部に位置する。主軸方向はＮ-56°-Ｗである。東西2.9ｍ、南北2.7ｍを測る。床面直上の炭化物層での検出のため覆土は殆ど残っていない。掘り方の深さは約10㎝あり、粘質シルトを含む細砂で貼床される。炉跡と柱穴は確認できない。周辺の畝状遺構を切って上に作られている。

ＳＴ316竪穴住居（第41図）　調査区中央に位置する。主軸方向はＮ-33°-Ｅである。東西2.8ｍ、南北3.0ｍの方形を呈する。掘り方は20～25㎝の深さで、底面は凹凸が著しい。床面はシルトによる10㎝前後の貼床により平坦である。中央部から西壁にかけて炭化物が1.5ｍ四方の範囲に分布する。同地点では床面も硬化していることが確認された。西壁際には、被熱硬化した部分も観察でき、炉跡の可能性が考えられる。また、南壁際には多量の粘土塊が見つかっている。北東角は幾分窪んでおり、器台(440)が出土している。柱穴は確認できない。

ＳＴ317竪穴住居（第317図）　調査区中央南寄りに位置する。主軸方向はＮ-51°-Ｅである。東西3.5ｍ、南北3.8ｍを測る。掘り方の深さは10～20㎝あり、周辺部が深く、中心部は浅く掘り込まれている。厚さ10㎝程の貼床が認められる。炉跡と柱穴は確認できない。床面には中心部から西壁に向けてと、北東部に炭化物が不整形に分布する。中央から西壁にかけての東西2.5ｍ、南北1.5ｍの範囲は床面が硬化する。この状態はＳＴ316に類似する。周辺の畝状遺構を切って作られる。

ＳＴ324竪穴住居（第43図）　調査区西側北寄りに位置する。主軸方向はＮ-60°-Ｗである。北側はＳＤ325に切られている。東西2.7ｍ、南北2.5ｍ以上である。掘り方の深さは約20㎝あり、10㎝程の厚さの貼床がある。床面直上には、中心部から広範囲に炭化物が分布する。炉跡と柱穴は確認できないが、東壁南寄りに住居跡に付属すると考えられるＥＫ363土坑がある。土坑底面に炭化物が認められる。

掘立柱建物

ＳＢ394掘立柱建物（第44図）　調査区東寄りで検出された、２間×２間の総柱建物跡である。東西3.8ｍ、南北3.6ｍを測る。柱間は概ね1.8～2.0ｍであるが、南北の中央柱列は、東西の柱筋から僅かにずれるため、ＥＢ252とＥＢ255間は1.3ｍしかない。掘り方は径60～80㎝の円形もしくは楕円形を呈する。深さは四隅が約80㎝と深く、それ以外は50㎝程の掘り込みである。ＥＢ249・263・269・277・308の底からは横木が出土する。主軸方向はＮ-32°-Ｗである。

ＳＢ403掘立柱建物（第45図）　調査区中央にあり、ＳＴ275・276と重複する、１間×２間の南北棟である。規模は東西3.8ｍ、南北4.6ｍを測る。南北柱列の中央にある柱穴（ＥＢ373・385）は、やや外側に開き柱筋からずれることから独立棟持柱の可能性も考えられる。柱穴の掘り方は、径80㎝前後の楕円形を呈する。ＥＢ373・379が１ｍの深さ持つが、他は60～70㎝である。柱根と横木、礎板の遺存状態が良い。ＥＢ378のＲＷ1647柱根以外は全て底面に繰り込みを持つ柱根で、横木と組まれている。主軸方向はＮ-45°-Ｅである。

ＳＢ 406 掘立柱建物（第 45 図）　調査区東寄りにあり、ＳＢ 403 とＳＢ 394 の中間に位置する。1 間×２間の東西棟である。規模は東西 3.1 m、南北 3.2 mでほぼ正方形を呈する。四隅の柱穴は、南北柱列中央のＥＢ 382・384 より大きく、径は 60 ～ 80 ㎝を測る。深さはいずれも 40 ㎝程である。底面には、礎板が良好な状態で遺存する。主軸方向はＮ -45°　- Ｅである。

土坑・性格不明遺構

ＳＫ 246・264 土坑（第 46 図）　遺構の分布が希薄な、調査区東側で検出された。底面直上の炭化物層が検出面であり、覆土は残っていない。平面形は不整楕円形を呈する。重複するが新旧関係は不明である。

ＳＫ 233 土坑（第 46 図）　長径約 90 ㎝の不整楕円形を呈する。底面中心部分に炭化物が薄く堆積する。

ＳＫ 320 土坑 (第 46 図）　長径 1.2 mの不整楕円形を呈する。底面は平坦で、焼土ブロックを含む炭化物層が 4 ㎝前後の厚さで堆積する。出土遺物は無い。

ＳＸ 243 性格不明遺構 (第 47 図）　幅 1.3 ～ 2.2 mを測る不整形の遺構である。底面に炭化物層が堆積し、遺物を含む。北東部はＳＴ 316 によって切られる。

ＳＸ 243 性格不明遺構 (第 47 図）　畝状遺構がある微高地と、水田がある低地との境に位置する。長軸 4.7 m の瓢形を呈する。立ち上りは緩やかである。底面には炭化物層があり、土器も多量に出土する。この傾斜変換点には帯状に遺物の出土が見られ、SX243 を含め自然地形の窪地に堆積したものと判断される。

畝状遺構

SG 1 河川跡を挟んで東西に見られるが、西側の方が密で方向も揃っている。微高地から低地にかかる傾斜面にあり、傾斜に対して直交する。平均的な幅は約 25 ㎝で、深さは 15 ㎝前後が多い。長さは掘られた場所の条件によって異なるが、5 m 前後のものが多い。最も長いのは 13m を超えるが、重複している可能性もある。底面には掘削による凹凸が認められる。覆土は炭化物を含むものが多い。遺物は炭化物層中や、上面から出土する。ST270 の東側は北から約 34°　東に傾き、西側は約 40°　東に傾く。SG1 の東側については、55 ～ 70°　東に傾くものと、24°　西に傾くものとが交差する。東に傾く一群と ST270 は共存すると推測される。ST14・15・16・17 は畝状遺構の上に作られている。

水田跡

調査区南西部の低地で検出された。面積は、東西約 70 m、南北約 12 mの範囲にあり、およそ 800 ㎡である。検出したのは長方形を基本とした小区画と、それを包括する大区画の一部である。水田上面を覆っていたのは、多量の砂礫を含む土で、これを取り除くことによって水田面が現れる。水田面には細かい凹凸が見られ、水口付近には多数の足跡が認められた。小区画の規模は、東西 5.8 ～ 6.0m のものと 6.9 ～ 7.1 mを測るもの。南北 3.2 ～ 4.2 mのものと 4.7 ～ 5.2 mを測るものがある。調査区の関係で全体の面積を確認できるのは５区画のみである。面積は概ね３段階に別れ、最小面積は約 19 ㎡（１区画）、次いで約 27 ㎡（２区画）、約 31 ㎡（２区画）である。畦畔は、平均で 50 ㎝の幅があり、約 10 ㎝の高さが遺存する。東西の畦畔には５ヶ所、南北の畦畔には２ヶ所の開口部が認められる。大畦畔は東西約 56 m、南北約 11 mを検出した。幅は 1.1 ～ 1.4 mあり、高さは約 15 ㎝遺存する。東西大畦畔は緩く弧を描き、北西部で南北大畦畔と直交する。南北大畦畔は約 38°　東へ傾き、その西側の小畦畔は角度を小さくして約 23°　東へ傾く。反対に東側は角度を大きくして約 47°　東へ傾く。検出した部分を見る限り、東西大畦畔を扇端とした扇形を呈する。水路は東西大畦畔の北側に並行している。水路の幅は約１m、深さは 35 ㎝前後である。

2　遺　　物

竪穴住居出土遺物（第 83 図）　本調査で検出した竪穴住居は、床面直上で検出されたものが多く、覆土が殆ど残っていない状況である。そのため住居跡内からの出土遺物が少なく、良好な一括資料には恵まれない。その中で比較的まとまった量が出土したのは、ＳＴ 242 と 250 竪穴住居である。ＳＴ 242 からは器台、高坏、小型丸底鉢、壺、甕（413 ～ 423）などが出土している。413 は脚部を欠損するが、器台と考えられる。口縁部内面に僅かな窪みを持たせた面が作られる。415 の高坏は、外面が被熱しているが赤彩されたものである。器面の調整は丁寧で、焼成も硬質である。416 ～ 418 は小型の鉢で口縁部

が僅かに内湾する。418 は口縁部が長く、体部が浅いタイプで、417 は口縁部と体部の比率がほぼ均等なタイプである。419・421 は「く」の字口縁甕、422 は口縁端部に丁寧な面取りが施される。423 は面取りされた口縁部に木口で刻みを入れて装飾を加えた甕である。ＳＴ 250 からは小型土器、高坏、壷、鉢、甕 (424 ～ 432) が出土している。424 は壷形の小型土器で、赤彩されたものである。425・426 は椀形の坏部を持つ高坏である。425 は赤彩が施されたもの、426 は上半が柱状中実で、下半が開く脚部を持つ。430 ～ 432 は「く」の字状口縁の甕で、口縁端部は丸みを持つが、431 は僅かな面取りが認められる。ＳＴ 265 からは器台と壷が出土している。433 は赤彩された器台の受部である。外面は中程で大きく屈曲して立ち上がる。434 は口縁部が内湾する壷である。内面はハケメ、外面はミガキ調整である。ＳＴ 270 からは、鉢形の小型土器 435 と、赤彩された鉢 436 が出土した。436 は内湾した長い口縁部と浅い体部の鉢である。内面には、体部と口縁部の境に僅かな稜が見られ、外面は棒状工具で付けられた沈線により、境を作り出している。ＳＴ 307 からは高坏、壷、鉢 (437 ～ 439) が出土している。437・438 は赤彩された壷と鉢で、底部に小さな窪みを持つ。２点とも被熱した痕跡が認められる。439 の高坏脚部は上部が柱状中実で、基部から外反気味に緩やかに開く。440 はＳＴ 316 出土の器台である。脚は短く、裾が外反気味に大きく広がる。円窓が３ヶ所に穿たれる。受部から脚部への貫通孔は持たない。

土坑・性格不明遺構出土遺物（441 ～ 461）　444 はＳＫ 264 出土の折り返し口縁を持つ壷である。445 は単孔の甑で、口縁部は折り返しによる。ＳＸ 244 からは器台、高坏、鉢、甕等（446・447・449 ～ 456）が出土している。446・4467 は「く」の字口縁の甕である。449 は受け部から脚部への貫通孔を持ち、円窓は三方に穿たれる。口縁部で屈曲し、外面に稜を持って立ち上がる。脚は基部から外反して緩やかに開く。450 は高坏の脚部と考えられる。横方向の弱いハケメ調整が施されるが、胎土には粗砂を多く含み、作りは雑な印象を受ける。451 は器厚が薄く、胎土も緻密な鉢で赤彩される。外面は縦方向のミガキ調整、内面は口縁部が横方向のミガキと底部に放射状のハケメ調整が丁寧に施される。454 は口縁部形態は不明であるが、縦長の体部に平底を持つ、赤彩された土器である。小型土器として分類した。455 は体部が大きく内湾し、絞り込まれた上部には幅２㎝程の粘土が貼り付けられる。上端部は薄く歪みがあり、波状の口縁になる可能性も考えられる。ＳＸ 345 からは器台、甕、壷が出土した。457 と 458 はほぼ同じ形状の異形器台である。受部から脚部まで貫通孔があり、この部分に差異が認められる。499 と 500 も同形の壷と考えられる。

溝跡出土遺物（462 ～ 489・491 ～ 497・501 ～ 509）　ＳＤ 236 からは器台、高坏、甕、壷等多くの土器が出土した。462 は赤彩された器台で、脚部は上半が柱状中実となり、下半は大きく開く。受部は小さい。円窓は３方に穿つ。466 ～ 478・472・475・497 は二重口縁の壷である。466 は口縁部に貼り付けた凸部に刻みを入れて加飾している。475 の有段口縁は長く、大きく開く。内面の段も明瞭である。473・479・485・508 等の「く」の字口縁の甕は体部が丸く張り、最大径を体部中央に求められる。476・478・484・499・500 等の小型壷は、肩の張りが弱く、体部の最大径をやや下方に有する。高坏は椀形の坏部を持つ。鉢には口縁部が長く、体部が浅いタイプと体部が深くなるタイプ、さらに椀形も見られる。509 は完形のスプーン形土製品である。ケズリ調整が認められる。

ＳＧ１・２河川跡出土遺物（510 ～ 572）　器台、高坏、鉢、甕の各器種が出土している。器台は受部が椀形になる 510 や 514、皿形で浅く口縁部が屈曲する 511・513 がある。脚部も貫通孔の有無や上半を柱状中実にするタイプ等に分けられる。鉢は長い口縁部を持つタイプと椀形が見られる。519 は口縁部を短く外反させたもので、内面はミガキ、外面はハケメとケズリ調整による。547 は底部から直線的に開き、548 は口縁部を強く外反させたものである。内外面共ミガキ調整が施される。壷には大小が認められる。537 は折り返し口縁、557 ～ 561 は口縁部が短い小型壷である。甕は「く」の字口縁が多く、体部中央に最大径を持つものが顕著である。

包含層出土遺物（573 ～ 707）　器台、高坏、鉢、壷、甕小型土器の各器種が出土している。主たるものは遺構内出土の土器と同様の特徴を有する。特徴的なものとしては、口縁部に段を有する鉢（600）、口縁部に竹管状の工具で沈線を加飾した壷（642・646）、口縁端部に刻みを入れた甕 (696・697) などがある。木製品では梯子 (745) や柱根が出土している。

Ⅴ　自然科学的分析

株式会社古環境研究所

1　放射性炭素年代測定

試料と方法

試料名		種類	前処理・調整	測定法
№1	563(RP123)	土器付着煤	酸洗浄，石墨調整	AMS
№2	569(RP126)	土器付着煤	酸洗浄，石墨調整	AMS

AMS：加速器質量分析法（Accelerator Mass Spectrometry）

測定結果

試料名	測定№ (Beta-)	^{14}C 年代 (年 BP)	δ ^{13}C (‰)	補正 ^{14}C 年代 (年 BP)
№1	213642	1750 ± 40	-26.3	1730 ± 40
			暦年代（西暦）（1σ:68%確率，2σ:95%確率）	
			交点：cal AD 330	
			1σ：cal AD 250 ～ 380	
			2σ：cal AD 230 ～ 410	
№2	213643	2260 ± 40	-25.4	2250 ± 40
			交点：cal BC 370	
			1σ：cal BC 380 ～ 350, 300 ～ 220	
			2σ：cal BC 390 ～ 200	

2　プラント・オパール分析

試　料

試料は、古墳時代前期とされる水田跡から採取された試料№20 ～№34 の計 15 点である。また、樹種同定で草本と同定された炭化物（試料№18、№19）について、灰像分析による同定を試みた。

分析結果

（1）水田跡（試料№20 ～№34）

水田跡（稲作跡）の検討が主目的であることから、同定および定量はイネ、ヒエ属型、ヨシ属、ススキ属型、タケ亜科の主要な５分類群に限定した。これらの分類群について定量を行い、その結果を図１に示した。

（2）炭化物（試料№18、№19）

灰像を観察した結果、試料№19（サンプルＢ）ではヨシ属の機動細胞に由来する珪酸体が多量に検出され、その他の分類群は検出されなかった。このことから、本試料のおもな給源植物はヨシ属と考えられる。

試料№18（サンプルＡ）では、機動細胞や短細胞が配列する細胞組織およびそれらの単体はほとんど認められなかった。このことから、本試料の給源植物は植物珪酸体を形成しない種類と考えられる。

考　察

（1）水田跡の検討

水田跡（稲作跡）の検証や探査を行う場合、一般にイネのプラント・オパールが試料１ｇあたり 5,000 個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している（杉山，2000）。ただし、密度が 3,000 個 /g 程度でも水田遺構が検出される事例があることから、ここでは判断の基準を 3,000 個 /g として検討を行った。

水田跡から採取された試料№20 ～№34 について分析を行った結果、試料№20、23、26、29、33、34 の６試料からイネが検出された。このうち、試料№26 では密度が 5,300 個 /g と高い値であり、№23 と№29 でも 3,000 個 /g および 4,500 個 /g と比較的高い値である。したがって、これらの地点では稲作が行われていた可能性が高いと考えられる。

なお、№20 ではイネの密度が 2,300 個 /g と比較的低い値であり、№33 と№24 では 1,000 個 /g 前後と低い値である。また、その他の９試料からはイネは検出されなかった。このように、水田跡の試料でイネがあまり検出されない原因とし

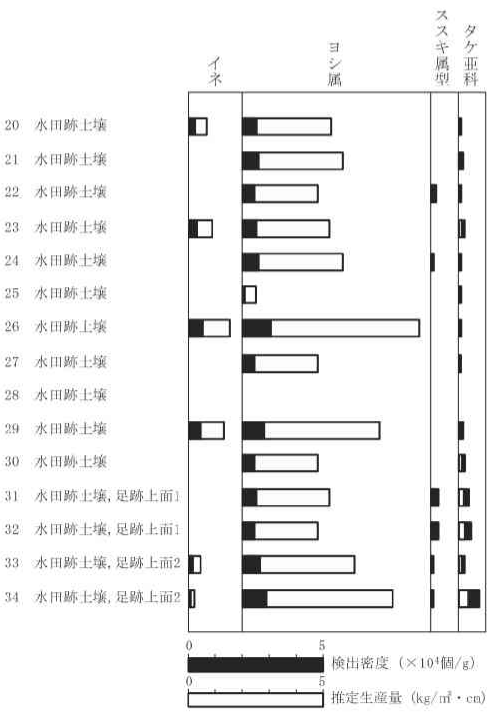


図１　梅野木前１遺跡におけるプラント・オパール分析結果

ては、洪水によって耕作土が流出したこと、採取地点が畦畔など耕作面以外であったこと、採取地点における耕作期間が短期間であったことなどが考えられるが、ここでの原因は不明である。

（２）堆積環境の推定

ヨシ属は湿地的なところに生育し、ススキ属やタケ亜科は比較的乾いたところに生育している。このことから、これらの植物の出現状況を検討することによって、堆積当時の環境（乾燥・湿潤）を推定することができる。イネ以外の分類群では、ヨシ属が比較的多く検出され、ススキ属型やタケ亜科は比較的少量である。おもな分類群の推定生産量によると、ほとんどの試料でヨシ属が優勢となっている。以上のことから、当時の調査区周辺はヨシ属が生育するような湿地的な環境であったと考えられ、そこを利用して水田稲作が行われていたと推定される。また、水田雑草としてヨシ属が生育していたことや、休閑期間中にヨシ属が繁茂していたことなども想定される。

ま と め

プラント・オパール分析の結果古墳時代前期とされる水田跡から採取された試料では、部分的にイネが多量に検出され、同遺構で稲作が行われていたことが分析的に検証された。なお、イネが検出されない試料や、イネの密度が低い試料もあることから、洪水によって耕作土が流出したことなどが想定される。当時の調査区周辺はヨシ属が生育するような湿地的な環境であったと考えられ、そこを利用して水田稲作が行われていたと推定される。樹種同定で草本と同定された試料№19（サンプルＢ）については、ヨシ属がおもな給源植物と考えられる。

３　梅野木前１遺跡における花粉分析

結　果

（１）分類群

出現した分類群は、樹木花粉 18、樹木花粉と草本花粉を含むもの３、草本花粉 13、シダ植物胞子２形態の計 36 である。これらの学名と和名および粒数を表１に示し、花粉数が 200 個以上計数できた試料は、周辺の植生を復元するために花粉総数を基数とする花粉ダイアグラムを図１に示す。なお、200 個未満であっても 100 個以上の試料については傾向をみるため参考に図示し、主要な分類群は写真に示す。また、寄生虫卵についても観察したが検出されない。

以下に出現した分類群を記す。

〔樹木花粉〕モミ属、マツ属複維管束亜属、スギ、イチイ科－イヌガヤ科－ヒノキ科、ヤナギ属、クルミ属、サワグルミ、ハンノキ属、カバノキ属、クリ、シイ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、ニレ属－ケヤキ、エノキ属－ムクノキ、モチノキ属、カエデ属、トチノキ、

〔樹木花粉と草本花粉を含むもの〕クワ科－イラクサ科、マメ科、ウコギ科

〔草本花粉〕ガマ属－ミクリ属、、イネ科、イネ属型、カヤツリグサ科、タデ属サナエタデ節、アカザ科－ヒユ科、

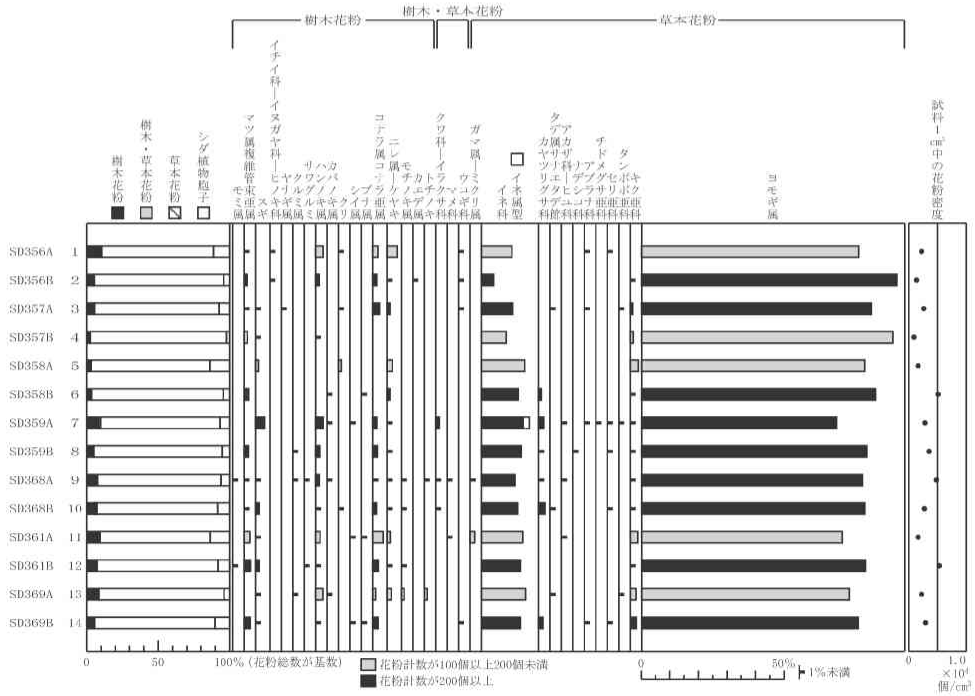


図１　梅野木前１遺跡における花粉ダイアグラム

スベリヒユ属、ナデシコ科、アブラナ科、チドメグサ亜科、セリ亜科、タンポポ亜科、キク亜科、ヨモギ属

〔シダ植物胞子〕単条溝胞子、三条溝胞子

（２）花粉群集の特徴

いずれの試料も花粉密度が低く、樹木花粉より草本花粉の占める割合が高い。草本花粉がほとんどを占め、ヨモギ属が卓越し、イネ科もやや多く、キク亜科、カヤツリグサ科などが低率に伴われる。樹木花粉は、コナラ属コナラ亜属、マツ属複維管束亜属、スギ、ニレ属－ケヤキ、ハンノキ属などが出現する。

考　察

草本が多く、乾燥を好むヨモギ属や多様な環境に生育するイネ科が優占することから、堆積地周辺は日当たりの良い比較的乾燥した草本の生育する開地の環境であったと推定される。このことは、遺構が畑跡であることと矛盾しない。ヨモギ属とイネ科を主とするこれら草本は、人里植物、耕地雑草の性格を持つ。明らかな栽培植物は検出されなかったが、細分の困難なイネ科にはムギ類と雑穀類が含まれるため、これらが栽培されていた可能性もある。周辺には樹木は少なく、周辺地域にマツ属複維管束亜属、スギなどの針葉樹とコナラ属コナラ亜属、ニレ属－ケヤキなどの落葉広葉樹が分布していたと考えられる。

ま と め

梅野木前１遺跡の畑跡覆土について花粉分析を行った。その結果、比較的乾燥を好み人里植物、耕地雑草の性格の強いヨモギ属やイネ科の草本が優勢に繁茂していたと推定され、遺構が畑跡であることと矛盾しない結果が得られた。明らかな栽培植物は検出されなかったが、イネ科のムギ類と雑穀類の栽培の可能性が示唆された。

４　梅野木前１遺跡における樹種同定

試　料

試料は、住居跡より出土した柱材３点と屋根材２点の合計５点の炭化物である。

結　果

結果を表１に示し、主要な分類群の顕微鏡写真を図版に示す。以下に同定の根拠となった特徴を記す。

コナラ属コナラ節　Quercus sect. Prinus　ブナ科

横断面：年輪のはじめに大型の道管が、１～数列配列する環孔材である。晩材部では薄壁で角張った小道管が、火炎状に配列する。早材から晩材にかけて道管の径は急激に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものと大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質よりコナラ属コナラ節に同定される。コナラ属コナラ節にはカシワ、コナラ、ナラガシワ、ミズナラがあり、北海道、本州、四国、九州に分布する。落葉高木で、高さ 15m、径 60cm ぐらいに達する。材は強靭で弾力に富み、建築材などに用いられる。

草本？　Grass?

肉眼での観察において、薄い植物遺体が折り重なり束状の形質を呈したものが観察される。顕微鏡下の観察においては、並立維管束が存在する。並立維管束は木部と師部からなり、その周囲に維管束鞘が存在する。また、道管や放射柔細胞などの組織は見られず、木材の形質を呈していない。以上の形質より、木材以外の草本などの植物遺体と考えられる。

所　見

同定の結果、梅野木前１遺跡出土の炭化物のうち、柱材３点はコナラ属コナラ節であった。屋根材２点は草本？と思われる。コナラ属コナラ節は日当たりの良い山野に生育する落葉高木で、温帯を中心に広く分布する。ミズナラなどの冷温帯落葉広葉樹林の主要構成要素が含まれる。木材は強靭で弾力に富み、建築材としても用いられる木材である。草本？はイネ科などの草本が、幾重にも折り重なったものと考えられる。

表１　梅野木前１遺跡における樹種同定結果

試料内容			結果（学名／和名）	
１炭化材	ST242A	柱材Ａ	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
２炭化材	ST242B	柱材Ｂ	Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
３炭化材	ST242C		Quercus sect. Prinus	コナラ属コナラ節
４炭化材	ST275A	サンプルＡ	grass?	草本？
５炭化材	ST275B	サンプルＢ	grass?	草本？

Ⅵ　調査のまとめ

緊急地方道路整備事業に伴う、梅野木前１遺跡の発掘調査は、平成15年度、16年度の２ヵ年にわたって行った。

平成15年度の第１次調査で検出したのは、主に奈良・平安時代の遺構と遺物である。遺構は竪穴住居７棟、掘立柱建物５棟、河川跡、土坑、柱穴等総数207に及ぶ。出土遺物は96箱である。

竪穴住居からの出土遺物には大きな時間差はなく、主体は概ね、９世紀前半に所属すると考えられるが、重複する遺構もあり複数の時期が想定される。撹乱などによる遺構の状態により、不明な点が多いものの、推定されるカマドの位置や主軸方向などからＳＴ15・17→ＳＴ14・16・80、ＳＴ19・107の時期変遷が考えられる。また、掘立柱建物は、ＳＴ17とＳＢ120掘立柱建物との重複が認められ、ＳＢ120の方が新しいことが確認されている。掘立柱建物自体の時期を判断する資料は得られていないが、ＳＴ16やＳＴ107と共存する可能性は十分に考えられる。

出土遺物では墨書土器の出土量が卓越する。山形県内では、現在までに墨書土器や木簡等の古代の文字資料が約5,500点出土している。梅野木前１遺跡からは192点の墨書土器が出土しており、県内では11番目の量である。山形盆地では、寒河江市の三条遺跡から520点、次いで本遺跡に近接する今塚遺跡から286点の出土があった。今塚遺跡では、９世紀前半から一定量の墨書土器が見られるが、主体となるのは９世紀中～後半にかけてである。文字種は前半で「守」の出土例もあるが、主体となる時期では「麗」「高」が突出する。それに対して梅野木前１遺跡は、９世紀前～中頃を主体とし、文字種は「守」が突出する。これらのことから、梅野木前１遺跡と今塚遺跡には共通点を見出せるが、時期的には梅野木前１遺跡が若干先行し、今塚遺跡が後続すると考えられる。墨書土器出土の背景としては、出土地点がほぼＳＧ１河川跡内に限られることや、人為的な打ち欠きを行っているものが認められることなどから、祭祀に関るものが大半を占めると考えておきたい。

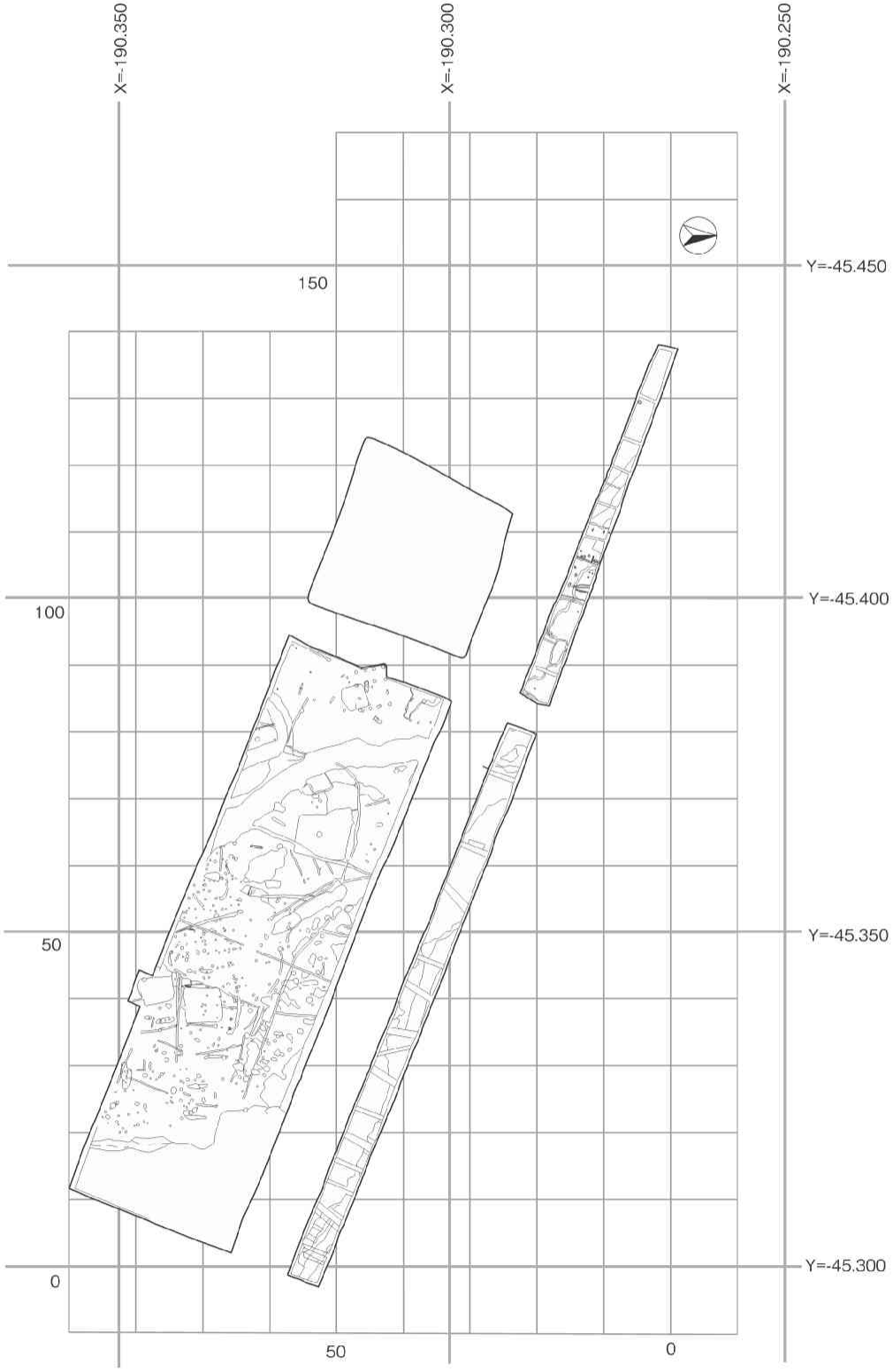
平成16年度の第２次調査では、主に古墳時代の遺構と遺物を検出した。遺構は竪穴住居16棟、掘立柱建物３棟、河川跡、水田跡、畑跡、溝跡、土坑、柱穴等総数199に及び、出土遺物は180箱を数える。

竪穴住居は、外周溝を持つ大型の住居と、一辺３ｍ前後の小型の住居に分けられる。外周溝を持つＳＴ242・250・270は住居内におけるベッド状遺構の存在や主柱穴の位置などの共通点も多く、同時存在の可能性が極めて高いと考えられる。また、削平を受けて不明瞭ではあるが、ＳＴ260も同様の構造を持つと推定されことから４棟が同時存在したと考えられる。竪穴住居の切り合いにより新旧関係を求められるのは、ＳＴ276・307とＳＴ260に限られ、ＳＴ260が新しいことを確認している。一方、ＳＴ270の周囲に作られた畝状遺構は、ＳＴ270と共存すると考えられることから、畝状遺構の上に作られたＳＴ314・315・316・317はＳＴ270より新しいことになる。さらに掘立柱建物との関連では、ＳＴ275・276の上にＳＢ403、ＳＴ306の上にＳＢ406、ＳＤ251の上にＳＢ394が作られていることを確認している。これらのことから、ＳＴ276・306竪穴住居の時期→外周溝を伴う大型の竪穴住居の時期→小型の竪穴住居、あるいは小型の竪穴住居と掘立柱建物共存の時期の３時期の変遷が想定できる。

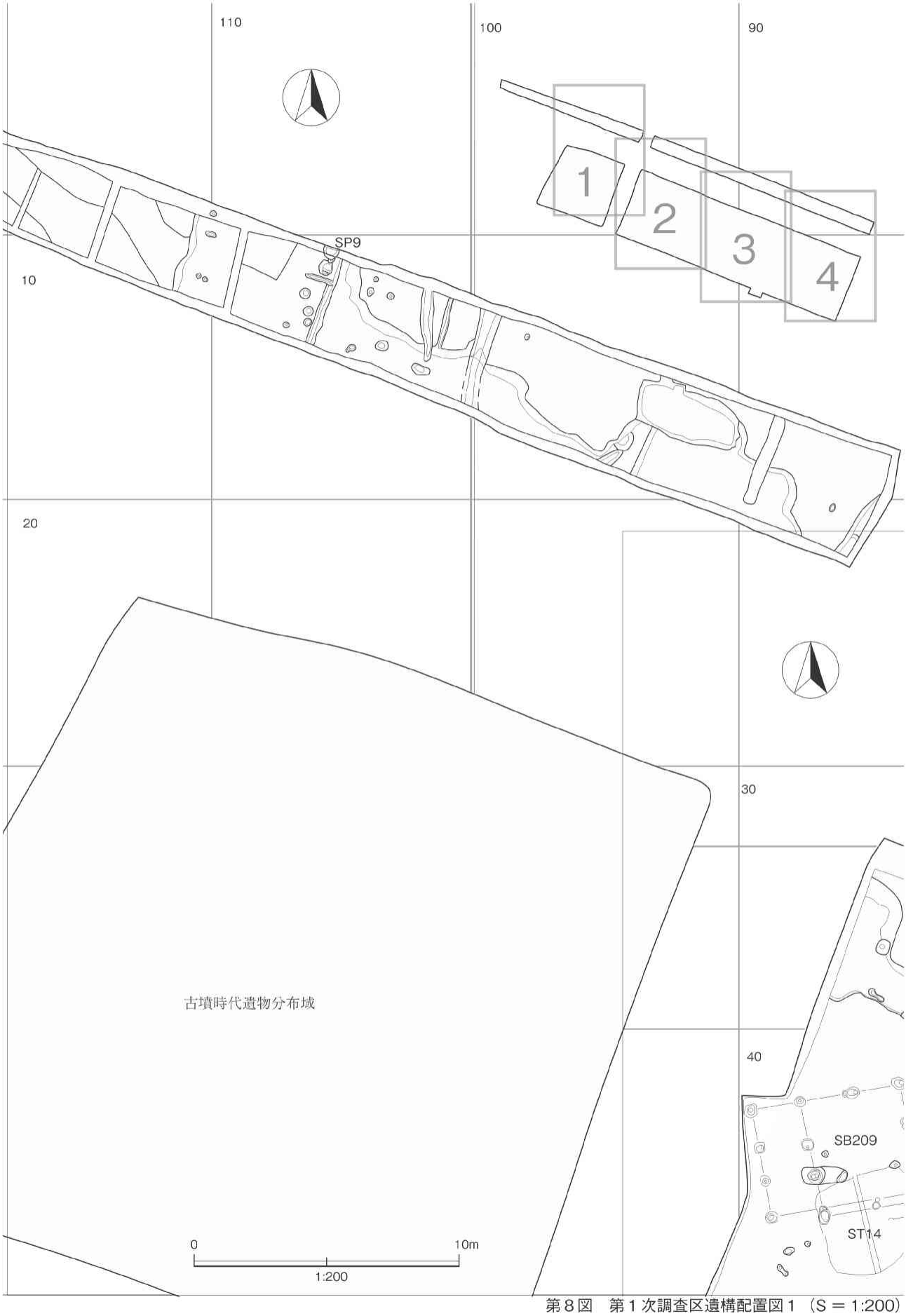
水田跡に関しては、畝状遺構と競合せず地形を考慮した配置に、計算された土地利用をうかがうことができる。したがって、外周溝を伴う大型の竪穴住居と畝状遺構、水田跡が共存したと推測される。

出土遺物は遺構内から出土したものが少なく、遺構毎の時期判断は困難であるが、概ね新潟シンポ８～９期、辻編年Ⅲ－１～２期に相当するものと考えられる。詳細な分類まで至らなかったが、今塚遺跡や、馬洗場Ｂ遺跡等の出土遺物とも比較し検討することが課題である。

最後に調査区内で検出された噴砂の痕跡であるが、第１調査では古墳時代の面で吹き溜まっていることが確認され、第２次調査では、ＳＤ251の覆土を切っていることが確認された。時期を異にする地震があったかは、今後の分析の結果を待ちたい。



第７図　第１次調査区全体図（S ＝ 1:1,000）

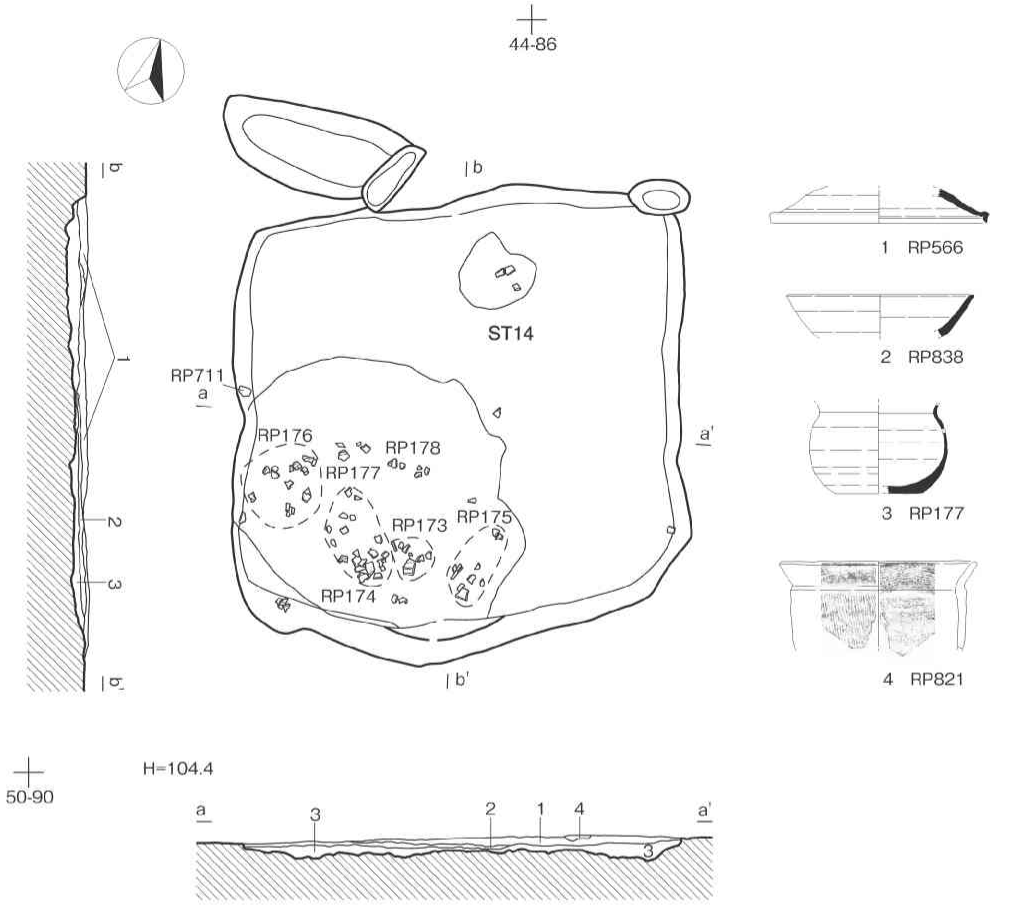


第８図　第１次調査区遺構配置図１（S ＝ 1:200）

第９図　第１次調査区遺構配置図２（S ＝ 1:200）

第 10 図　第 1 次調査区遺構配置図 3（S ＝ 1:200）

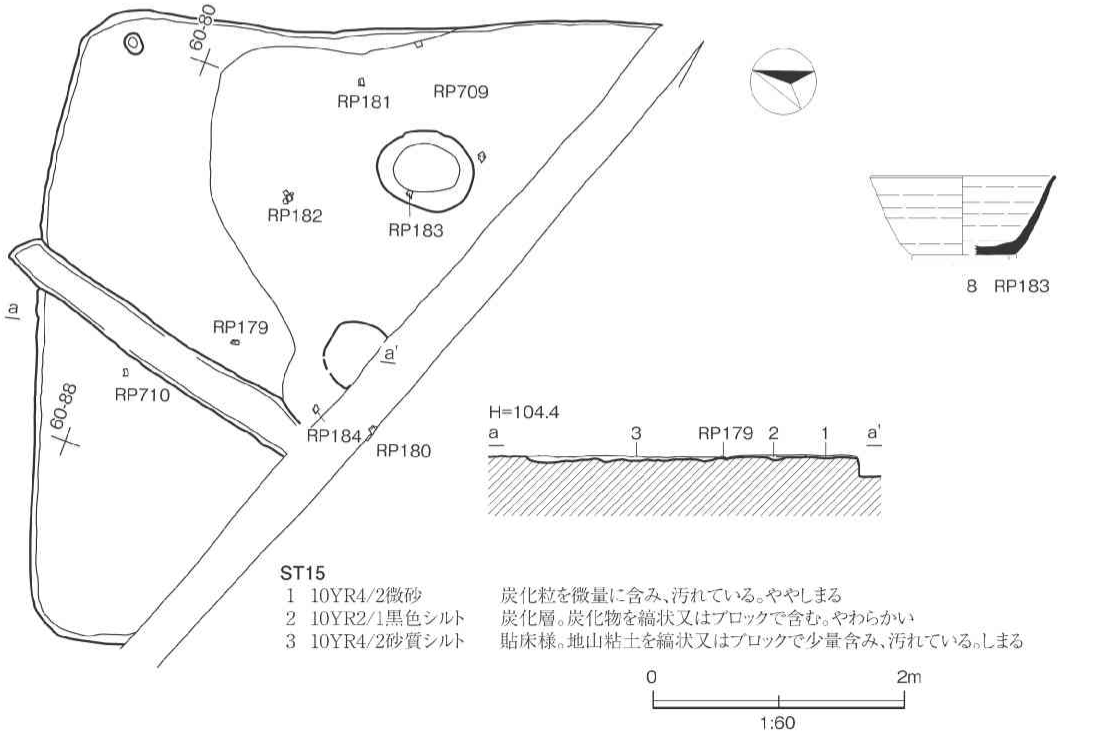
第 11 図　第 1 次調査区遺構配置図 4（S ＝ 1:200）



ST14

1	10YR4/2灰黄褐色微砂	地山粒を微量に含み、汚れている　ややしまる
2	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	炭化層。遺物を含み、炭化層を縞状又はブロックで含む。やわらかい
3	10YR3/2黒褐色微砂	貼床。地山粘土をブロックで若干含み、しまる
4	10YR2/1黒色シルト	SP2と類似しまる

0　2m
1:60

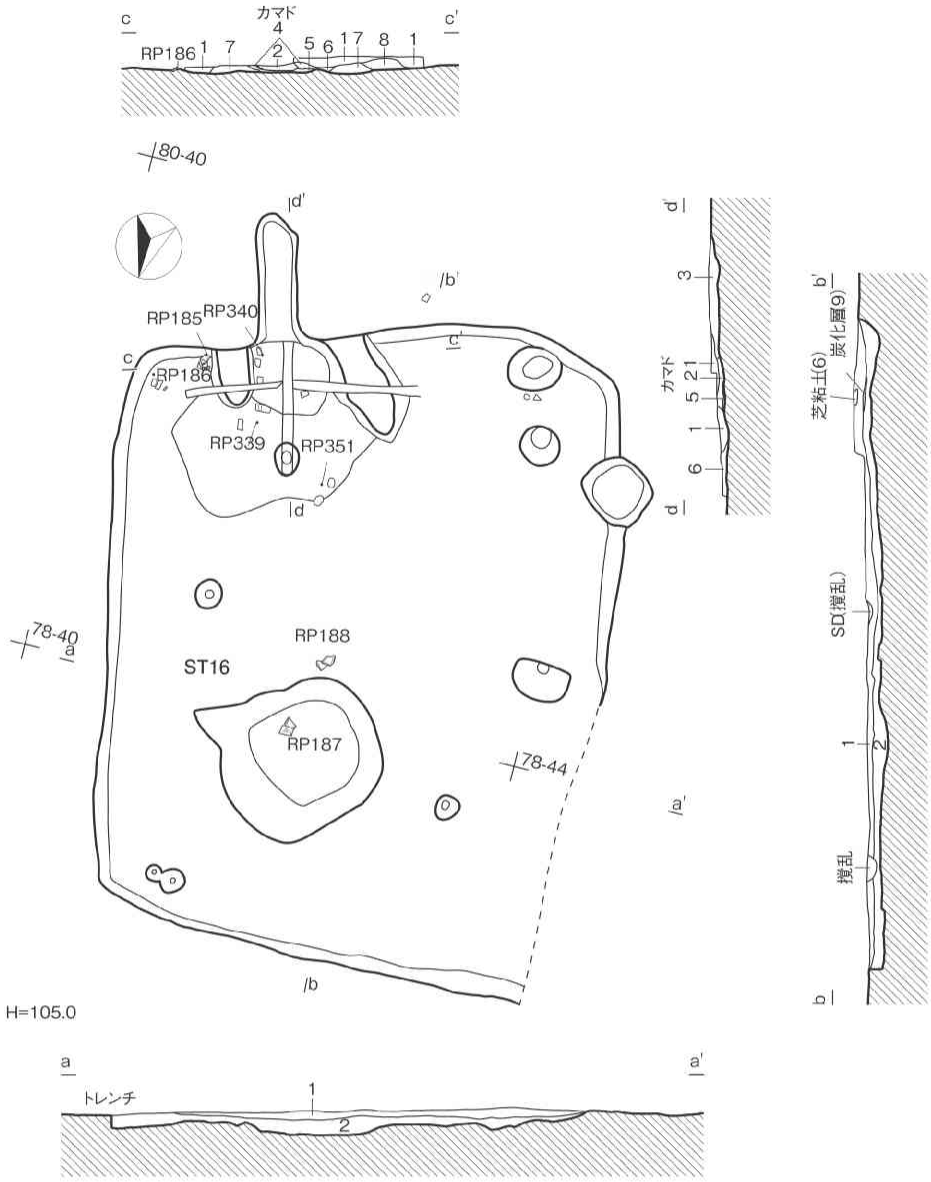


ST15

1	10YR4/2微砂	炭化粒を微量に含み、汚れている。ややしまる
2	10YR2/1黒色シルト	炭化層。炭化物を縞状又はブロックで含む。やわらかい
3	10YR4/2砂質シルト	貼床様。地山粘土を縞状又はブロックで少量含み、汚れている。しまる

0　2m
1:60

第 12 図　ST14・ST15 竪穴住居



ST16

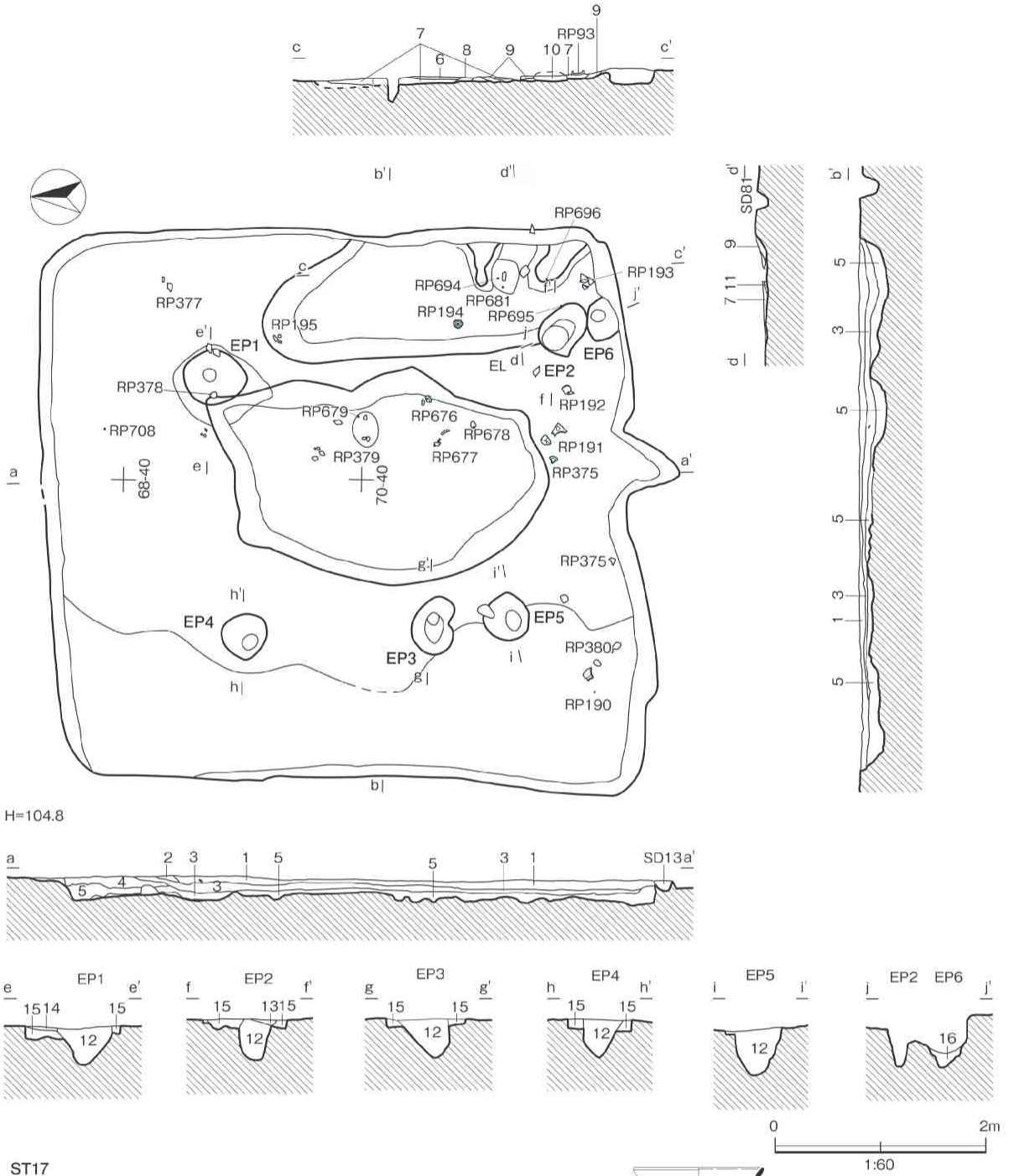
1. 10YR3/2微砂　炭化粒、地山粒を若干含み、地山砂塊をまだらに含む。やわらかい。
2. 10YR4/2砂質シルト　貼床。地山砂塊をまだらに含み、汚れている。やわらかい。

ST16カマド

1. 10YR3/2微砂　地山粒、炭化粒を微量に含む。やわらかい。
2. 10YR5/3砂質シルト　カマド崩落土。一部カマド崩落土含む。焼土塊、炭化物含み、ややしまる。
3. 10YR4/2砂質シルト　焼土塊、炭化物を若干含み、ややしまる。
4. 10YR6/3シルト　カマド崩落土。焼土塊を若干含み汚れている。しまる。
5. 10R4/1シルト　焼土。焼土塊を若干含み、炭化物を多く含む。明瞭な焼面なし
6. 10R4/1砂質シルト　4と同質。4より砂質で焼土少ない。
7. 10YR5/4シルト　カマド袖。粘質で地山砂粒を微量に含む。固くしまる。
8. 10YR5/4シルト　5と類似。5より焼土塊を若干含む。下面に炭化層含む。
9. 10YR2/1シルト　炭化層。地山砂粒を稿状に含み、焼土粒を若干含む。やわらかい。

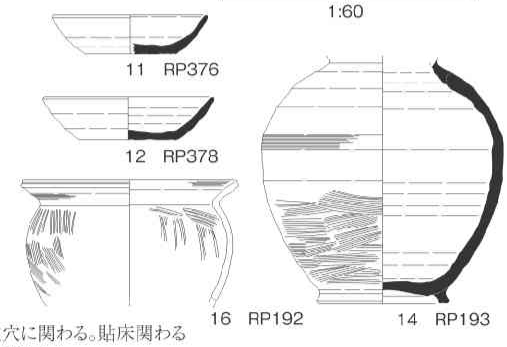
0　2m
1:60

第 13 図　ST16 竪穴住居

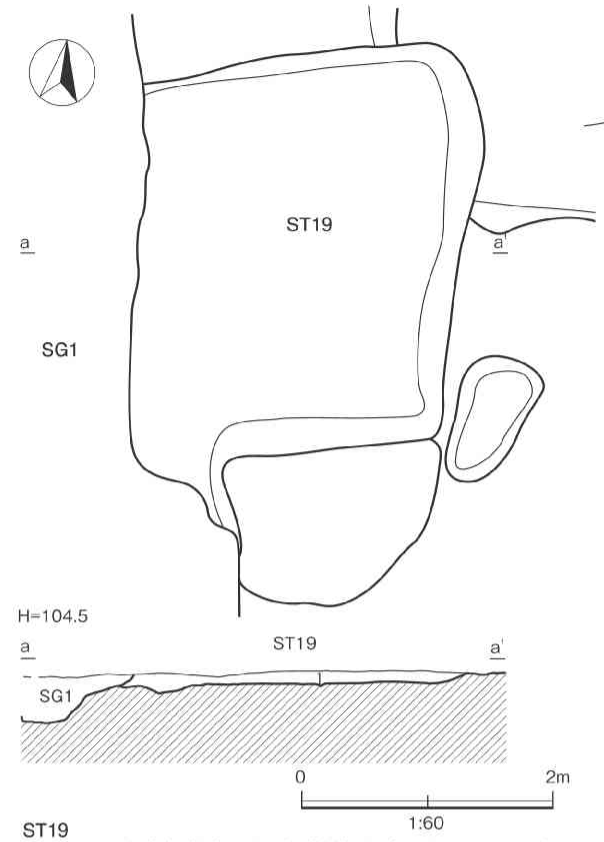


ST17

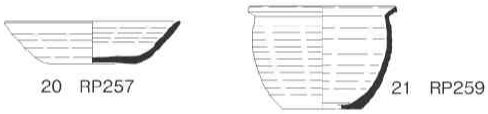
1. 10YR4/2微砂　炭化粒、地山粒を微量に含む。やわらかい
2. 10YR4/6微砂　1と同質。焼土塊を多く含む。しまる
3. 10YR2/1シルト　炭化層。炭化層と1を互層で含む。焼土塊、粒を若干含む
4. 10YR4/2微砂　焼土粒、炭化粒を微量に含み汚れている。しまる
5. 10YR4/2微砂　貼床。地山砂をまだらに多く含み汚れている。ややしまる
6. 10YR3/2微砂　炭化物含む。
7. 10YR2/1粘質　炭化層と地山砂の互層。焼土塊を含む
8. 10YR3/2微砂　7と同質。炭化物をまだらに含む。焼土粒を若干含む
9. 10YR3/2微砂　ソデ崩落土。焼土粒を若干含む
10. 10YR6/4微砂　ソデ。同色の粘質土を塊で含み、ややしまる。汚れている
11. 10YR4/2シルト　焼土。焼土塊を多く含み、炭化物を含む
12. 10YR3/2砂質シルト　地山塊。焼土塊を若干含み、ややしまる
13. 10YR2/1砂質シルト　6より炭化物を多く含む。ややしまる
14. 10YR4/2砂質シルト　地山粒を微量に含み、ややしまる。貼床の一部。6と類似。柱穴に関わる。貼床関わる
15. 10YR5/2砂質シルト　地山。白色粘土塊をまだらに含み、10YR3/2シルトを含む。ややしまる
16. 10YR4/1砂質シルト　地山粒を微量に含み、しまる

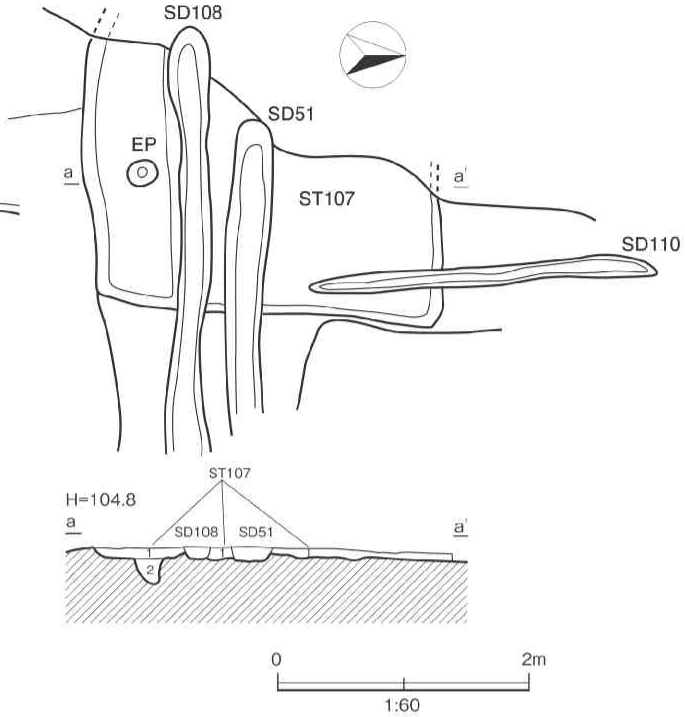


第14図　ST17 竪穴住居



ST19
1　10YR3/2黒褐色微砂　地山粗砂を微量に含み、汚れている。しまる

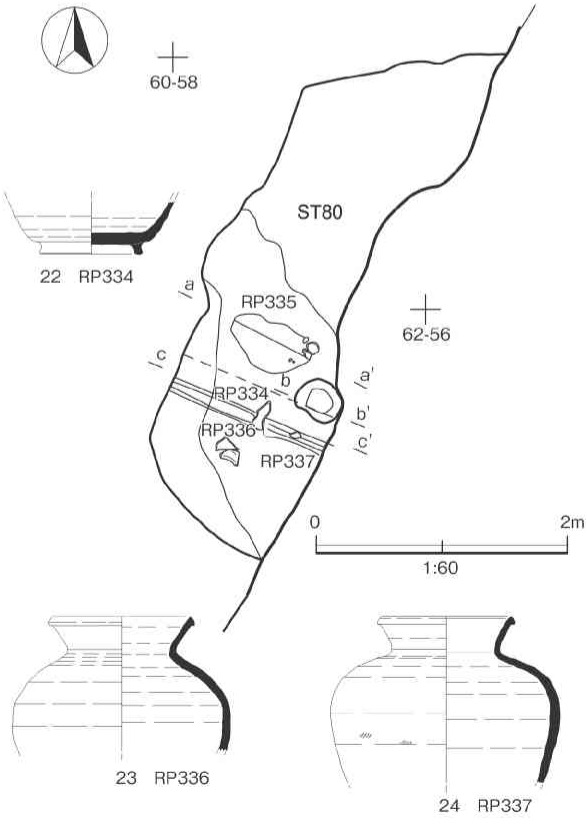


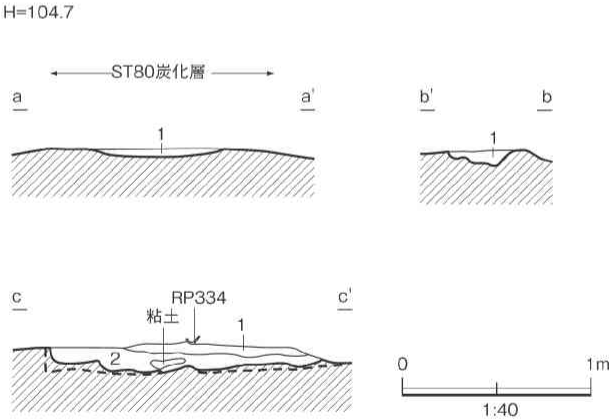


ST107
1　10YR4/2微砂　地山砂をまだらに含み、汚れている。やわらかい。
2　10YR4/2微砂　EP。1をブロックで含みやや粘質。ややしまる。

SD108
10YR3/2粘土　暗渠　粘土塊をブロックで含む。

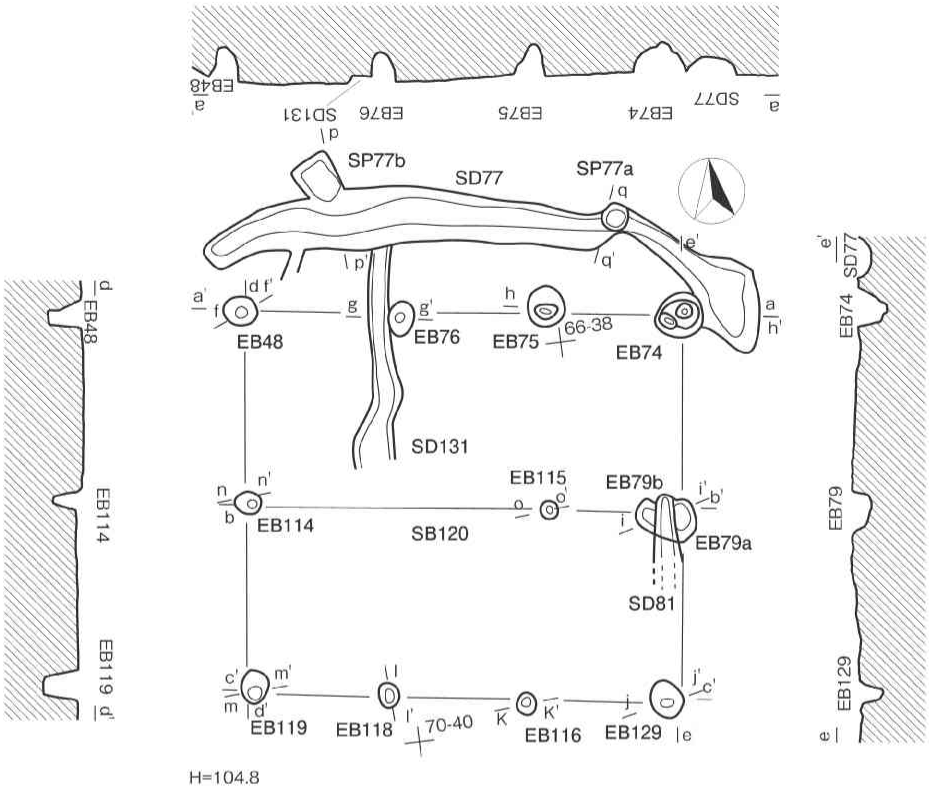
SD51
10YR2/1シルト　地山砂を塊でまだらに含む。ややしまる。

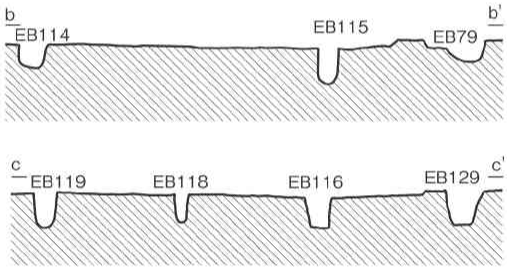


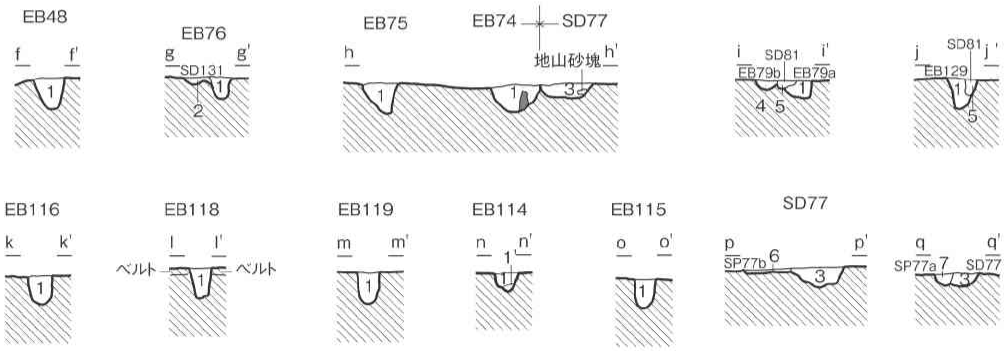


ST80
aa'
1　10YR2/1シルト　炭化層。焦土粒、地山粒を微量に含み、やわらかい
bb'
1　10YR4/2シルト　炭化粒、地山粒を微量に含み、やわらかい
cc'
1　10YR3/2シルト　遺物、炭化粒を含み、やわらかい
2　10YR3/2砂質シルト　貼床。地山粒、白色粘土を含み、やわらかい、汚れている

第15図　ST19・ST80・ST107 竪穴住居



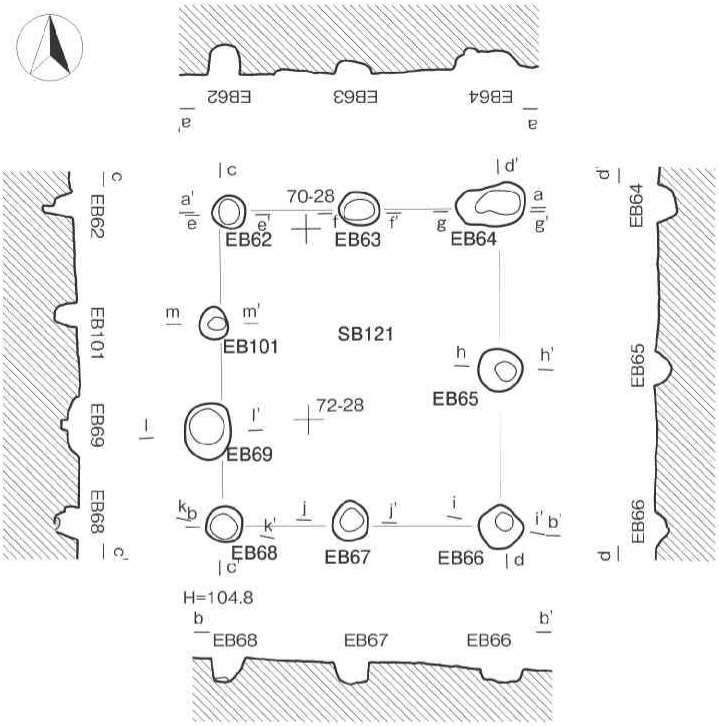


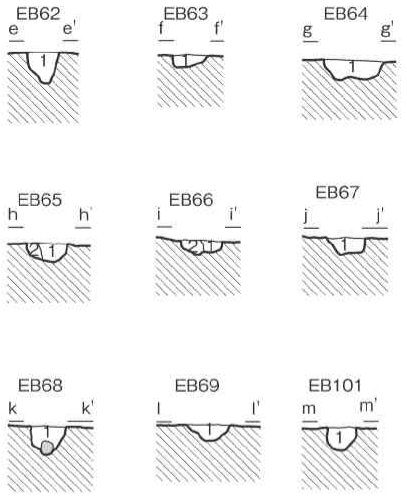


1　10YR3/2微砂　　地山砂粒、塊をまだらに含む　ややしまる
1'　10YR3/2微砂　　1より砂を多く含む
2　10YR3/2微砂　　地山砂をまだらに含む　炭化粒を微量　焼土含む
3　10YR4/2砂質シルト　　地山砂塊を含み汚れている　しまる
4　10YR4/2細砂　　地山砂を多く含む
5　10YR3/2微砂　　地山砂塊をまだらに含む　粘質土含む
6　10YR2/2砂質シルト　　撹乱地山砂を多く含む
7　10YR4/2細砂

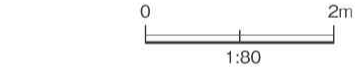
0　2m
1:80

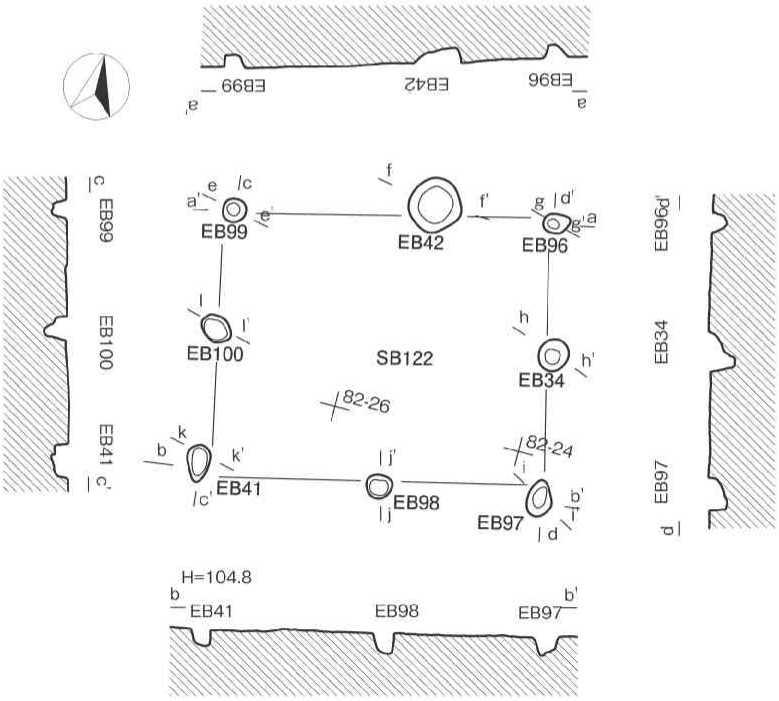
第 16 図　SB120 掘立柱建物

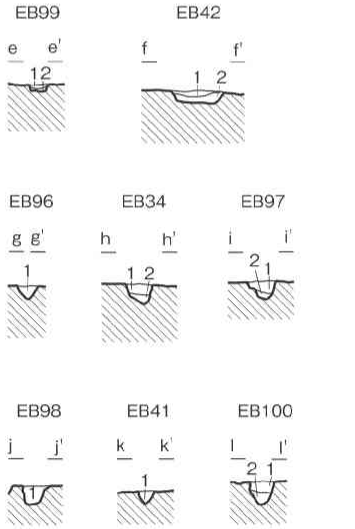




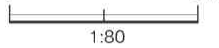
SB121
1 10YR3/2砂質シルト　アタリ
2 10YR4/2微砂　　地山粒をまだらに含む



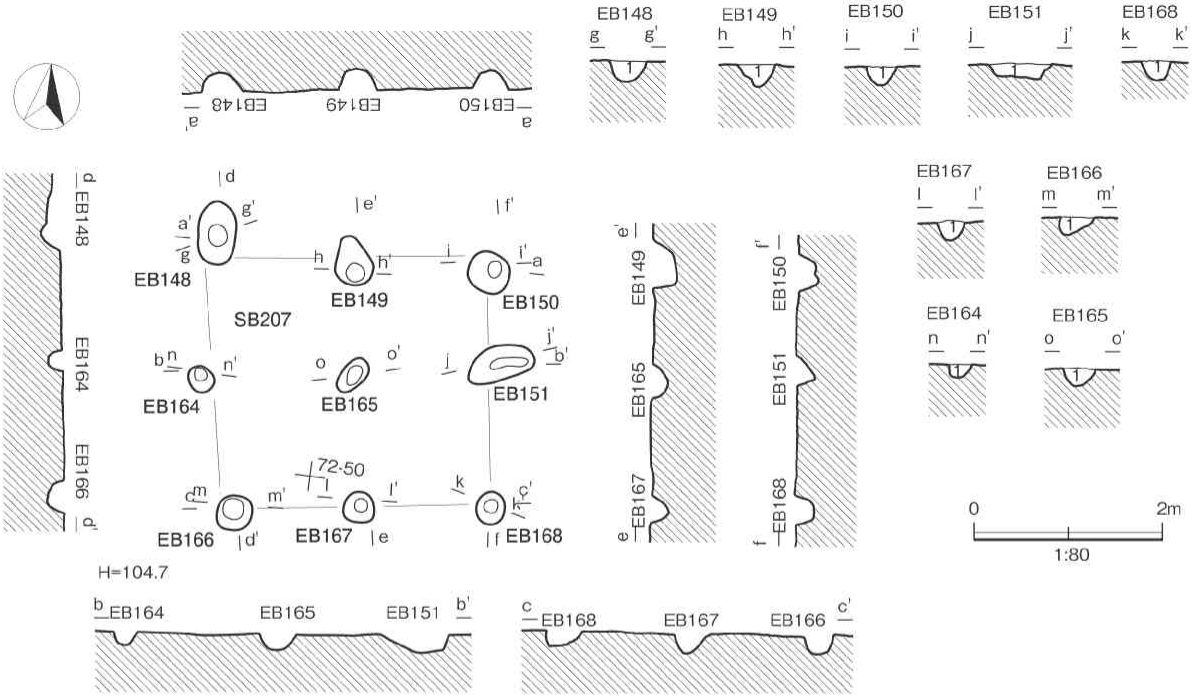




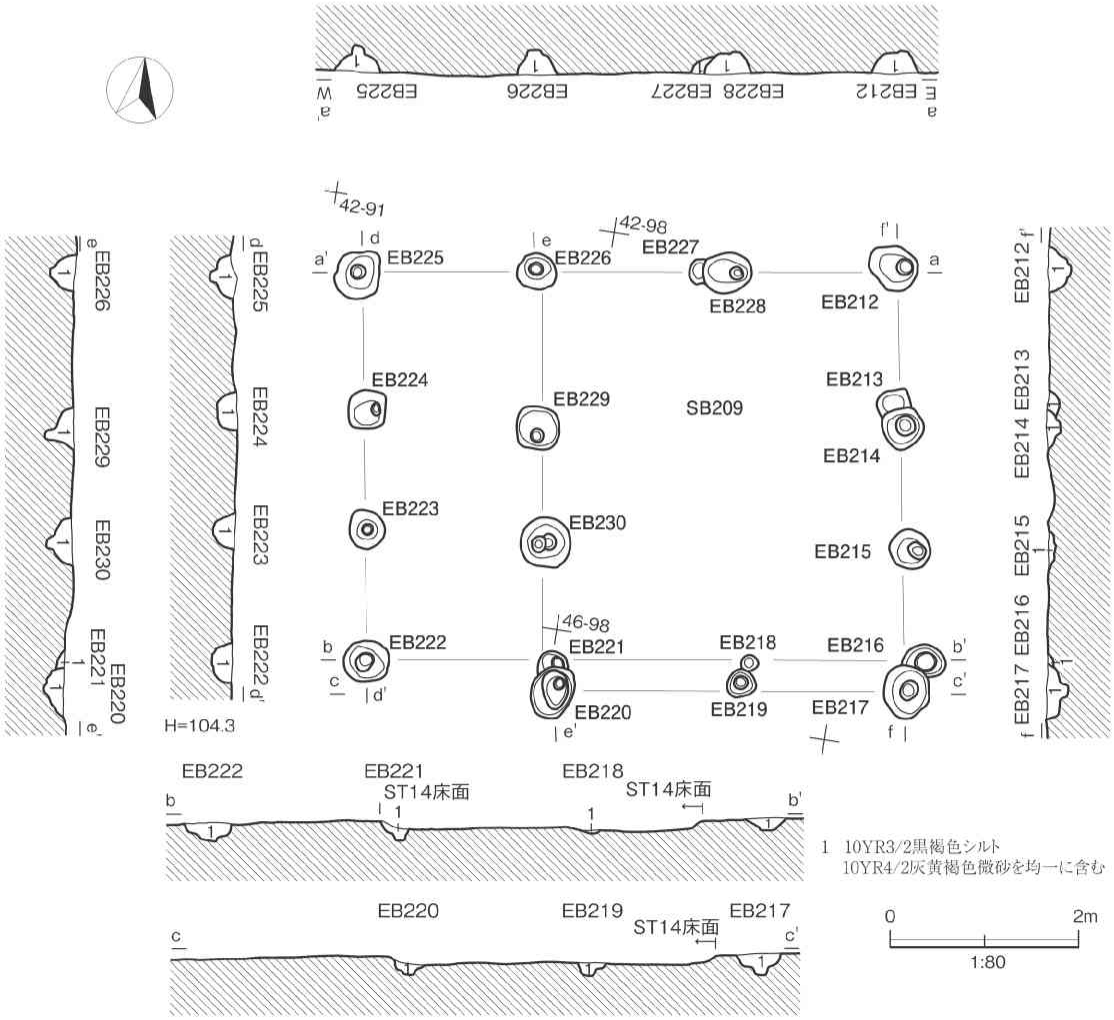
SB122
1 10YR3/2微砂　地山塊を含む。汚れている。
2 10YR4/2微砂　1をまだらに含む。



第17図　SB121・SB122 掘立柱建物

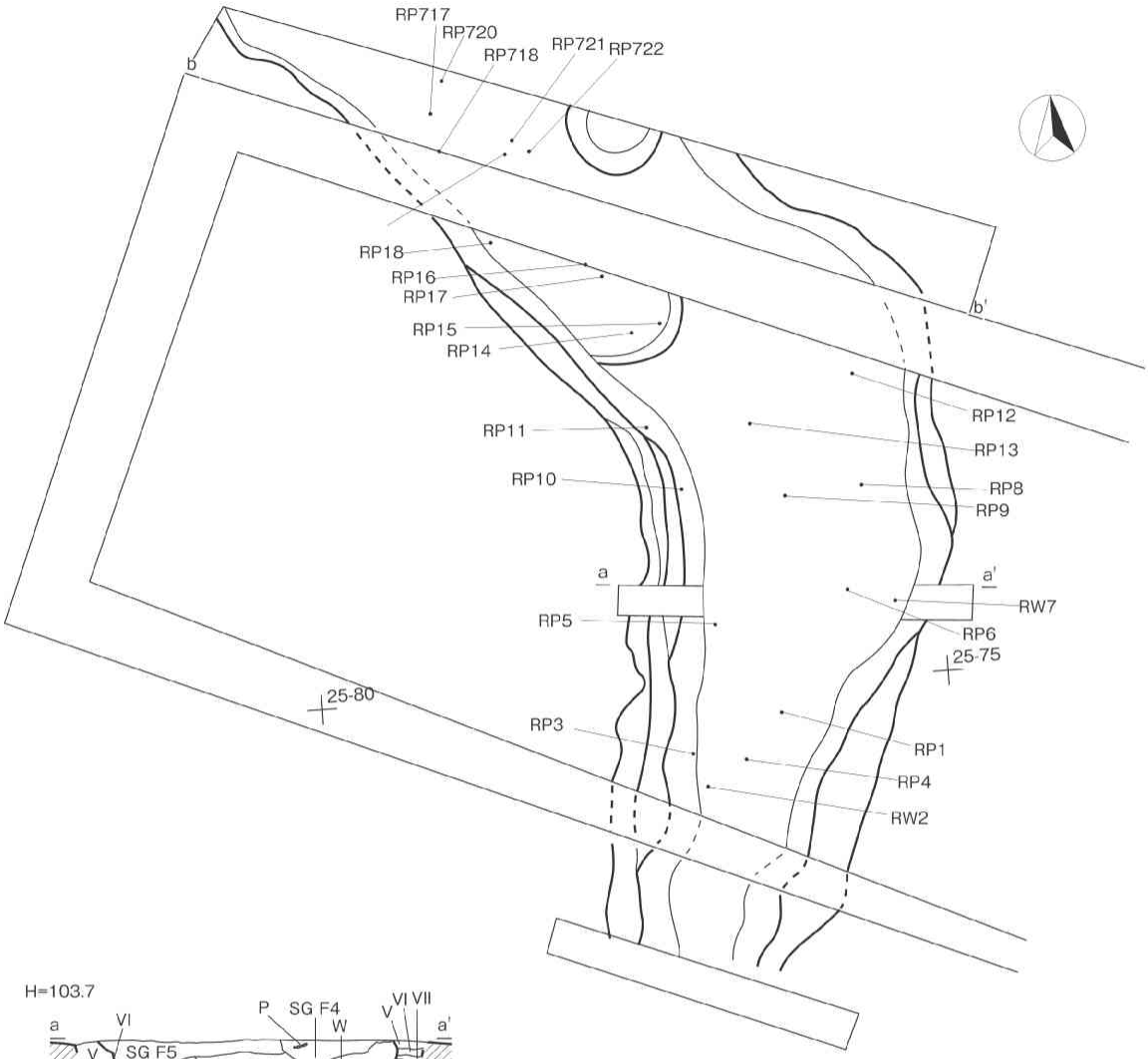


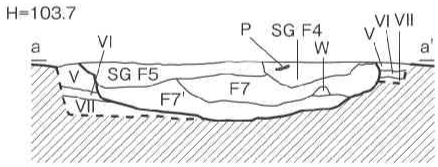
1　10YR3/2砂質シルト　　炭化物・地山砂粒を若干含み、しまる

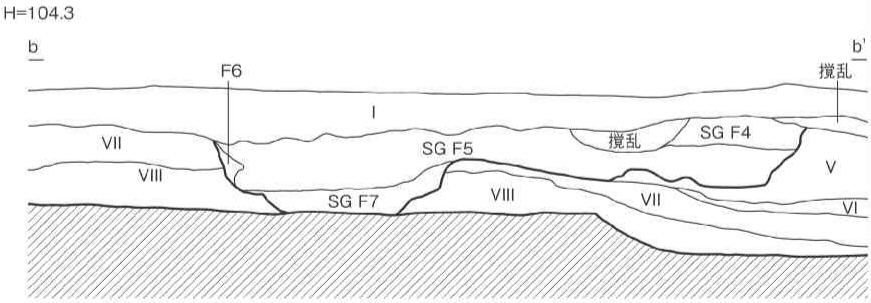


1　10YR3/2黒褐色シルト
10YR4/2灰黄褐色微砂を均一に含む

第 18 図　SB207・SB209 掘立柱建物





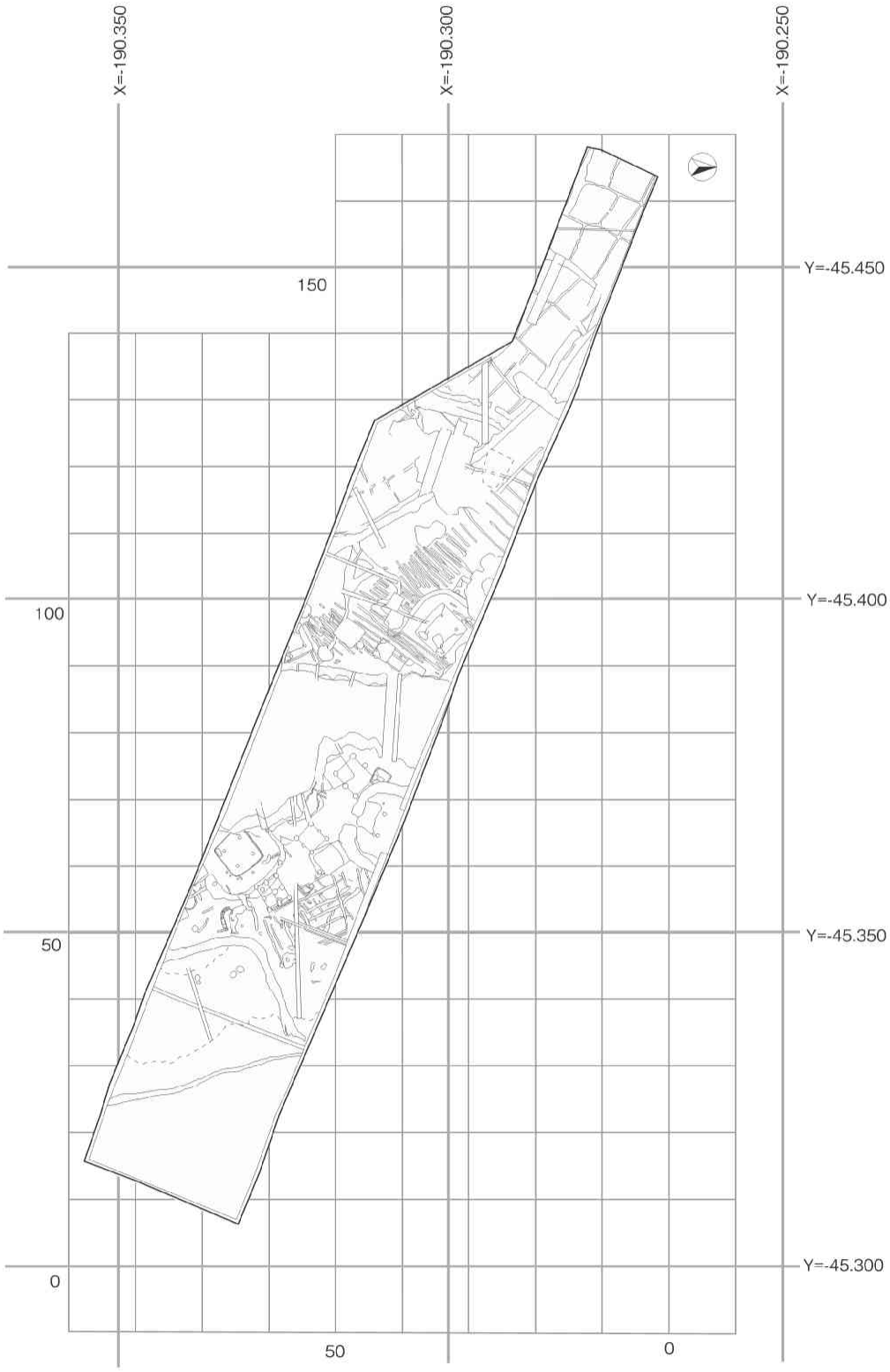


SG1

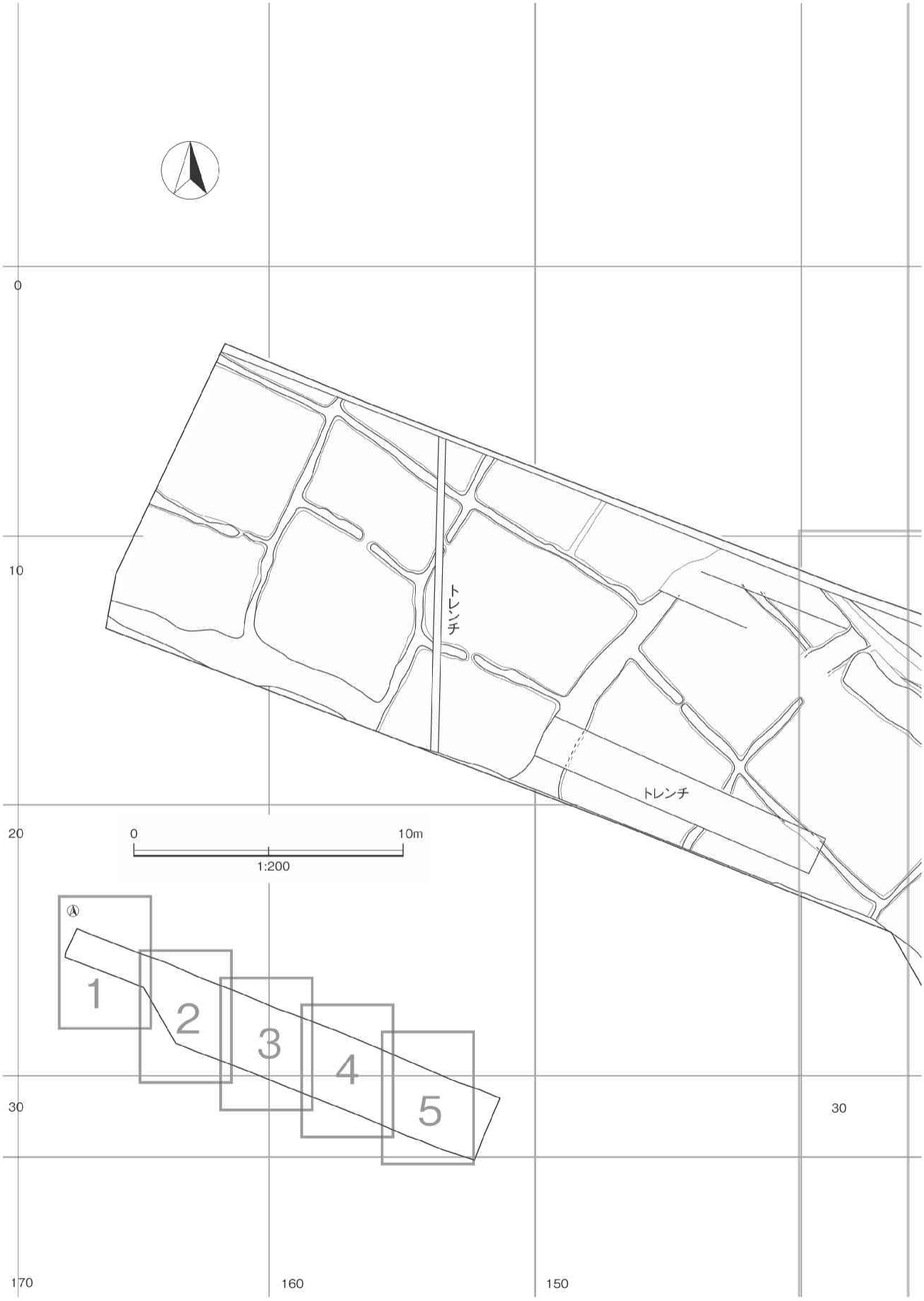
Ⅰ	10YR3/2黒褐色シルト	耕作土
Ⅴ	10YR5/2灰黄褐色砂質シルト	Ⅶ層と地山砂(10GY7/1、明緑灰色細砂)をまだらに含む。やわらかい。
Ⅵ	10YR6/2灰黄褐色シルト	地山粒を微量に含み、純粋層。
Ⅶ	10YR4/2灰黄褐色粘質シルト	泥炭様。下位粘質化。やわらかい。
Ⅷ	10YR5/2灰黄褐色微砂	地山。下位は細砂層。
F4	10YR3/1黒褐色シルト	腐植土、木質を多く含む
F5	2.5Y4/2暗灰黄色粗砂	F4を若干含む。
F6		F5とⅦの混合土。
F7	2.5Y4/2暗灰黄色粗砂	F5と類似。F4、F5をまだらに含む。F5よりグライ化強い。
F7'	2.5Y4/2暗灰黄色粗砂	F7と類似。F7より純粋な砂層。

0 2m
1:60

第19図　SG1 河川跡



第 20 図　第２次調査区全体図（S ＝ 1:1,000）



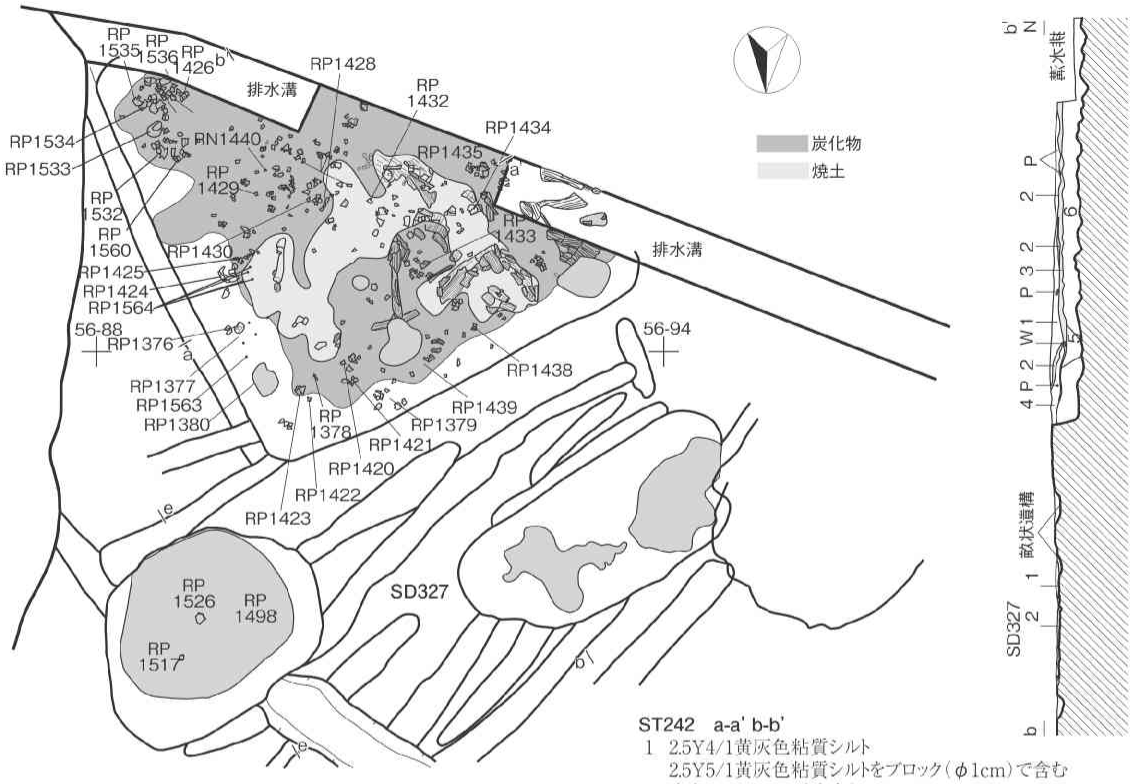
第 21 図　第２次調査区遺構配置図１（S ＝ 1:200）

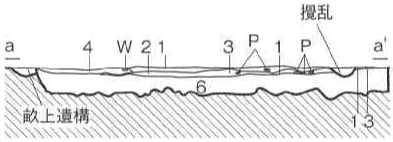
第 22 図　第２次調査区遺構配置図２（S ＝ 1:200）

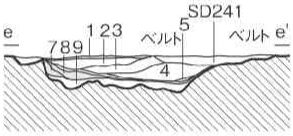
第 23 図　第２次調査区遺構配置図３（S ＝ 1:200）

第 24 図　第２次調査区遺構配置図４（S ＝ 1:200）

第 25 図　第２次調査区遺構配置図５（S ＝ 1:200）





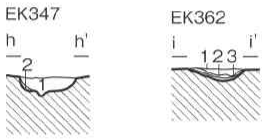


ST242　a-a' b-b'

1　2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
　2.5Y5/1黄灰色粘質シルトをブロック（φ1cm）で含む
　炭（φ0.2～0.5cm）を含む
2　7.5Y4/3褐色シルト（焼土）
　7.5Y3/1オリーブ黒粘質シルトが混在する
　（焼土層）
3　10YR1.7/1黒色粘質シルト（炭）
　2.5Y4/1黄灰色粘質シルトを筋状に含む
　（炭層）
4　2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
　2.5Y5/1黄灰色粘質シルトをブロック（φ1cm）で含む斑状に含む
　（棚状遺構）
5　10YR1.7/1黒色粘質シルト（炭）
　2.5Y5/1黄灰色粘質シルトを互層に含む
　（EK347･1層）
6　2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
　2.5Y4/2暗灰黄色微砂をブロック（φ10cm）で含む
　（貼床層）

SD327

1　10YR1.7/1黒色粘質シルト（炭）
2　2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
　2.5Y5/1黄灰色細砂を混在する
　炭（φ0.1cm）をわずかに含む
3　2.5Y5/1黄灰色粘質シルト
　2.5Y6/1黄灰色微砂を混在する
　炭（φ0.1cm）をわずかに含む
4　2.5Y5/1黄灰色粘質シルト
　2.5Y6/1黄灰色シルトが互層になる
　炭（φ0.2～0.3cm）をわずかに含む
5　2.5Y5/1黄灰色粘質シルト
　炭を斑状に含む
6　10YR1.7/1黒色粘質シルト（炭）
7　10YR1.7/1黒色粘質シルト（炭）
　2.5Y5/2暗灰黄色微砂をブロック（2～3cm）で含む
8　2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
　2.5Y5/2暗灰黄色粘質シルト
　炭を斑状にわずかに含む
9　2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
　2.5Y5/2暗灰黄色細砂を斑状に含む

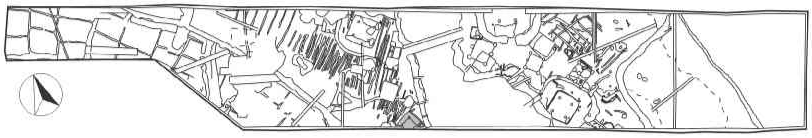


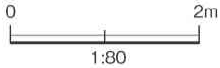
ST242･EK347

1　10YR1.7/1黒色粘質シルト（炭）
　2.5Y5/1黄灰色粘質シルト互層に含む
2　2.5Y5/1黄灰色粘質シルト
　10YR1.7/1黒色粘質シルト（炭）を斑状に含む

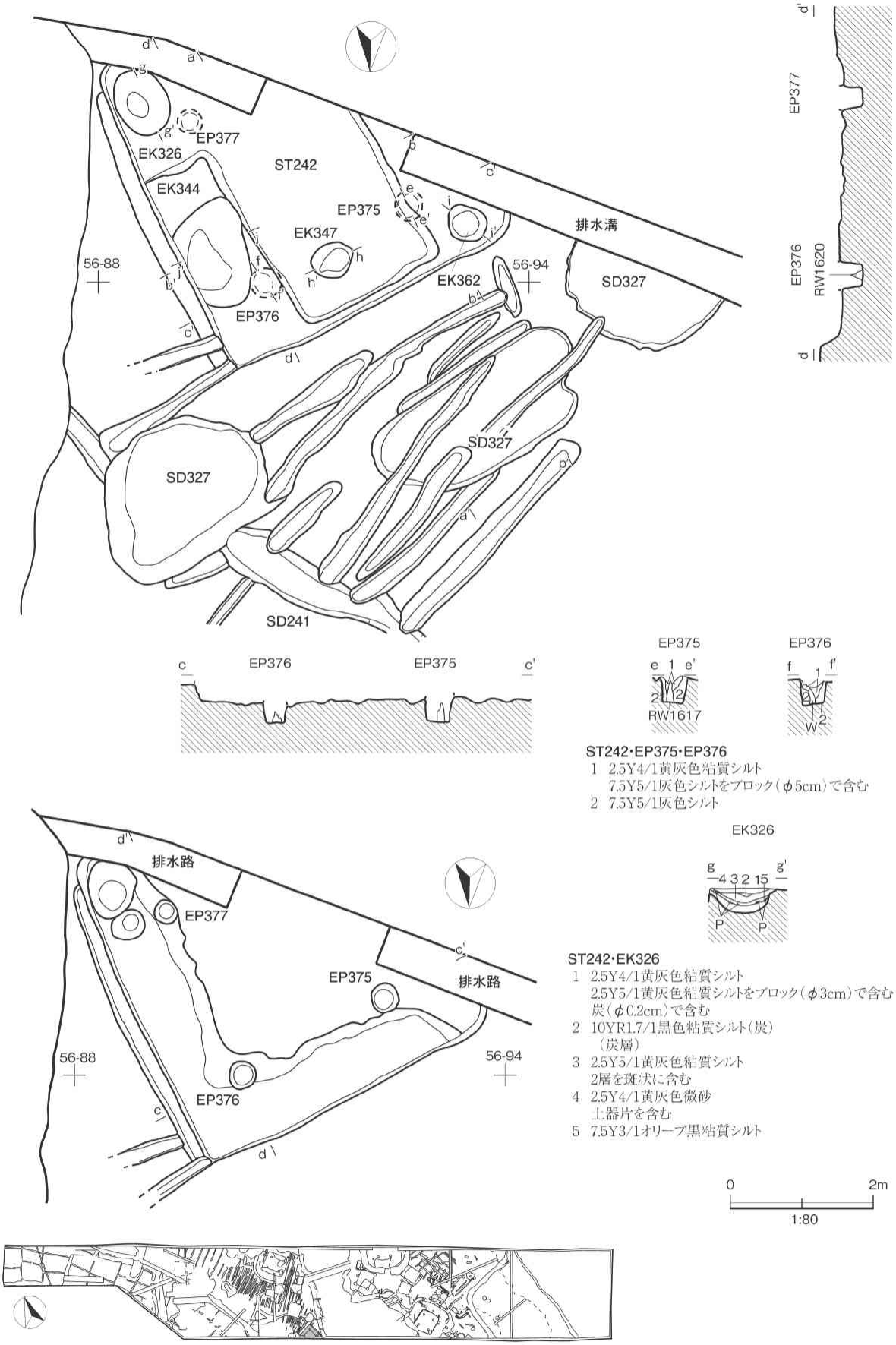
ST242･EK362

1　2.5Y5/2暗灰黄色シルト
　10YR1.7/1黒色シルト（炭）を筋状に焼土を斑状に含む
2　2.5Y3/1黒褐色シルト（炭）
　2.5Y4/1黄灰色シルトをブロック（φ1cm）で含む
　（炭層）
3　2.5Y5/1黄灰色シルト

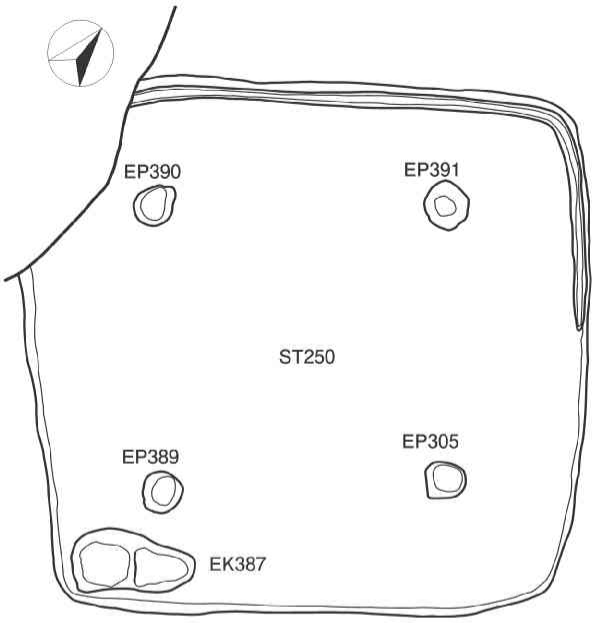


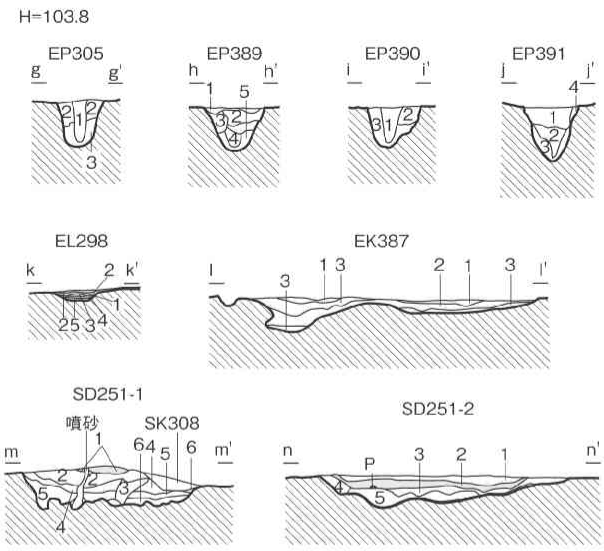


第 26 図　ST242 竪穴住居 1



第 27 図　ST242 竪穴住居 2





68-56

EP305
1 2.5Y4/1黄灰色シルト　2.5Y5/1黄灰色シルトを斑状に含む
2.5Y3/1黒褐色粘質シルトをブロック（φ1cm）で含む
2 2.5Y5/1黄灰色シルト
2.5Y3/1黒褐色粘質シルトと2.5Y4/1黄灰色シルトを斑状に含む
3 2.5Y3/1黒褐色粘質シルト

EP389
1 2.5Y4/1黄灰色シルト　2.5Y5/2暗灰色黄色微砂を混在する
2 5Y4/1灰色シルト
2.5Y5/2暗灰色黄色微砂をブロック（φ2cm）で含む
3 5Y4/1灰色シルト　炭（φ0.1cm）をわずかに含む
4 5Y4/1灰色シルト　2.5Y5/2暗灰黄色微砂を混在する
5 2.5Y5/2暗灰黄色微砂　5Y4/1灰色シルトを混在する

EP390
1 2.5Y4/1黄灰色シルト　2.5Y5/2暗灰黄色微砂を混在する
炭（φ0.1cm）をわずかに含む
2 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト　2.5Y5/2暗灰黄色微砂を斑状に含む
3 2.5Y5/1黄灰色シルト　2.5Y4/1黄灰色粘質シルトを斑状に含む

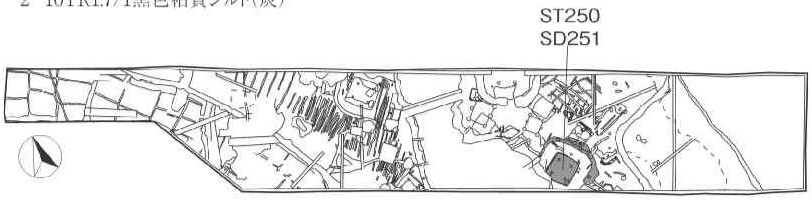
EP391
1 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトをブロック（φ0.5cm～0.8cm）で含む
炭（φ0.1cm）を含む
2 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトを粒（φ0.2cm）でわずかに含む
炭（φ0.1cm）をわずかに含む
3 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト　2.5Y5/1黄灰色シルトを混在する
4 2.5Y5/1黄灰色シルト　2.5Y5/1黄灰色シルトを斑状に混在する

EL298
1 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/2暗灰黄色微砂をブロック（φ1cm）で含む
炭（φ0.3～0.5cm）を含む
2 10YR1.7/1黒色粘質シルト（炭）
3 2.5Y5/2暗灰黄色シルト 灰状の繊維質のもの
4 10YR4/2灰黄褐色シルト（炉底硬化面）
5 10YR1.7/1黒色粘質シルト（炭）

EK387
1 2.5Y3/1黒褐色シルト
2.5Y4/1黄灰色シルトを斑状に混在する
炭（φ0.1cm）をわずかに含む
2 2.5Y3/1黒褐色シルト
2.5Y4/1黄灰色シルトを混在する
炭（φ0.1cm）をわずかに含む
3 2.5Y3/1黒褐色シルト
2.5Y5/2暗灰黄色微砂を混在する
炭（φ0.1cm）をわずかに含む
4 2.5Y3/1黒褐色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色粘質シルトを粒（φ0.1cm）でわずかに含む
2.5Y7/1灰白色粘土をブロック（φ1cm）でわずかに含む

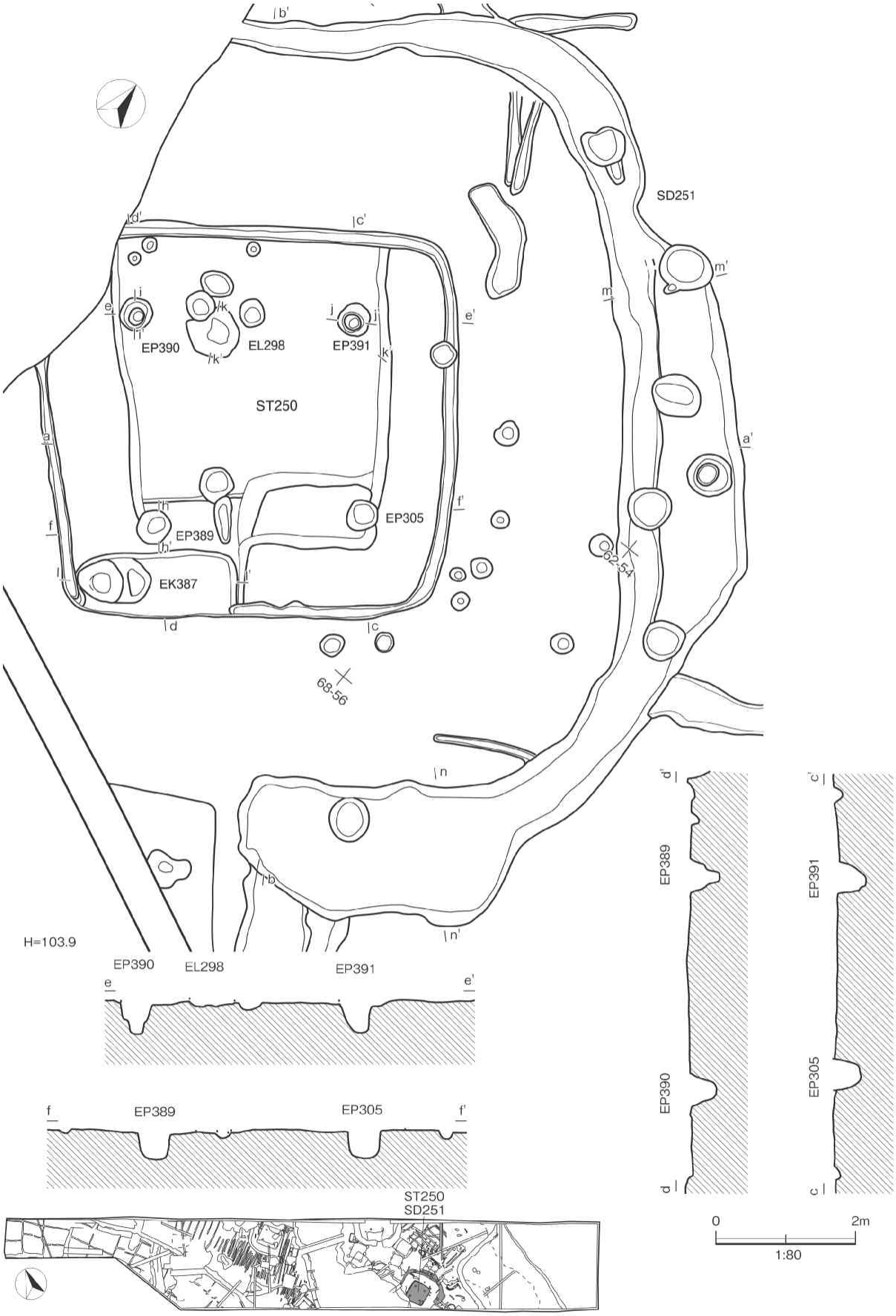
SD251-1
1 10YR4/3にぶい黄褐色シルト（焼土）　炭と灰を縞状に含む　（焼土層）
2 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色粘質シルト・2.5Y3/1黒褐色粘質シルトを斑状に含む
炭（φ0.1cm）をわずかに含む
3 4層に2.5Y5/2暗灰黄色微砂を斑状に含む
4 2.5Y5/1黄灰色粘質シルト　2.5Y4/1黄灰色粘質シルトを斑状に含む
2.5Y5/2暗灰黄色粘土をブロック（φ1cm）でわずかに含む
炭（φ0.1cm）をわずかに含む
5 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト　2.5Y3/1黒褐色粘質シルトを斑状に含む
2.5Y5/1黄灰色粘質シルトをブロック（φ0.2cm）で含む
炭（φ0.1cm）をわずかに含む
6 2.5Y5/2暗灰黄色粘質シルト
2.5Y3/1黒褐色粘質シルトをブロック（φ1cm）で含む

SD251-2
1 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色粘質シルト・2.5Y3/1黒褐色粘質シルトを斑状に含む
炭（φ0.1cm）をわずかに含む
2 1層と炭層の互層
3 1層に同じ
4 1層に炭を斑状に含む
5 1層に2.5Y5/2暗灰黄色微砂を斑状に含む

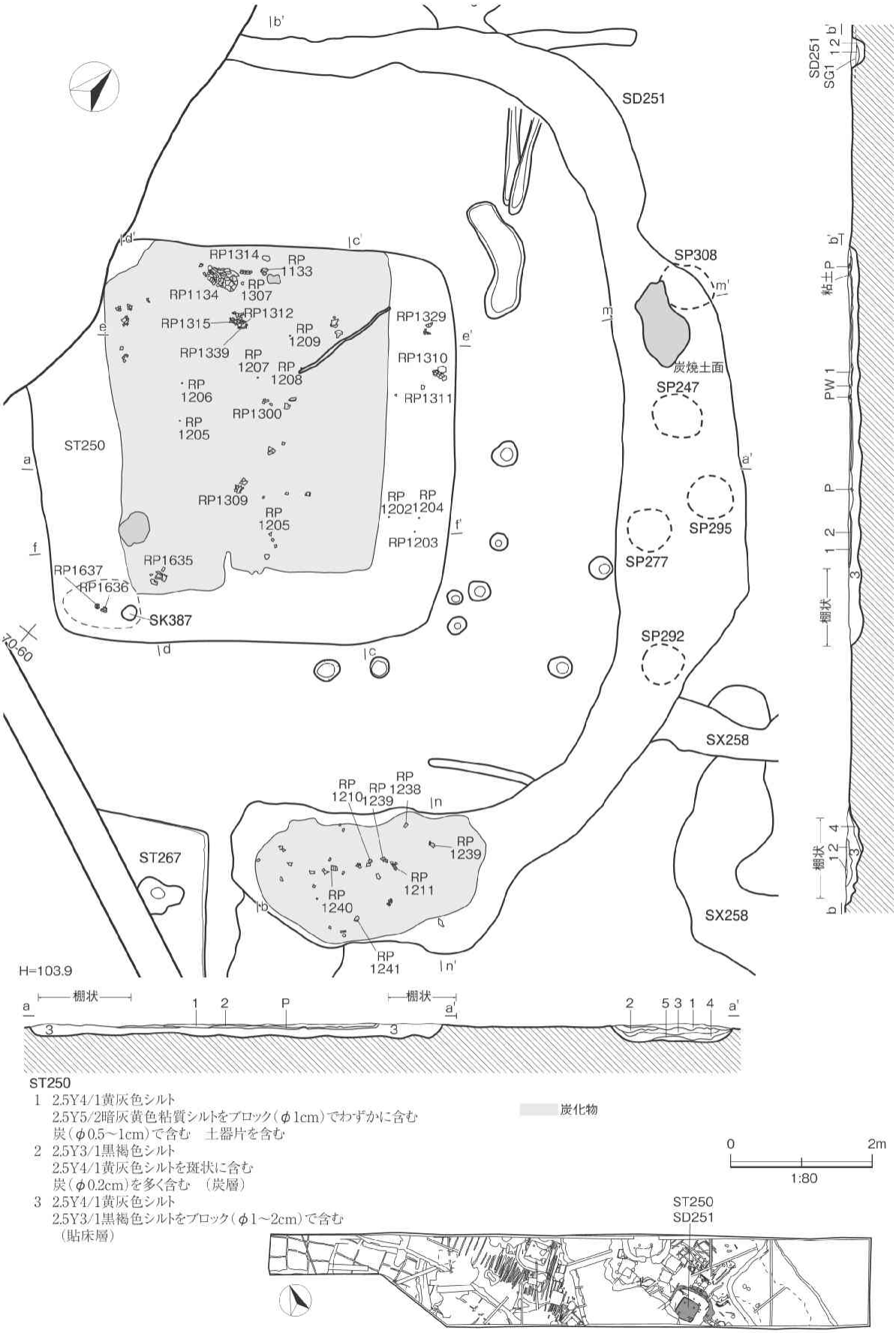


0　2m
1:60

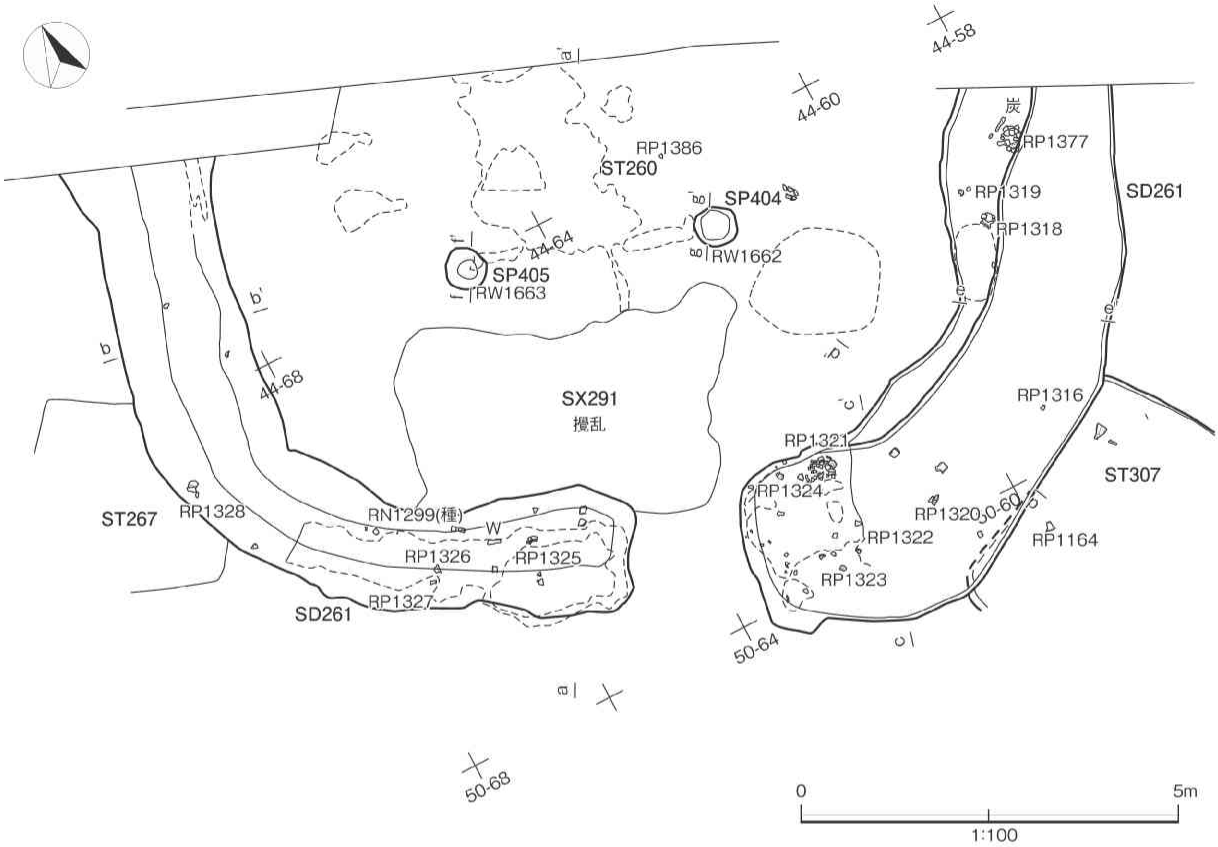
第28図　ST250 竪穴住居1

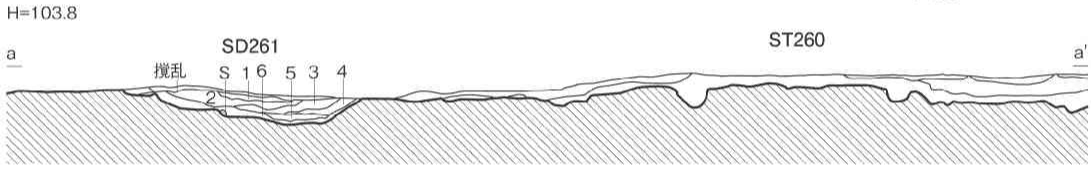


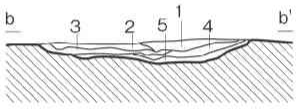
第 29 図　ST250 竪穴住居 2

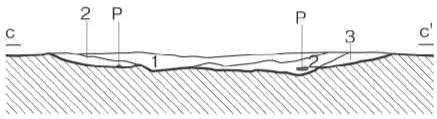


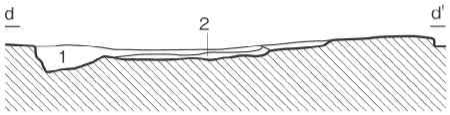
第 30 図　ST250 竪穴住居 3







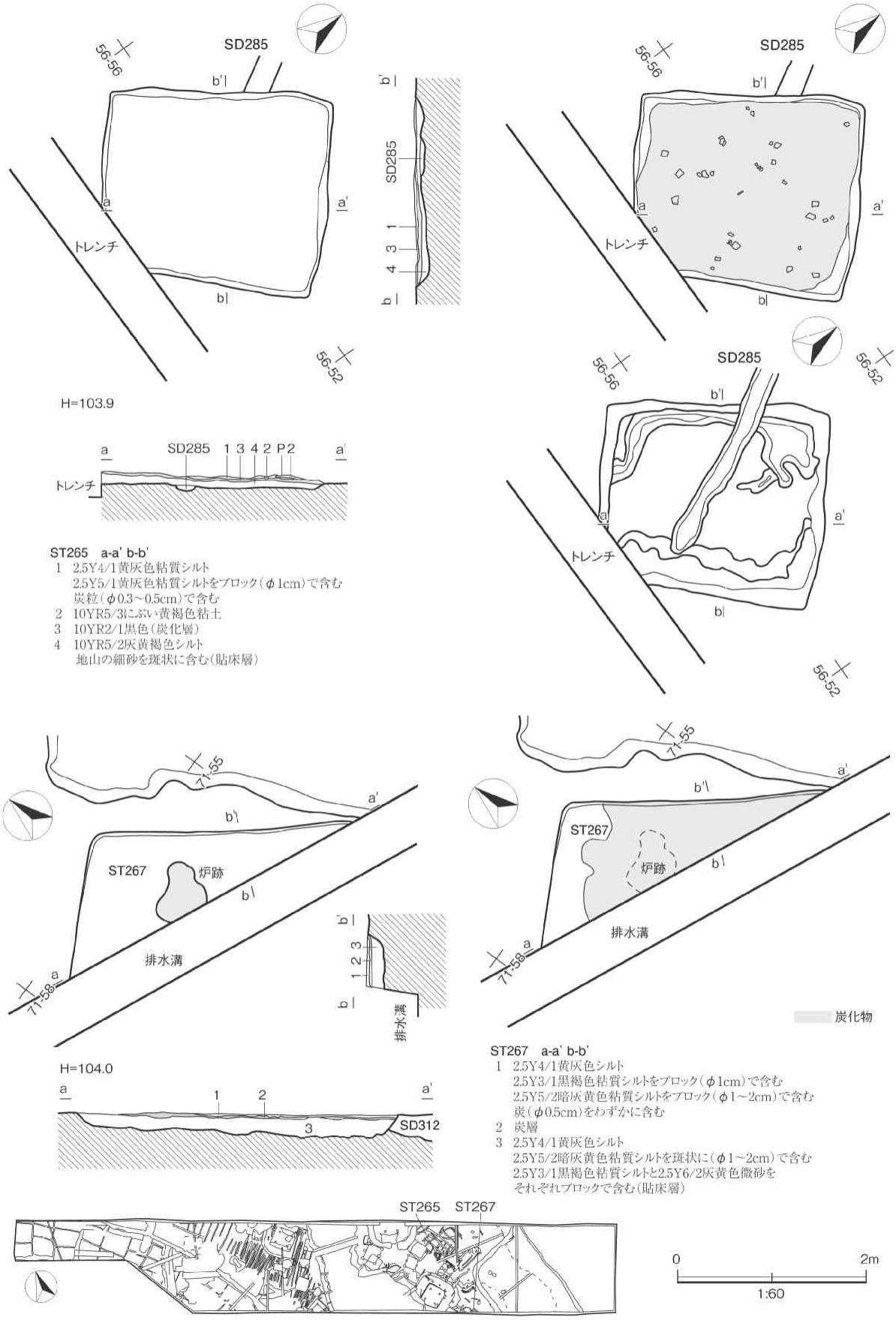




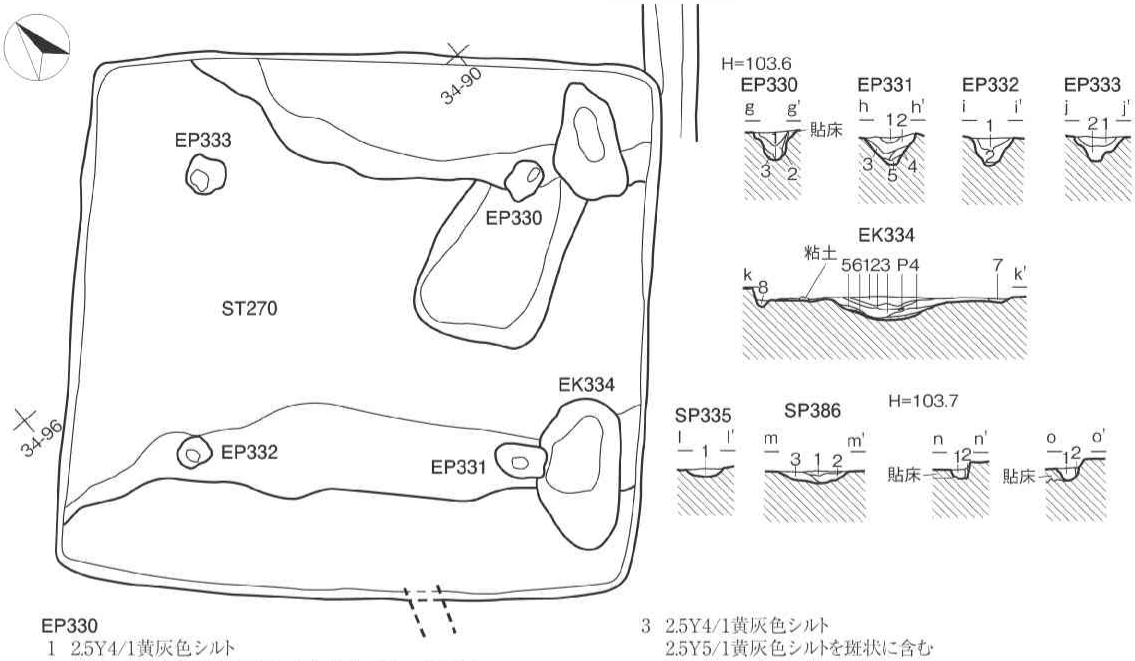
ST260
SD261
a-a'
1 10YR3/3暗褐色シルト　炭化物を大量に含む。
2 10YR3/2黒褐色粘質シルト　炭化物を粒状にやや多く混入する。
3 10YR3/3暗褐色シルト　炭化物をブロック状に多く含む。
4 10YR3/1黒褐色シルト　均質な土質にわずかに炭化物を混入する。
5 10YR3/1黒褐色粘質シルト　炭化層を上位で縞状に含む。
6 10YR2/1黒色シルト　焼土をブロック状に混入する。
b-b'
1 10YR4/2灰黄褐色シルト　均質で固くしまる。
2 10YR4/1褐灰色シルト　均質な土質
3 10YR4/2灰黄褐色シルト　均質で固くしまる。
4 10YR3/2黒褐色シルト　わずかに炭化物を含む。
5 10YR3/1黒褐色シルト　上位で縞状に炭化物を含む。
c-c'
1 10YR4/1褐灰色シルト　下位で炭化物を含む。
2 10YR3/1黒褐色シルト　下位で炭化物及び遺物を含む。
3 10YR3/2黒褐色シルト　灰黄褐色シルトを斑状にやや含む。
d-d'
1 10YR3/1黒褐色シルト　下位で炭化物及び遺物を含む。
2 10YR3/2黒褐色シルト　微砂を縞状にやや含む。
e-e'
1 10YR3/1黒褐色シルト　下位で炭化物及び遺物を含む。

0　3m
1:60

第 31 図　ST260 竪穴住居



第 32 図　ST265・ST267 竪穴住居



EP330
1 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトをブロック(φ0.3~0.8cm)で含む
2 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトを粒(φ0.1cm)でわずかに含む
3 2.5Y4/1黄灰色シルト

EP331
1 2.5Y5/1黄灰色シルト
2.5Y4/1黄灰色シルトを斑状に含む
2 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトをブロック(φ0.1~1.5cm)で含む
炭(φ0.2~0.3cm)をわずかに含む
3 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトをわずかに混在する
炭を斑状に混在する(炭を多く含む層)
4 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトを混在する
5 2.5Y4/1黄灰色シルト

EP332
1 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトをブロック(φ0.1~1.5cm)で含む
炭(φ0.2~0.3cm)をわずかに含む
2 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトを粒(φ0.1cm)でわずかに含む

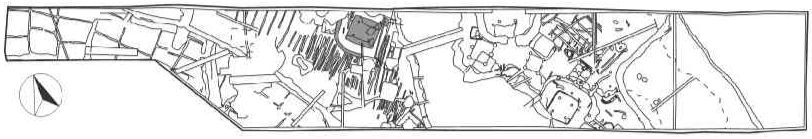
EP333
1 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトを混在する
炭(φ0.1cm)をわずかに含む
2 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトをブロック(φ0.2cm)で含む

SK334
1 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトをブロック(φ0.1~3cm)で含む
炭(φ0.1cm)をわずかに含む
2 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトをわずかに混在する
3 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトを斑状に含む
炭(φ0.1cm)をわずかに含む
4 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトをわずかに混在する
炭(φ0.1cm)をわずかに含む
5 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y3/1黒褐色粘質シルトをわずかに混在する
6 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトをわずかに混在する
炭を斑状に混在する(炭を多く含む層)
7 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトを粒(φ0.1cm)でわずかに含む
8 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色粘質シルトをわずかに混在する(壁周溝)

ST270・SP335
1 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色粘質シルトを粒(φ0.2~0.3cm)で含む
炭を斑状に含む

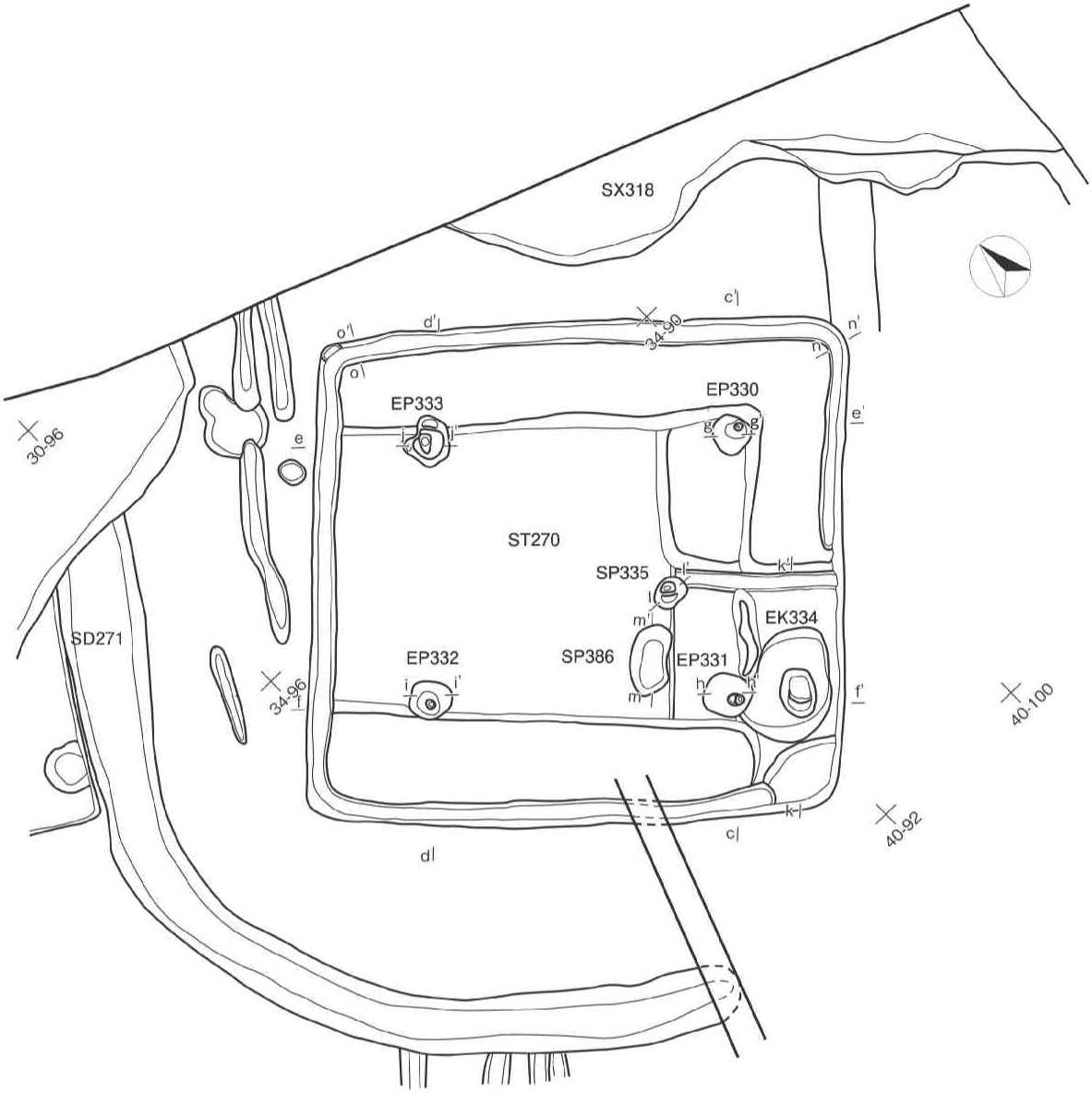
SP386
1 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色粘質シルトを粒(φ0.2cm)でわずかに含む
土器片を含む
2 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色粘質シルトが混在する
2.5Y7/1灰白色粘土をブロック(φ1cm)でわずかに含む
自然遺物(種子)を含む
3 2.5Y5/1黄灰色粘質シルト
2.5Y4/1黄灰色粘質シルトをわずかに混在する

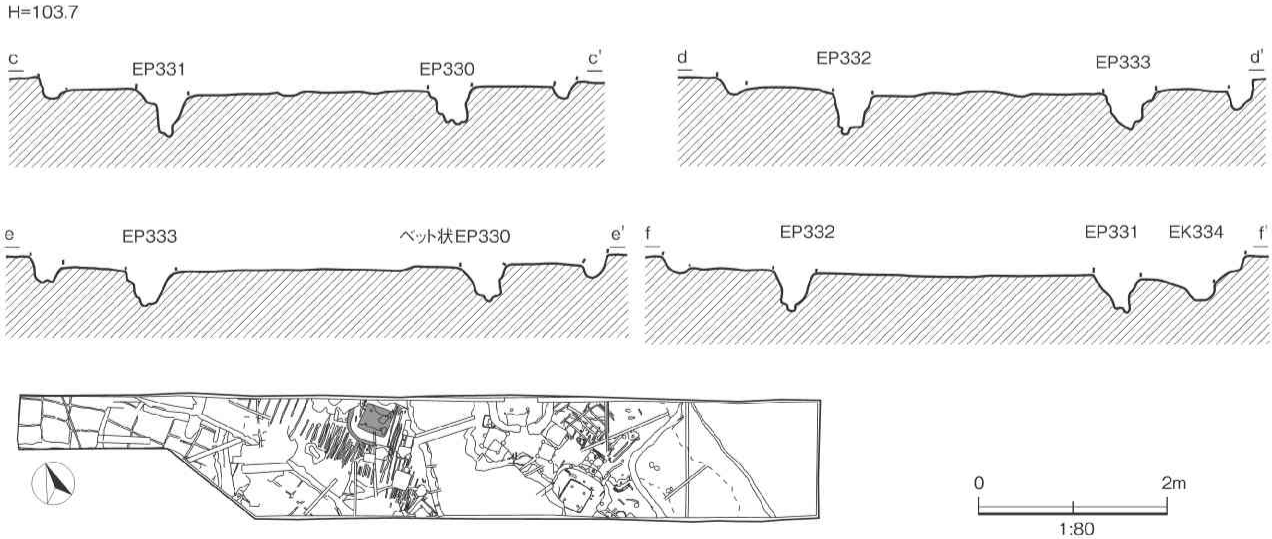
n-n' o-o'
1 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトをブロック(φ1~3cm)で含む
(周溝覆土)
2 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトを粒(φ0.2cm)でわずかに含む
(壁材痕)



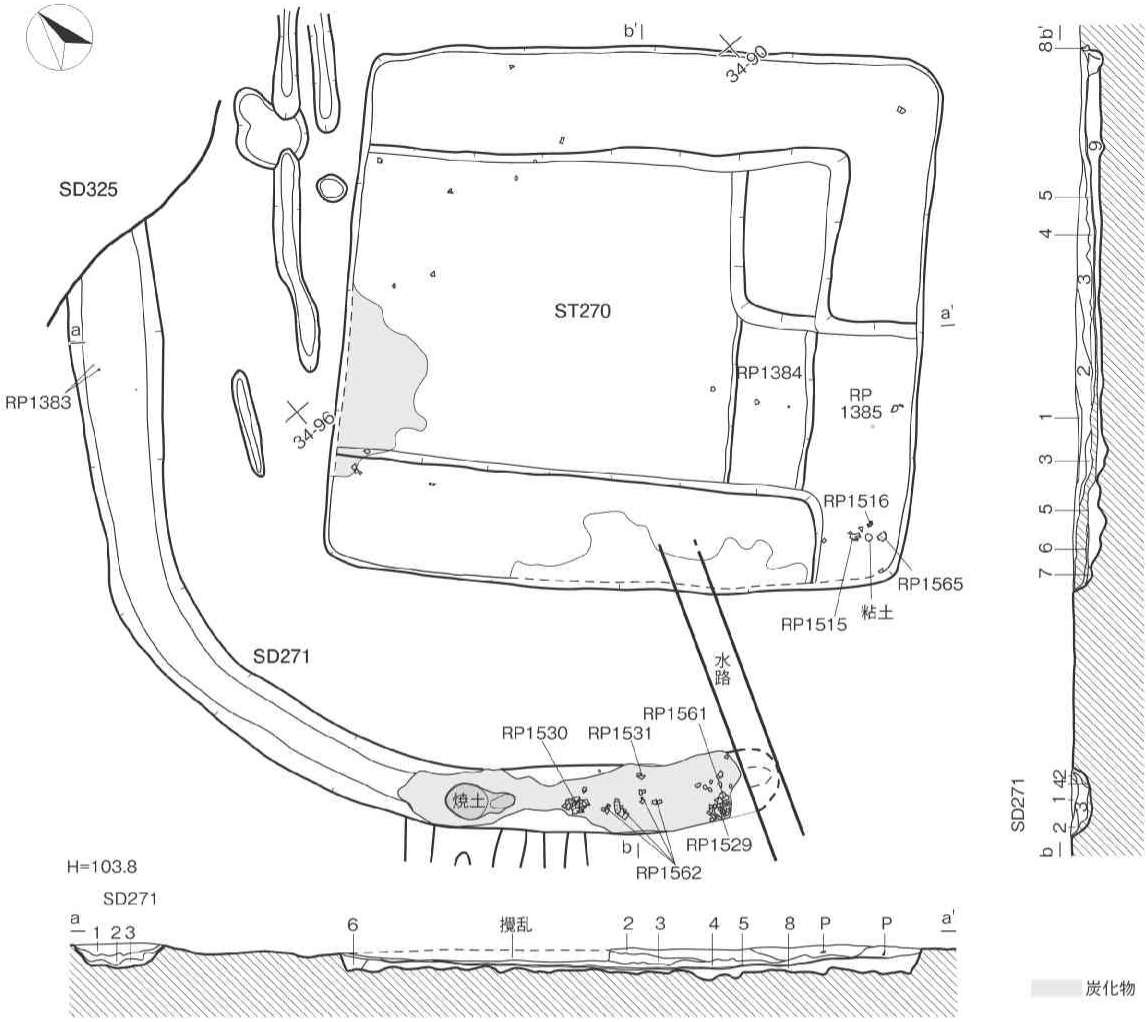
0 2m
1:80

第 33 図　ST270 竪穴住居 1





第 34 図　ST270 竪穴住居 2



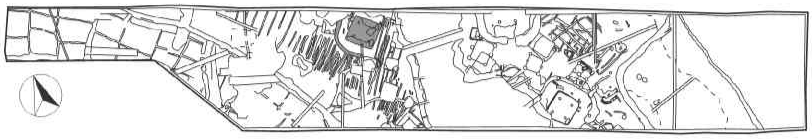
ST270

1	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	2.5Y5/2暗灰黄色シルトを斑状に混在する
2	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	2.5Y5/1黄灰色砂質シルトをブロック(φ1～5cm)で多く含む　炭(φ0.1cm)をわずかに含む
3	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	2.5Y5/1黄灰色砂質シルトを斑状にわずかに含む　炭(φ0.1cm)をわずかに含む2層より多く含む
4	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	2.5Y5/1黄灰色砂質シルトをブロック(φ3～4cm)で含む
5	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	2.5Y6/2灰黄色粘質シルトを斑状に含む　炭を斑状に含む(炭層)
6	焼土層	5層を混在する
7	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	2.5Y5/1黄灰色シルトをブロック(φ1～3cm)で含む(周溝覆土)
8	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	2.5Y5/1黄灰色シルトを粒(φ0.2cm)でわずかに含む(壁材痕)
9	2.5Y3/1黒褐色粘質シルト	2.5Y4/1黄灰色粘質シルトをブロック(φ8～10cm)で含む(貼床層)

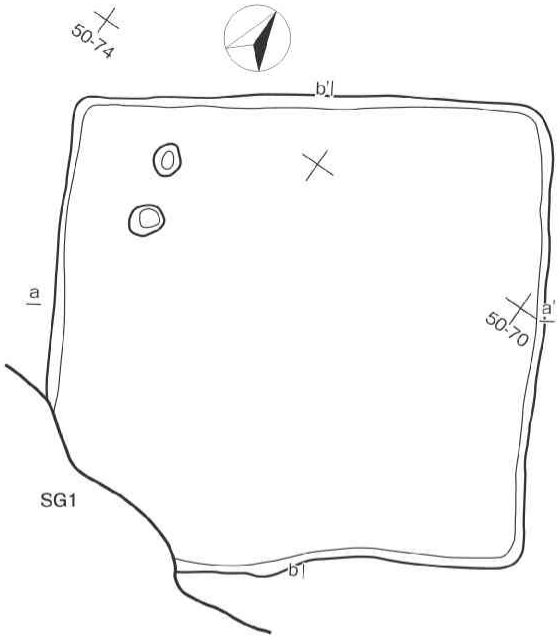
SD271

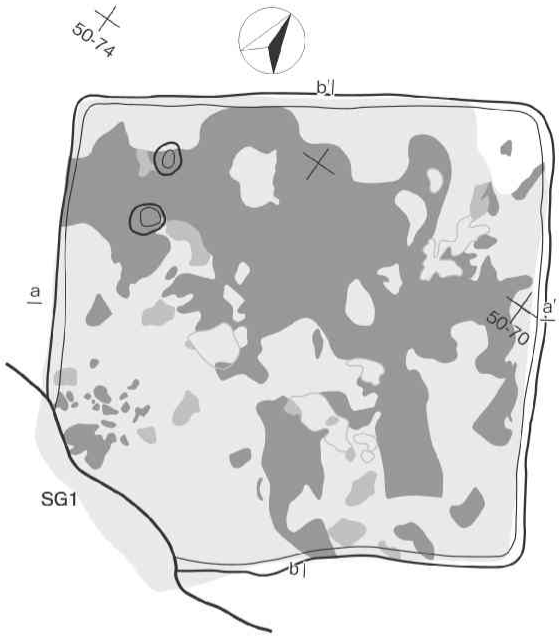
1	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	2.5Y5/1黄灰色粘質シルトをブロックで含む
2	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	2.5Y5/2暗灰黄色粘質シルトをブロックで含む　炭粒(φ0.1～0.2cm)を含む
3	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	2.5Y5/2暗灰黄色粘質シルトを斑状に混在する　炭粒(φ0.1～0.2cm)を含む
4	2.5Y4/1黄灰色シルト	10YR5/2灰黄褐色シルト　炭を斑状に含む(炭層)

0　2m
1:80



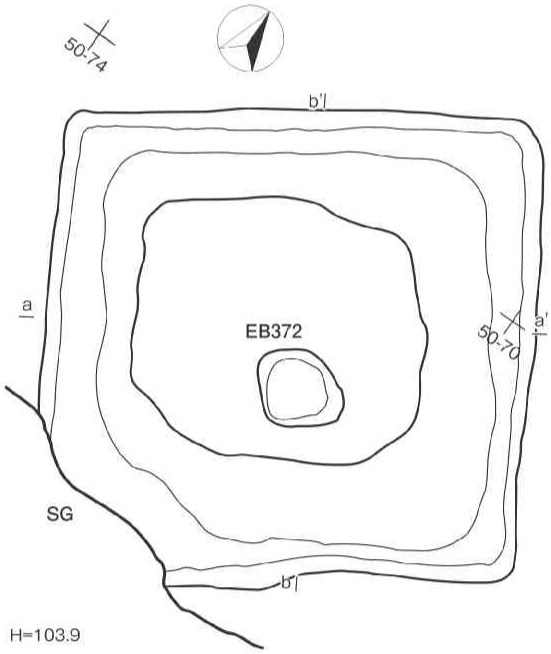
第 35 図　ST270 竪穴住居 3

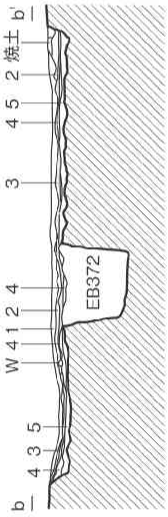




炭化物

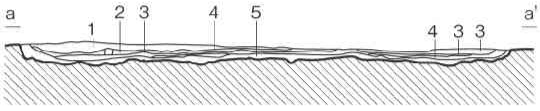
ワラ状炭化物

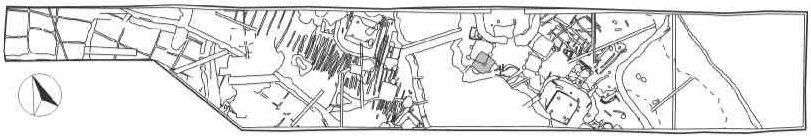


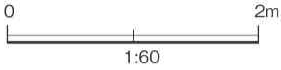


ST275　a-a' b-b'

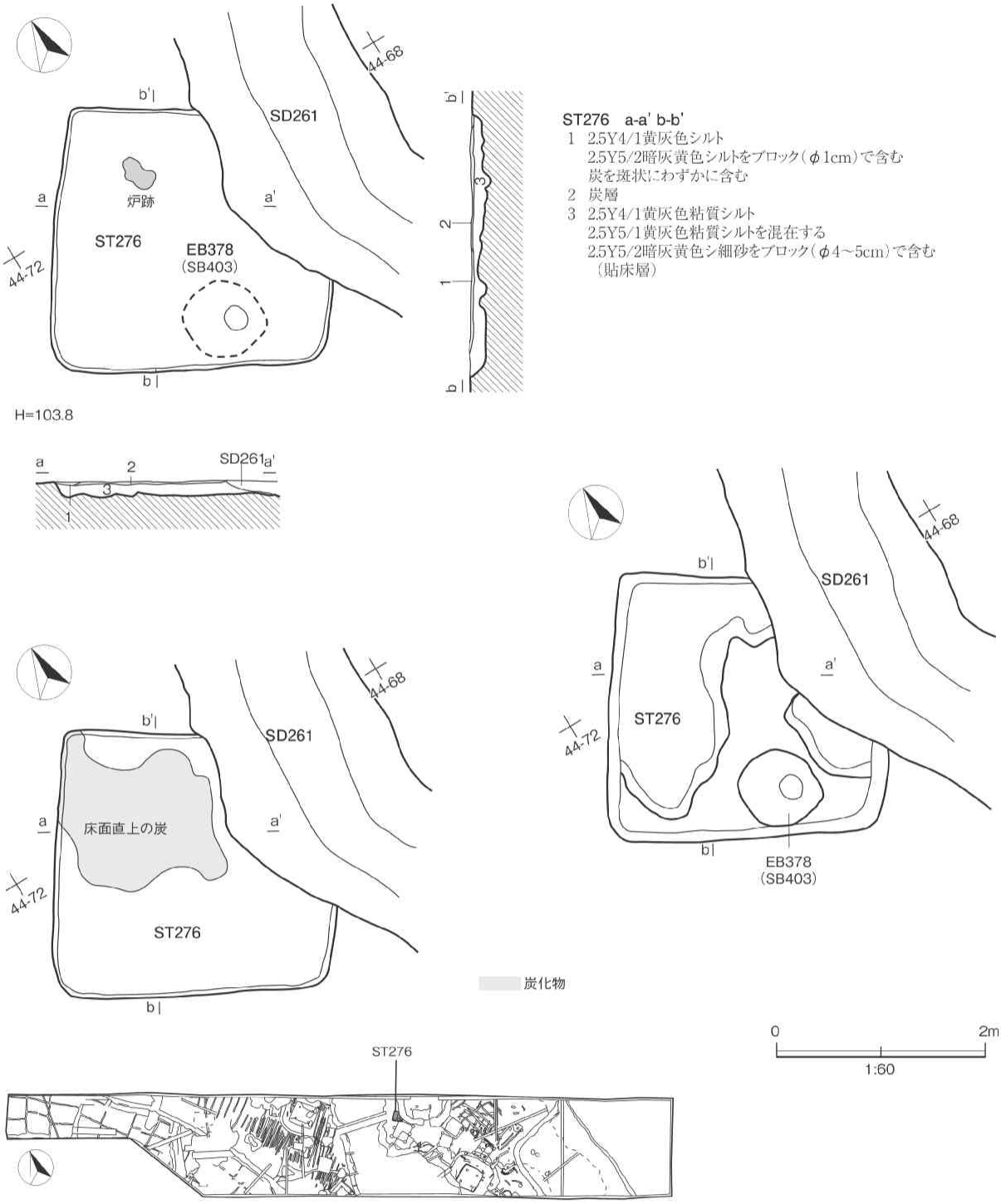
1	2.5Y4/1黄灰色シルト	2.5Y4/1暗灰黄色微砂を斑状に含む 炭（φ0.1～0.2cm）をわずかに含む
2	2.5Y4/1黄灰色シルト	2.5Y5/1黄灰色シルトを粒で均一に含む ワラ状炭化物を多く含む
3	炭層	
4	2.5Y4/1黄灰色シルト	2.5Y5/1黄灰色シルトを斑状に含む 炭層を相互に含む （床面硬化面の層）
5	7.5Y3/1オリーブ黒シルト	7.5Y4/1灰色シルトをブロック（φ1～0.2cm）で多く含む（貼床層）



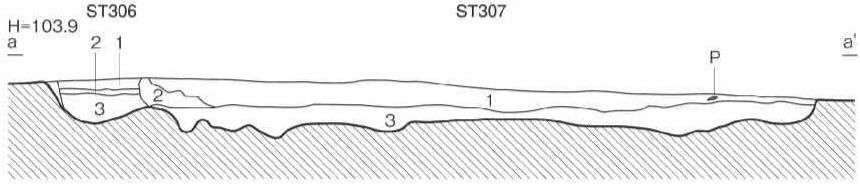


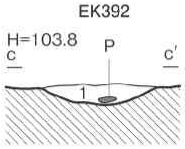


第 36 図　ST275 竪穴住居



第 37 図　ST276 竪穴住居





ST306

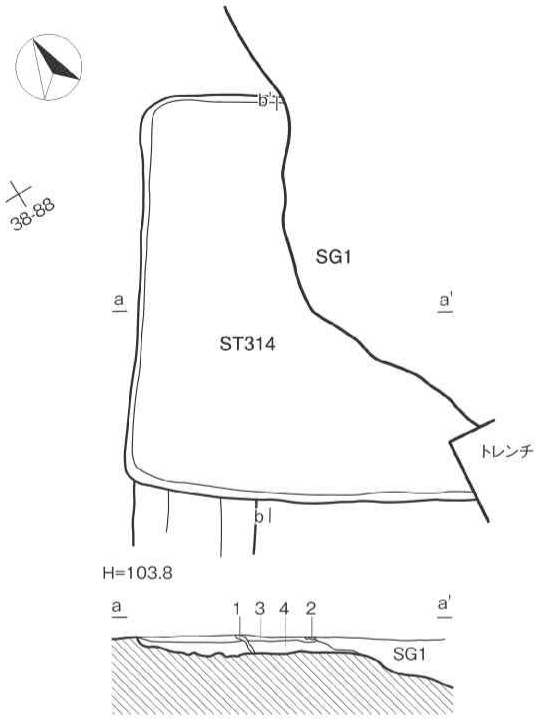
1　10YR3/1黒褐色シルト　　にぶい黄褐色微砂及び炭化物を小斑状に多く含む。
2　10YR3/1黒褐色粘質シルト 1層より均質で、粘質あり。
3　10YR4/1褐灰色シルト　　貼床。灰黄褐色粘土及び黄褐色微砂を縞状に含む。

ST307

1　10YR4/1褐灰色シルト　　炭化粒を多く含む。遺物を破片で多く含む。
2　10YR4/1褐灰色シルト　　にぶい黄褐色粘土をブロック状に多く含む。
3　10YR5/2灰黄褐色粘土　　貼床。褐灰色シルトを斑状に多く含む。最上層で黒色炭化物による床面となる。

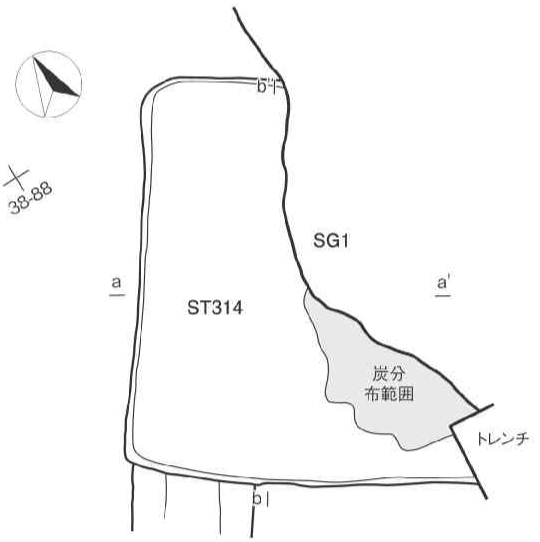
0　2m
1:40

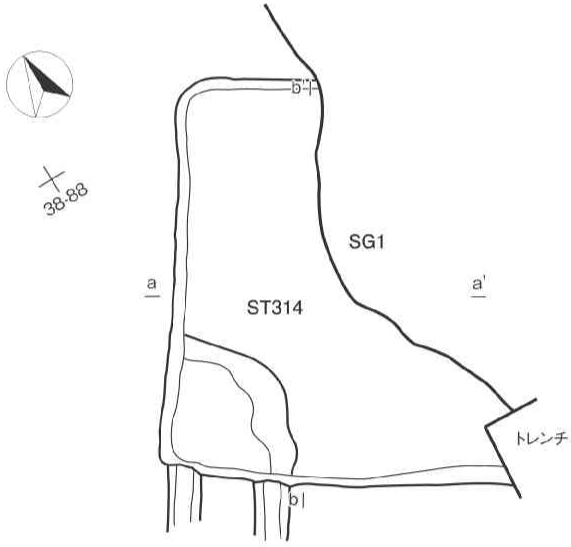
第 38 図　ST306・307 竪穴住居



ST314

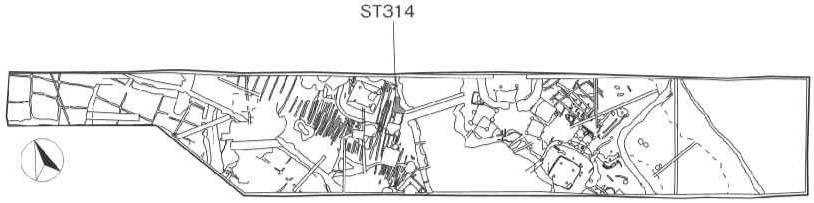
1 2.5Y5/2暗灰黄色細砂（噴砂）
2 2.5Y4/1黄灰色シルト　炭を斑状に含む（炭層）
3 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色粘質シルトと2.5Y5/2暗灰黄色細砂を
それぞれブロック（φ1～4cm）で含む
炭粒（φ0.5cm）を含む
4 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/2暗灰黄色粘質微砂をブロック（φ3～8cm）で含む
（貼床層）



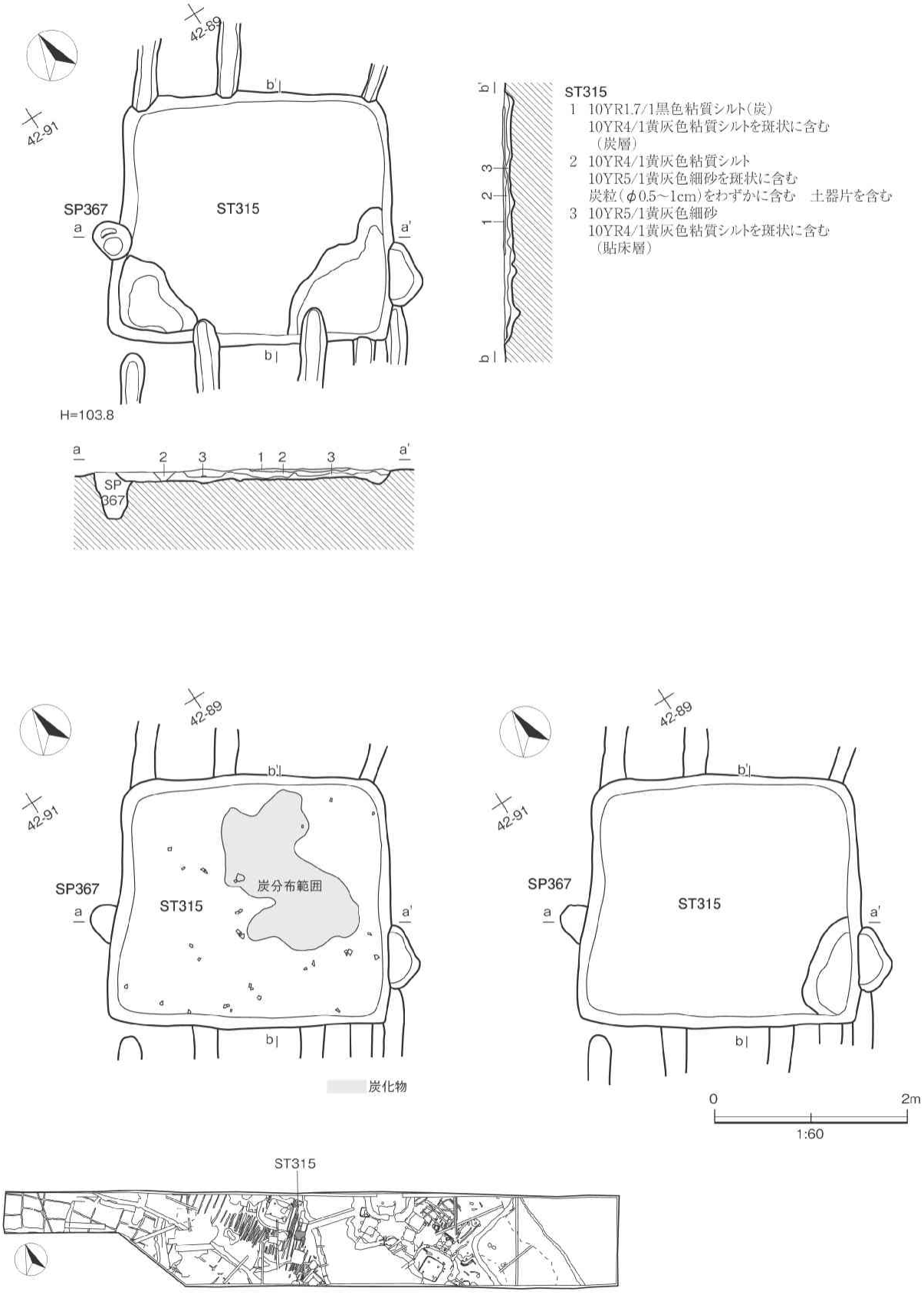


炭化物

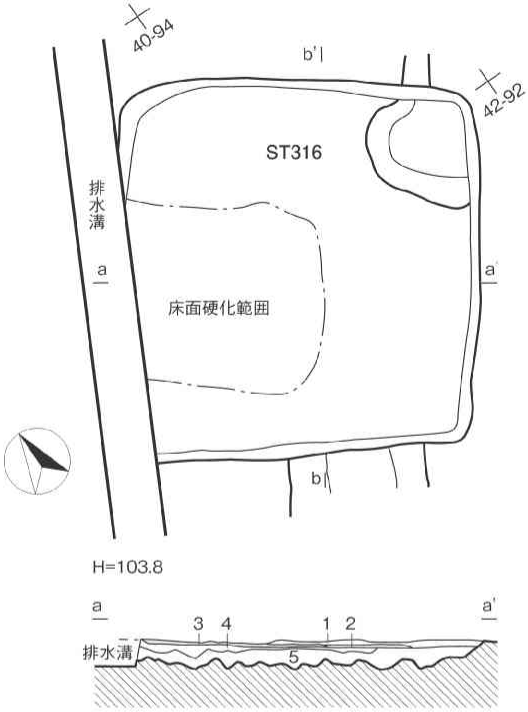
0　2m
1:60

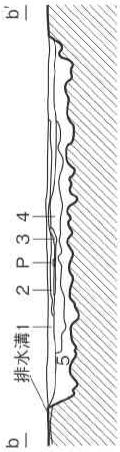


第 39 図　ST314 竪穴住居

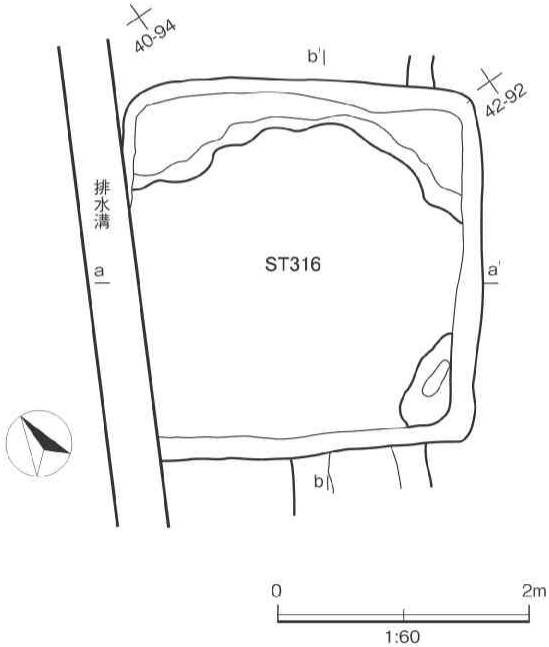


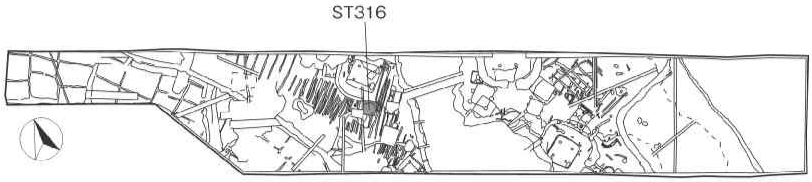
第 40 図　ST315 竪穴住居



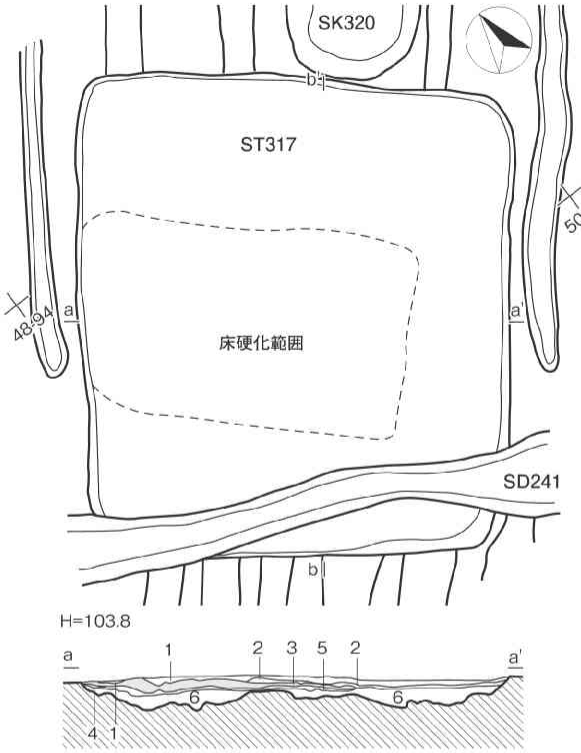


ST316
1 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色粘質シルトを斑状に含む混在する
炭粒（φ0.5～1cm）を含む
2 2.5Y5/1黄灰色微砂
2.5Y4/1黄灰色シルトを混在する
3 10YR1.7/1黒色粘質シルト（炭）
2.5Y4/1黄灰色シルトを斑状に混在する
（炭層）
4 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/2暗灰黄色微砂をわずかに混在する
炭粒（φ0.2～0.3cm）で多く含む（硬化している範囲）
5 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/2暗灰黄色シルトをブロック（φ5～10cm）で多く含む
（貼床面）

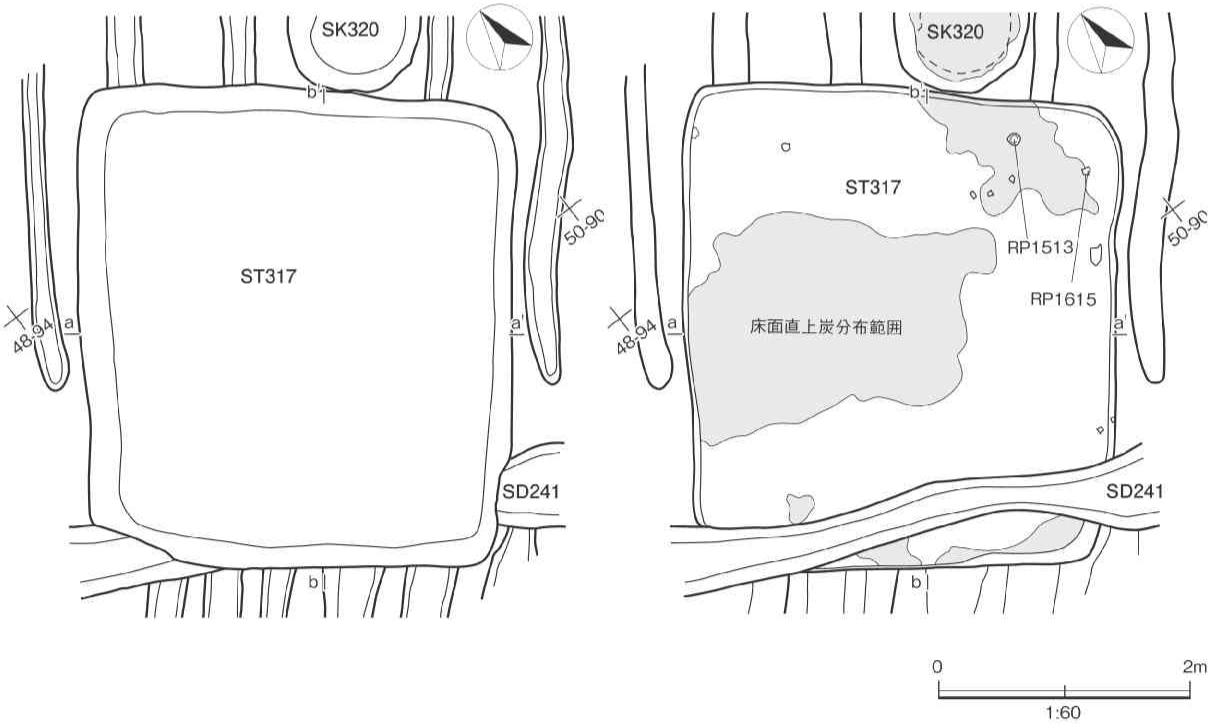




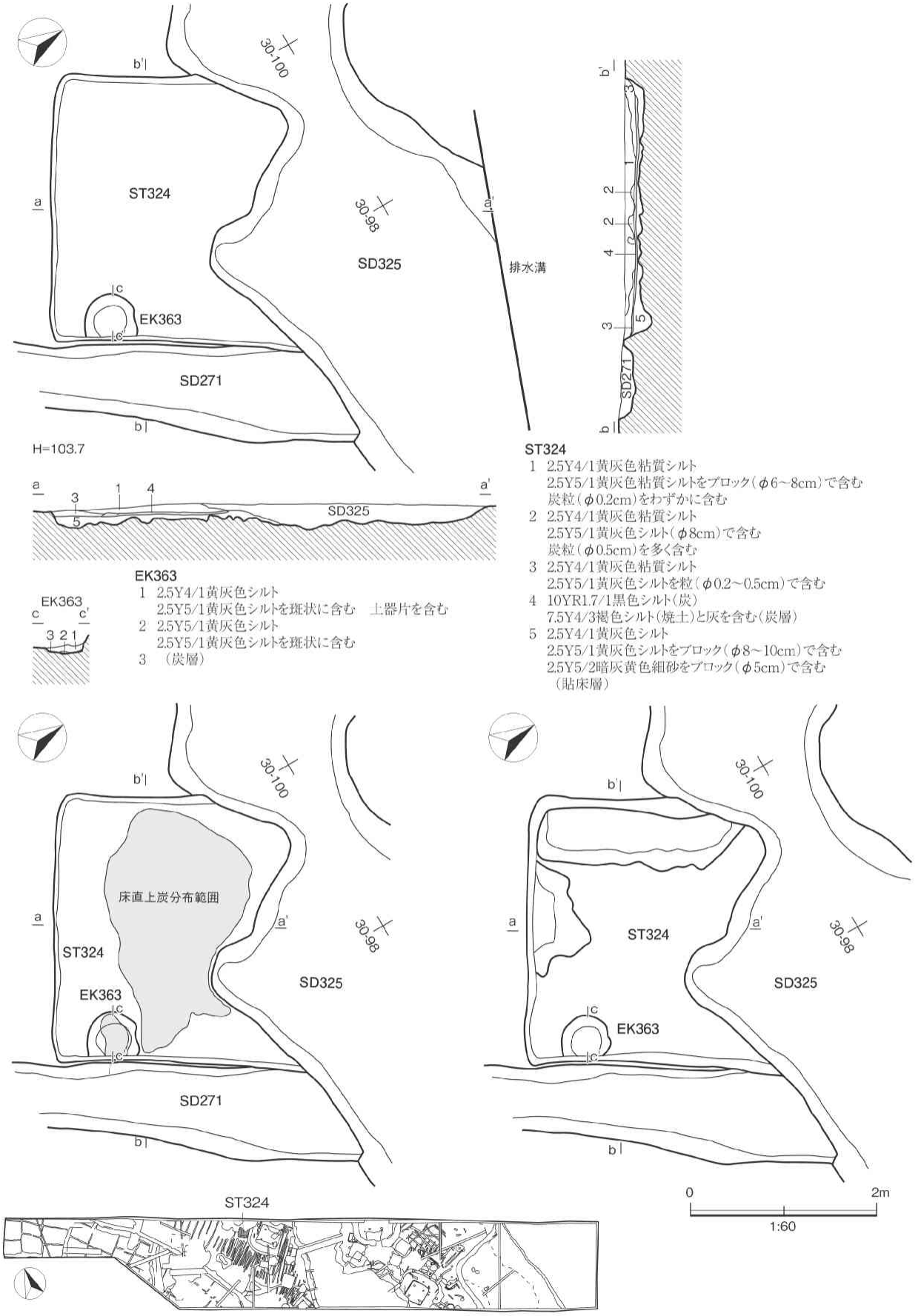
第 41 図　ST316 竪穴住居



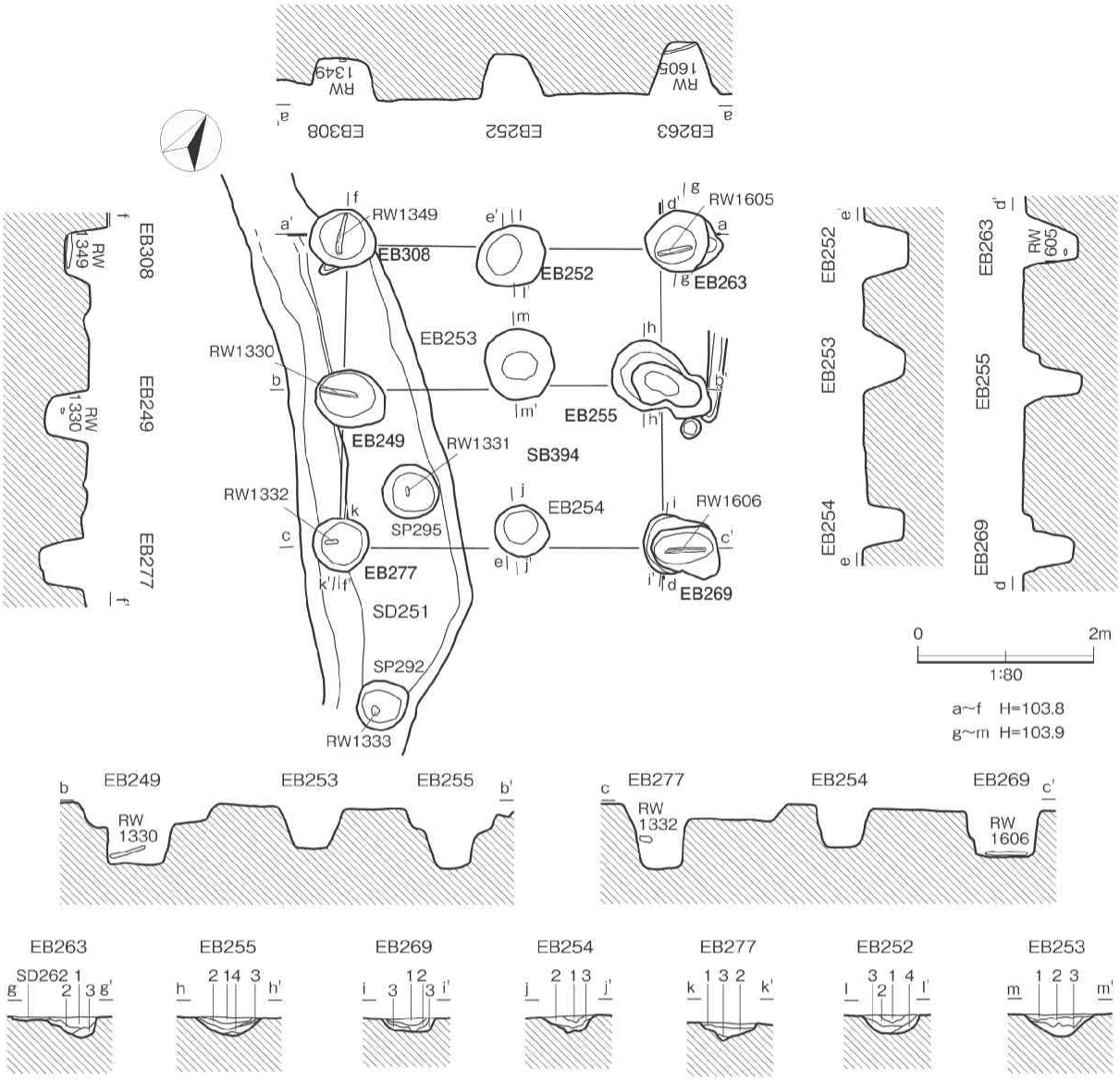
ST317
1 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/2暗灰黄色細砂を斑状に含む
炭粒（φ0.2～0.5cm）をわずかに含む
2 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/2暗灰黄色細砂を混在する
炭粒（φ0.1cm）をわずかに含む
3 10YR1.7/1黒色粘質シルト（炭）
2.5Y4/1黄灰色粘質シルトを斑状に含む
（炭層）
4 10YR4/1黄灰色シルト
10YR5/1黄灰色微砂を斑状に含む
炭粒（φ0.1cm）をわずかに含む
5 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/2暗灰黄色微砂を混在する
10YR1.7/1黒色粘質シルト（炭）を斑状に含む
（床面に方形に廻る硬化面）
6 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/2暗灰黄色シルトをブロック（φ5～10cm）で多く含む
（貼床面）



第42図　ST317 竪穴住居



第 43 図　ST324 竪穴住居



SB394

EB263g-g'

1 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y3/1黒褐色粘質シルトをブロック（径1.5～2cm）と2.5Y6/2灰黄色粘質シルトを粒（径0.2～0.5cm）とブロック（径0.1cm）で多く含む。
2 1層に較べ炭をブロック（径0.5～1cm）を斑状に含む。
3 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y3/1黒褐色粘質シルトを斑状に含む。炭粒（径0.1～0.2cm）をわずかに含む。

EB269i-i'

1 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y3/1黒褐色粘質シルトが混在する。2.5Y6/2灰黄褐色シルトを粒（径0.2～0.5cm）とブロック（径0.2～1cm）で多く含む。炭粒（径0.1cm）をわずかに含む。
2 1層に炭を斑状に多く含む。
3 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y3/1黒褐色粘質シルトを斑状に含む。炭粒（径0.1～0.2cm）をわずかに含む。

EB254j-j'

1 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y3/1黒褐色粘質シルトが混在する。炭粒（径0.1cm）をわずかに含む。
2 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y5/2暗灰黄色微砂を斑状に含む。炭粒（径0.1cm）をわずかに含む。
3 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y3/1黒褐色粘質シルトが混在する。炭粒（径0.6cm）をわずかに含む。

EB277k-k'

1 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y6/1黄灰色シルトを粒状でわずかに含む。
2 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y6/1黄灰色シルトを斑状に多く含み、炭粒（径0.2～0.5cm）をわずかに含む。
3 2.5Y4/1黄灰色シルト 炭粒をわずかに含む。

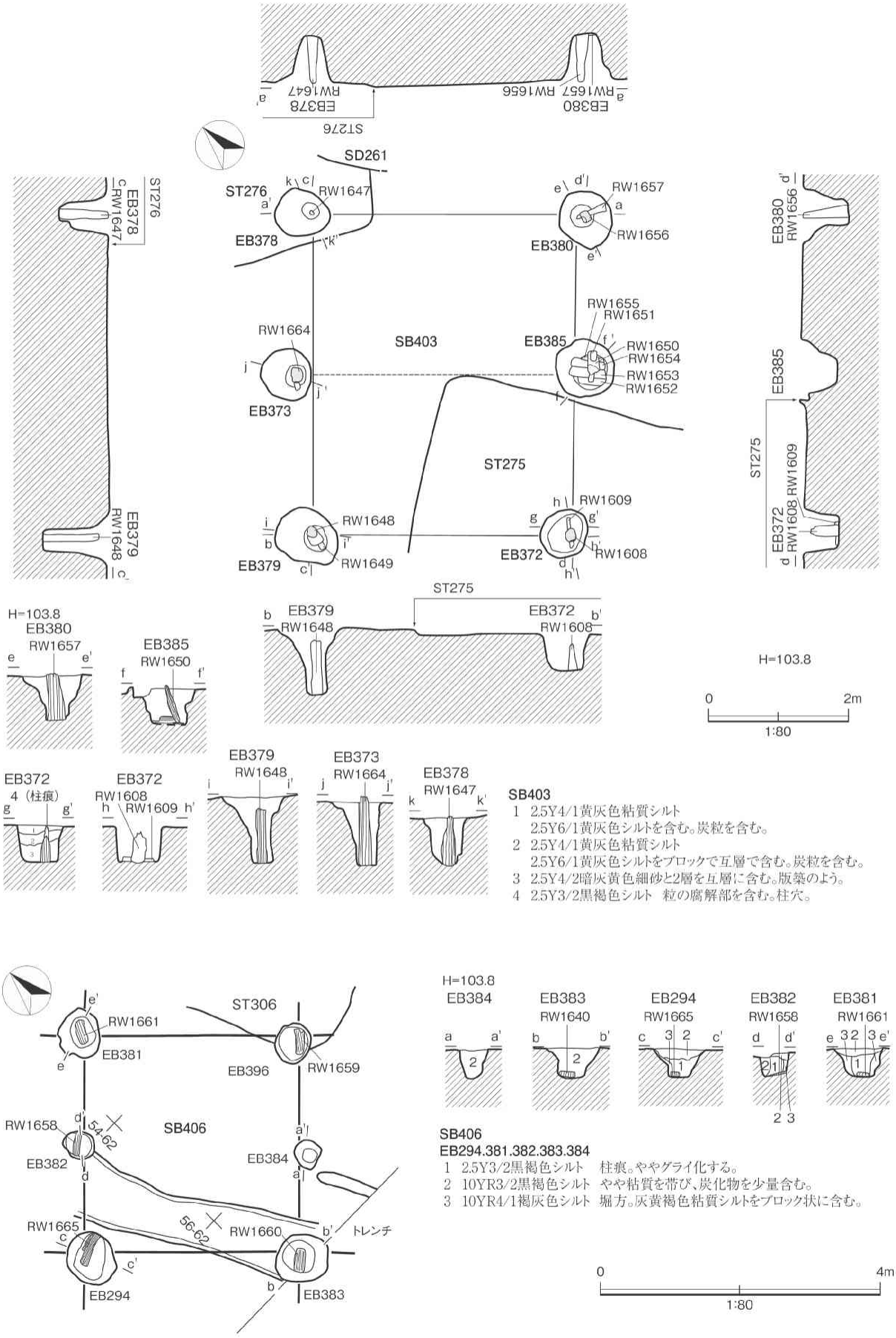
EB252l-l'

1 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y6/2灰黄色粘質シルトを粒（径0.2～0.3cm）で含む。炭粒（径0.1cm）をわずかに含む。
2 1層に較べ2.5Y6/2灰黄色粘質シルトをブロック（径2～4cm）で多く含む。
3 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y6/2灰黄色粘質シルトを粒（径0.2～0.3cm）で含む。炭粒（径0.1cm）をわずかに含む。
4 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y6/2灰黄色粘質シルトを粒（径0.2cm）でわずかに含む。
2.5Y5/1黄灰色微砂をブロック（径3cm）で含む。
炭粒（径0.1cm）をわずかに含む。

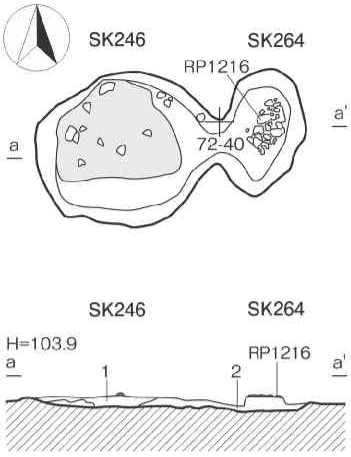
EB253m-m'

1 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y3/1黒褐色粘質シルトをブロック（径1.5～2cm）と2.5Y6/2灰黄色粘質シルトを粒（径0.2～0.5cm）とブロック（径0.1cm）で多く含む。
2 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y3/1黒褐色粘質シルトをブロック（径0.1cm）で含む。
2.5Y5/2暗灰黄色細砂を斑状に多く含む。炭粒（径0.1cm）をわずかに含む。
3 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト 2.5Y3/1黒褐色粘質シルトを斑状に含む。炭粒（径0.1～0.2cm）をわずかに含む。

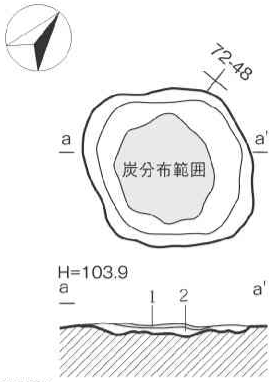
第 44 図　SB394 掘立柱建物



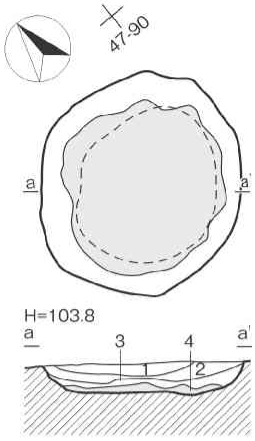
第45図 SB403・406 掘立柱建物



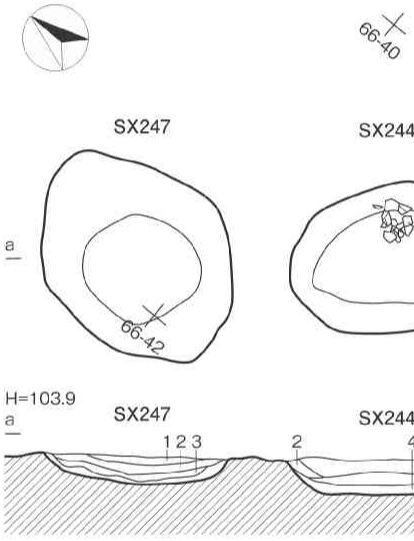
SK246
1 2.5Y3/1黒褐色粘質シルト
2.5Y4/1黄灰色粘質シルトを斑状に含む。
炭(径0.2～0.5cm)を均一に含む。
2 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y3/1黒褐色粘質シルトを斑状に含む。



SK233
1 2.5Y3/1黒褐色粘質シルト
炭(φ0.1cm)を含む(炭層)
2 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色粘質シルトを
粒(φ0.2cm)でわずかに含む
炭(φ0.1cm)をわずかに含む

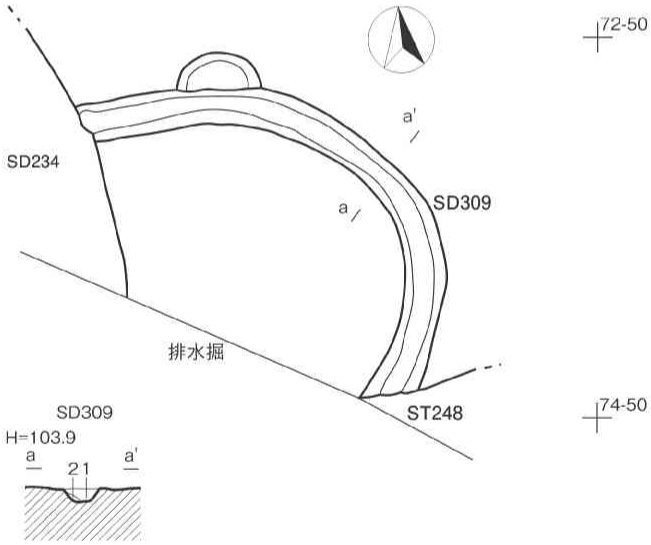


SK320
1 2.5Y3/1黒褐色シルト　2.5Y4/2暗灰黄色微砂を混在する
10YR1.7/1黒色粘質シルト(炭)を斑状にわずかに含む
2 2.5Y3/1黒褐色シルト　2.5Y4/1黄灰色粘質シルトを
斑状に混在する
3 2.5Y3/1黒褐色シルト　2.5Y4/1黄灰色粘質シルトを
粒(φ0.1cm)で混在する
10YR1.7/1黒色粘質シルト(炭)を斑状に含む
焼土粒(φ0.2cm)を含む
4 10YR1.7/1黒色粘質シルト(炭)
7.5Y4/3褐色シルトをブロック(φ0.1cm)で含む
(炭と焼土のブロック層)



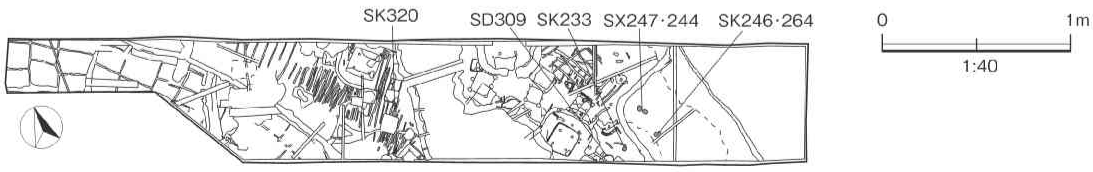
SX247
1 2.5Y5/1黄灰色粘土
2.5Y4/1黄灰色粘質シルトを斑状に含む。
2 2.5Y4/1黄灰白粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色粘土(径0.2cm)を粒で上層に含む。
炭を下層に横筋状に含む。
3 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
炭(径0.1cm)をわずかに含む。

SX244
1 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色粘土を粒(径0.1cm)でわずかに含む。
2 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色粘質シルトが混在する。
3 2層に炭が斑状にわずかに混在する。
4 2.5Y3/1黒褐色粘質シルト
2.5Y4/1黄灰色粘質シルトがわずかに混在する。

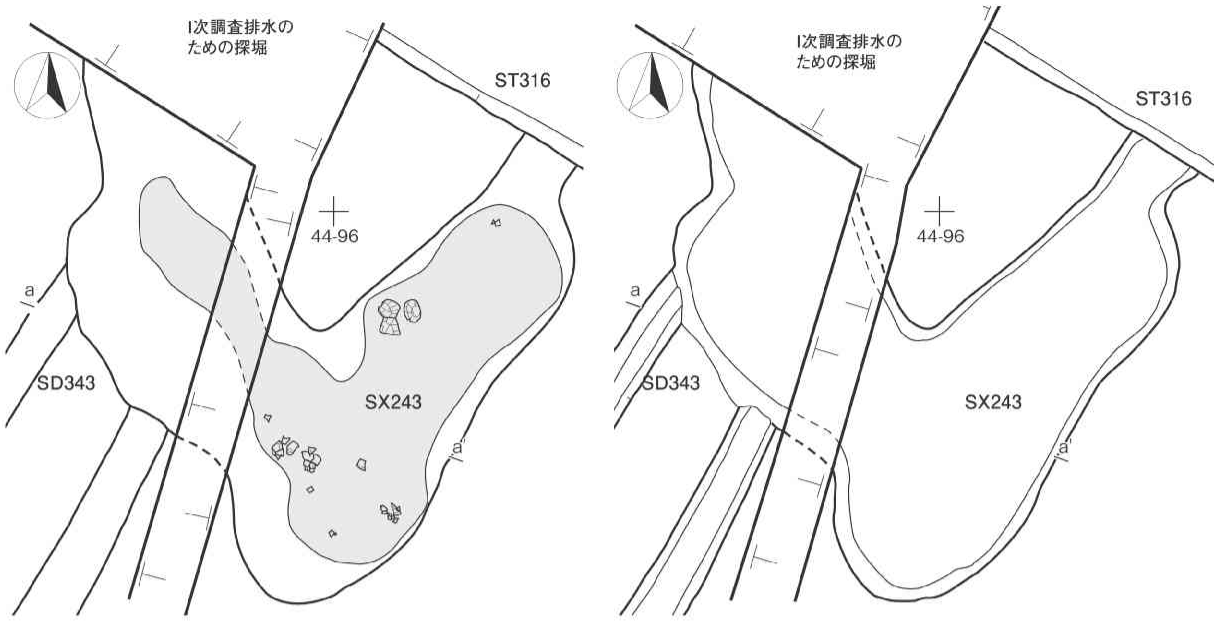


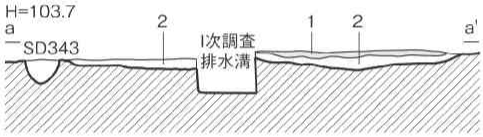
SD309
1 2.5YR4/1黄灰色シルト　2.5YR6/1黄灰色粘質シルト粒と
炭をわずかに含む
2 2.5YR4/1黄灰色粘質シルト　1層を斑状に含む

炭化物



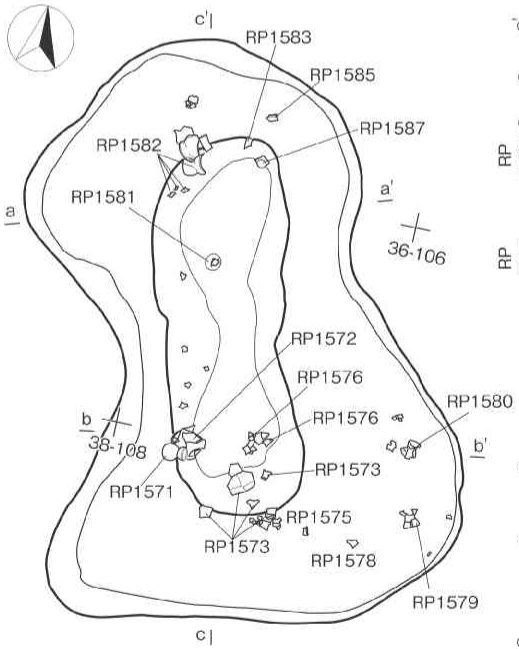
第46図　SK246・264・233・320土坑、、SX244・247、SD309溝

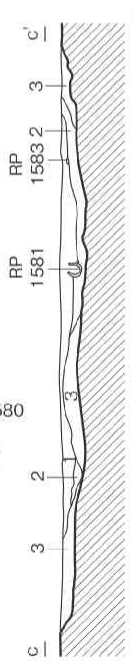


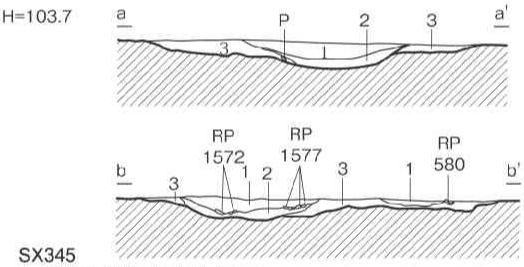


SX243
1　10YR1.7/1黒色粘質シルト(炭)
2　2.5Y4/1黄灰色シルト
　2.5Y5/1黄灰色シルトを斑状に含む
　土器片を含む

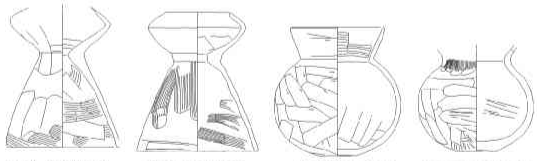
炭化物



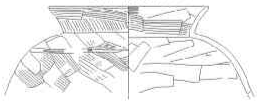




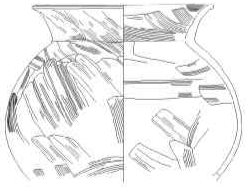
SX345
1　2.5Y5/2暗灰黄色粘土と
　2.5Y4/1暗灰黄色細砂に炭(φ0.1cm)を多く含む層が
　互層になる。土器を含む。
2　2.5Y3/1黒褐色粘質シルト　炭(φ0.1cm)を含む。
　土器を含む。炭を多く含む。
3　2.5Y4/1黄灰色粘質シルト　炭(φ0.1cm)をわずかに含む。



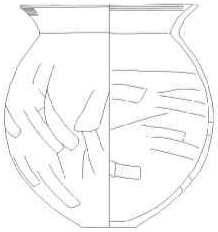
457 RP1579　458 RP1580　499 RP1571　500 RP1581



460 RP1583

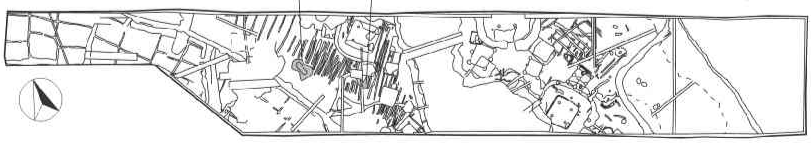


459 RP1583

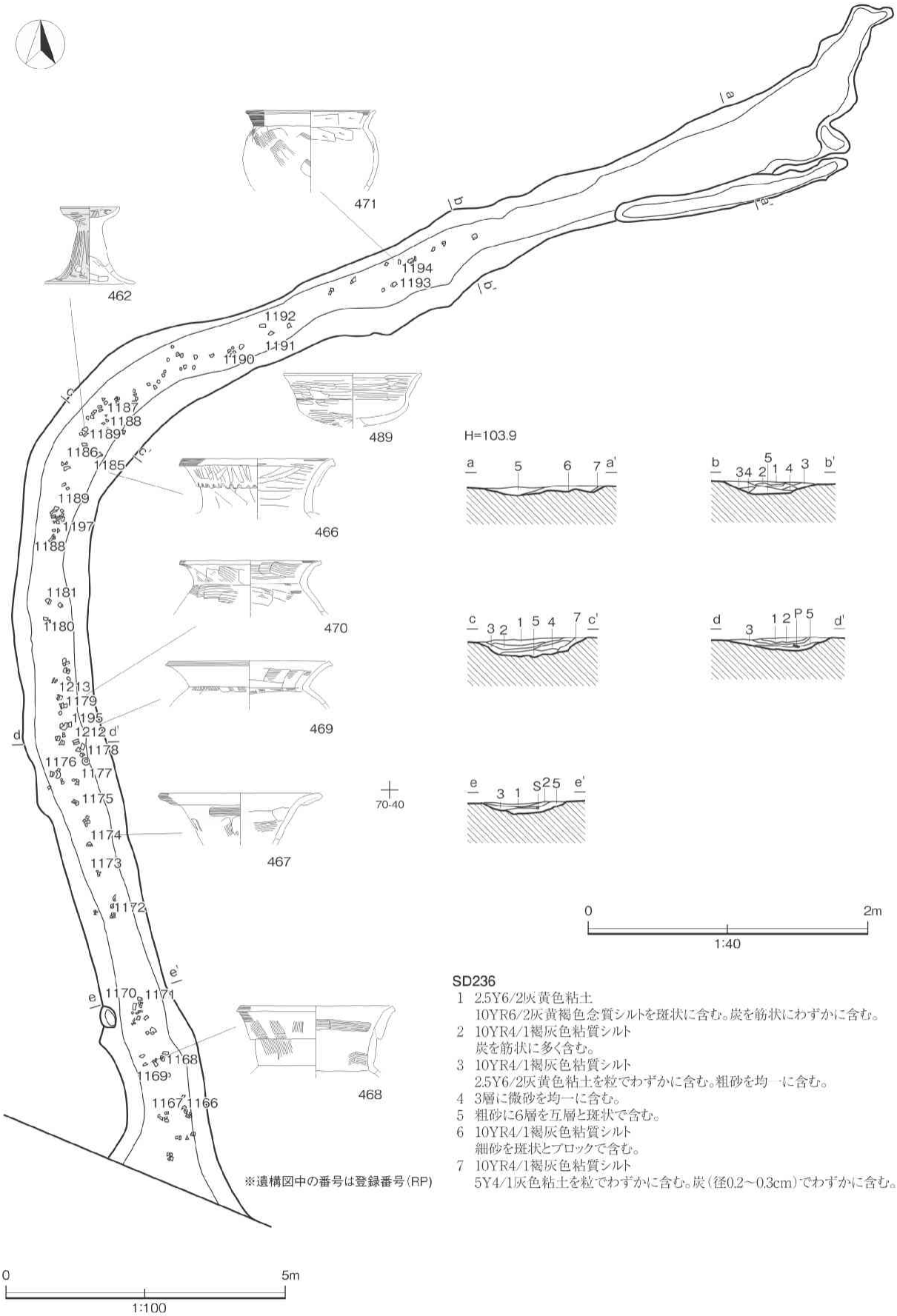


448 RP1572

0　2m
1:60



第 47 図　SX243・345 性格不明遺構

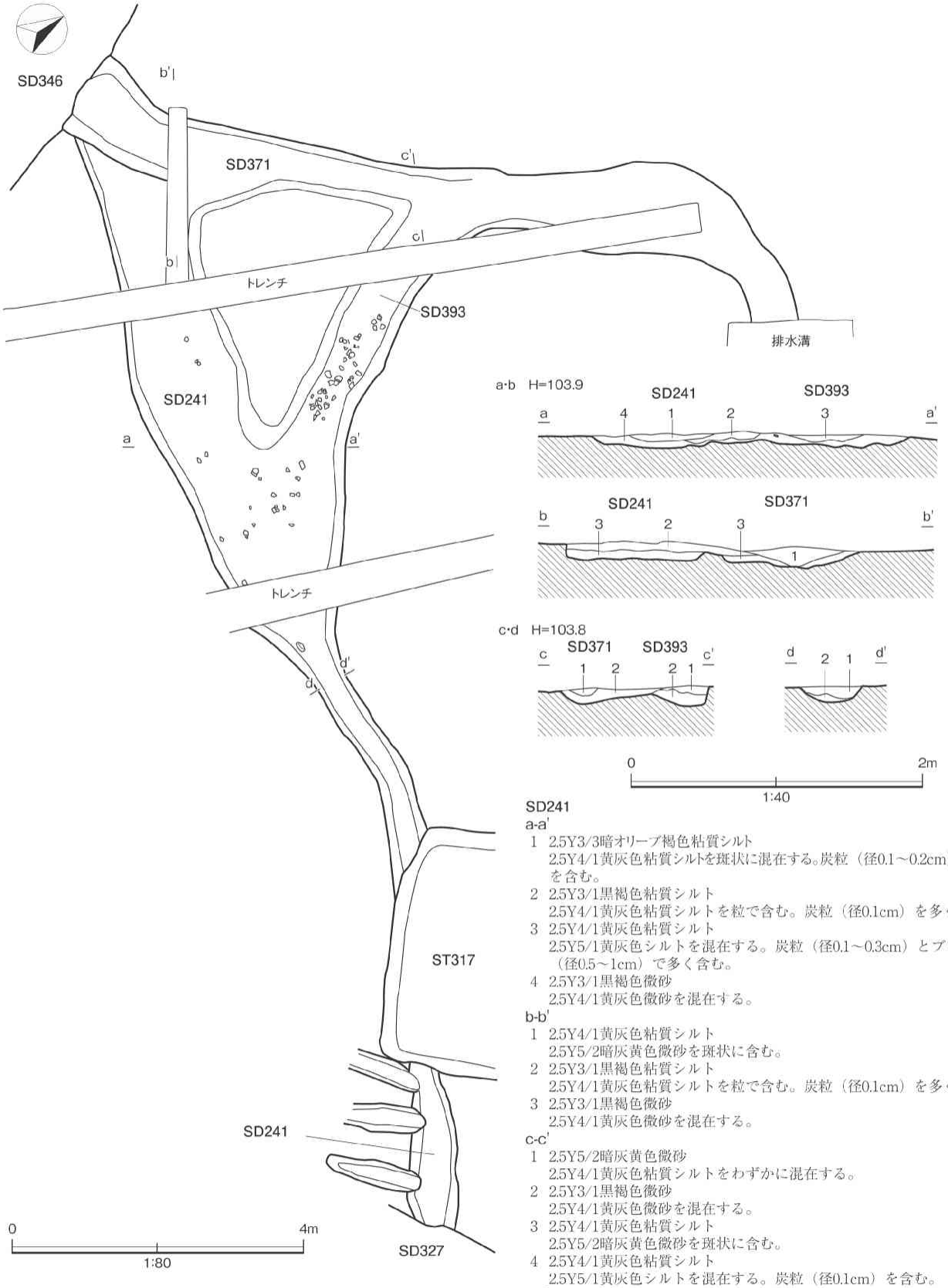


※遺構図中の番号は登録番号(RP)

SD236

1 2.5Y6/2灰黄色粘土
10YR6/2灰黄褐色念質シルトを斑状に含む。炭を筋状にわずかに含む。
2 10YR4/1褐灰色粘質シルト
炭を筋状に多く含む。
3 10YR4/1褐灰色粘質シルト
2.5Y6/2灰黄色粘土を粒でわずかに含む。粗砂を均一に含む。
4 3層に微砂を均一に含む。
5 粗砂に6層を互層と斑状で含む。
6 10YR4/1褐灰色粘質シルト
細砂を斑状とブロックで含む。
7 10YR4/1褐灰色粘質シルト
5Y4/1灰色粘土を粒でわずかに含む。炭(径0.2～0.3cm)でわずかに含む。

第48図　SD236溝



SD241

a-a'

1 2.5Y3/3暗オリーブ褐色粘質シルト
2.5Y4/1黄灰色粘質シルトを斑状に混在する。炭粒（径0.1～0.2cm）を含む。

2 2.5Y3/1黒褐色粘質シルト
2.5Y4/1黄灰色粘質シルトを粒で含む。炭粒（径0.1cm）を多く含む。

3 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトを混在する。炭粒（径0.1～0.3cm）とブロック（径0.5～1cm）で多く含む。

4 2.5Y3/1黒褐色微砂
2.5Y4/1黄灰色微砂を混在する。

b-b'

1 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/2暗灰黄色微砂を斑状に含む。

2 2.5Y3/1黒褐色粘質シルト
2.5Y4/1黄灰色粘質シルトを粒で含む。炭粒（径0.1cm）を多く含む。

3 2.5Y3/1黒褐色微砂
2.5Y4/1黄灰色微砂を混在する。

c-c'

1 2.5Y5/2暗灰黄色微砂
2.5Y4/1黄灰色粘質シルトをわずかに混在する。

2 2.5Y3/1黒褐色微砂
2.5Y4/1黄灰色微砂を混在する。

3 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/2暗灰黄色微砂を斑状に含む。

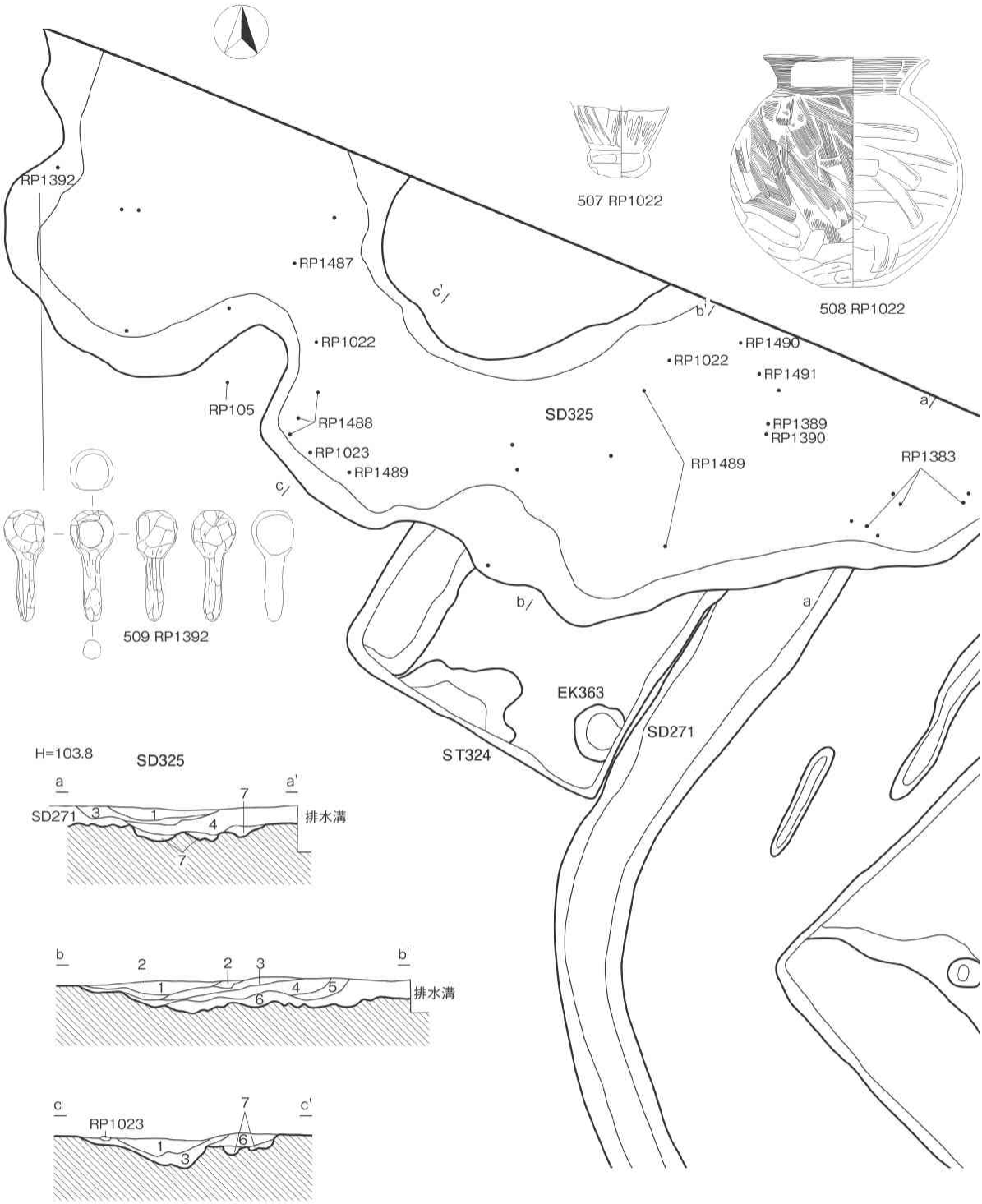
4 2.5Y4/1黄灰色粘質シルト
2.5Y5/1黄灰色シルトを混在する。炭粒（径0.1cm）を含む。

d-d'

1 2.5Y4/1黄灰色シルト
2.5Y5/1黄灰色粘質シルトを斑状に含む。炭粒（径0.2cm）を含む。

2 2.5Y4/1黄灰色微砂

第49図　SD241・371・393溝

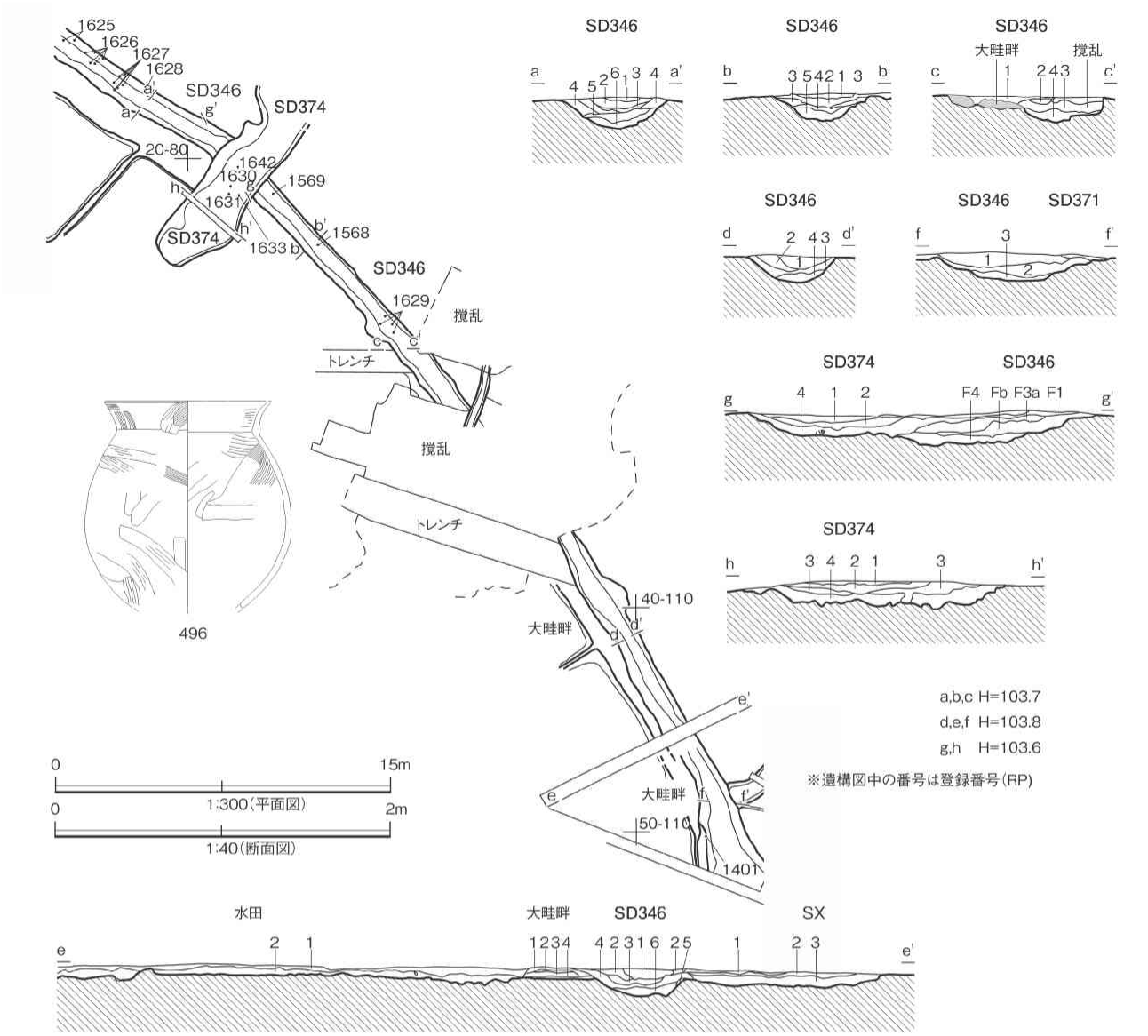


SD325

1	2.5Y6/3にぶい黄色粗砂	3層が互層に入る(粗砂層)
2	2.5Y5/1黄灰色粗砂	3層が混在する　(1層と3層の中間の土質)粘質と粗砂の中間
3	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	2.5Y5/1黄灰色シルト(地山)を斑状に含む 炭(φ0.5cm)を含む(粘性強くしまっている)
4	2.5Y3/2暗灰黄色細砂	2.5Y4/1黄灰色粘質シルトが互層にに入る　炭も筋入互層に入る(細砂層)
5	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	2.5Y5/1黄灰色シルト(地山)をブロック(φ1cm)で含む 炭(φ0.5cm)を含む(ブロックを含む層)
6	2.5Y4/1黄灰色粘質シルト	2.5Y5/1黄灰色シルト(地山)をブロック(φ3～5cm)で含む 炭(φ0.2～0.5cm)を含む(ブロックを多く含む層)
7	2.5Y5/1黄灰色シルト(地山)	2.5Y4/1黄灰色粘質シルトをブロック(φ3～5cm)を含む (6層より地山土の占める割合が多い)(6･7層はブロック層)

0　2m
1:60

第 50 図　SD325 溝



SD346 a-a'
1 撹乱
2 F1 10YR4/2灰黄褐色粘質シルト
3 F2a 10YR3/1黒褐色粘質シルト
4 F3a 5Y5/2灰オリーブ色細砂 黒褐色シルトをわずかに含む。
5 F3b 5Y5/2灰オリーブ色細砂 黒褐色シルトの割合が多くなる。
6 F4 5Y2/1黒色粘質シルト 均質で粘性強い。

SD346 b-b'
1 F2a 10YR3/1黒褐色粘質シルト
上位で黄褐色シルトをわずかに含む。
2 F2b 10YR3/1黒褐色粘質シルト F2aよりやや砂質が強い。
3 10YR3/1黒褐色シルト 均質な土質でやや粘性を帯びる。
4 F3b 5Y5/2灰オリーブ色細砂
黒褐色シルトの割合が多くなる。下位で遺物を含む。
5 F4 5Y2/1黒色粘質シルト 均質で粘性強い。

SD346 c-c'
1 撹乱
2 F3a 5Y5/2灰オリーブ色細砂 黒褐色シルトをわずかに含む。
3 F3b 5Y5/2灰オリーブ色細砂 黒褐色シルトの割合が多くなる。
4 F4 5Y2/1黒色粘質シルト 均質で粘性強い。

SD346 d-d'
1 F3a 5Y5/2灰オリーブ色細砂 黒褐色シルトをわずかに含む。
2 F3b 5Y5/2灰オリーブ色細砂 黒褐色シルトの割合が多くなる。
3 F4 5Y2/1黒色粘質シルト 均質で粘性強い。
4 5Y3/1黒色シルト 地山微砂を斑状に多く含む。

SD346 e-e' SX
1 10YR4/2灰黄褐色粘質シルト 礫及び砂礫をごくわずかに含む。
2 10YR3/1黒褐色粘質シルト 均質な土質で遺物を大量に含む。
3 10YR2/1黒色粘質シルト 均質な土質で無遺物層。棄て場形成層。

SD346
1 F2a 10YR3/1黒褐色粘質シルト 砂質がやや強く微砂を多く含む。
2 F2b 10YR3/1黒褐色粘質シルト 黒褐色粘質シルトと砂礫を多く混入する。
3 F3a 5Y5/2灰オリーブ色細砂 黒褐色シルトをわずかに含む。
4 F3b 5Y5/2灰オリーブ色細砂 黒褐色シルトの割合が多くなる。
5 10YR2/1黒色粘質シルト
均質な土質。SXの3層と同質で、SXからの流れ込み崩落土。
6 F4 5Y2/1黒褐色粘質シルト 粘質で粘性強い。

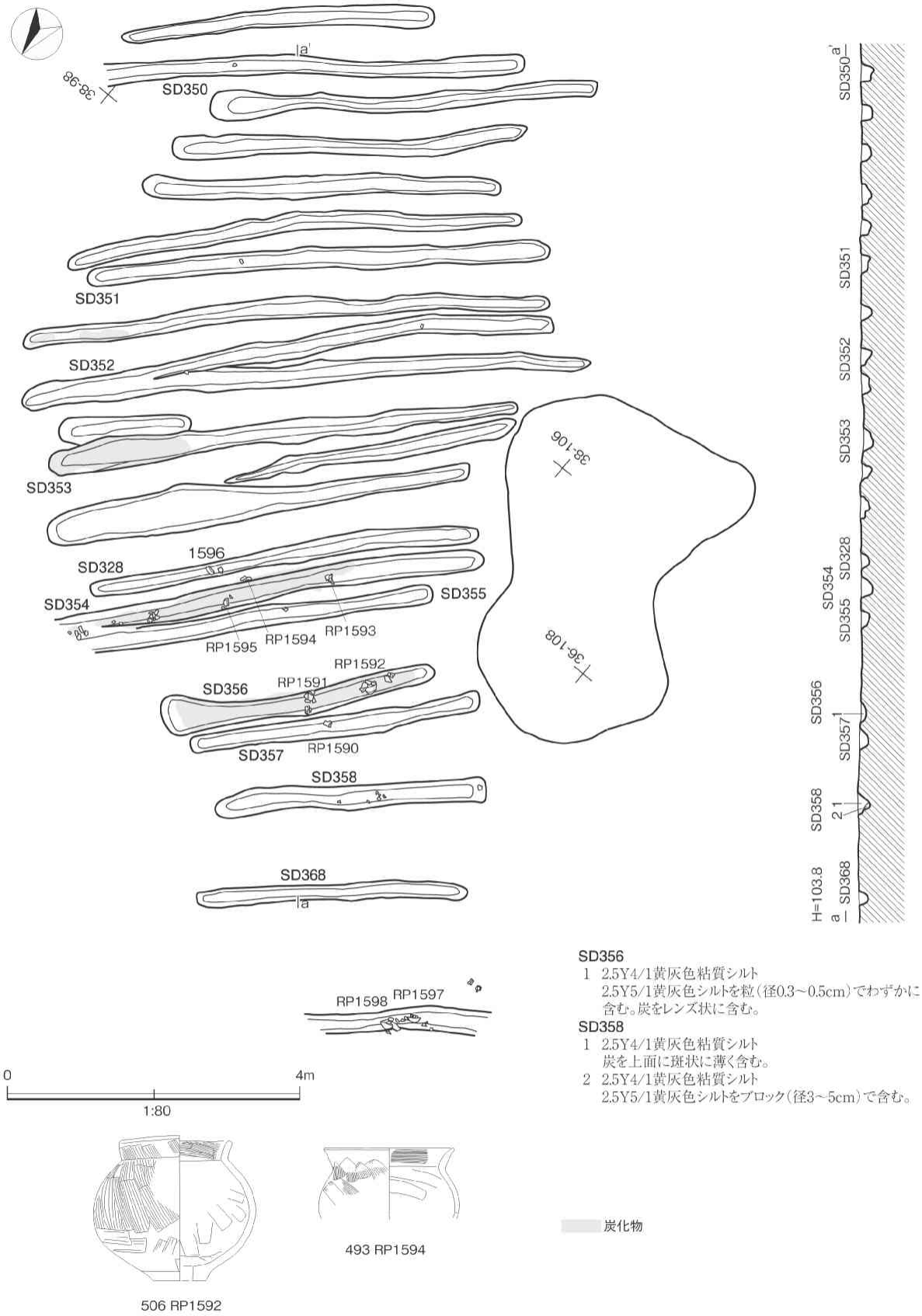
大畦畔
1 10YR4/1褐灰色粘質シルト均質な土質。水田作土と同質。
2 10YR2/1黒色粘質シルト 均質な土質。
3 10YR3/1黒褐色シルト わずかに灰黄褐色シルトをブロック状に含む。
4 10YR5/2灰黄褐色シルト 両端で黒褐色シルトを混入する。

水田
1 10YR3/1黒褐色シルト 砂礫を50%以上含む。
2 10YR4/1褐灰色粘質シルト作土。下位で地山シルトの巻き込み混入がみられる。
3 F4 5Y2/1黒色粘質シルト 均質で粘性強い。

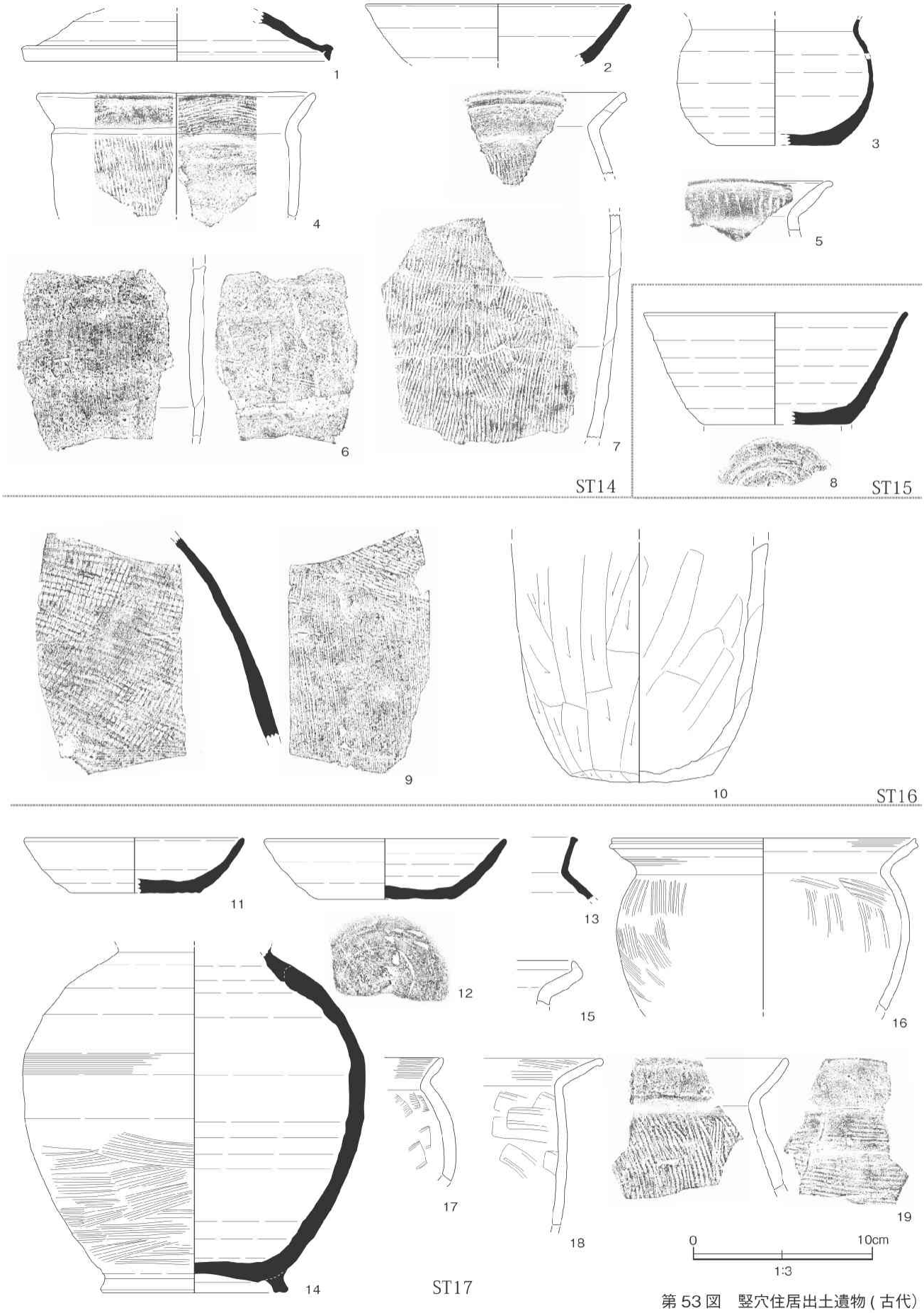
SD346 f-f'
1 F3a 5Y5/2灰オリーブ色細砂
黒褐色シルトをわずかに含み、細砂の割合がかなり多い。
2 F3b 5Y5/2灰オリーブ色細砂 黒褐色シルトの割合が多くなる。遺物を破片で含む。
3 F4 5Y2/1黒色粘質シルト 均質で粘性強い。

SD374 g-g'.h-h'
1 10YR4/2灰黄褐色粘質シルト わずかに微砂を含む。
2 5Y3/2オリーブ黒色シルト 炭化物を縞状にやや多く含む。
3 2.5Y6/3にぶい黄色細砂 オリーブ黒色シルトを同程度含む。
4 2.5Y2/1黒色粘質シルト 上位でやや細砂を含む。下位で遺物を包含する。

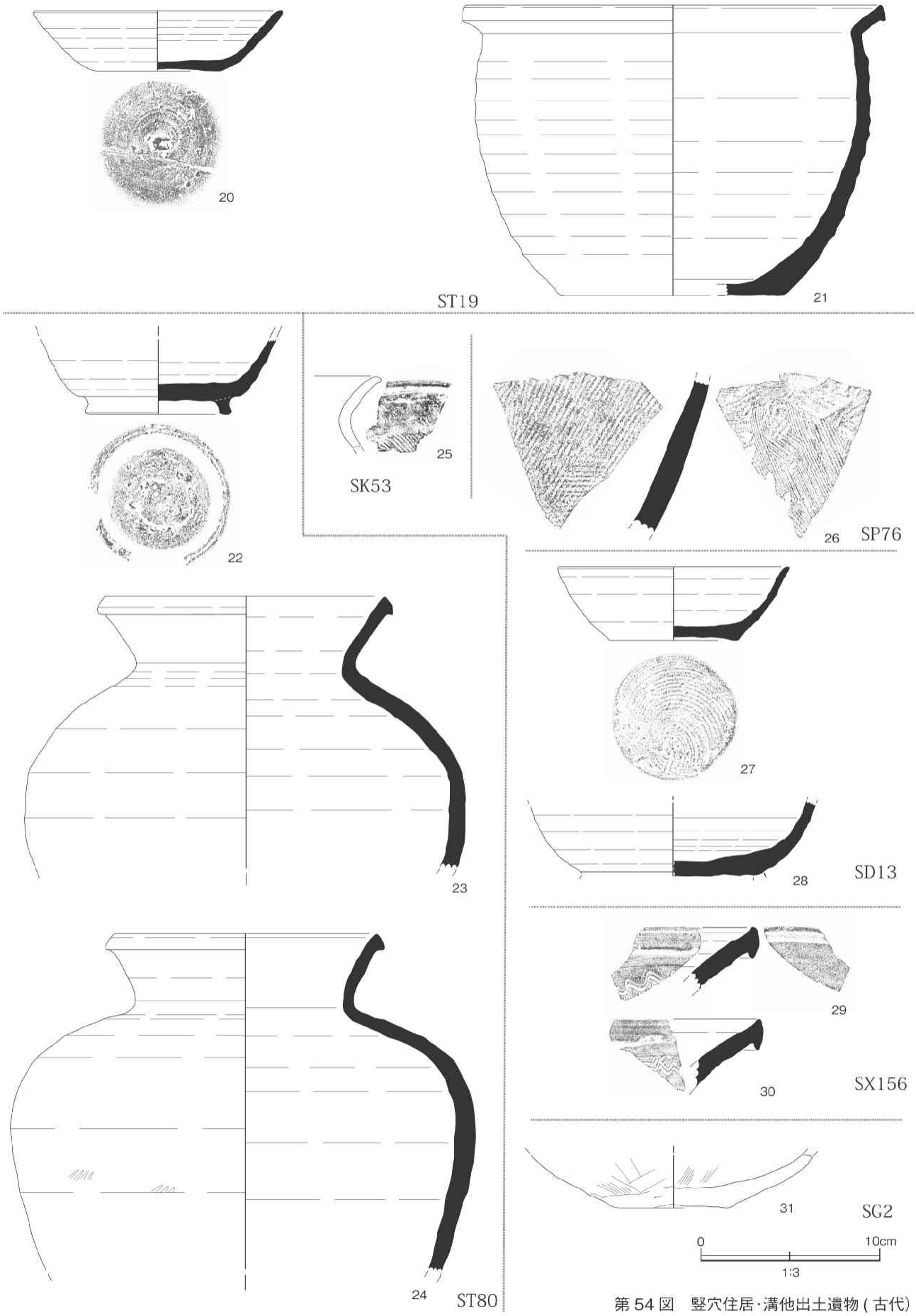
第51図 SD346・374溝



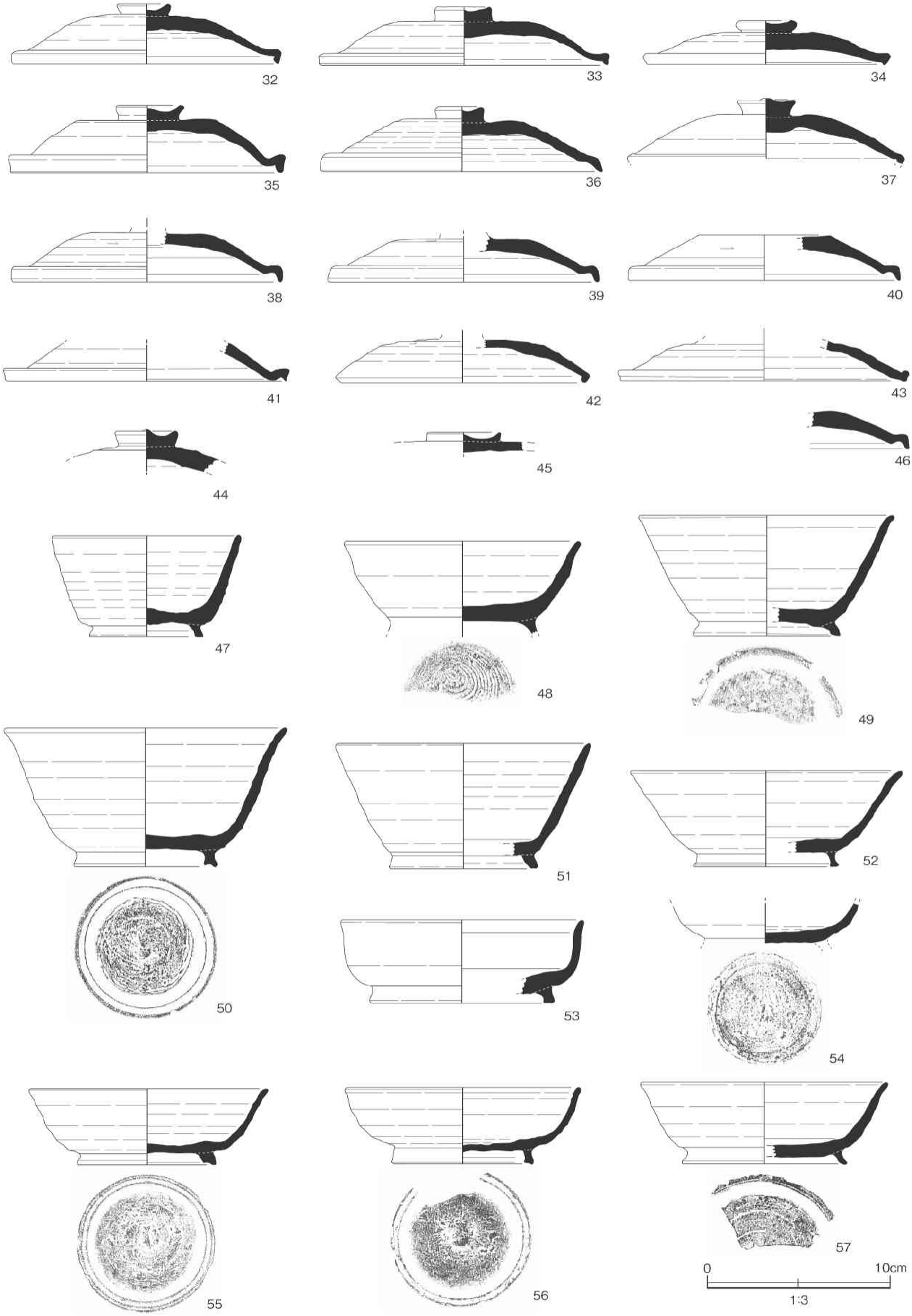
第 52 図　SD350 ～ 358 畝状遺構



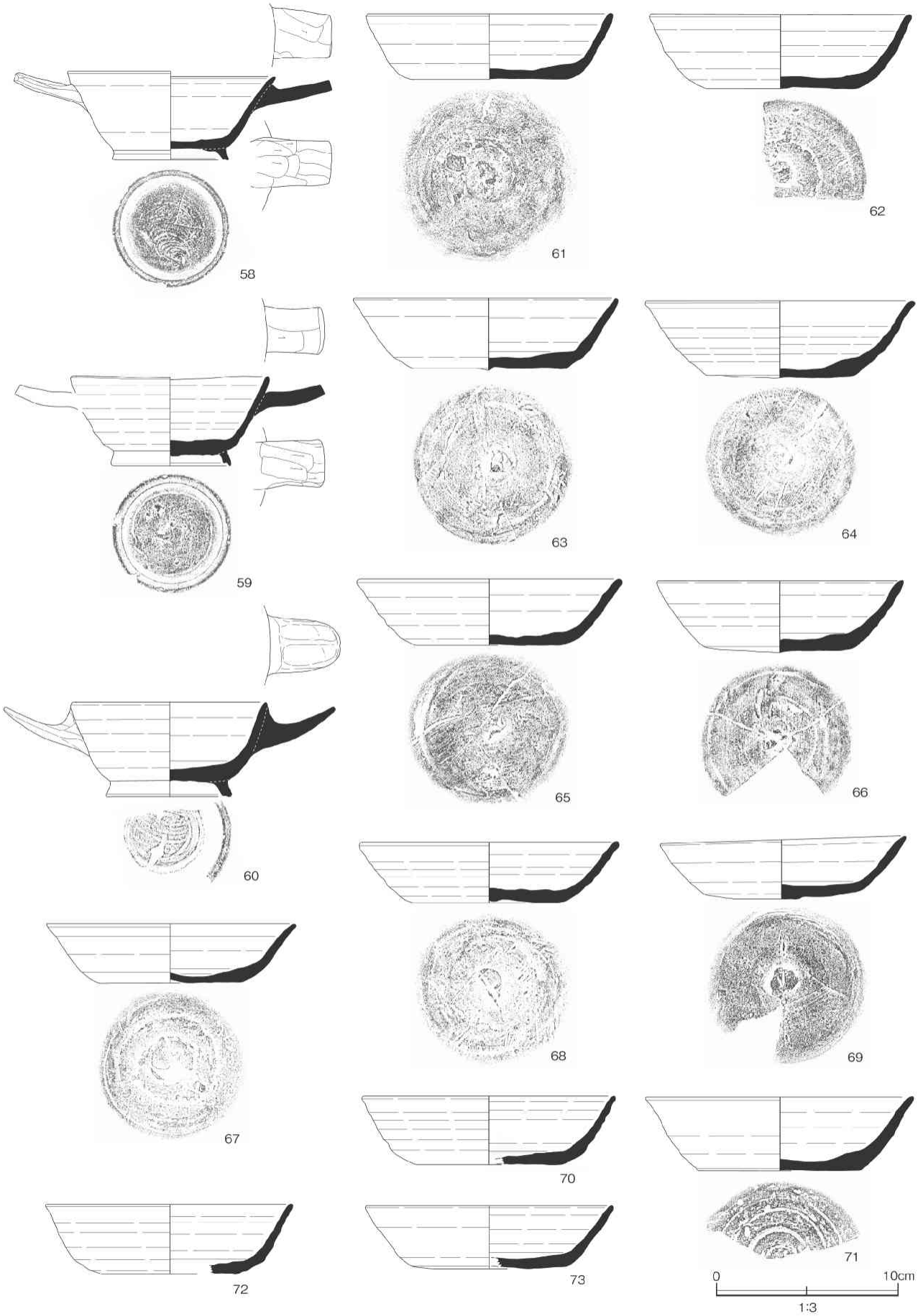
第 53 図　竪穴住居出土遺物 (古代)



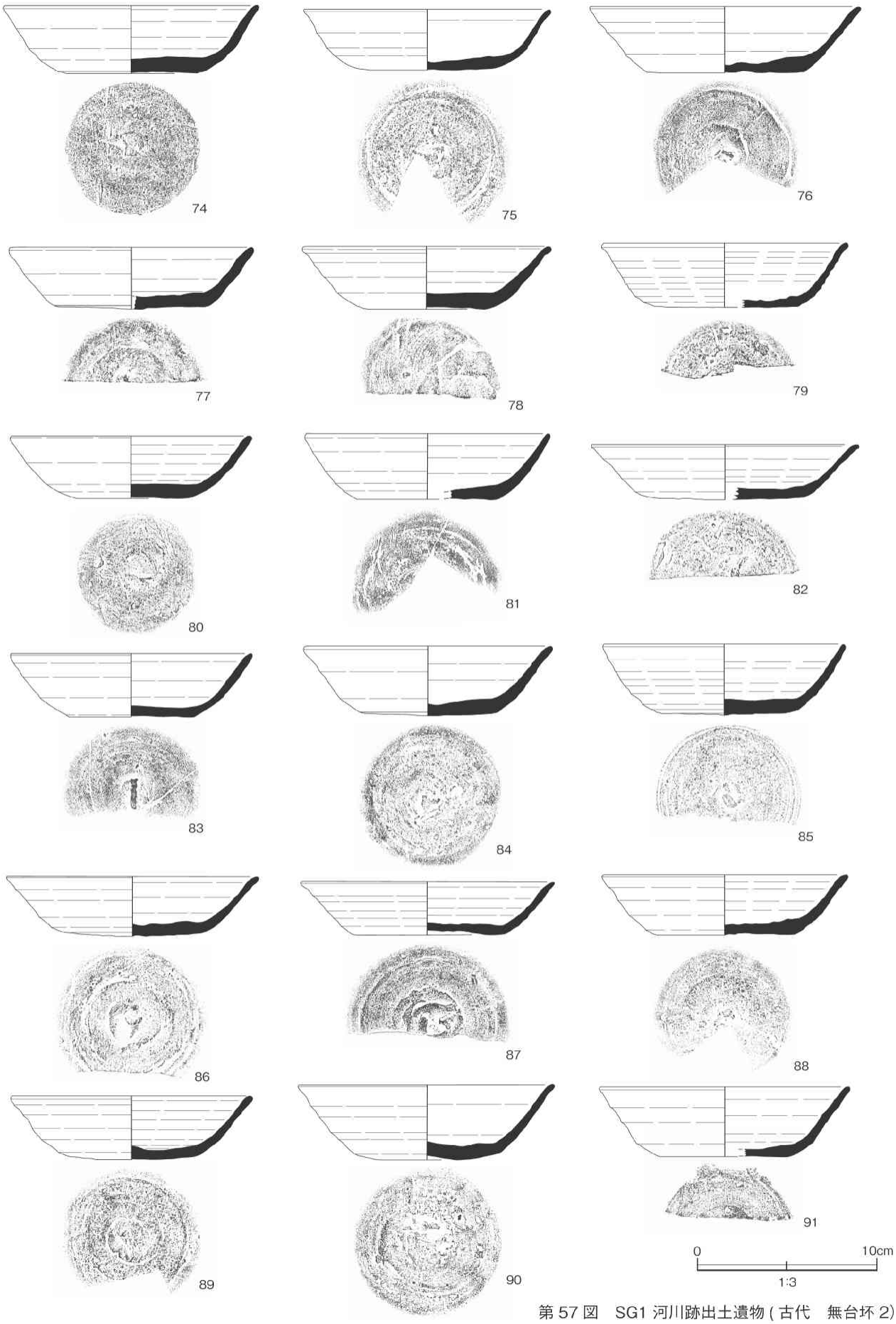
第 54 図　竪穴住居・溝他出土遺物(古代)



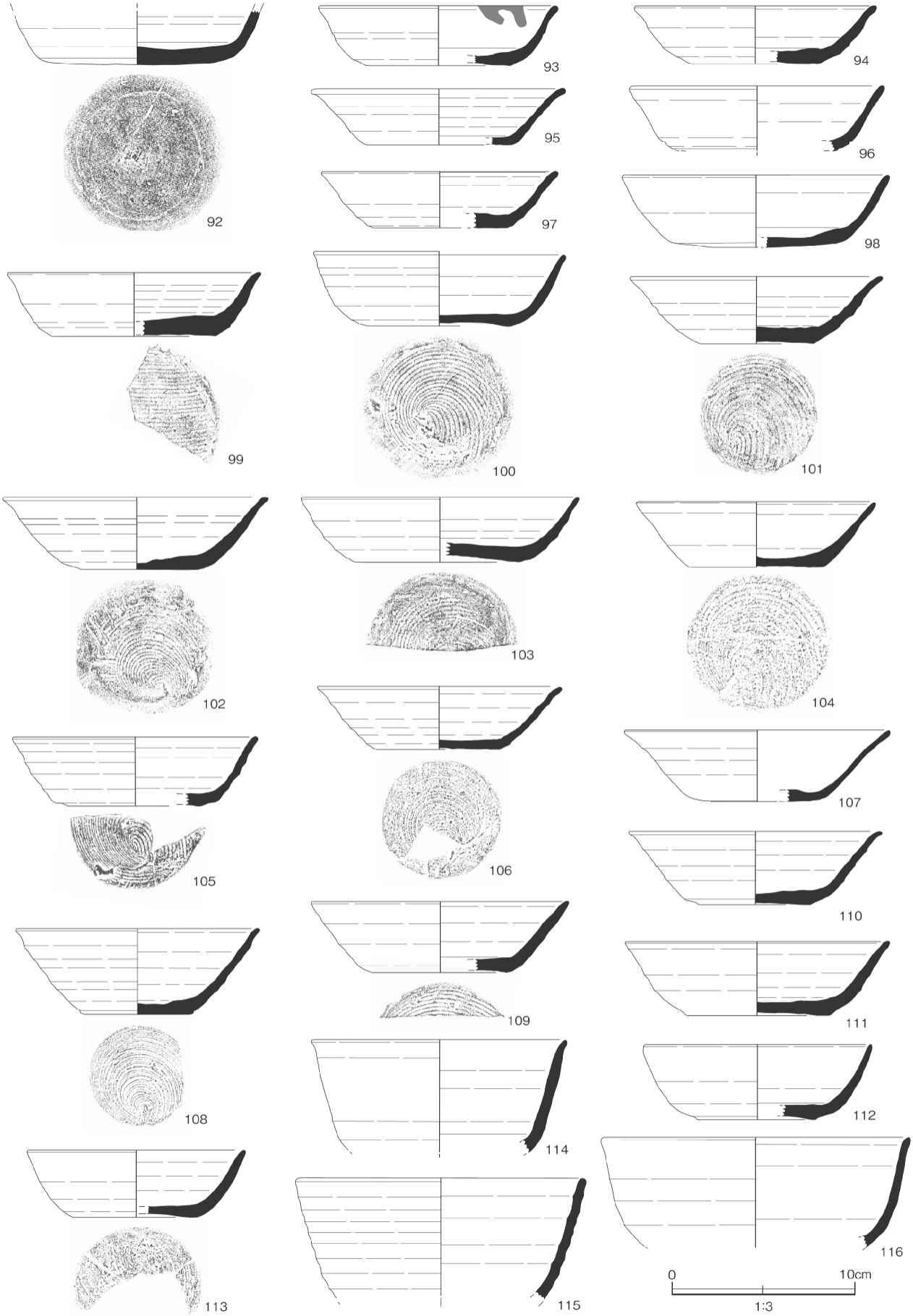
第 55 図　SG1 河川跡出土遺物 (古代　蓋・有台坏)



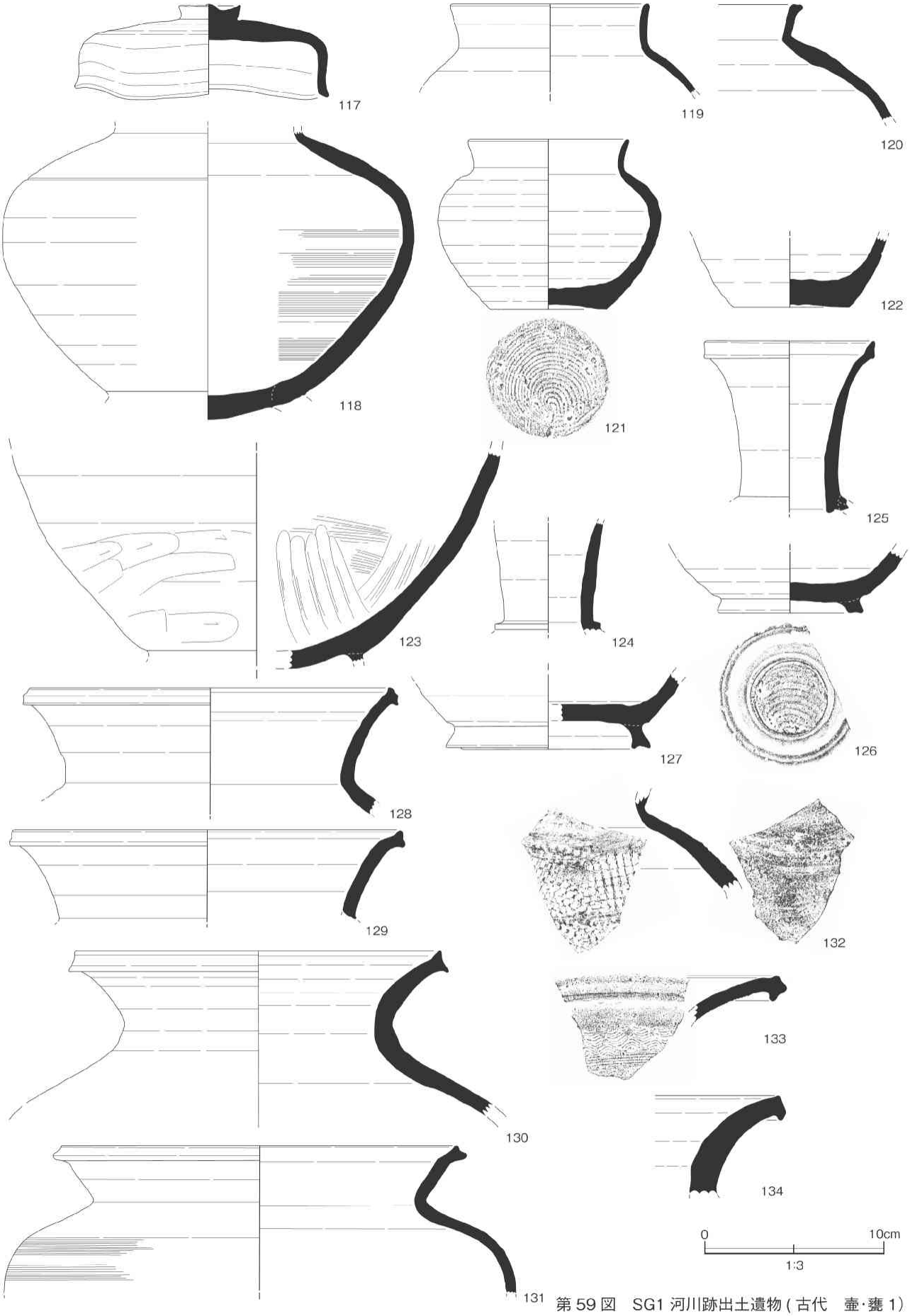
第 56 図　SG1 河川跡出土遺物 (古代　双耳坏・無台坏 1)



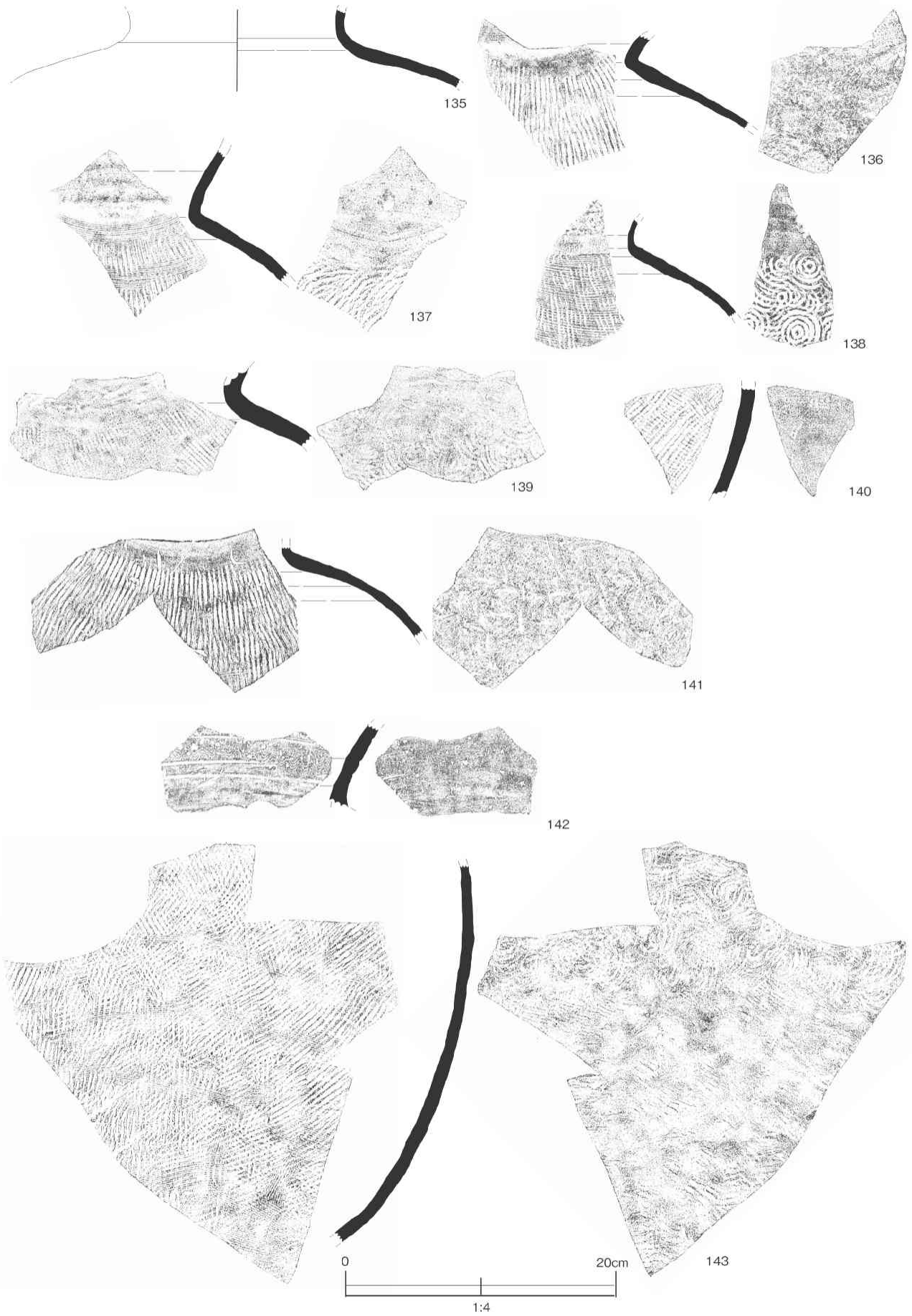
第 57 図　SG1 河川跡出土遺物 (古代　無台坏 2)



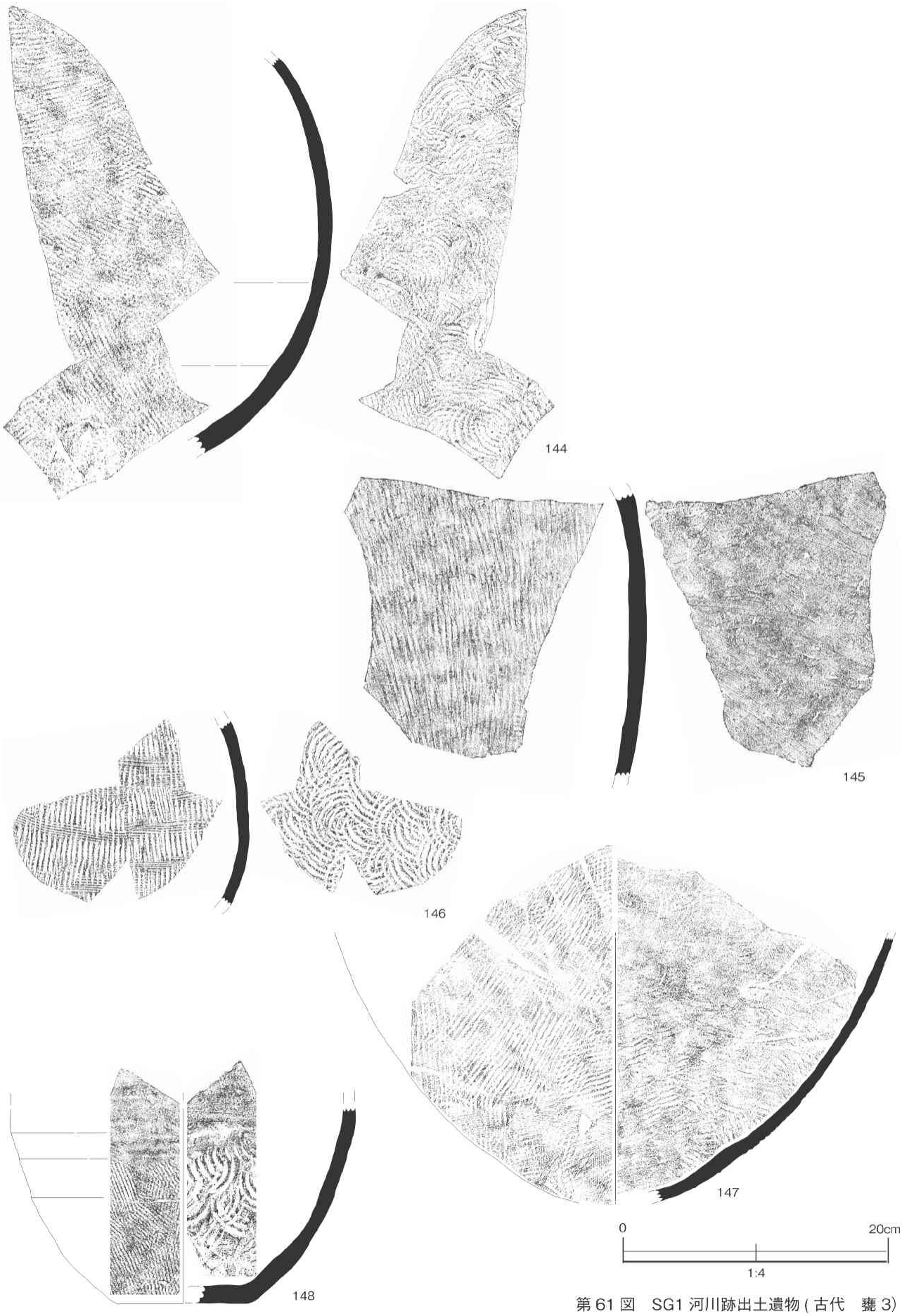
第 58 図　SG1 河川跡出土遺物 (古代　無台坏 3)



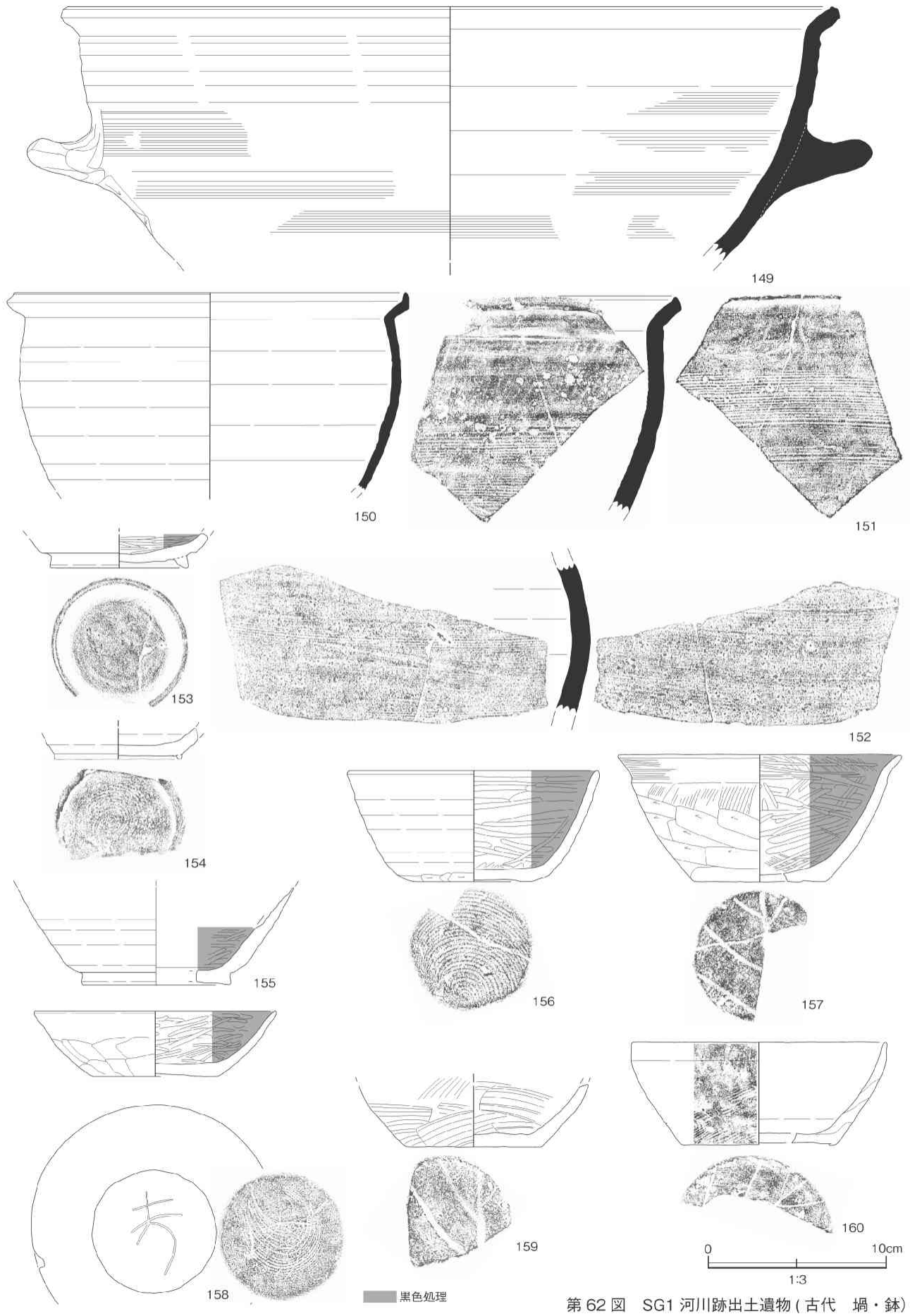
第 59 図　SG1 河川跡出土遺物 (古代　壷･甕 1)



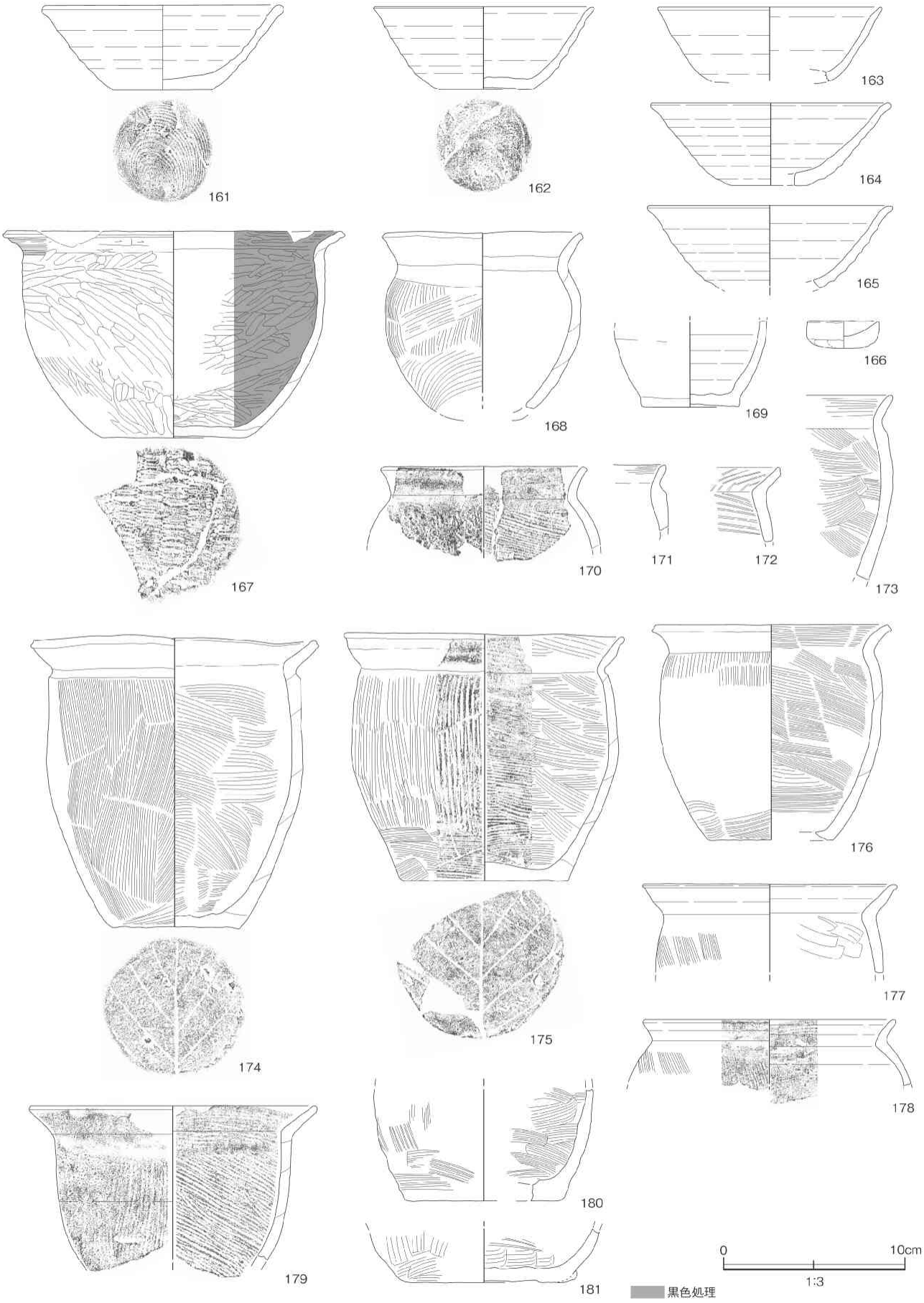
第 60 図　SG1 河川跡出土遺物（古代　甕２）



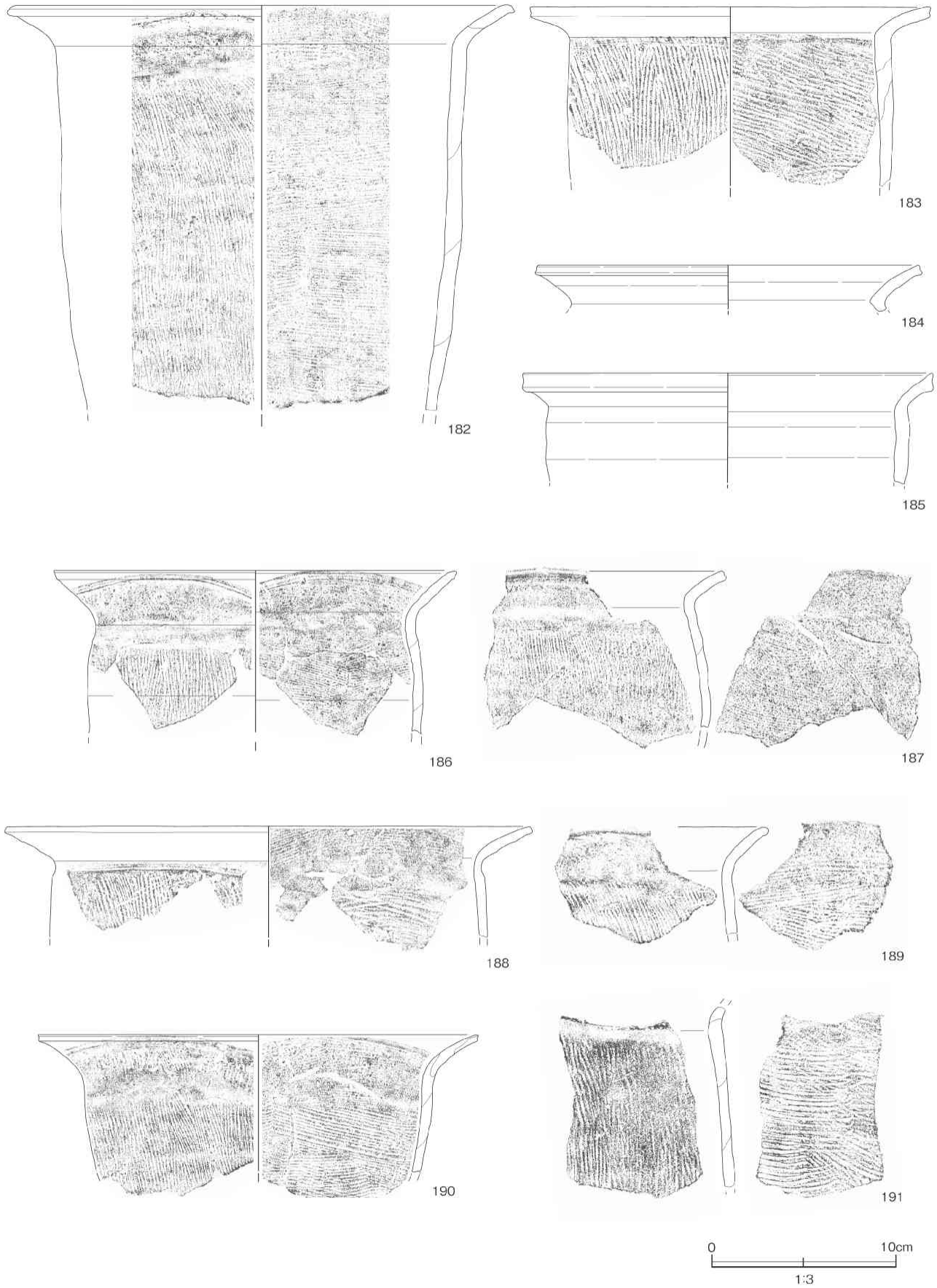
第 61 図　SG1 河川跡出土遺物 (古代　甕 3)



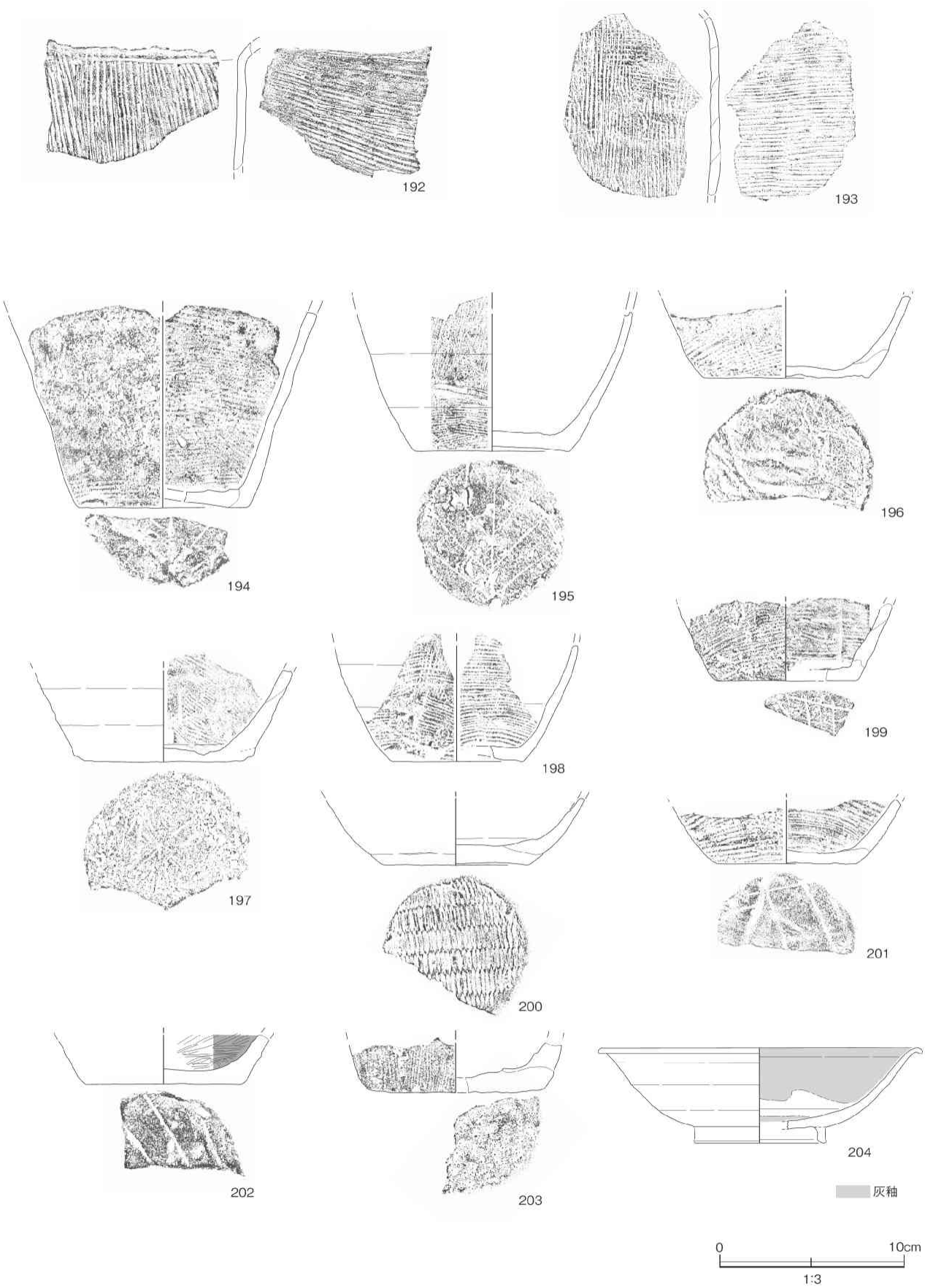
第 62 図　SG1 河川跡出土遺物 (古代　堝・鉢)



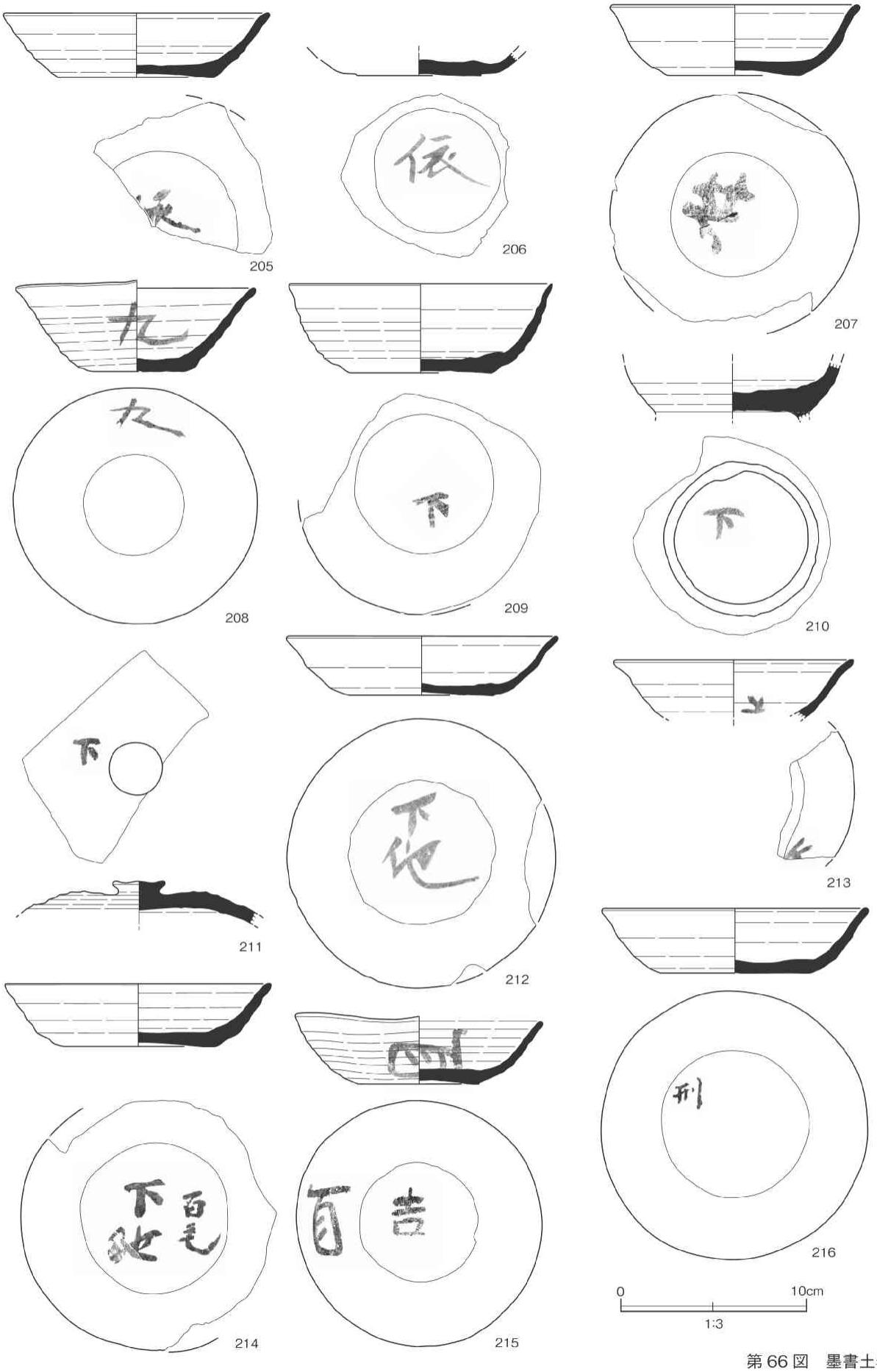
第 63 図　SG1 河川跡出土遺物 (古代　坏･甕 1)



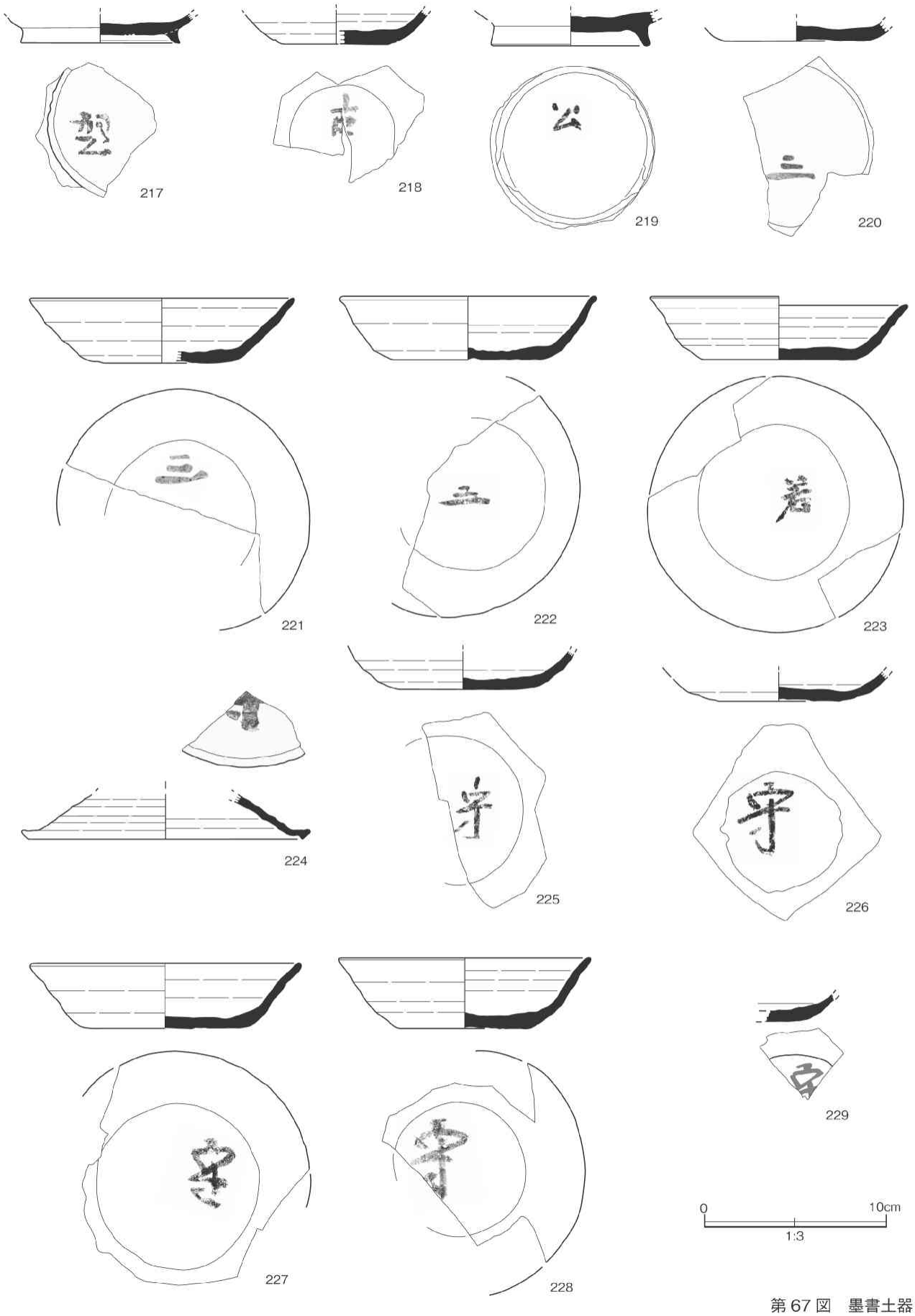
第 64 図　SG1 河川跡出土遺物 (古代　甕 2)



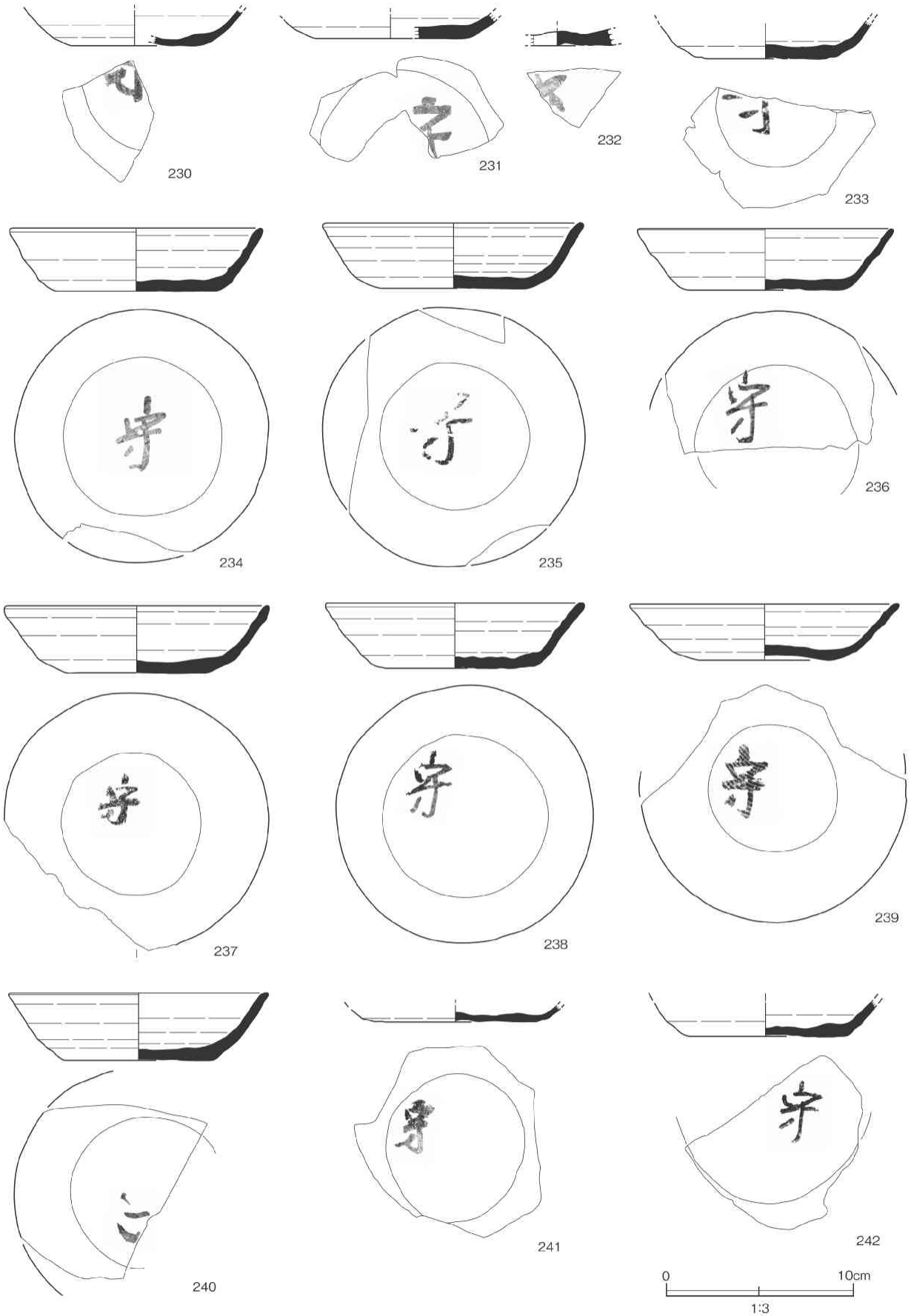
第 65 図　SG1 河川跡出土遺物 (古代　甕 3 ·灰釉陶器)



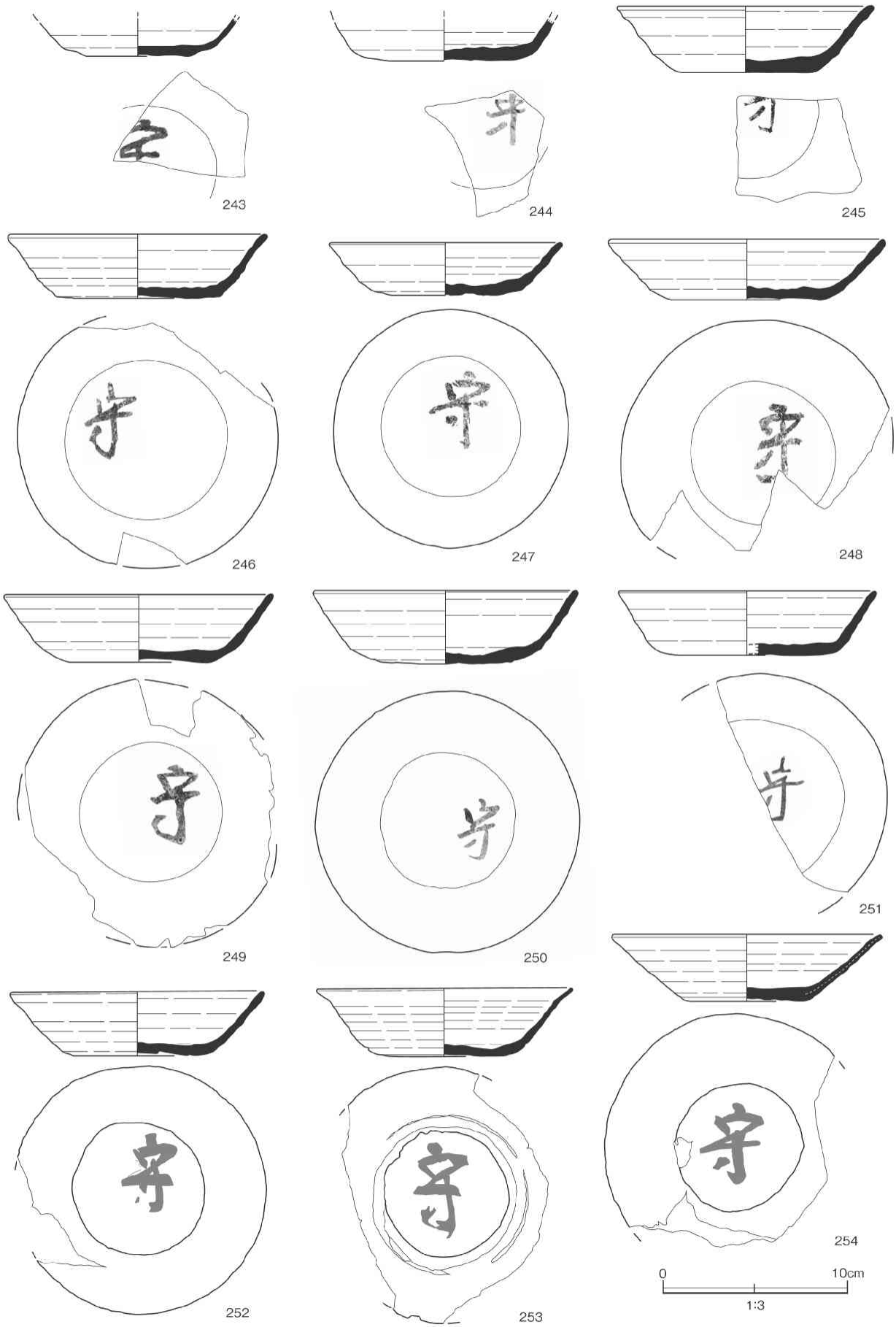
第 66 図　墨書土器 1



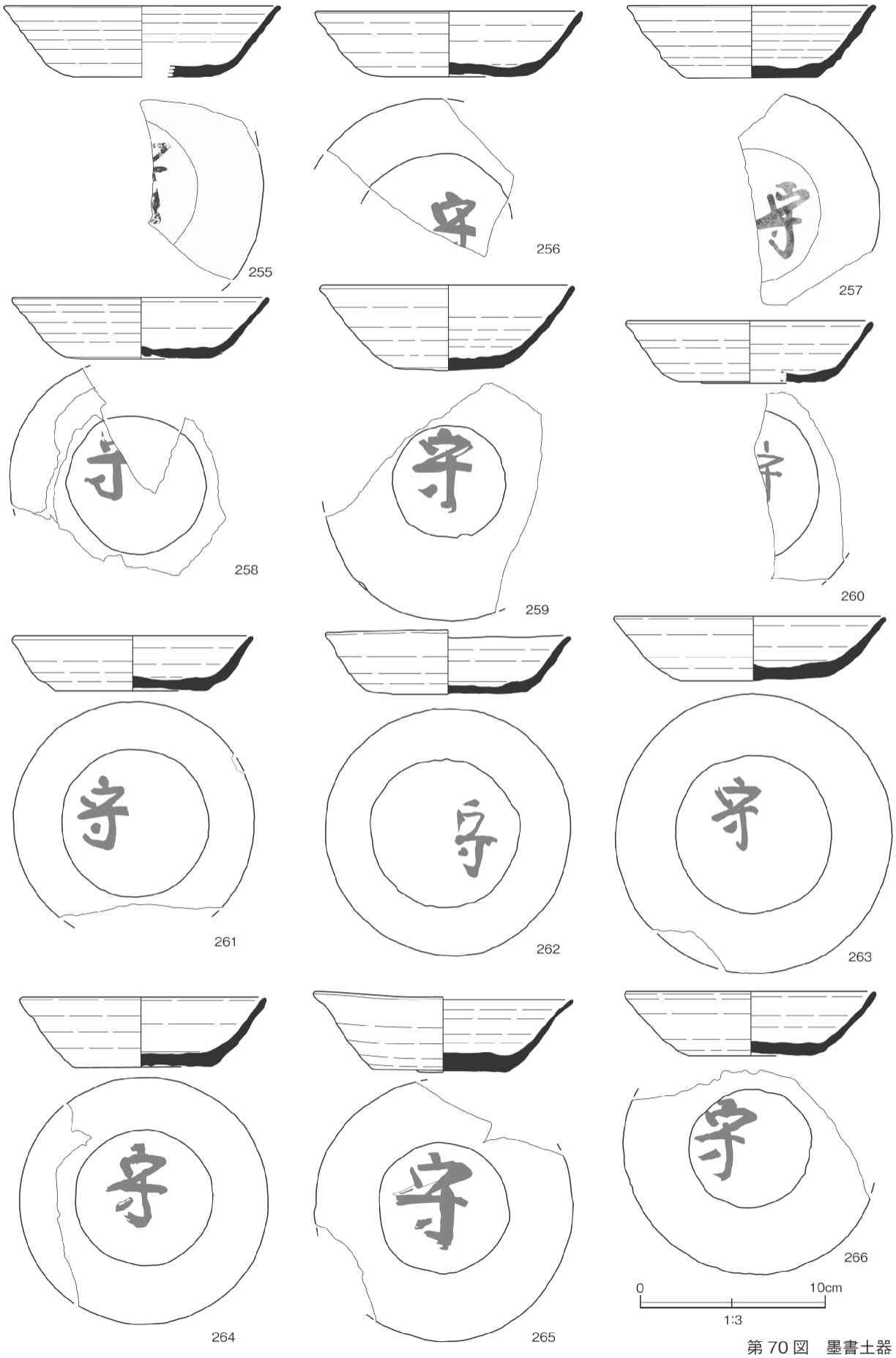
第 67 図　墨書土器 2



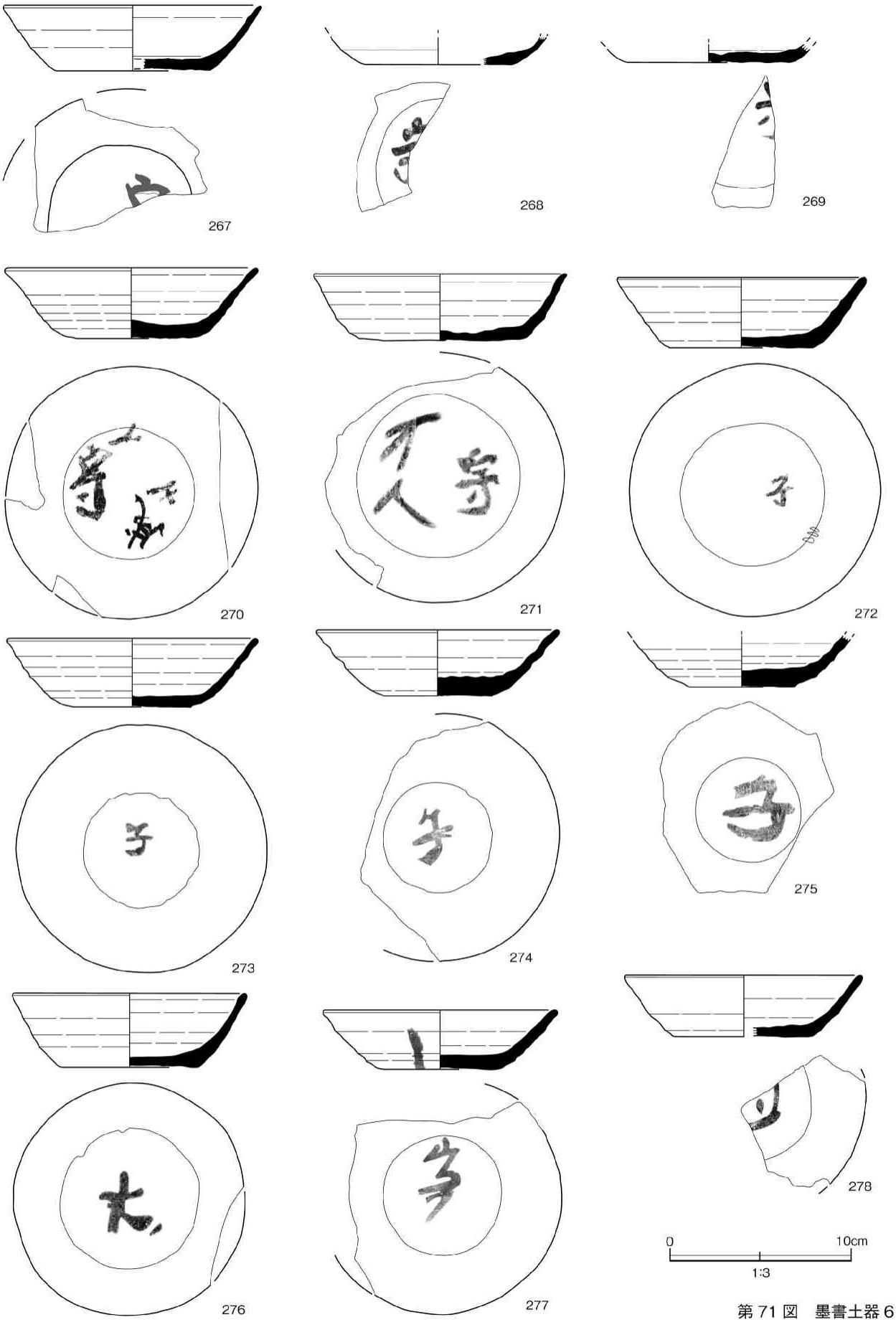
第 68 図　墨書土器 3



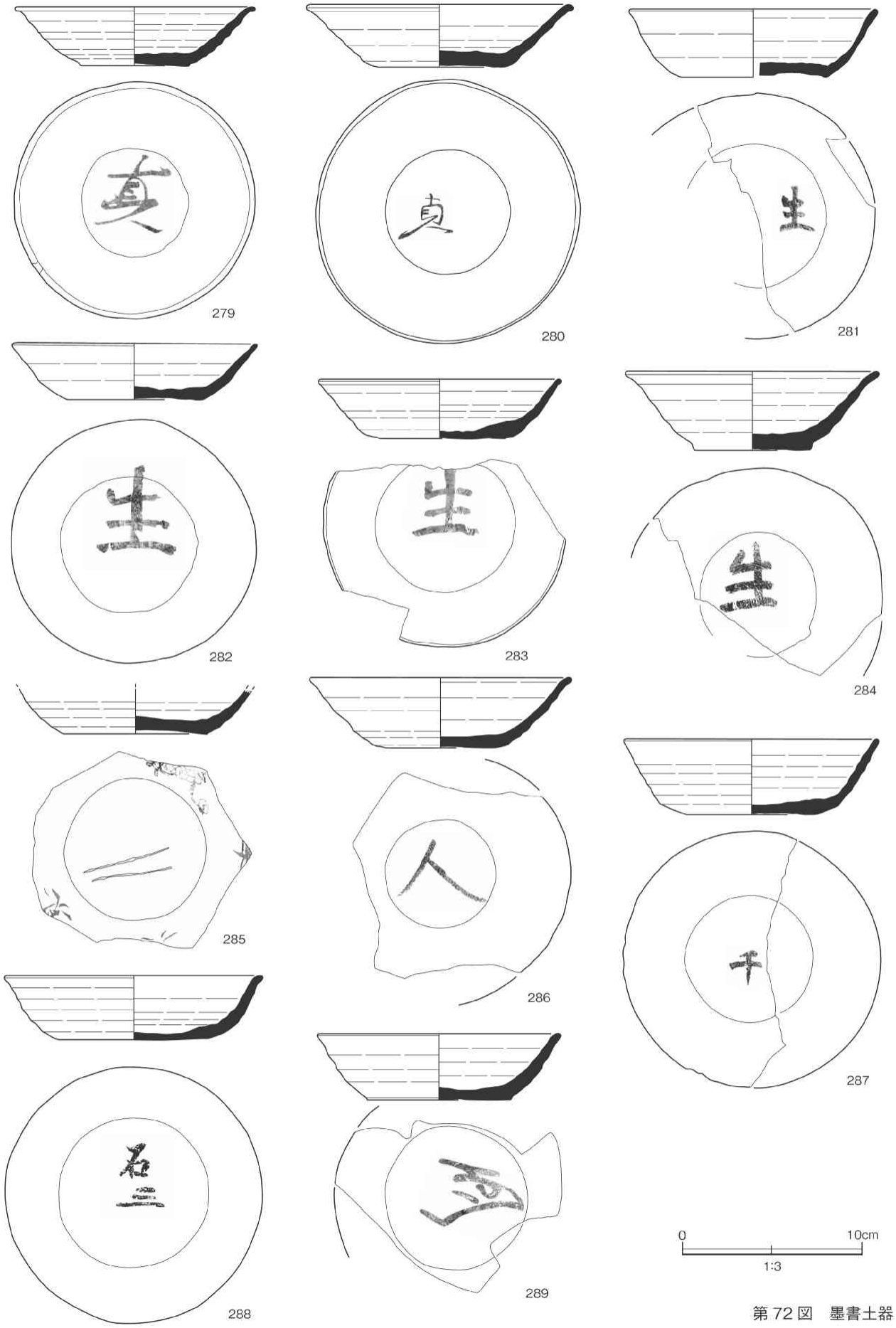
第 69 図　墨書土器 4



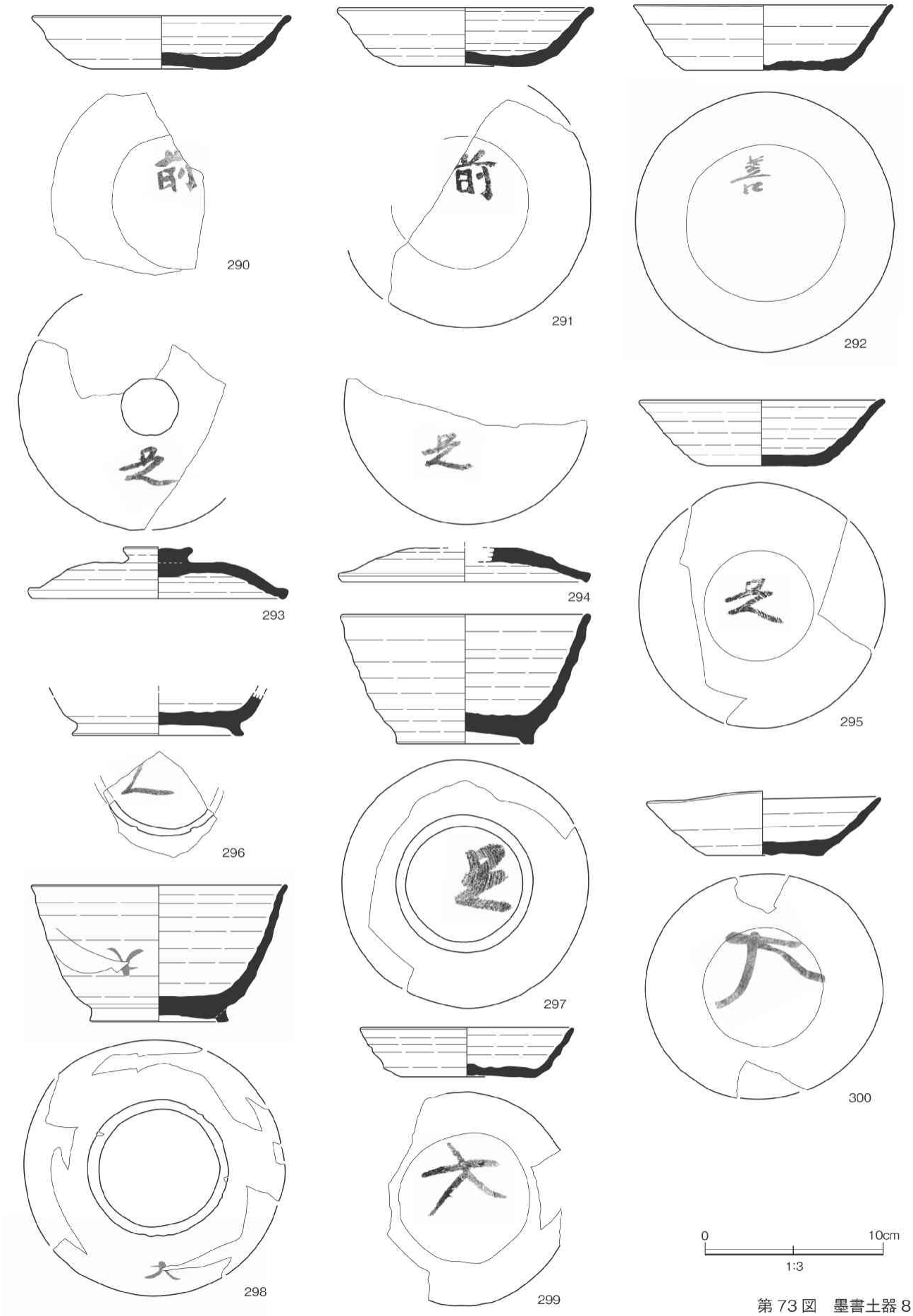
第 70 図　墨書土器 5



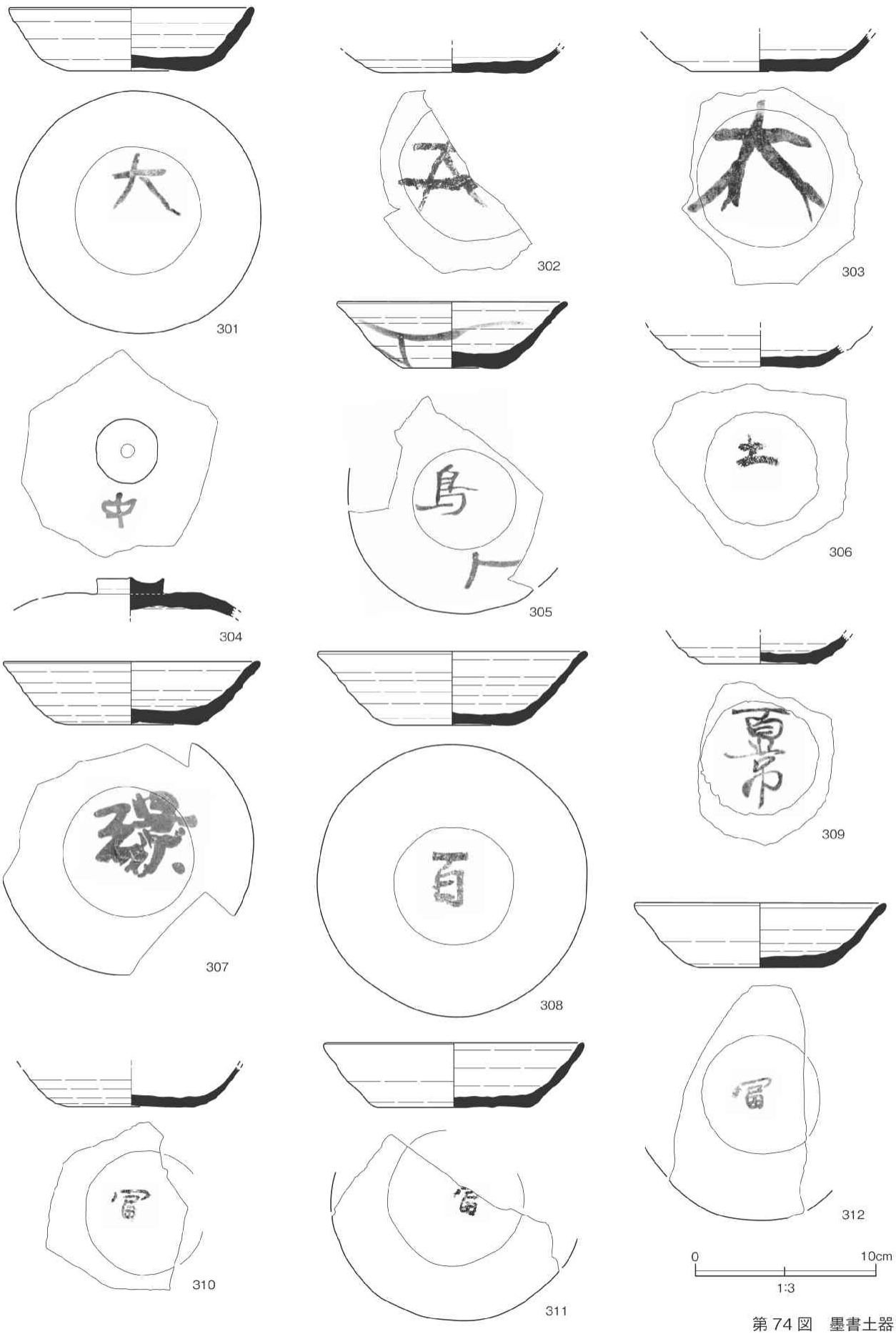
第 71 図　墨書土器 6



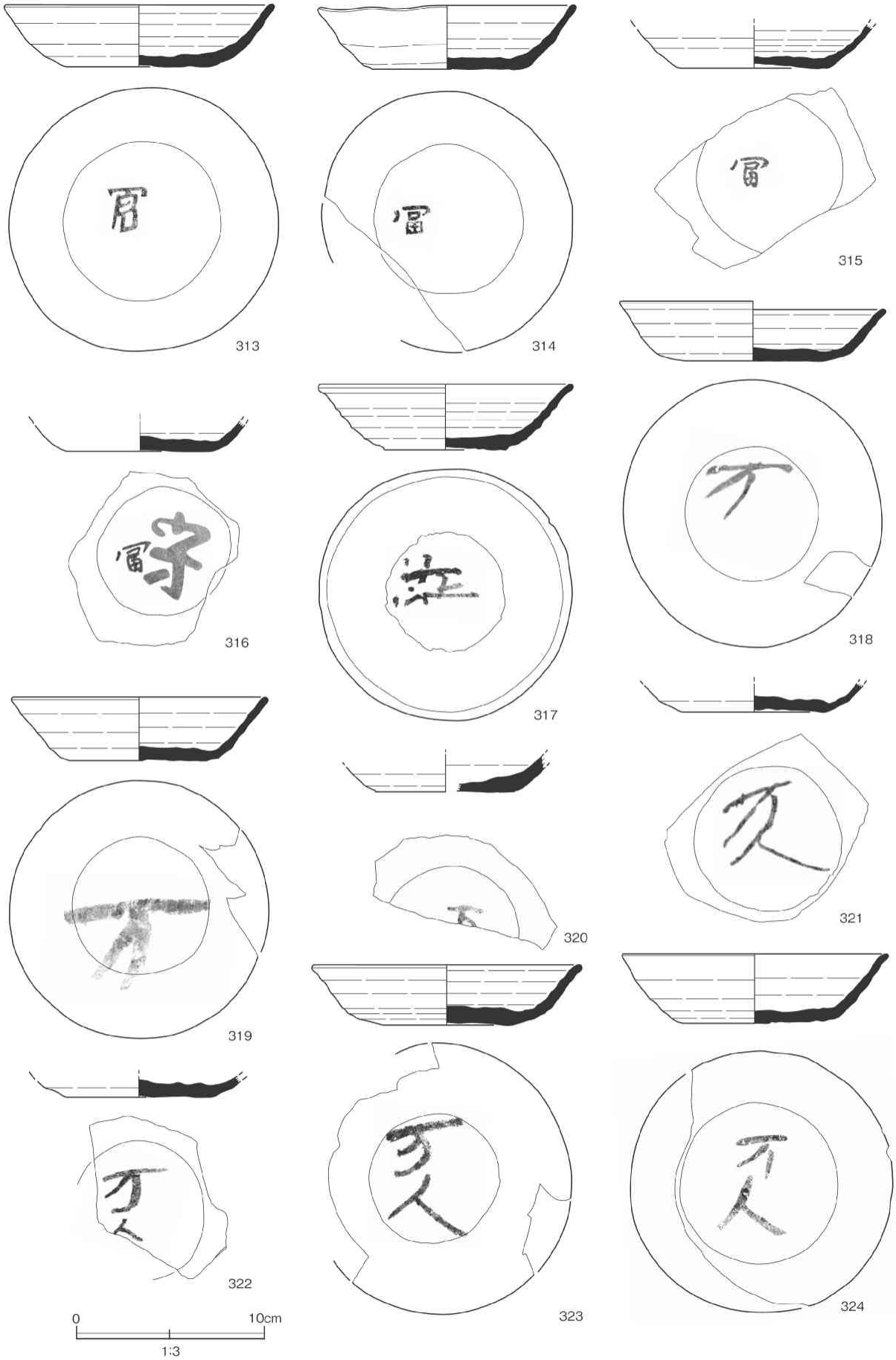
第 72 図　墨書土器 7



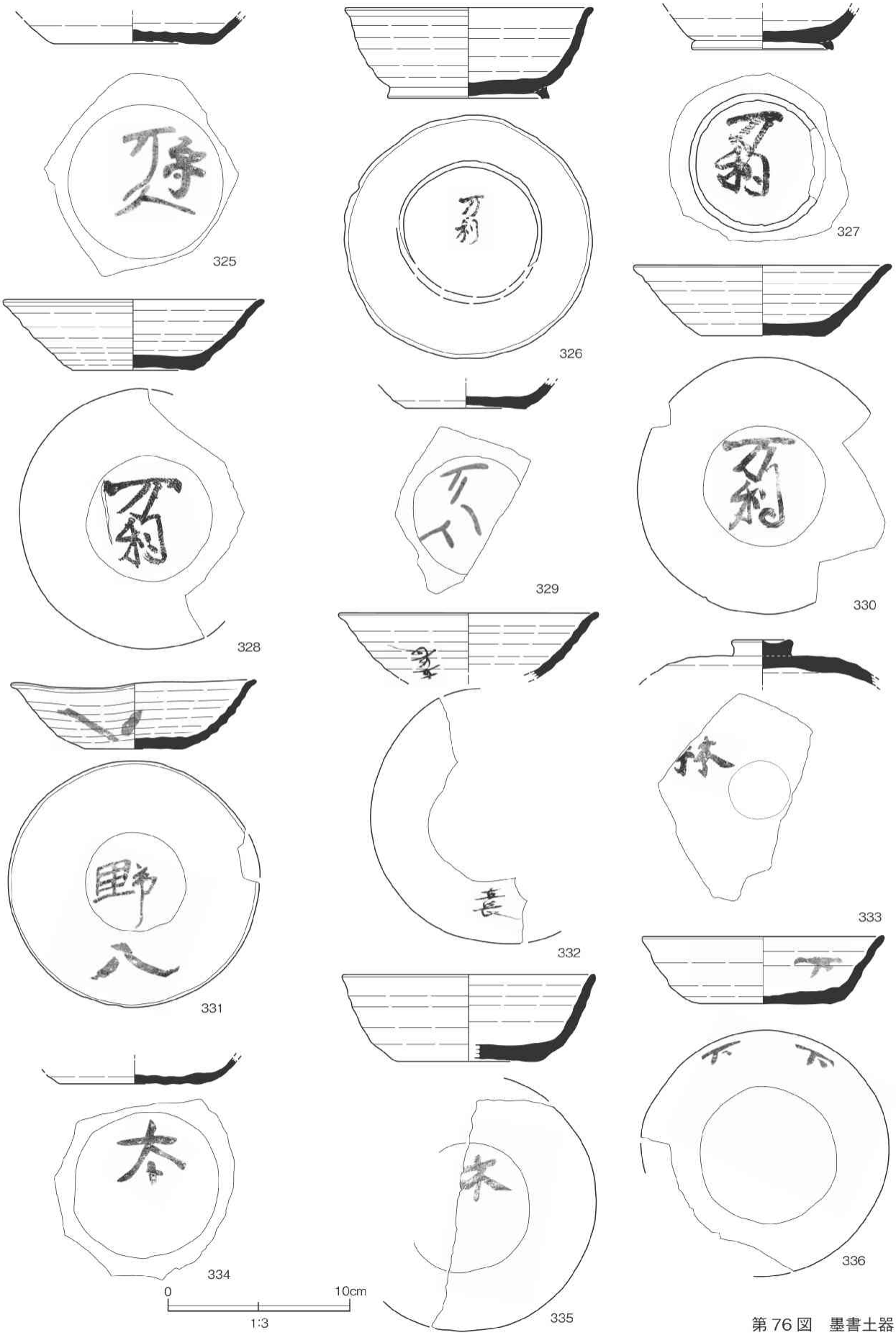
第 73 図　墨書土器 8



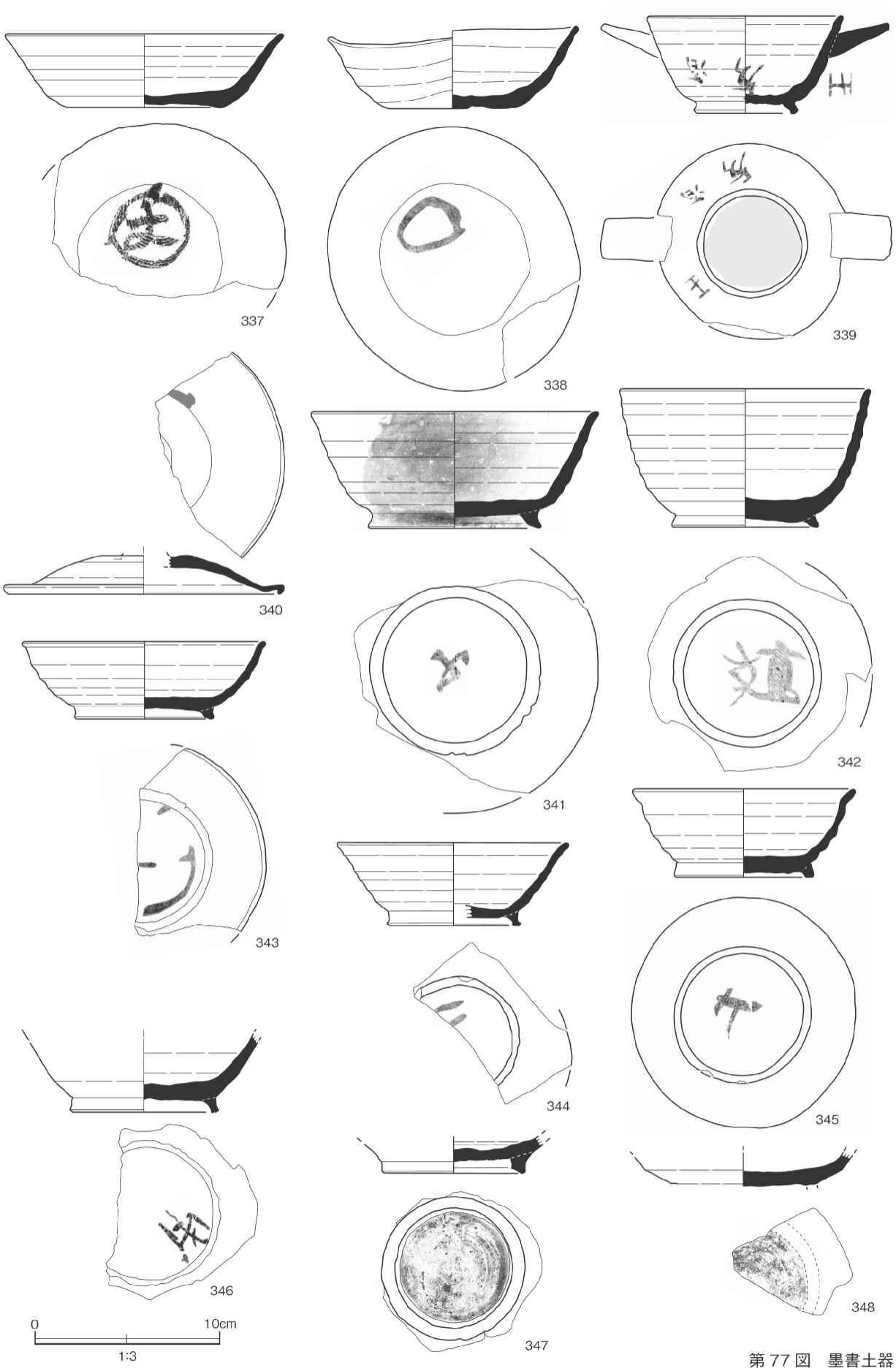
第 74 図　墨書土器 9



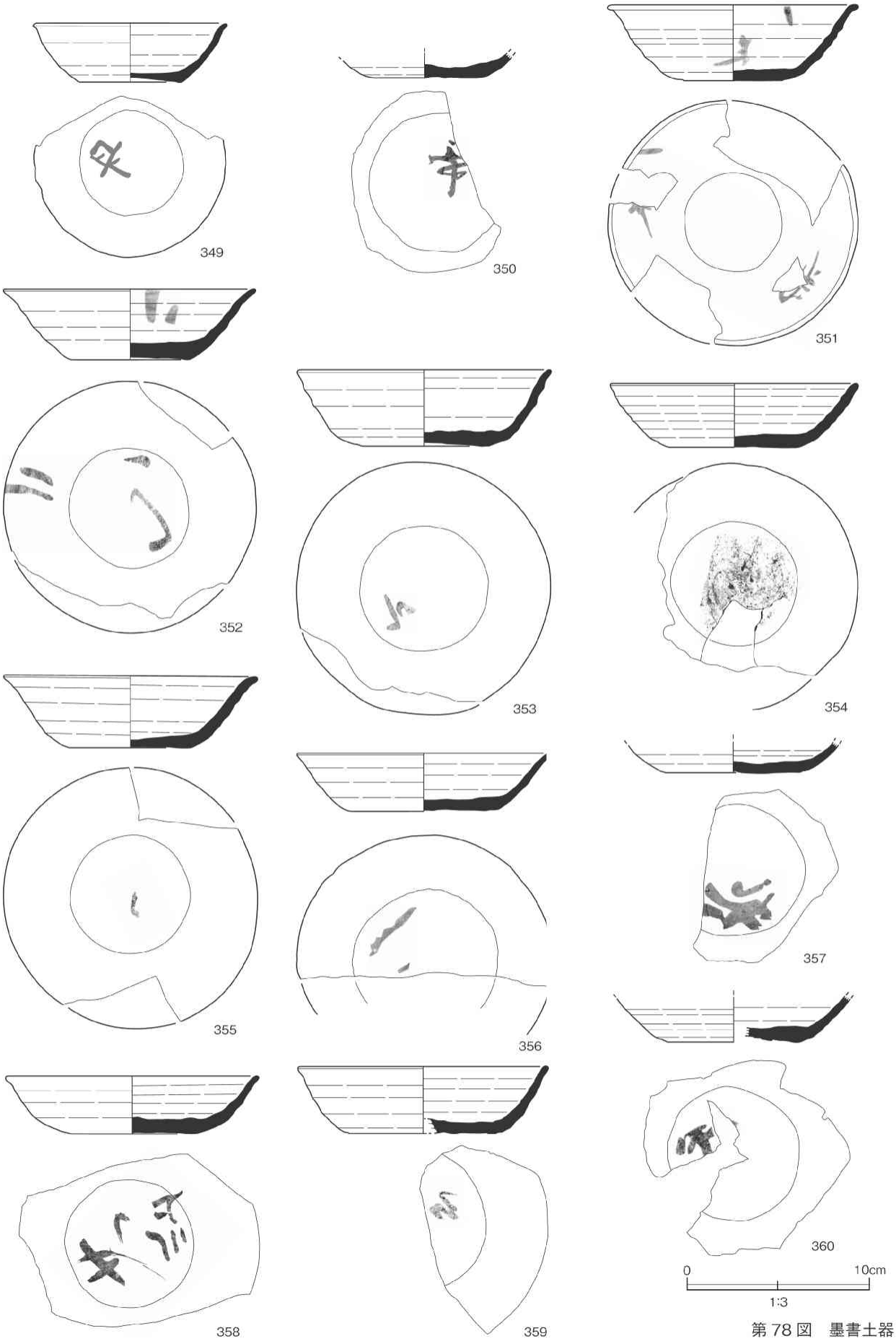
第75図　墨書土器10



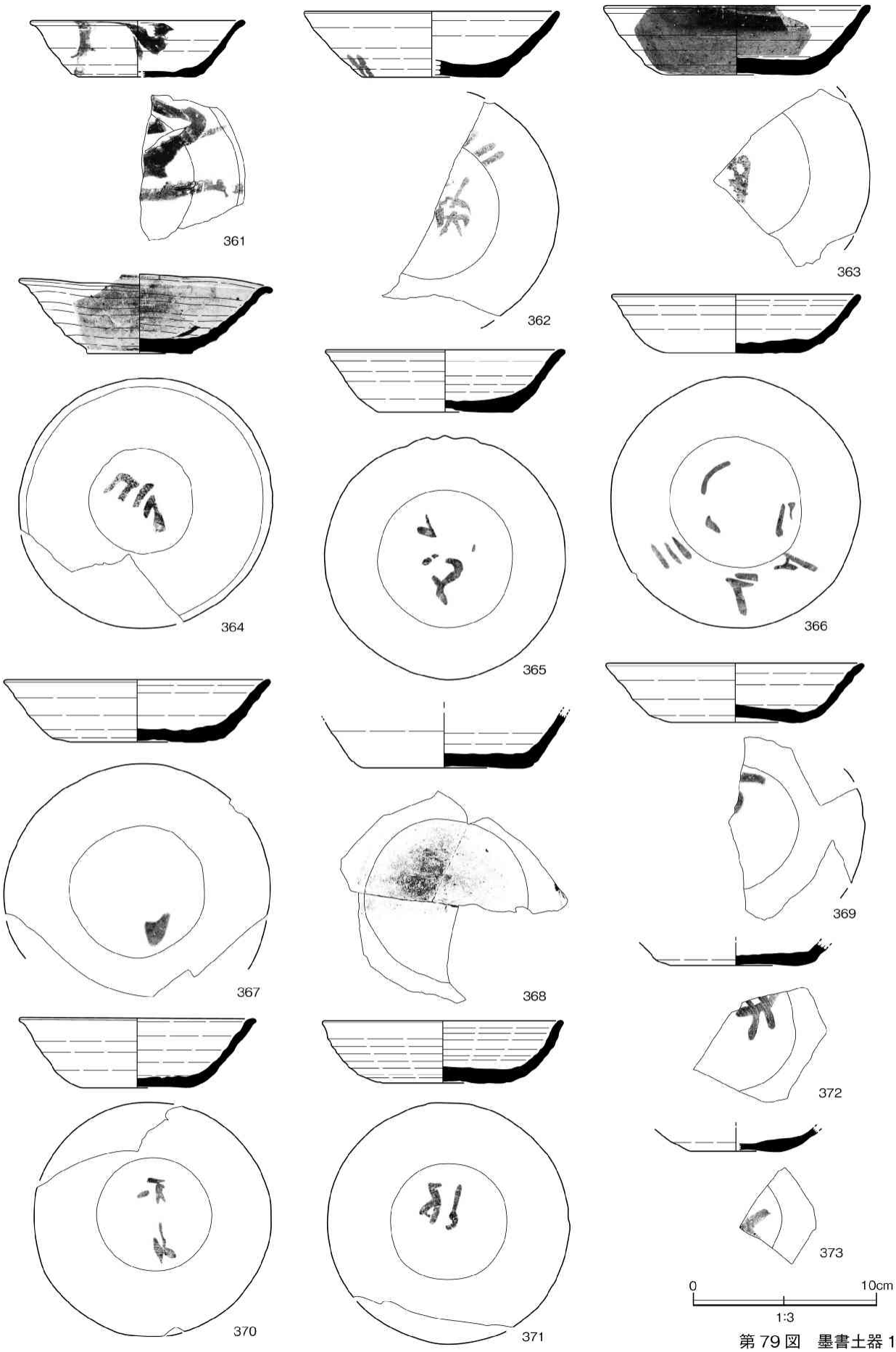
第 76 図　墨書土器 11



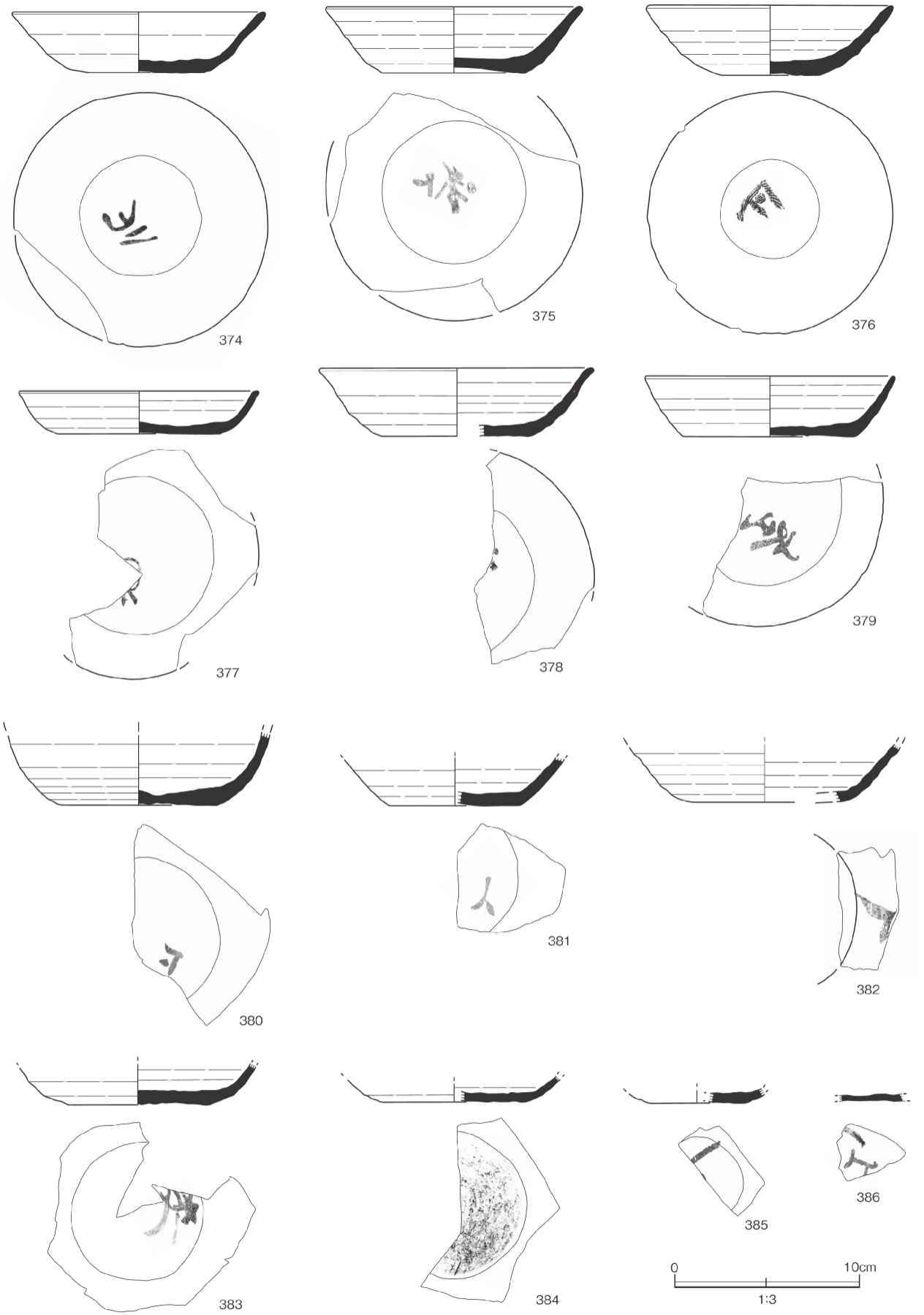
第77図　墨書土器12



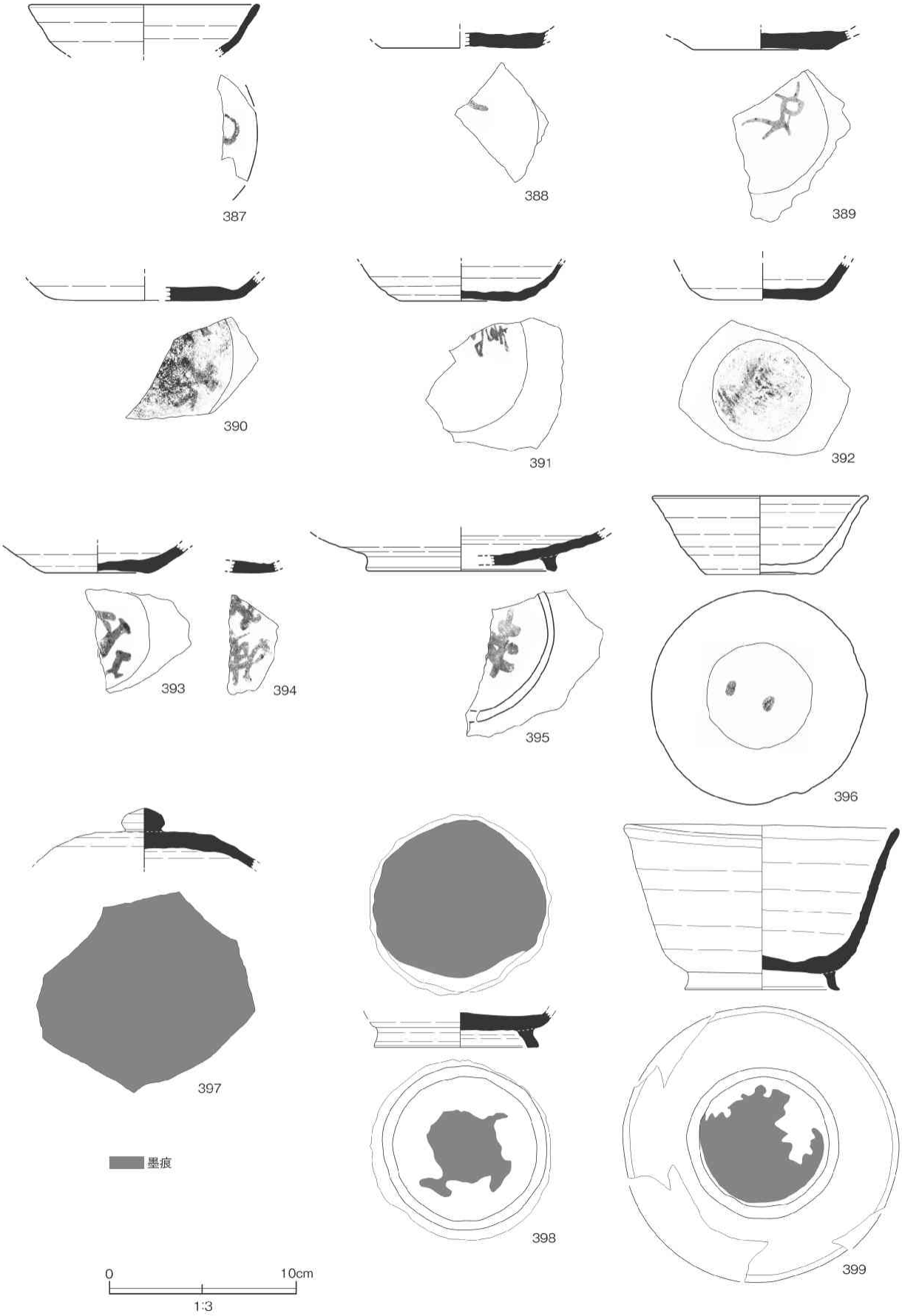
第78図　墨書土器13



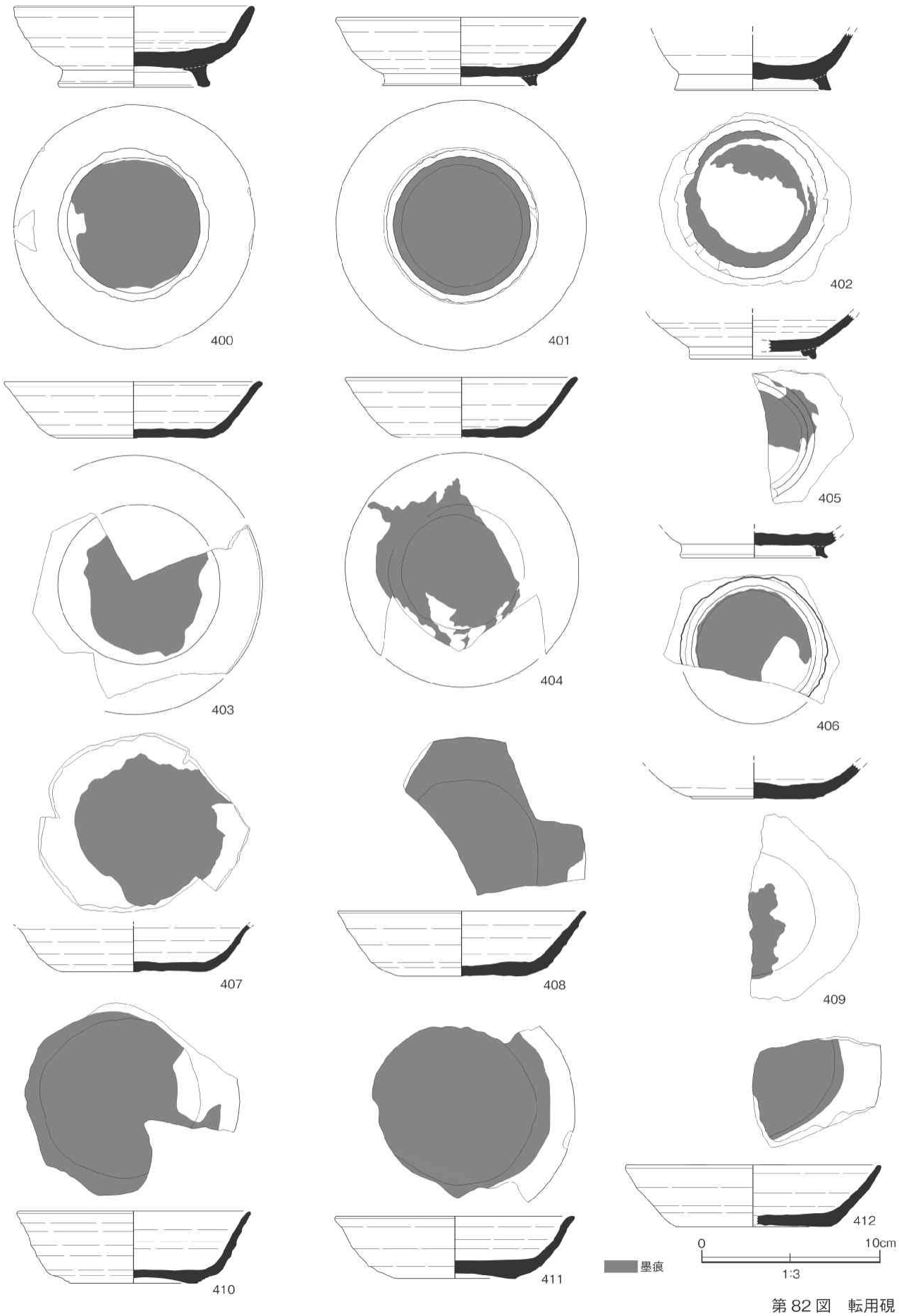
第79図　墨書土器14



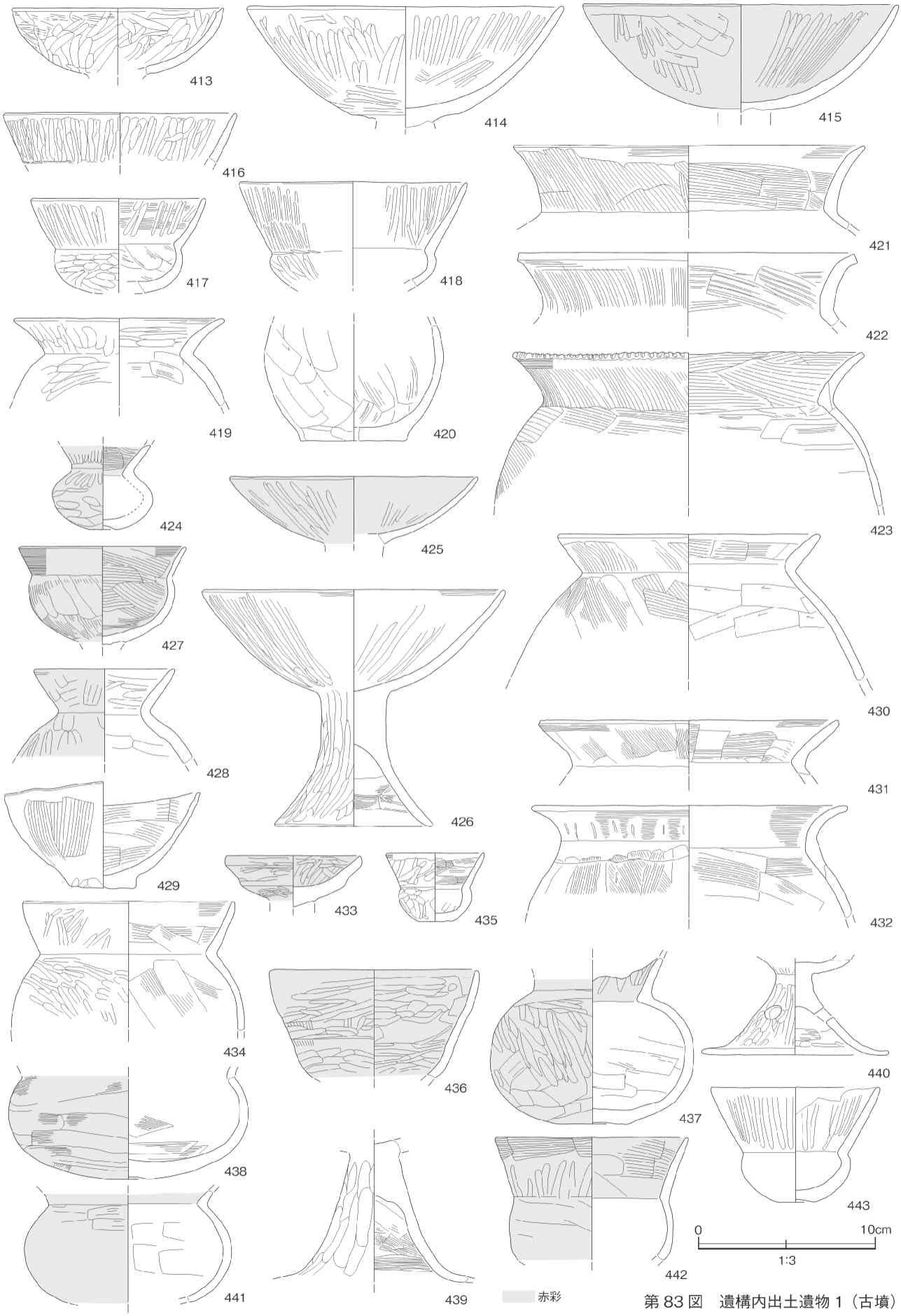
第 80 図　墨書土器 15



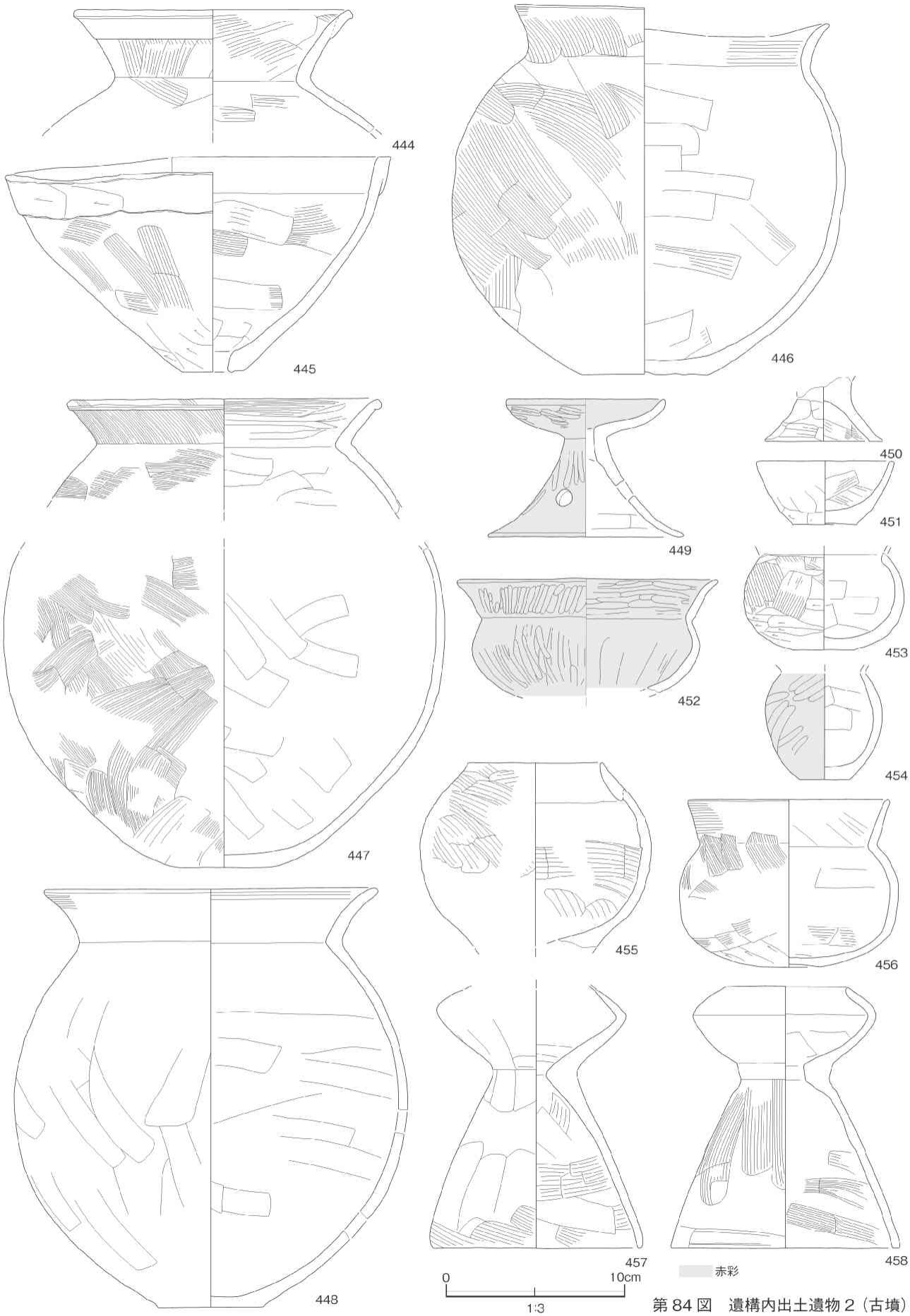
第 81 図　墨書土器 16・転用硯 1



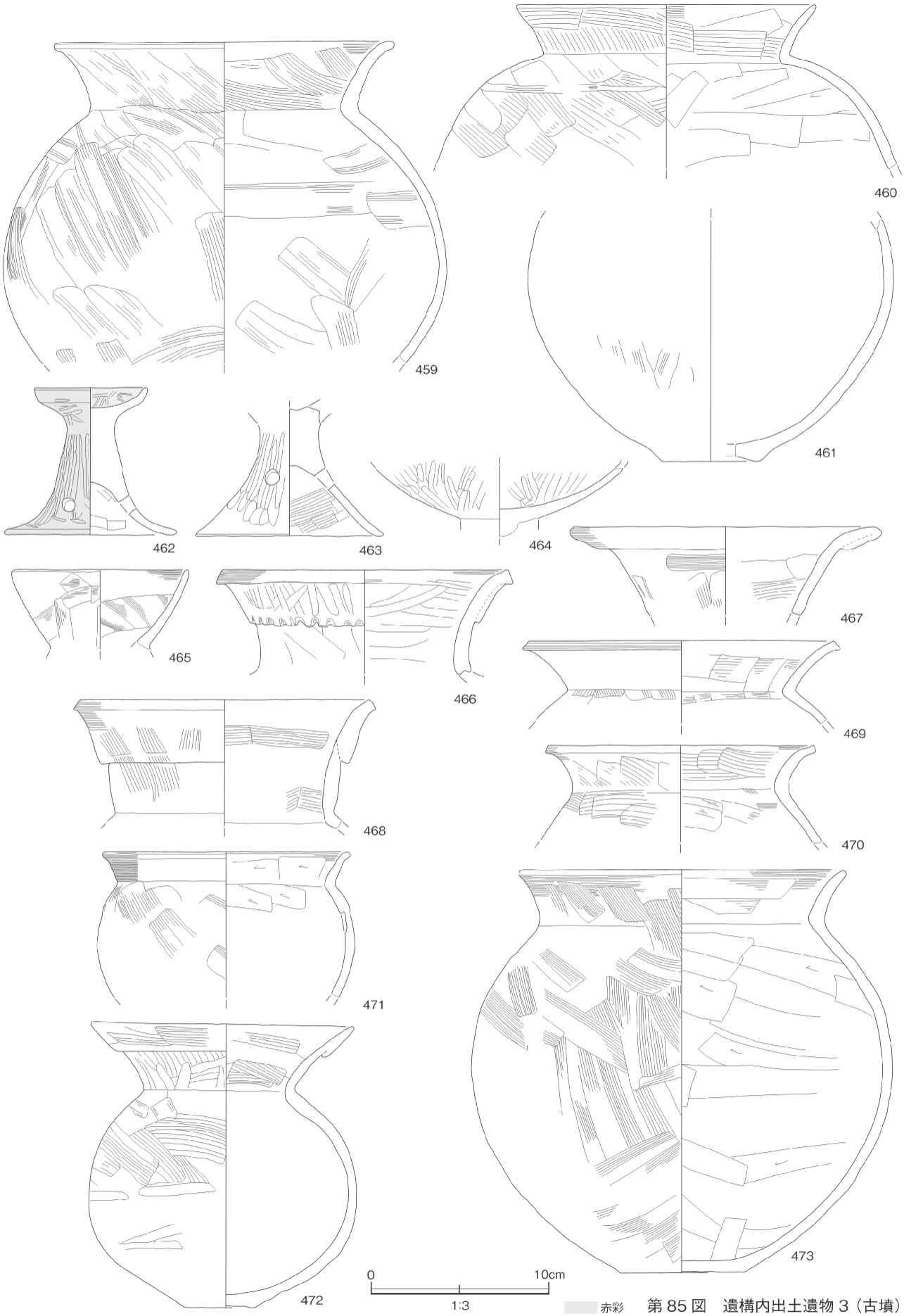
第 82 図　転用硯 2



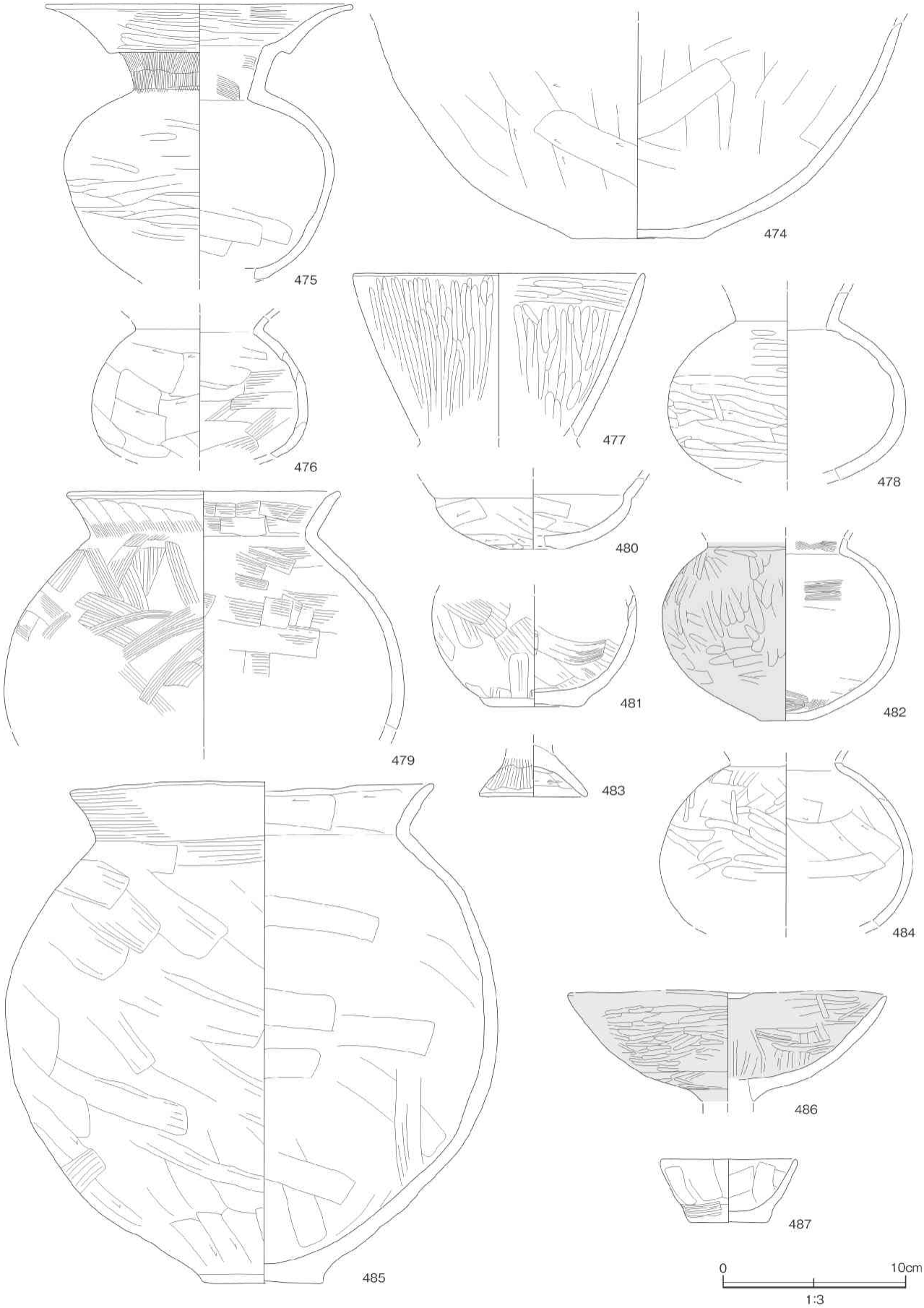
第 83 図　遺構内出土遺物 1（古墳）



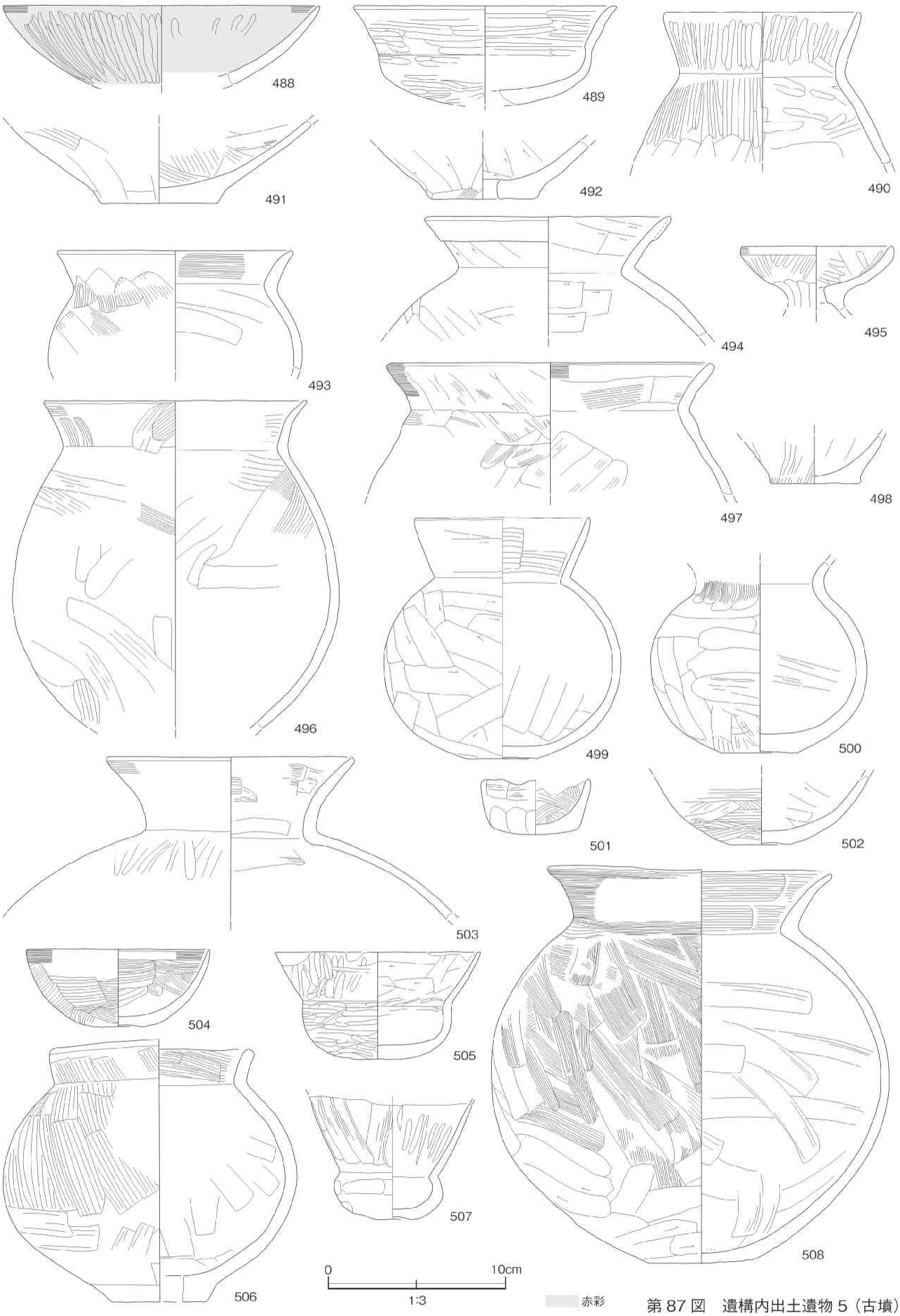
第 84 図　遺構内出土遺物 2（古墳）



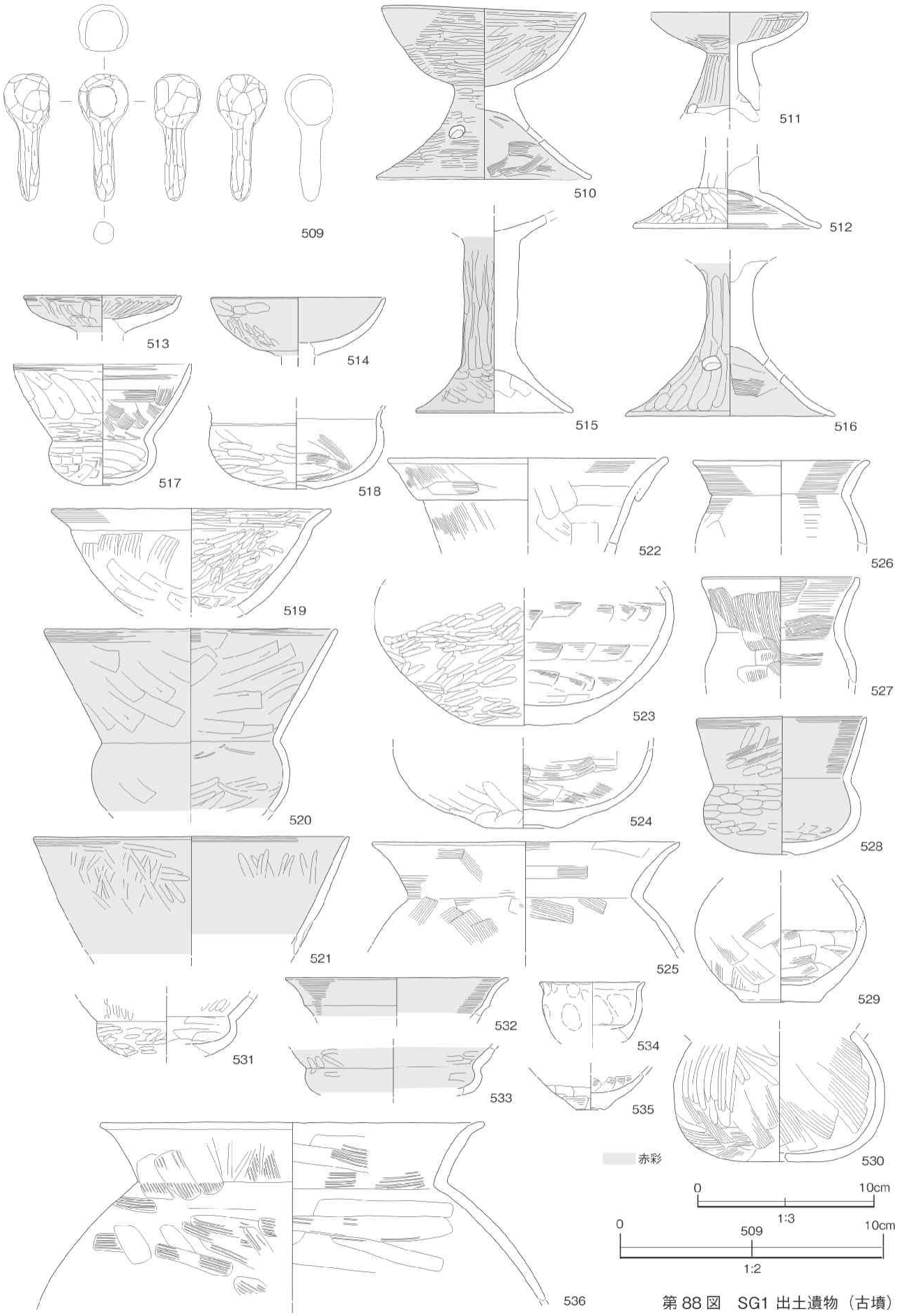
第 85 図　遺構内出土遺物 3（古墳）



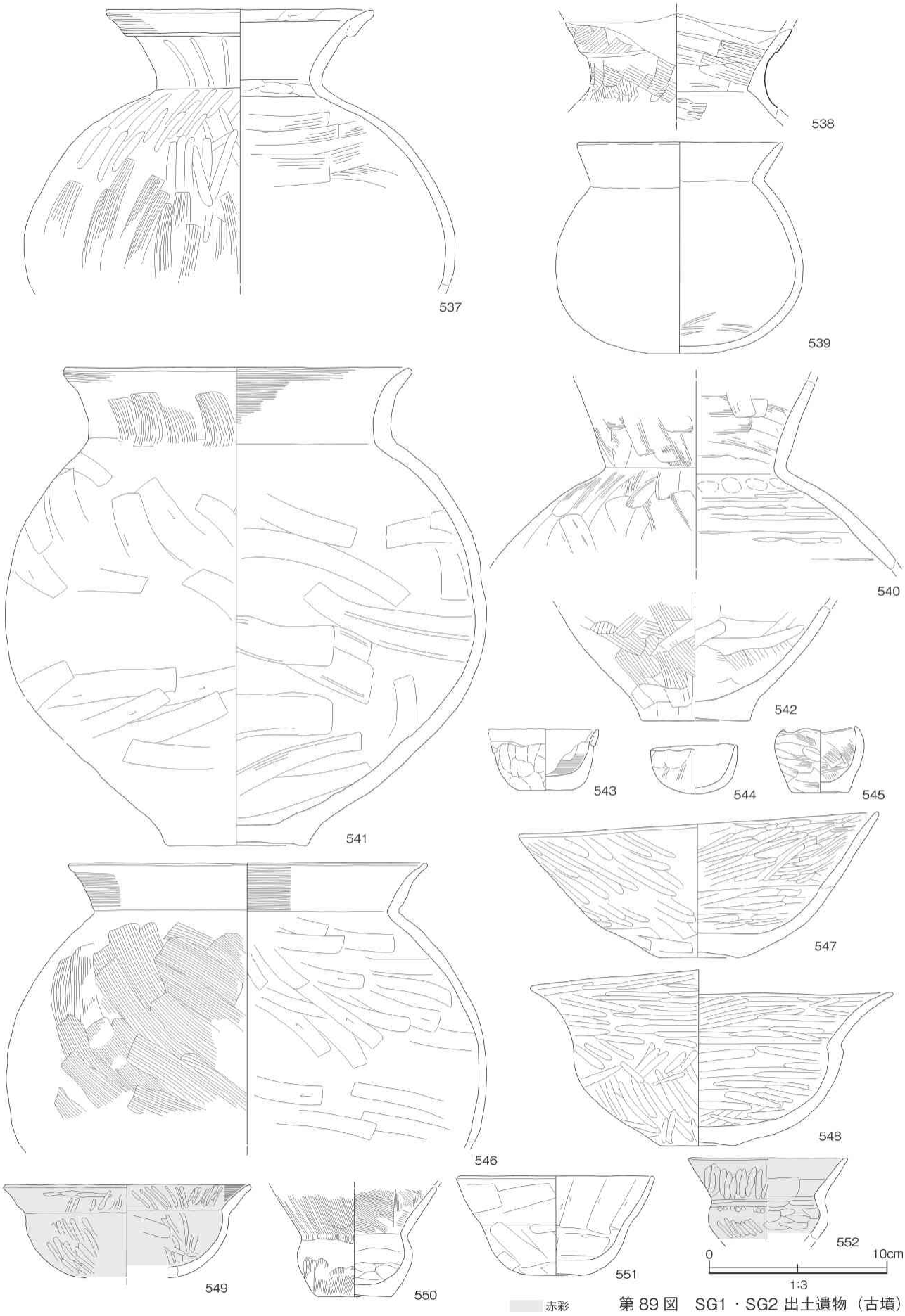
第 86 図　遺構内出土遺物 4（古墳）



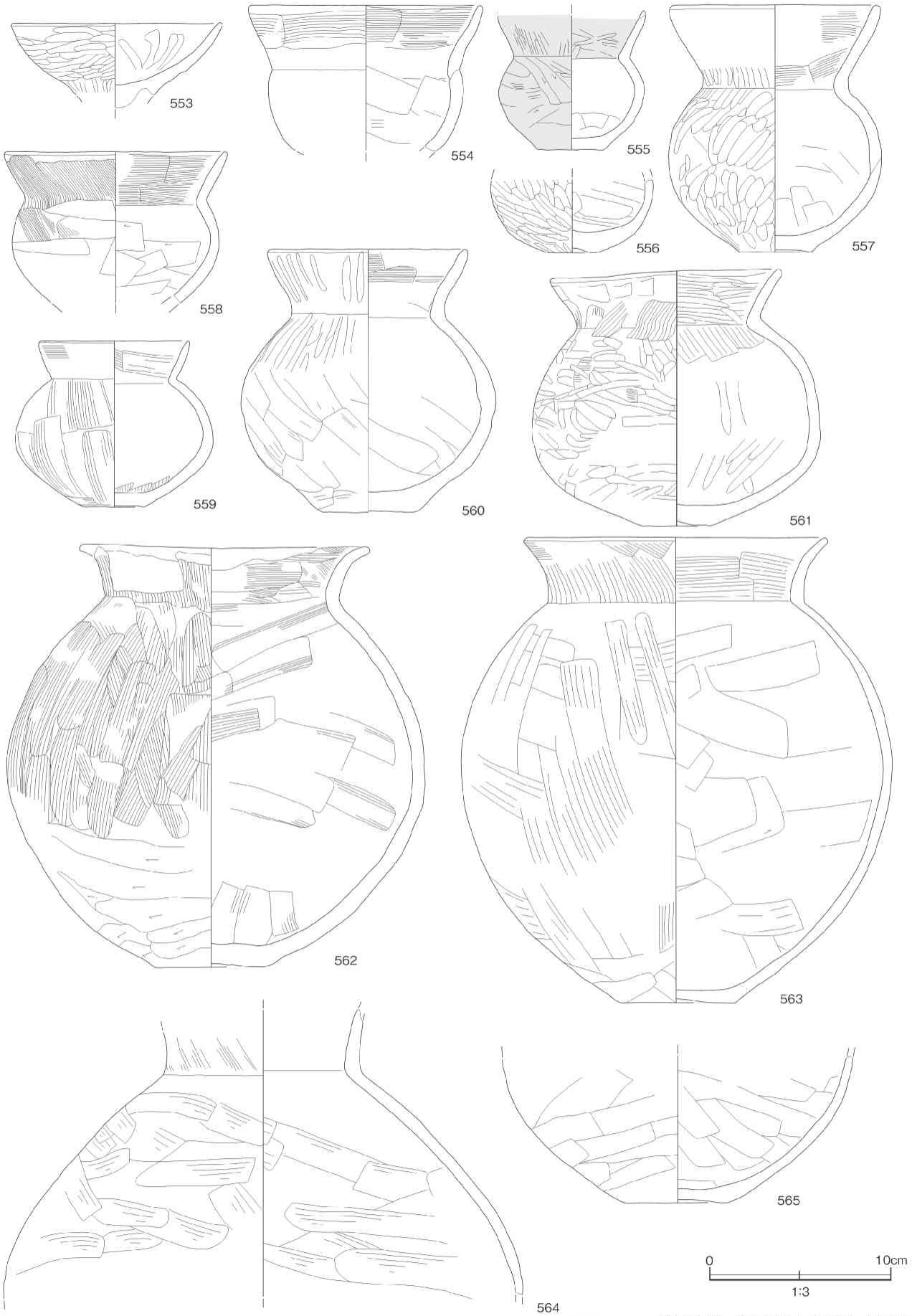
第 87 図　遺構内出土遺物 5（古墳）



第 88 図　SG1 出土遺物（古墳）

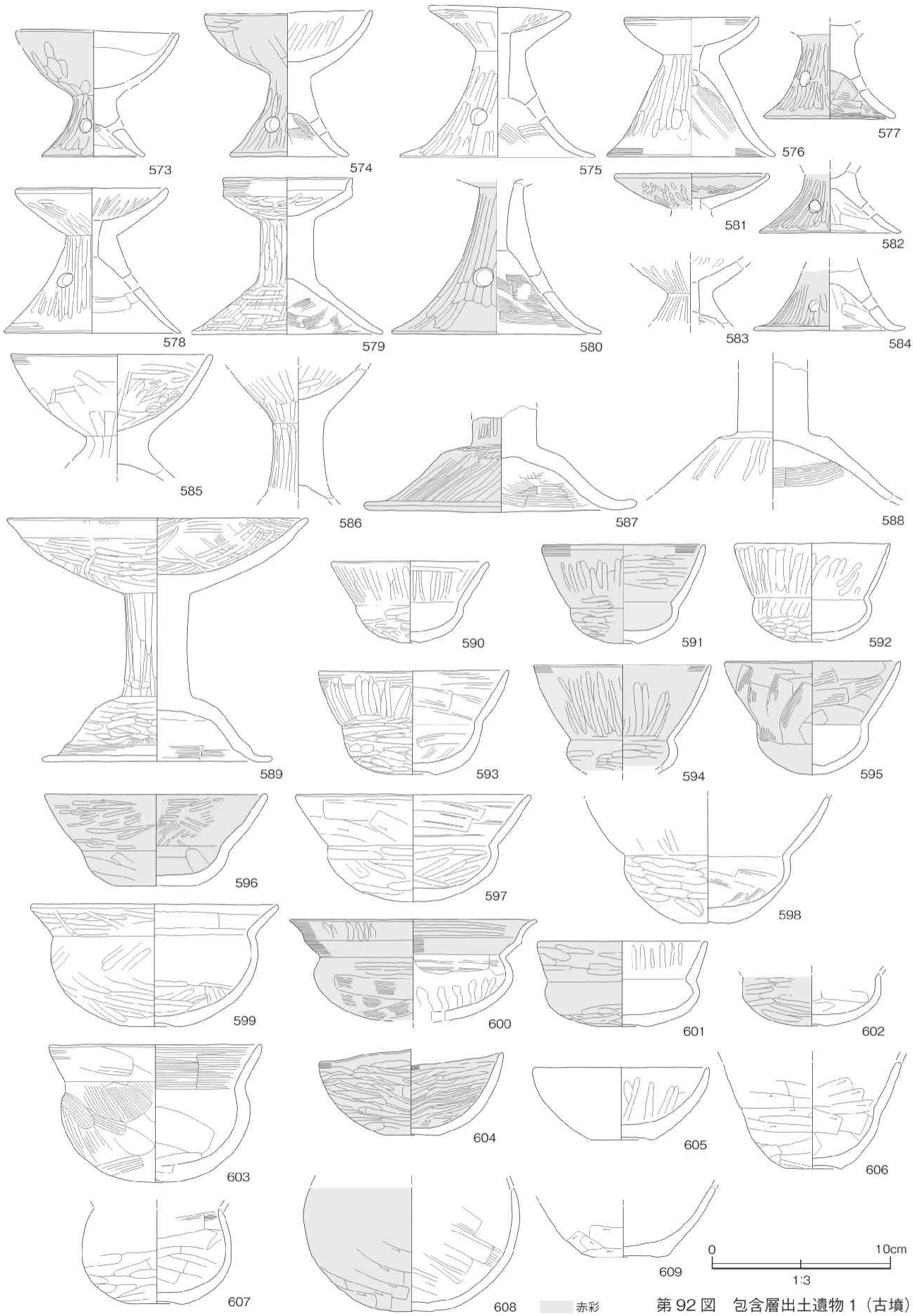


第 89 図　SG1・SG2 出土遺物（古墳）

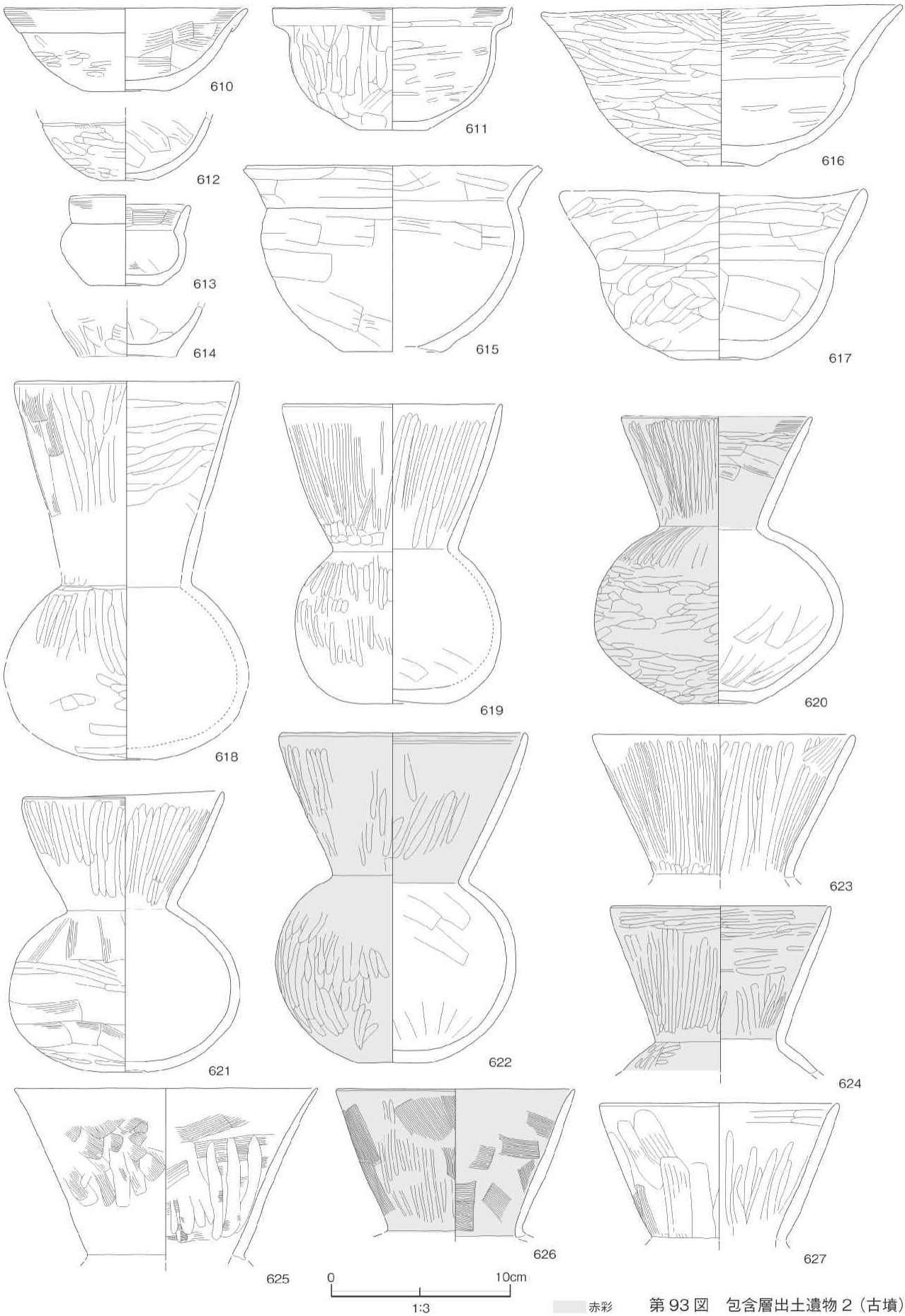


第 90 図　SG2 出土遺物 2（古墳）

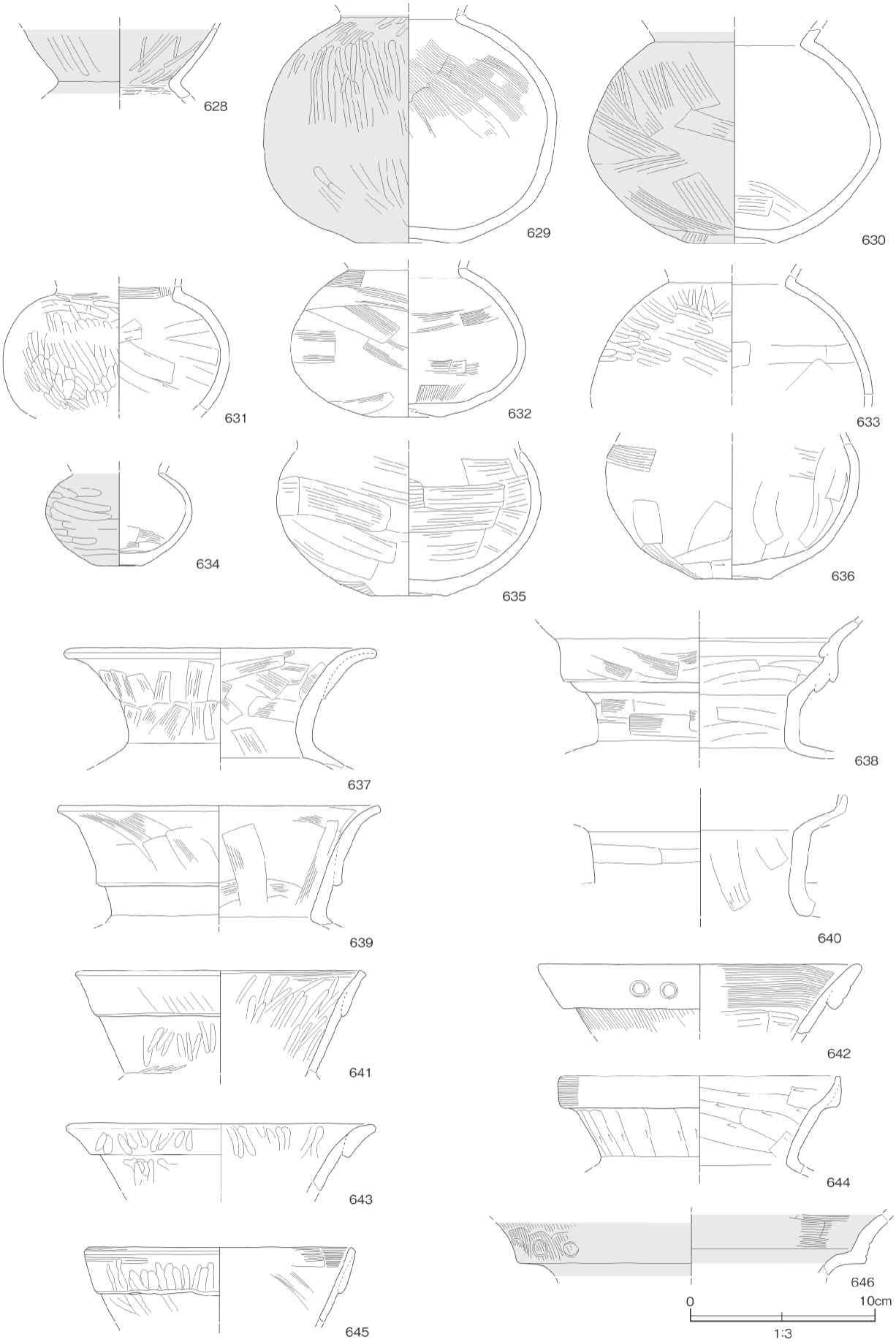
第 91 図　SG2 出土遺物 3（古墳）



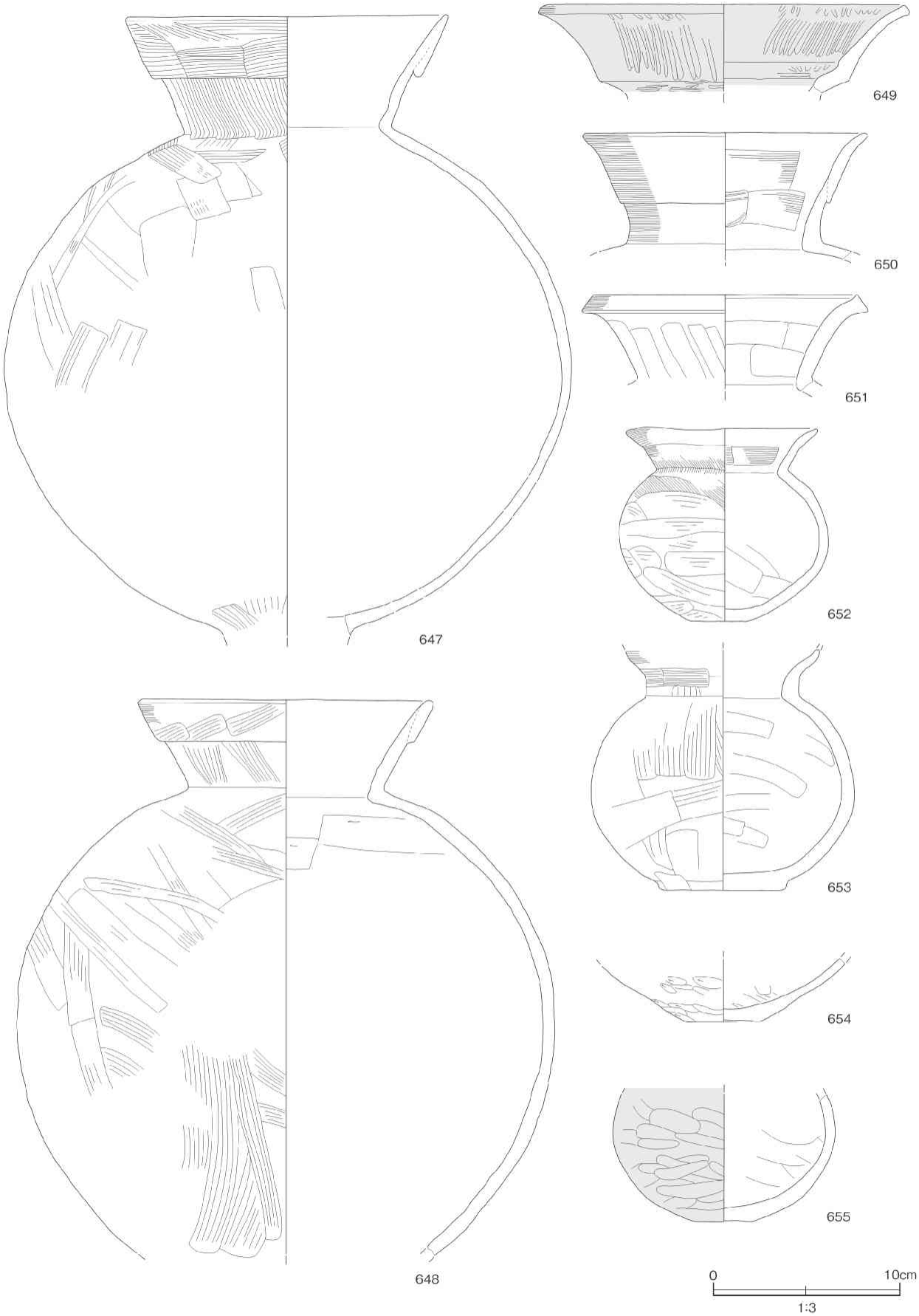
第 92 図　包含層出土遺物 1（古墳）



第 93 図　包含層出土遺物 2（古墳）

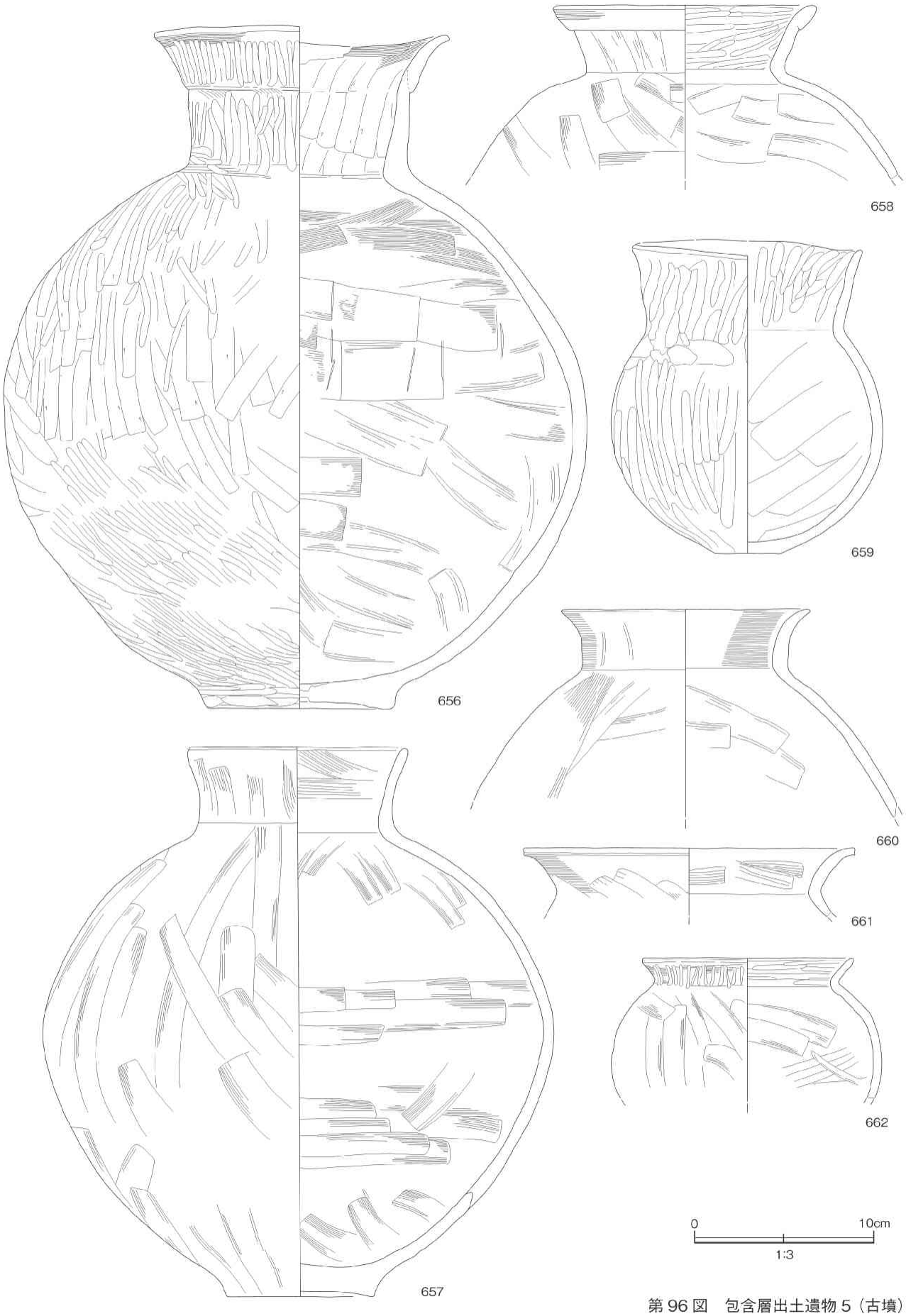


第 94 図　包含層出土遺物 3（古墳）

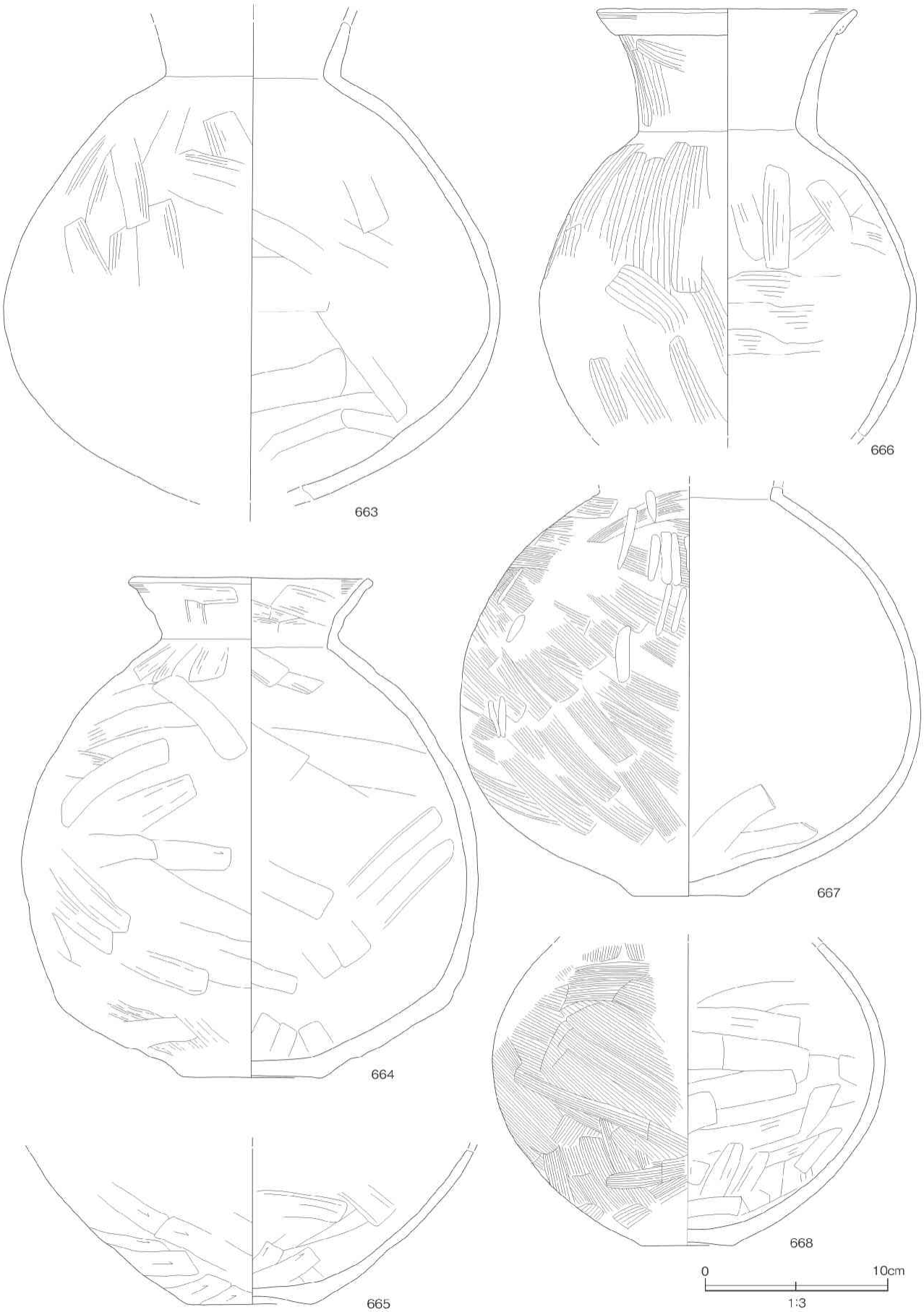


赤彩

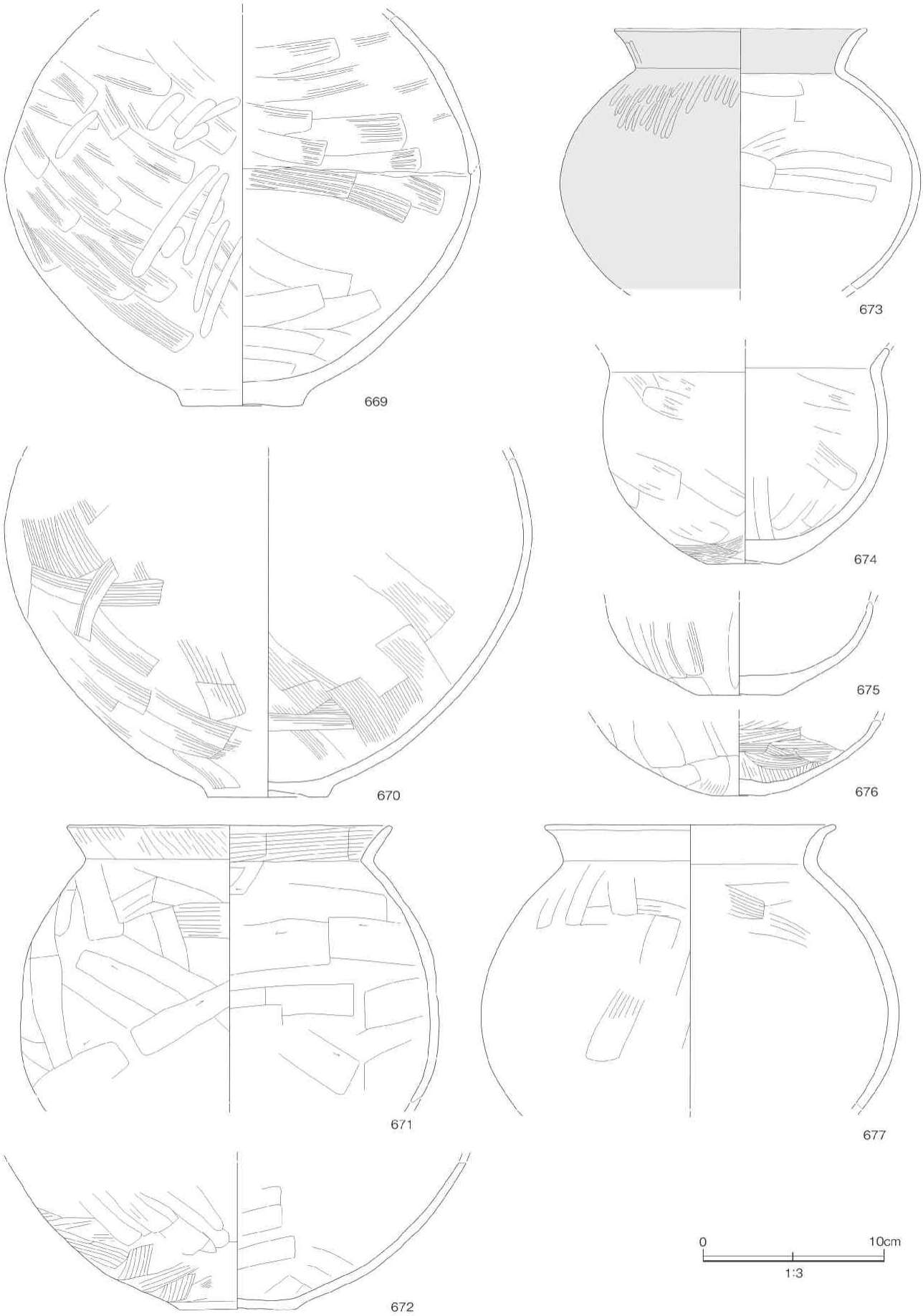
第 95 図　包含層出土遺物 3（古墳）



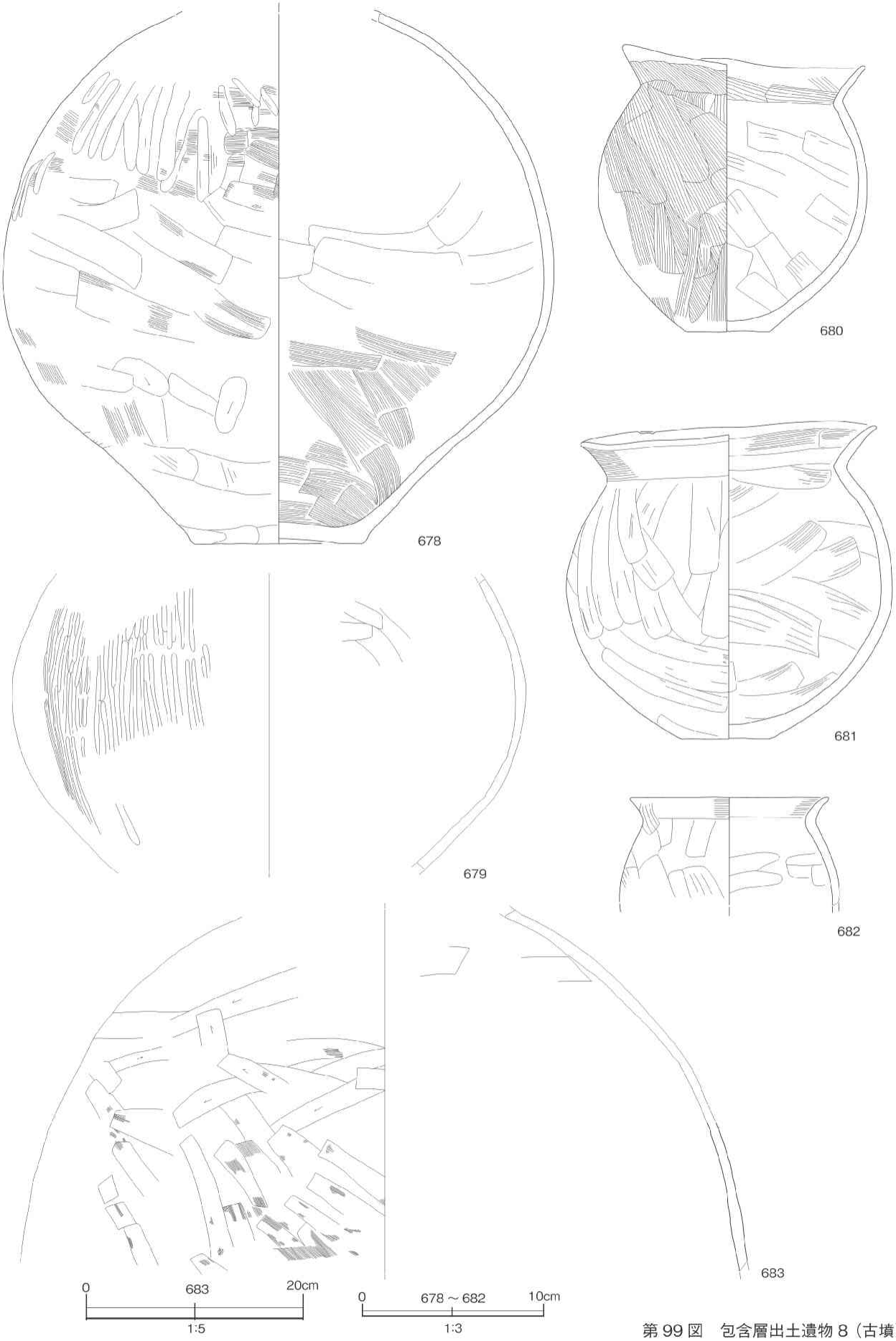
第 96 図　包含層出土遺物 5（古墳）



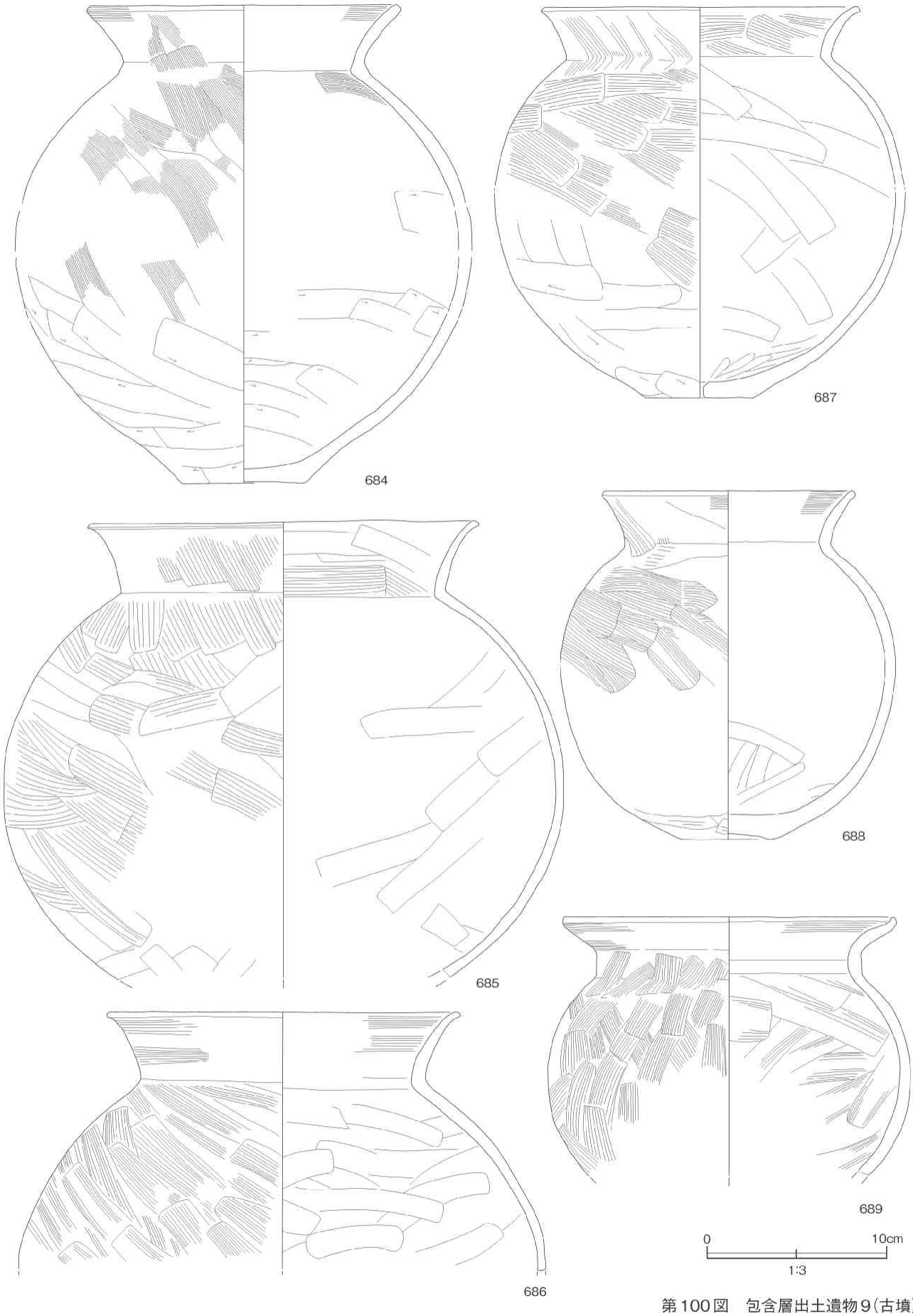
第 97 図　包含層出土遺物 6（古墳）



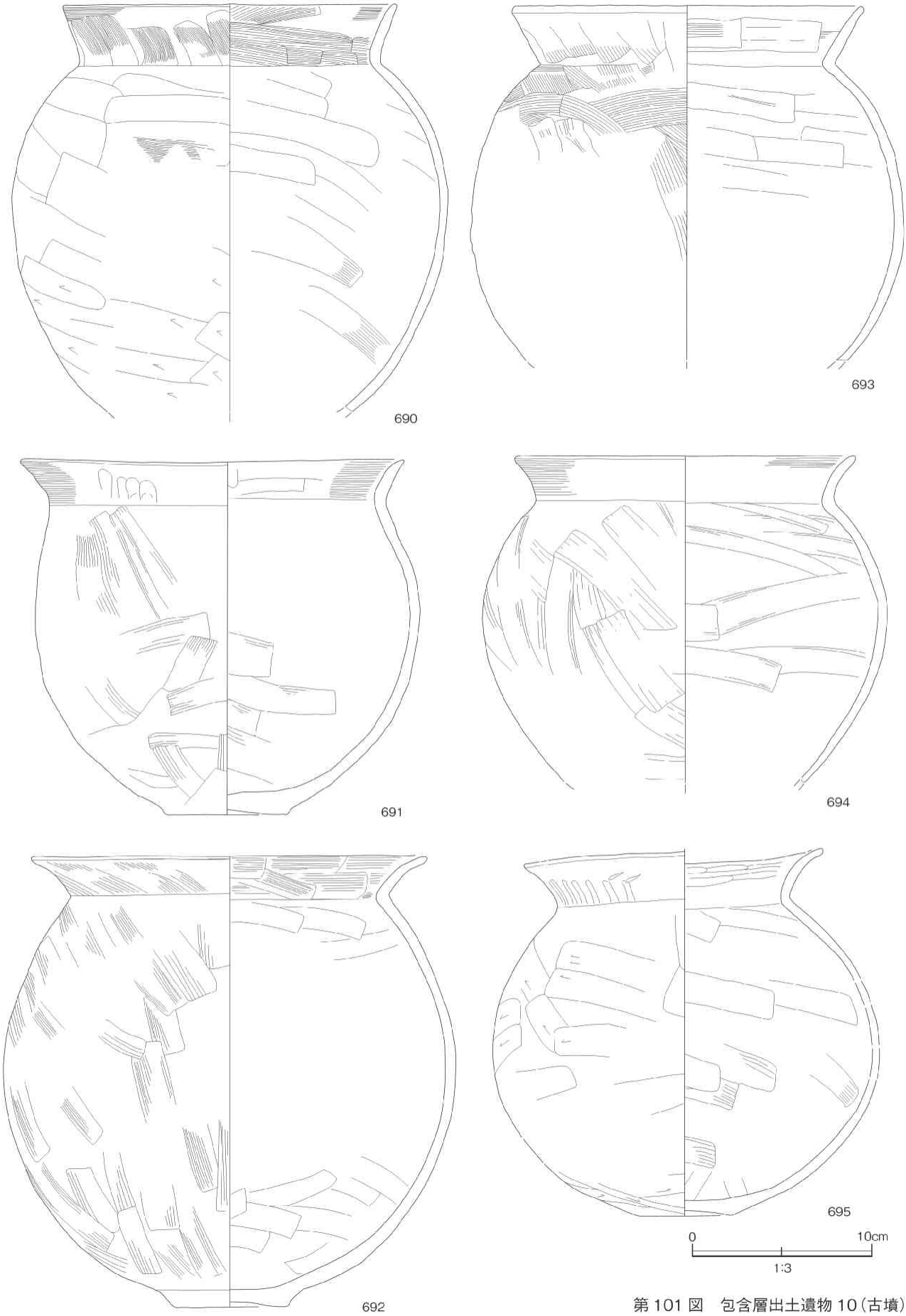
第 98 図　包含層出土遺物 7（古墳）



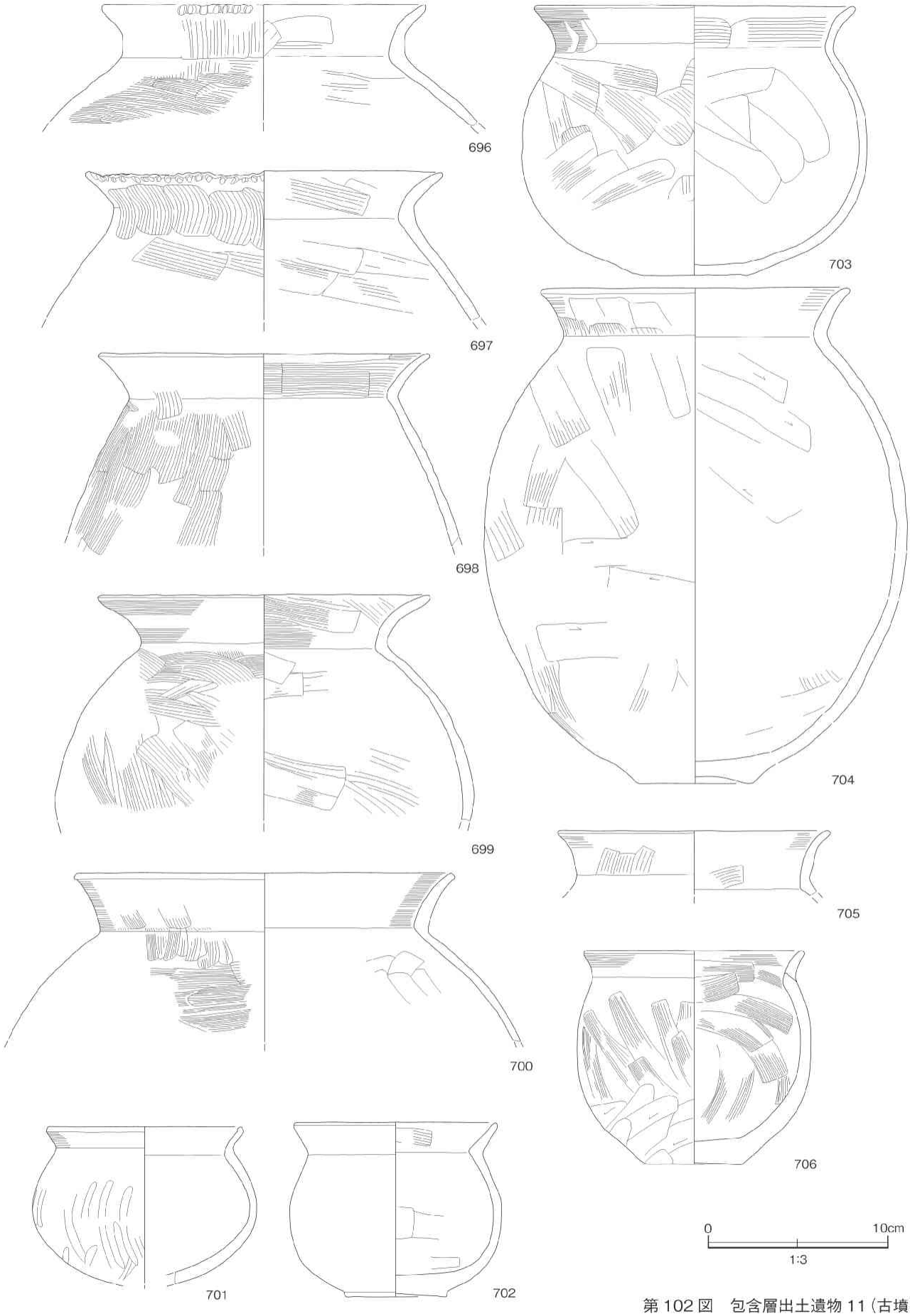
第 99 図　包含層出土遺物 8（古墳）



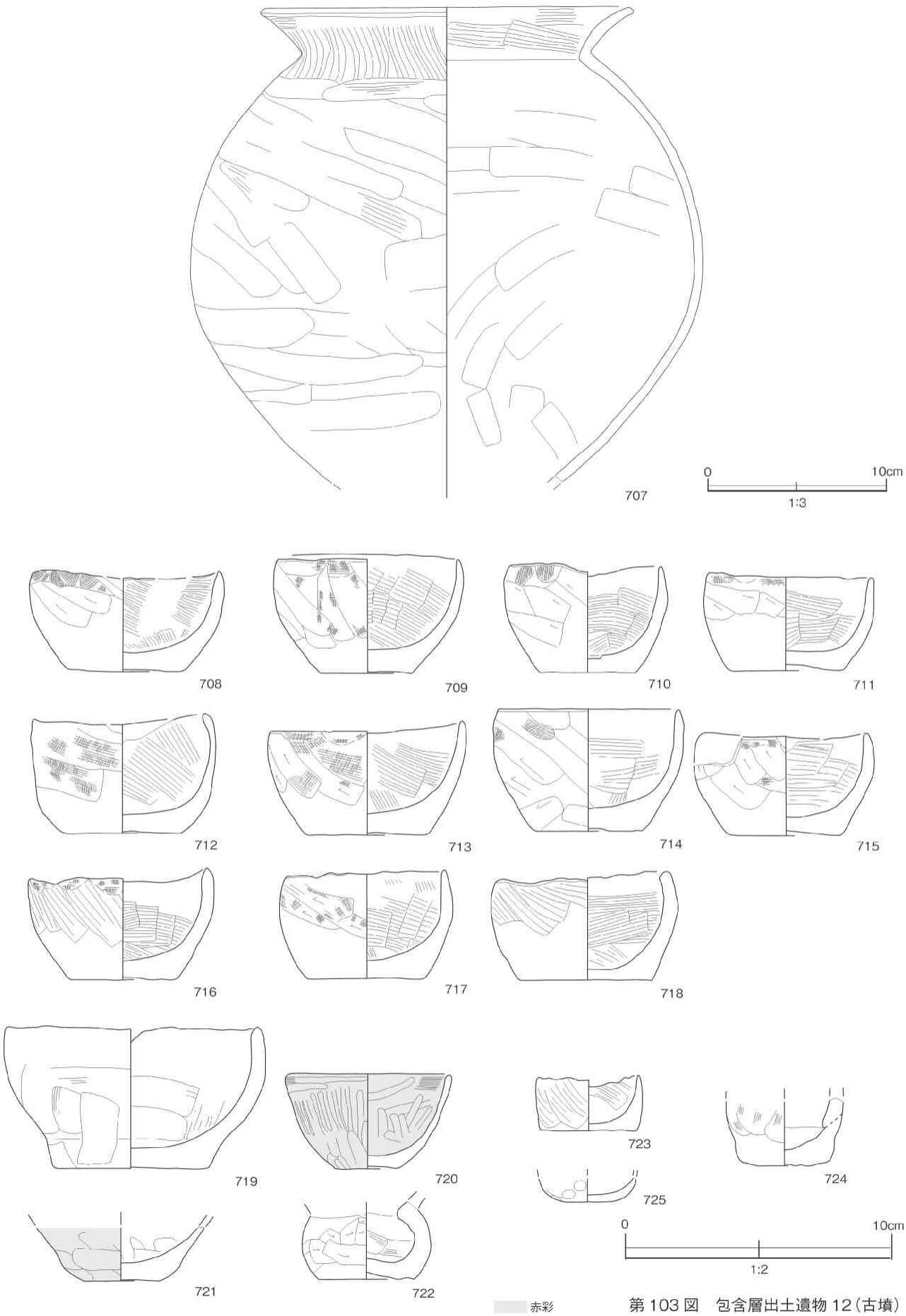
第100図　包含層出土遺物9(古墳)



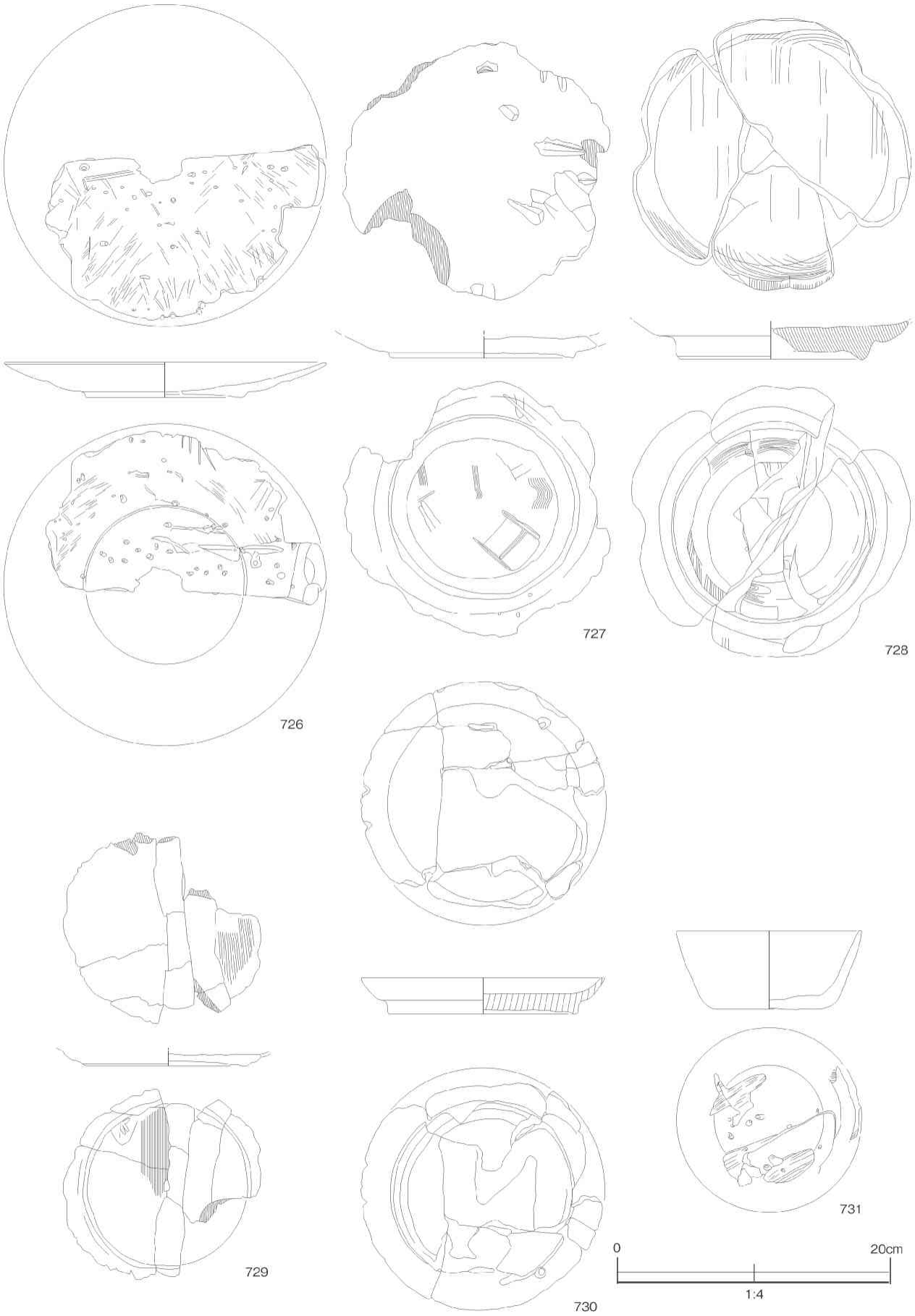
第 101 図　包含層出土遺物 10(古墳)



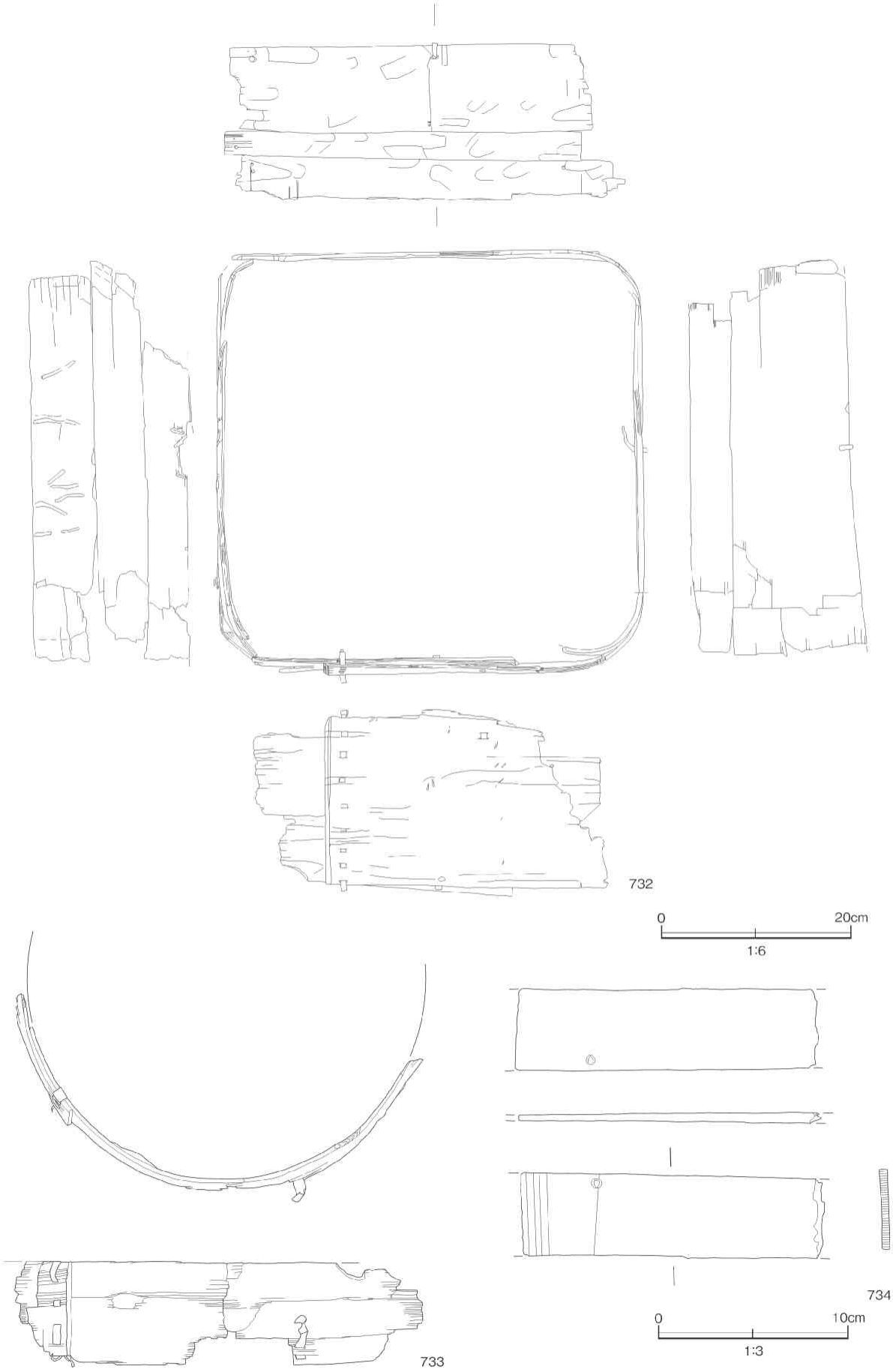
第 102 図　包含層出土遺物 11 (古墳)



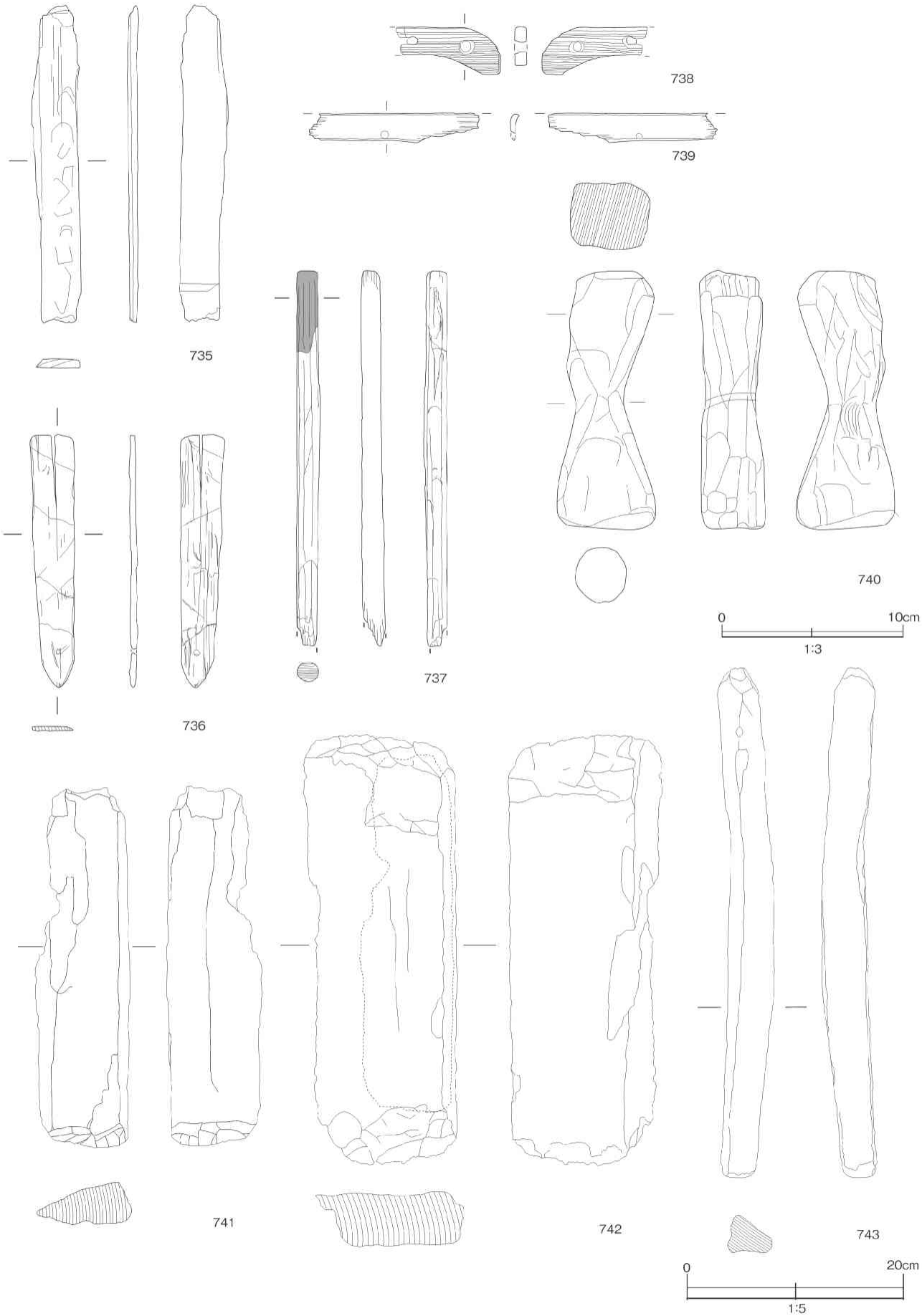
第 103 図　包含層出土遺物 12(古墳)



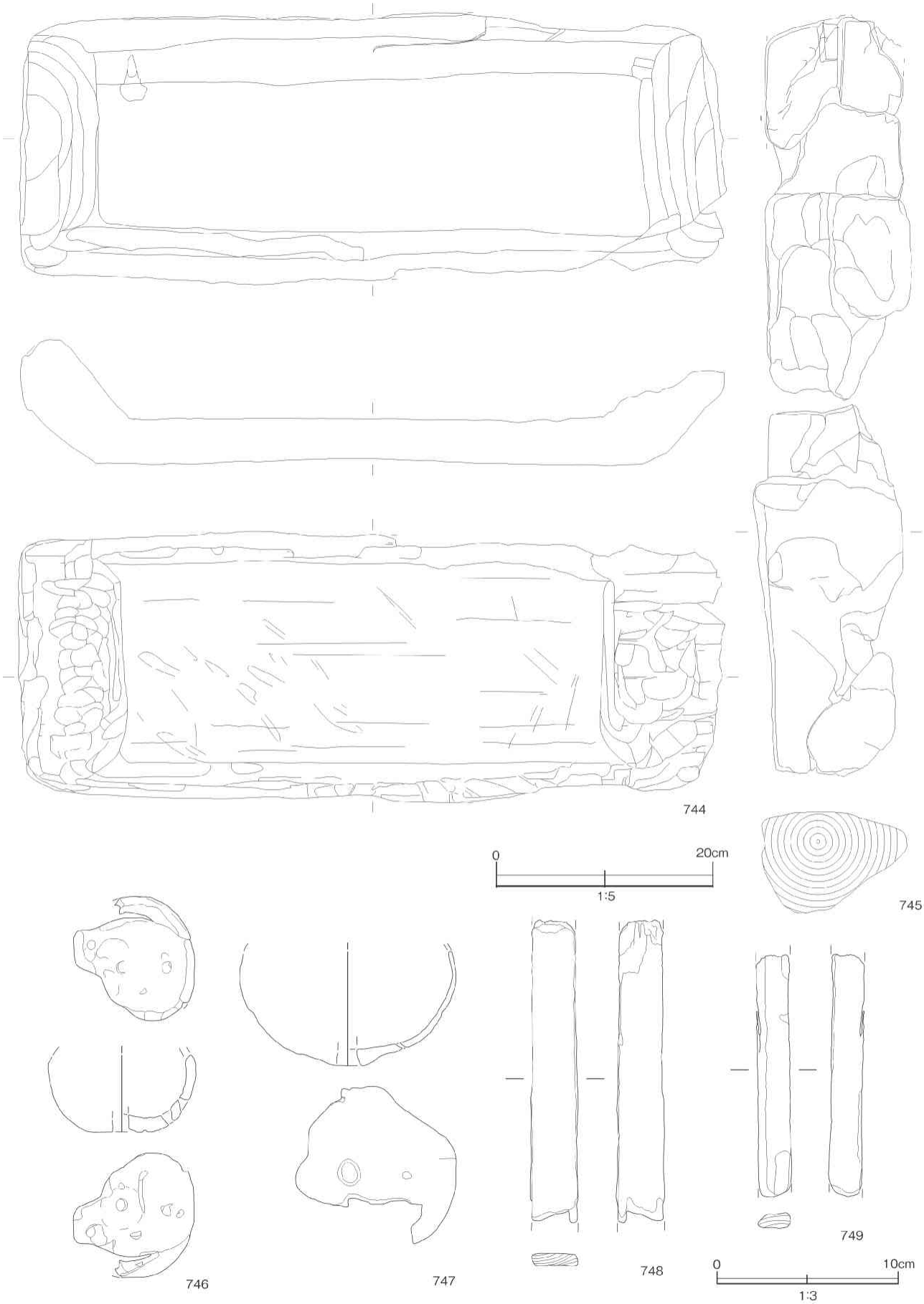
第 104 図　木製品 1



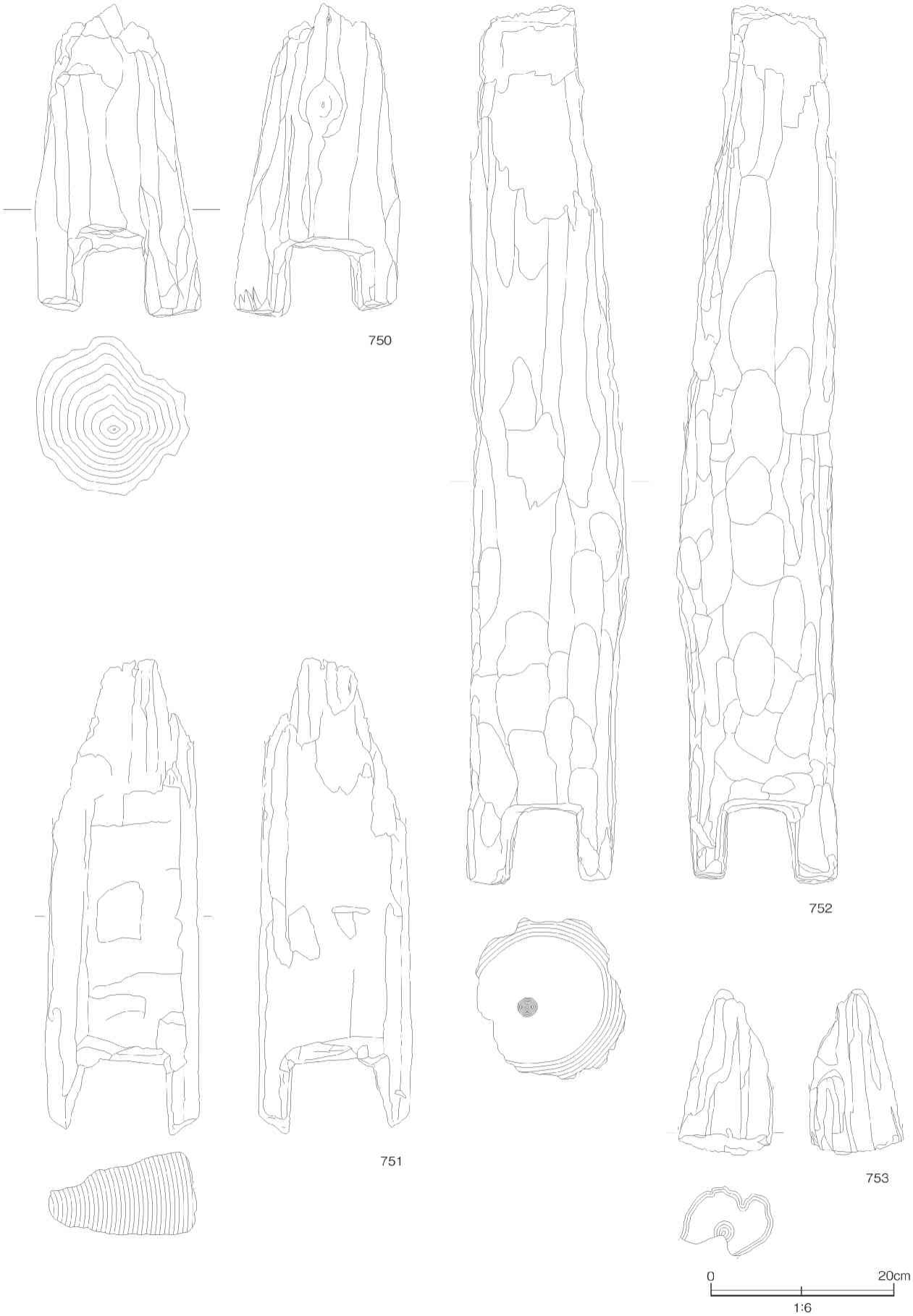
第 105 図　木製品 2



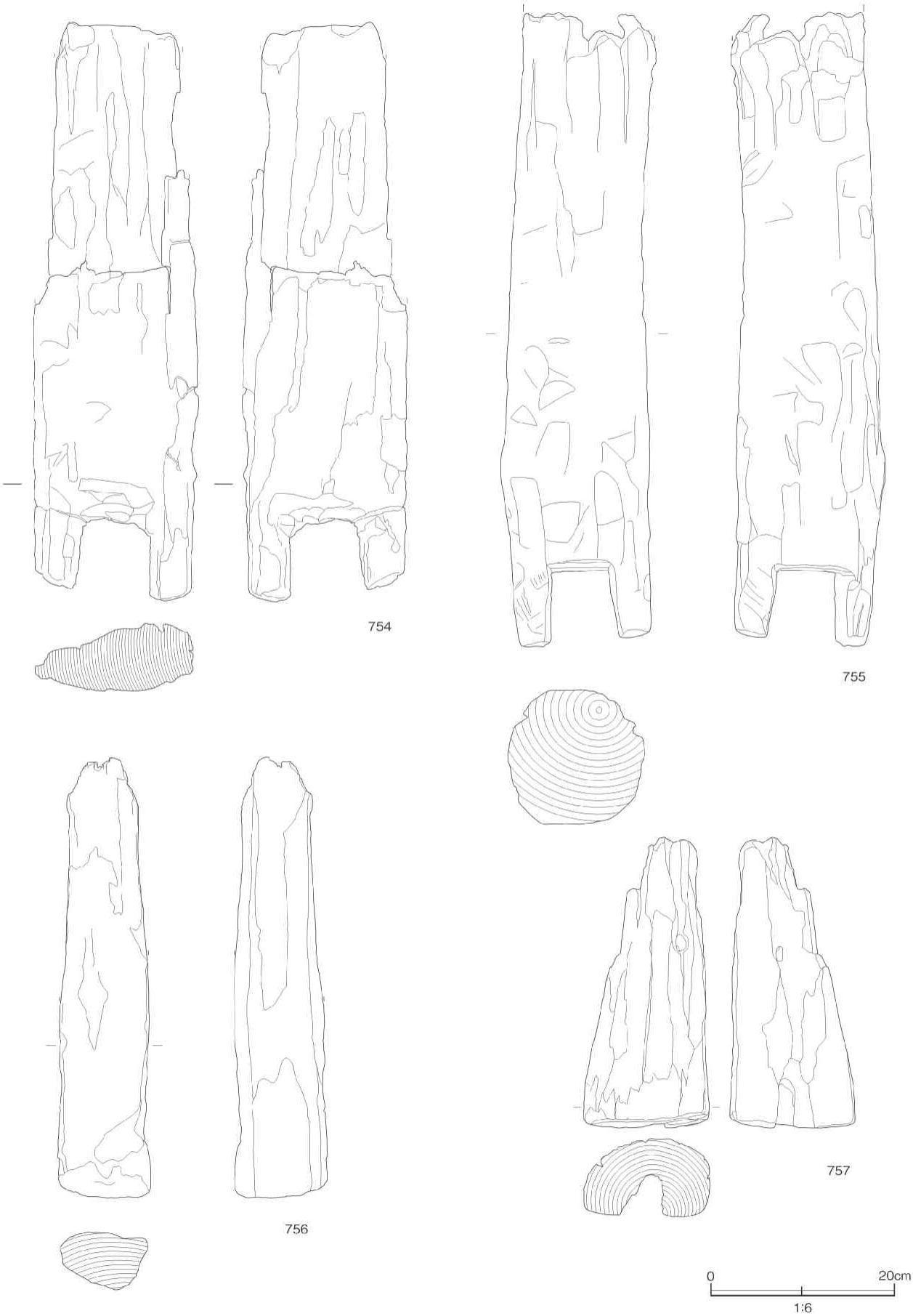
第 106 図　木製品 3



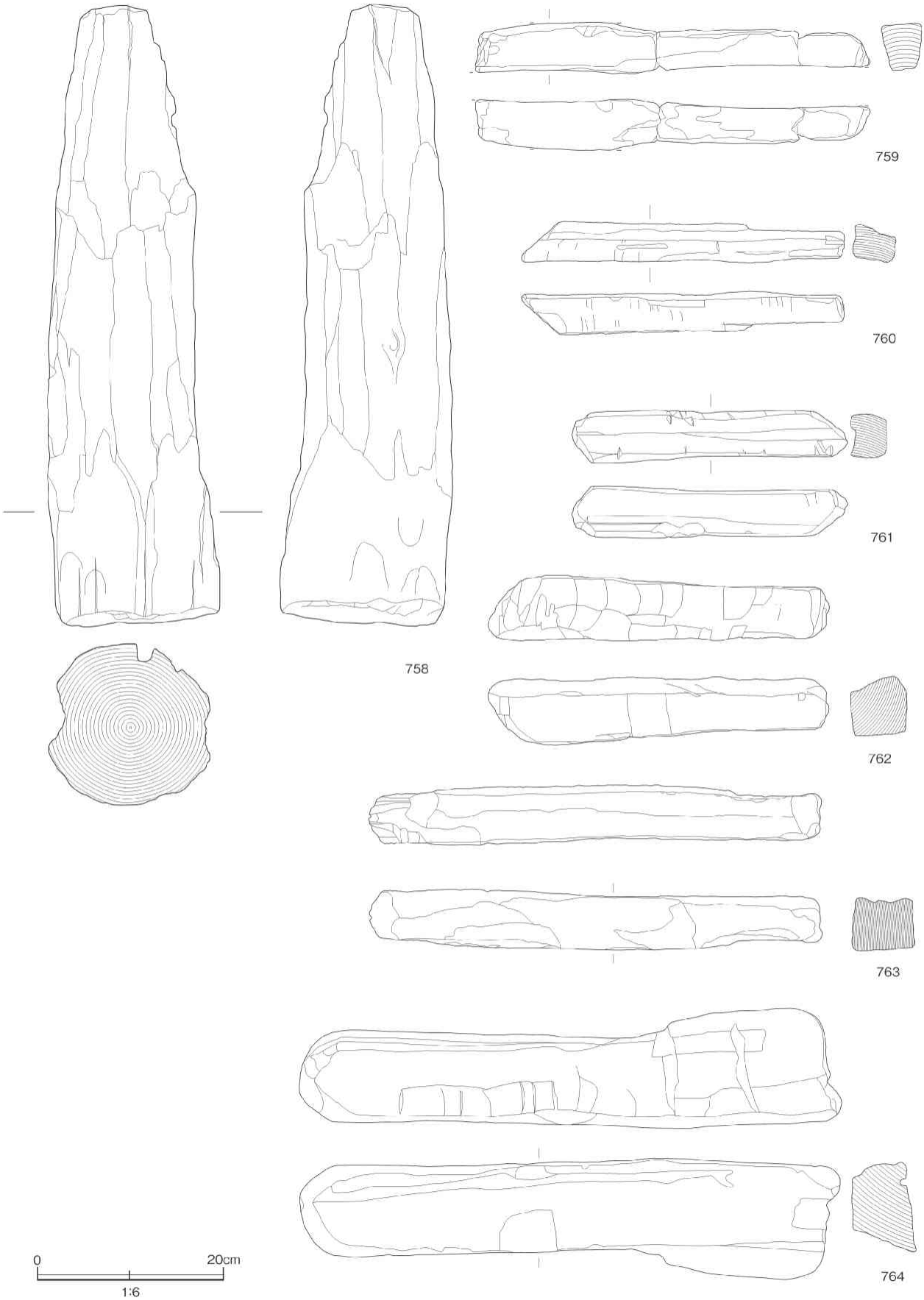
第 107 図　木製品 4



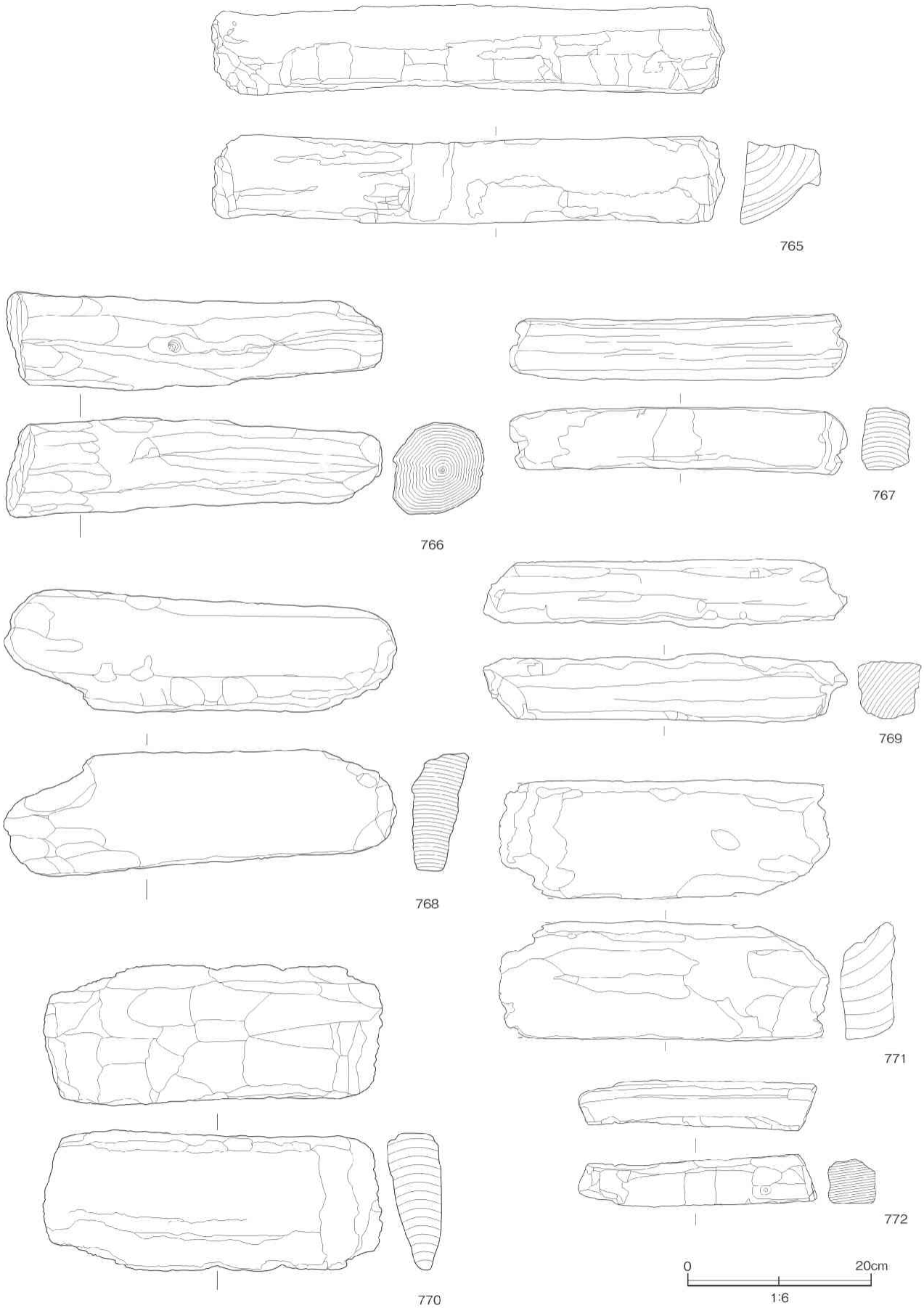
第 108 図　柱根 1



第 109 図　柱根 2



第 110 図　柱根 3・礎板 1



第 111 図　礎板 2

第 112 図　石器･砥石

表１　奈良・平安時代遺物観察表１

番号	登録番号	出土地点		器種	器形	口径	底径	器高	器厚	内面調整	外面調整	底部調整	胎土	焼成
1	RP566	ST14	50 - 80G	須恵器	蓋	(170)			4				細砂混	堅
2	RP838	ST14		須恵器	坏	(150)			5	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
3	RP177	ST14	50 - 90G	須恵器	壺		(70)		3	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅
4	RP821	ST14		土師器	甕	(148)			6	ナデ	ハケメ		粗砂混	堅
5	RP174	ST14	50 - 90G	土師器	甕				7				細砂混	軟
6	RP711	ST14	50 - 90G	土師器	甕				7	ハケメ	ハケメ		粗砂混	堅
7	RP176	ST14	50 - 90G	土師器	甕				5	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
8	RP183	ST15	90 - 80G	須恵器	有台坏	(148)	(80)	63	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
9	RP187	ST16		須恵器	甕				6	アテ痕・ハケメ	タタキ・ハケメ		細砂混	堅
10	RP340	ST16	80 - 50G	土師器	甕		42		9	ハケメ	ケズリ		細砂混	堅
11	RP376	ST17		須恵器	坏	(124)	74	31	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
12	RP378	ST17	80 - 40G	須恵器	坏	(136)	(74)	34	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	軟
13	RP833	ST17		須恵器	壺				4				緻密	堅
14	RP193	ST17	80 - 40G	須恵器	壺		(105)		8		カキメ		細砂混	堅
15	RP834	ST17		土師器	甕				7				細砂混	堅
16	RP192	ST17	80 - 40G	土師器	甕	(144)			5	ナデ	ハケメ		細砂混	堅
17	RP375	ST17	80 - 40G	土師器	壺				6	ナデ	ハケメ		粗砂混	堅
18	RP676	ST17	80 - 40G	土師器	甕				4	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
19	RP190	ST17		土師器	甕				5	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
20	RP257	ST19	50 - 70G	須恵器	坏	140	68	34	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	軟
21	RP259	ST19	50 - 70G	須恵器	鉢	(234)	(126)	164	7	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
22	RP334	ST80	70 - 60G	須恵器	有台坏		82		6	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
23	RP336	ST80	70 - 60G	須恵器	甕	(156)		(153)	8	ロクロナデ	ロクロナデ		粗砂混	堅
24	RP337	ST80	70 - 60	須恵器	甕	(150)		(192)	7	ロクロナデ	ロクロナデ		粗砂混	堅
25	RP347	SK53	80 - 30G	土師器	甕				5				細砂混	堅
26	RP350	SP76	70 - 40G	須恵器	甕				11	アテ痕・ハケメ	タタキ		細砂混	堅
27	RP171	SD13	60 - 80G	須恵器	坏	(130)	72	42	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
28	RP172	SD13	60 - 80G	須恵器	壺				6	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
29	RP820	SX156		須恵器	甕				10	ロクロナデ			細砂混	堅
30	RP836	SX155		須恵器	甕				9				細砂混	堅
31	RP115	ＳＧ２	25 - 80G	土師器	甕		64		7	ハケメ	ハケメ・ケズリ	もみ痕	細砂混	堅
32	RP425	SG1	70 - 80G	須恵器	蓋	146		34	5		ケズリ		粗砂混	堅
33	RP315	SG1	50 - 80G	須恵器	蓋	160		32	4	ロクロナデ	ロクロナデ		粗砂混	堅
34	RP438	SG1	70 - 80G	須恵器	蓋	(138)		24	8	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
35	RP609	SG1	50 - 80G	須恵器	蓋	(150)		37	5	ロクロナデ	ロクロナデ		粗砂混	堅
36	RP579	SG1	50 - 80G	須恵器	蓋	156		36	5				細砂混	堅
37	RP825	SG1	50 - 80G	須恵器	蓋	152			5	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
38	RP202	SG1	70 - 80G	須恵器	蓋	(147)			5	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
39	RP807	SG1	40 - 80G	須恵器	蓋	(148)			5	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
40	RP657	SG1	40 - 80G	須恵器	蓋	(150)			5	ロクロナデ	ロクロナデ		粗砂混	堅
41	RP827	SG1	42 - 78	須恵器	蓋	(154)			4	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
42	RP273	SG1		須恵器	蓋	(134)			5	ロクロナデ	ロクロナデ・ケズリ		細砂混	堅
43	RP206	SG1	70 - 80G	須恵器	蓋	(157)			5	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
44	RP302	SG1	50 - 80G	須恵器	蓋				9	ロクロナデ	ロクロナデ		粗砂混	堅
45	RP822	SG1	70 - 80G	須恵器	蓋				5	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
46	RP831	SG1	40 - 80G	須恵器	蓋				5	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
47	RP647	SG1	40 - 80G	須恵器	有台坏	103	60	56	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
48	RP11	SG1	25 - 80G	須恵器	有台坏	130			5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
49	RP358	SG1	70 - 70G	須恵器	有台坏	(140)	(80)	67	4	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
50	RP284	SG1	60 - 80G	須恵器	有台坏	156	80	76	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
51	RP221	SG1	70 - 70G	須恵器	有台坏	(138)	(80)	69	5	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
52	RP478	SG1	60 - 80G	須恵器	有台坏	150	(80)	53	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
53	RP745	SG1	66 - 70G	須恵器	有台坏	(132)	(102)	46	4	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
54	RP423	SG1	70 - 80G	須恵器	有台坏		64		4			回転ヘラ切り	粗砂混	堅
55	RP692	SG1	50 - 80G	須恵器	有台坏	132	76	42	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
56	RP539	SG1	60 - 80G	須恵器	有台坏	130	78	42	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
57	RP614	SG1	50 - 80G	須恵器	有台坏	(136)	(90)	45	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
58	RP418	SG1	70 - 80G	須恵器	双耳坏	113	64	49	5	ロクロナデ	ロクロナデ・ケズリ	回転糸切り	粗砂混	堅
59	RP638	SG1	50 - 80G	須恵器	双耳坏	110	34	50	4	ロクロナデ	ロクロナデ・ケズリ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅

奈良・平安時代遺物観察表２

番号	登録番号	出土地点		器種	器形	口径	底径	器高	器厚	内面調整	外面調整	底部調整	胎土	焼成
60	RP412	SG1	70 - 70G	須恵器	双耳坏	(110)	(72)	52	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
61	RP479	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	136	86	37	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
62	RP742	SG1	54 - 76G	須恵器	坏	(146)	(84)	41	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
63	RP646	SG1	66 - 70G	須恵器	坏	148	85	40	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
64	RP628	SG1	50 - 80G	須恵器	坏	(150)	(82)	41	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
65	RP562	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	144	82	37	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
66	RP656	SG1	40 - 80G	須恵器	坏	(136)	82	40	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
67		SG1	50 - 80G	須恵器	坏	135	80	33	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
68	RP538	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(135)	82	35	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
69	RP557	SG1	70 - 80G	須恵器	坏	137	81	35	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
70	RP744	SG1	66 - 70G	須恵器	坏	140	80	(38)	3	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
71	RP652	SG1	40 - 80G	須恵器	坏	(148)	90	41	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
72	RP726	SG1	42 - 73G	須恵器	坏	(138)	(76)	39	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
73	RP623	SG1	50 - 80G	須恵器	坏	(137)	(85)	35	3	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
74	RP298	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(144)	76	38	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
75	RP668	SG1	40 - 80G	須恵器	坏	138	80	34	3	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
76	RP473	SG1	50 - 80G	須恵器	坏	(152)	74	37	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
77	RP263	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(136)	(82)	35	6	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
78	RP292	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(140)	(70)	35	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
79	RP324	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(138)	(84)	36	3	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
80	RP504	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(135)	64	35	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
81	RP521	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	136	78	37	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
82	RP476	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(150)	(86)	31	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
83		３区中央		須恵器	坏	(132)	74	36	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
84	RP199	SG1	70 - 80G	須恵器	坏	(140)	72	38	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
85	RP573	SG1	50 - 80G	須恵器	坏	(136)	82	40	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅
86	RP416	SG1	70 - 70G	須恵器	坏	(142)	(84)	33	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
87	RP422	SG1	70 - 80G	須恵器	坏	142	86	30	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
88	RP279	SG1		須恵器	坏	138	76	34	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
89	RP435	SG1	70 - 80G	須恵器	坏	136	78	35	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
90	RP403	SG1	70 - 70G	須恵器	坏	(145)	77	42	3	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
91	RP603	SG1	50 - 80G	須恵器	坏	(140)	(72)	39	3	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
92	RP424	SG1	70 - 80G	須恵器	坏		95		5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
93	RP528	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(132)	(76)	33	4	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
94	RP455	SG1	70 - 80G	須恵器	坏	(134)	(70)	32	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
95	RP466	SG1	70 - 80G	須恵器	坏	(138)	(78)	32	3	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
96	RP276	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(140)	(86)	36	4	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
97	RP402	SG1	70 - 70G	須恵器	坏	(130)	(74)	31	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	細砂混	堅
98		SG1	70 - 70G	須恵器	坏	(146)	(84)	40	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転ヘラ切り	粗砂混	堅
99	RP470	SG1	70 - 80G	須恵器	坏	(140)	(90)	35	6	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切り	粗砂混	堅
100	RP572	SG1	50 - 80G	須恵器	坏	138	78	41	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
101	RP282	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(140)	64	37	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
102	RP354		70 - 70G	須恵器	坏	146	63	44	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	軟
103	RP738	SG1	48 - 78G	須恵器	坏	(152)	(86)	36	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
104	RP446	SG1	70 - 80G	須恵器	坏	(132)	74	36	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	粗砂混	堅
105	RP749	SG1	66 - 70G	須恵器	坏	(150)	(70)	38	3	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
106		SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(133)	64	35	3	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
107	RP439	SG1	70 - 80G	須恵器	坏	(146)		39	3	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
108		SG1	70 - 70G	須恵器	坏	(134)	56	47	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
109	RP3	SG1		須恵器	坏	(142)		38	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
110	RP396	SG1	70 - 80G	須恵器	坏	(140)	64	40	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
111	RP484	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(144)	78	41	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
112	RP14	SG1	25 - 80G	須恵器	坏	(125)	(64)	42	3	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
113	RP622	SG1	50 - 80G	土師器	坏	120	68	37	4	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	粗砂混	堅
114	RP507	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(140)			5	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
115	RP664	SG1	40 - 80G	須恵器	坏	160			4	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
116	RP17	SG1	25 - 80G	須恵器	坏	(170)			4	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
117	RP296	SG1	60 - 80G	須恵器	蓋	142		50	5	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
118	RP659	SG1	40 - 80G	須恵器	壺				10	ロクロナデ・カキメ	ロクロナデ		細砂混	堅

奈良・平安時代遺物観察表３

番号	登録番号	出土地点		器種	器形	口径	底径	器高	器厚	内面調整	外面調整	底部調整	胎土	焼成
119	RP266	SG1	60 - 80G	須恵器	壺	112			4	ロクロナデ	ロクロナデ		粗砂混	堅
120	RP450	SG1	70 - 80G	須恵器	壷				6	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
121	RP294	SG1	60 - 80G	須恵器	壺	(88)	66	96	6	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	粗砂混	堅
122	RP348	SD131	70 - 50G	須恵器	壺		65		7	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
123	RP12	SG1	25 - 80G	須恵器	壺		120		10	ハケメ・ナデ	ケズリ		粗砂混	堅
124	RP18	SG1	25 - 80G	須恵器	壺				6	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
125	RP392	SG1	70 - 80G	須恵器	壺	96			5	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
126	RP755	SG1	68 - 68G	須恵器	壺		82		8	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
127	RP835	SG1	60 - 60G	須恵器	壺		(115)		8				細砂混	堅
128	RP311	SG1	50 - 80G	須恵器	甕	(200)			7				細砂混	堅
129	RP832	SG1	60 - 80G	須恵器	甕	(218)			7	ロクロナデ	ロクロナデ		粗砂混	堅
130	RP494	SG1	60 - 80G	須恵器	甕	206			10	アテ痕	タタキ		粗砂混	堅
131	RP278	SG1	60 - 80G	須恵器	甕	(220)			4		カキメ		粗砂混	堅
132	RP599	SG1	50 - 80G	須恵器	甕				7	ハケメ	タタキ		細砂混	堅
133	RP819	３区東壁		須恵器	甕				7		櫛描波状文		細砂混	堅
134	RP661	SG1	40 - 80G	須恵器	甕				12	ナデ	ナデ		細砂混	堅
135	RP253	SG1	60 - 80G	須恵器	甕				7	体部　アテ痕	タタキ		細砂混	堅
136	RP526	SG1	60 - 80G	須恵器	甕				6	アテ痕	タタキ		細砂混	堅
137	RP635	SG1	50 - 80G	須恵器	甕				10	アテ痕	タタキ・カキメ		細砂混	堅
138	RP633	SG1	50 - 80G	須恵器	甕				9	アテ痕	タタキ・ナデ		細砂混	堅
139	RP534	SG1	60 - 80G	須恵器	甕				12	アテ痕	タタキ		細砂混	堅
140	RP417	SG1	70 - 80G	須恵器	甕				9	ナデ	タタキ		細砂混	堅
141	RP732	SG1	42 - 78G	須恵器	甕				6	アテ痕・磨消し	タタキ		細砂混	堅
142	RP641	SG1	50 - 80G	須恵器	甕				10		櫛描波状文		粗砂混	堅
143	RP658	SG1	60 - 80G	須恵器	甕				9	アテ痕	タタキ・カキメ		細砂混	堅
144	RP207	SG1	70 - 70G	須恵器	甕				10	アテ痕	タタキ		細砂混	堅
145	RP233	SG1	60 - 80G	須恵器	甕				14	アテ痕・ハケメ	タタキ		細砂混	堅
146	RP658	SG1	70 - 70G	須恵器	甕				8	アテ痕	タタキ・ハケメ		細砂混	堅
147	RP4	SG1	25 - 80G	須恵器	甕				7	アテ痕・ハケメ	タタキ		細砂混	堅
148	RP551	SG1	60 - 80	須恵器	甕		(98)		10	アテ痕	タタキ		細砂混	堅
149	RP648	SG1	40 - 80G	須恵器	鉢	(434)			10	ロクロナデ	ロクロナデ・カキメ		細砂混	堅
150	RP307	SG1	50 - 80G	須恵器	鉢	(222)			5	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
151	RP814	SG1	50 - 80G	須恵器	鉢				9	カキメ	カキメ		粗砂混	堅
152	RP477	SG1	60 - 80G	須恵器	壷				10	ロクロナデ	ロクロナデ		粗砂混	堅
153	RP818	SG1	90 - 30G	内黒土器	有台坏		(78)		6	ミガキ		ケズリ	細砂混	堅
154	RP209	SG1	70 - 70G	土師器	有台坏		72		6			回転糸切り	細砂混	軟
155	RP826	SG1	60 - 80G	内黒土器	有台坏		(82)		8	ミガキ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
156	RP618	SG1	50 - 80G	内黒土器	坏	(142)	(70)	63	5	ミガキ	ケズリ	回転糸切り	細砂混	堅
157	RP607	SG1	50 - 80G	内黒土器	坏	(160)	(74)	72	6	ミガキ	タテハケ・ケズリ	木葉痕	粗砂混	堅
158	RP575	SG1	70 - 80G	内黒土器	坏	136	70	37	6	ミガキ	ケズリ	回転糸切り	緻密	堅
159	RP419	SG1	70 - 80G	土師器	甕		76		6	ハケメ	ハケメ	木葉痕	細砂混	堅
160	RP736	SG1	48 - 80G	土師器	坏	(144)	(88)	58	6	ハケメ・ナデ	ハケメ・ナデ	木葉痕	細砂混	堅
161	RP286	SG1	60 - 80G	須恵器	坏	(134)	54	47	5	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	粗砂混	堅
162	RP829	SG1	70 - 80G	土師器	坏	(122)		46	3	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切り	細砂混	堅
163	RP564	SG1	50 - 80G	土師器	坏				4	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
164	RP815	SG1	70 - 70G	土師器	坏	(132)	(42)	46	4	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	堅
165	RP222	SG1	70 - 70G	土師器	坏	(134)			4	ロクロナデ	ロクロナデ		細砂混	軟
166	RP693	SG1	70 - 80G	土師器	ミニチュア	40	30	15	7		指頭痕		緻密	堅
167	RP223	SG1	70 - 80G	内黒土器	鉢	(190)	70	(115)	5	ミガキ	ミガキ	網代痕	緻密	堅
168	RP6	SG1	25 - 80G	土師器	甕	(111)			5	ナデ	ハケメ		粗砂混	堅
169	RP328	SG1	70 - 80G	土師器	壺		54		5	ナデ			細砂混	軟
170	RP816	SG1	60 - 80G	土師器	甕	(108)			5	ハケメ	ハケメ		粗砂混	堅
171	RP813	SG1	70 - 70G	土師器	甕				7				細砂混	堅
172	RP244	SG1	60 - 80G	土師器	甕				6	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
173	RP394	SG1	70 - 80G	土師器	甕				6	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
174	RP644	SG1	50 - 80G	土師器	甕	160	70	158	6	ハケメ	ハケメ	木葉痕	細砂混	堅
175	RP220	SG1	70 - 70G	土師器	甕	156	92	135	5	ハケメ	ハケメ	木葉痕	細砂混	堅
176	RP228	SG1	70 - 80G	土師器	甕	133	(69)	(119)	6	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
177	RP828	SG1	60 - 80G	土師器	甕	140			6	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅

奈良・平安時代遺物観察表４

番号	登録番号	出土地点		器種	器形	口径	底径	器高	器厚	内面調整	外面調整	底部調整	胎土	焼成
178	RP823	SG1	70 - 80G	土師器	甕	(140)			4		タテハケ		細砂混	堅
179	RP812	SG1	70 - 80G	土師器	甕	(160)			5	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
180	RP809	SG1	50 - 60G	土師器	甕		(88)		6	ハケメ	ハケメ	木葉痕	細砂混	堅
181	RP234	SG1	60 - 80G	土師器	甕		(86)		5	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
182	RP581	SG1	70 - 80G	土師器	甕	(242)		(204)	6	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
183	RP817	SG1	25 - 75G	土師器	甕	(218)			7	ハケメ	ハケメ		粗砂混	堅
184	RP824	SG1	60 - 80G	土師器	甕	(208)			6	ナデ	ナデ		細砂混	堅
185	RP1151	SG1	46 - 80G	土師器	甕	(222)			6	ナデ	ナデ		粗砂混	軟
186	RP527	SG1	60 - 80G	土師器	甕	(220)			5	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
187	RP258	SG1	70 - 80G	土師器	甕				5	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
188	RP830	SG1	60 - 80G	土師器	甕	(284)			5	ハケメ	ハケメ		粗砂混	堅
189	RP811	SG1	70 - 70G	土師器	甕				6	ハケメ	ハケメ		粗砂混	堅
190	RP407	SG1	70 - 70G	土師器	甕	(240)			6	ハケメ	ハケメ		粗砂混	堅
191	RP717	SG1	25 - 80G	土師器	甕				5	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
192	RP594	SG1	50 - 80G	土師器	甕				5	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
193	RP502	SG1	70 - 80G	土師器	甕				5	ハケメ	ハケメ		細砂混	堅
194	RP629	SG1	50 - 80G	土師器	甕		(94)		5	ハケメ	ハケメ	木葉痕	細砂混	堅
195	RP837	SG1	50 - 80G	土師器	甕		84		5	ナデ	ハケメ	木葉痕	細砂混	堅
196	RP288	SG1	60 - 80G	土師器	甕		90		7	ナデ	ハケメ		粗砂混	堅
197	RP277	SG1	60 - 80G	土師器	甕		88		9	ハケメ	ハケメ	木葉痕	細砂混	堅
198	RP810	SG1	70 - 70G	土師器	甕		65		5	ハケメ	ハケメ	木葉痕	粗砂混	堅
199	RP449	SG1	70 - 80G	土師器	甕		76		6	ハケメ	ハケメ	木葉痕	粗砂混	堅
200	RP240	SG1	60 - 80G	土師器	甕		80		6	ナデ	ハケメ	網代痕	粗砂混	堅
201	RP395	SG1	70 - 80G	土師器	甕		(76)		7	ハケメ	ハケメ	木葉痕	細砂混	堅
202	RP731	SG1	42 - 78G	土師器	甕		84		7	ミガキ	ハケメ	板状圧混	細砂混	堅
203	RP487	SG1	70 - 80G	土師器	甕		90				ハケメ		粗砂混	堅
204	RP205	SG1	70 - 70G	灰釉陶器	碗	176	72	52	4	ロクロナデ	ロクロナデ		緻密	堅

表２　墨書土器・転用硯観察表１

番号	登録番号	出土地点	層位	器種	器形	口径	底径	器高	器厚	底部調整	胎土	焼成	釈文・備考
205	RP293	SG1	F4	須恵器	坏	144	80	35	7	回転糸切り	細砂混	堅	「依」
206	RP769	SG2	F5Y	須恵器	坏		66		4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「依」
207	RP281	SG1	F3	須恵器	坏	134	74	38	5	回転糸切り	細砂混	堅	「井ヵ」
208	RP219	SG1	F4	須恵器	坏	130	54	49	5	回転糸切り	細砂混	堅	「右又は九ヵ」
209	RP615	SG1	F5	須恵器	坏	142	76	48	4	回転糸切り	粗砂混	堅	「下」
210	RP685	SG1	F5	須恵器	壺		82	30	7	回転糸切り	細砂混	堅	「下」
211	RP771	SG1	F5Y	須恵器	蓋				8		細砂混	堅	「下」
212	RP489	SG1	F5Y	須恵器	坏	146	78	32	3	回転ヘラ切り・ナデ	粗砂混	堅	「下馳」
213	RP391	SG1	F5	須恵器	坏	(130)			4		細砂混	堅	「下」
214	RP271	SG1	F5Y	須恵器	坏	144	80	34	4	回転糸切り	細砂混	堅	「下馳」「百毛」
215	RP444	SG1	F5	須恵器	坏	133	64	38	3	回転糸切り	細砂混	堅	「吉」「」
216	RP610	SG1	F5	須恵器	坏	144	80	35	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「刑」
217	RP666	SG1	F5	須恵器	有台坏		(88)		6	回転糸切り・ナデ	細砂混	堅	「型」
218	RP800	SG1		須恵器	坏		58		4	回転糸切り	緻密	堅	「古」
219	RP463	SG1	F5	須恵器	有台坏		87		6	回転糸切り	細砂混	堅	「公」
220	RP803	SG1	F5Y	須恵器	坏		(90)		5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「三」
221	RP637	SG1	F3	須恵器	坏	146	(76)	37	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「三」
222	RP675	SG1	F5	須恵器	坏	(144)	(84)	35	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「三」
223	RP747	SG1	F5Y	須恵器	坏	142	84	35	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「若」
224	RP786	SG1	F3	須恵器	蓋				4		細砂混	堅	「守」
225	RP464	SG1	F5	須恵器	坏		82		4	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅	「守」
226	RP518	SG1	F5	須恵器	坏		66		5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
227	RP229	SG1	F3	須恵器	坏	150	93	36	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
228	RP671	SG1	F5	須恵器	坏	(140)	74	39	4	回転ヘラ切り	緻密	堅	「守」
229	RP774	３区中央		須恵器	坏				4	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	「守」
230	RP406	SG1	F5	須恵器	坏		(80)		3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
231	RP785	SG1	F4	須恵器	坏		80		4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
232	RP783	SG1	F4	須恵器	坏				7	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
233	RP805	SG1	F5	須恵器	坏		(64)		4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」

墨書土器・転用硯観察表２

番号	登録番号	出土地点	層位	器種	器形	口径	底径	器高	器厚	底部調整	胎土	焼成	釈文・備考
234	RP554	SG1	F5	須恵器	坏	(136)	86	34	4	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	「守」
235	RP583	SG1	F5	須恵器	坏	140	78	35	4	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅	「守」
236	RP251	SG1	F3	須恵器	坏	(136)	(82)	35	3	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅	「守」
237	RP608	SG1	F5	須恵器	坏	142	78	36	3	回転ヘラ切り・ナデ	粗砂混	堅	「守」
238	RP616	SG1	F5	須恵器	坏	139	88	35	4	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅	「守」
239	RP448	SG1	F5	須恵器	坏	144	70	30	3	回転糸切り	細砂混	堅	「守」
240	RP201	SG1	F4	須恵器	坏	140	80	36	4	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	「守」
241	RP544	SG1	F5	須恵器	坏		78		3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
242	RP325	SG1	F4	須恵器	坏		(84)		4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
243	RP773	SG1	F2	須恵器	坏		(56)		3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
244	RP775	SG1	F3	須恵器	坏		(90)		5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
245	RP776	SG1	F4	須恵器	坏	(140)	(70)		4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
246	RP297	SG1	F5	須恵器	坏	142	88	35	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
247	RP303	SG1	F3	須恵器	坏	128	76	29	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
248	RP318	SG1	F3	須恵器	坏	151	77	33	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
249	RP320	SG1	F4	須恵器	坏	146	76	37	3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
250	RP556	SG1	F5	須恵器	坏	148	74	40	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
251	RP540	SG1	F5	須恵器	坏	(140)	90	35	3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
252	RP338	SG1		須恵器	坏	139	72	35	3	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	「守」
253	RP357	SG1	F5	須恵器	坏	141	68	37	4	回転糸切り	細砂混	堅	「守」
254	RP402	SG1	F5	須恵器	坏	(148)	70	37	5	回転糸切り	細砂	堅	「守」
255	RP310	SG1	F4	須恵器	坏	150	(78)	39	3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
256	RP405	SG1	F5	須恵器	坏	(146)	(82)	36	4	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅	「守」
257	RP429	SG1	F5	須恵器	坏	(134)	(72)	39	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
258	RP215	SG1	F3	須恵器	坏	(141)	76	34	4	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	「守」
259	RP309	SG1	F4	須恵器	坏	(140)	61	47	5	回転糸切り	細砂混	堅	「守」
260	RP613	SG1	F5	須恵器	坏	(136)	(82)	34	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
261	RP596	SG1	F5Y	須恵器	坏	132	80	30	6	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
262	RP600	SG1	F5Y	須恵器	坏	152	80	33	5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
263	RP630	SG1	F5	須恵器	坏	151	84	45	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
264	RP620	SG1	F5	須恵器	坏	135	74	38	4	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	「守」
265	RP254	SG1	F4	須恵器	坏	142	72	44	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
266	RP305	SG1	F3	須恵器	坏	(138)	66	35	4	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	「守」
267	RP453	SG1	F5	須恵器	坏	(142)	(86)	36	5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
268	RP414	SG1	F5	須恵器	坏		(80)		3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
269	RP784	SG1	F5	須恵器	坏		(90)		5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」
270	RP564	SG1	F5	須恵器	坏	(140)	74	39	4	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	「守」「土」「成」「□」
271	RP519	SG1	F5	須恵器	坏	(140)	90	37	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守」「万人」
272	RP491	SG1	F5Y	須恵器	坏	138	80	39	6	回転糸切り	細砂混	堅	「守」
273	RP531	SG1	F5	須恵器	坏	139	64	38	4	回転糸切り	細砂混	堅	「守」
274	RP308	SG1	F3	須恵器	坏	(136)	60	37	4	回転糸切り	細砂混	堅	「守ヵ」
275	RP490	SG1	F5	須恵器	坏		58		4	回転糸切り	細砂混	堅	「守」
276	RP508	SG1	F5	須恵器	坏	130	78	40	5	回転糸切り	細砂混	堅	「丈」
277	RP586	SG1	F5	須恵器	坏	(130)	66	33	4	回転糸切り	緻密	堅	「守ヵ」
278	RP442	SG1	F5	須恵器	坏	132	(80)	34	3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「守ヵ」
279	RP204	SG1	F4	須恵器	坏	136	80	33	5	回転糸切り	細砂混	堅	「真」
280	RP306	SG1	F3	須恵器	坏	148	70	35	4	回転糸切り	細砂混	堅	「真」
281	RP655	SG1	F5	須恵器	坏	(138)	(80)	35	5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「生」
282	RP604	SG1	F5	須恵器	坏	136	76	31	5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「生」
283	RP511	SG1	F5	須恵器	坏	(136)	78	33	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「生」
284	RP577	SG1	F5	須恵器	坏	(142)	(64)	44	5	回転糸切り	緻密	堅	「生」
285	RP612	SG1	F5	須恵器	坏		80		4	回転糸切り	細砂混	堅	「真」「真」「」「」ヘラ記号
286	RP496	SG1	F5	須恵器	坏	(146)	62	39	4	回転糸切り	細砂混	堅	「人」
287	RP632	SG1	F5	須恵器	坏	(143)	72	42	4	回転糸切り	細砂混	堅	「千」
288	RP523	SG1	F5	須恵器	坏	144	84	36	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「石三」
289	RP356	SG1	F5	須恵器	坏	136	80	37	5	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅	「西ヵ」
290	RP248	SG1	F4	須恵器	坏	(146)	(80)	30	5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「前」
291	RP441	SG1	F5	須恵器	坏	144	74	33	4	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	「前」
292	RP326	SG1	F4	須恵器	坏	146	90	37	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「善」

墨書土器・転用硯観察表３

番号	登録番号	出土地点	層位	器種	器形	口径	底径	器高	器厚	底部調整	胎土	焼成	釈文・備考
293	RP391	SG1	F5Y	須恵器	蓋	(146)		29	6		細砂混	堅	「足」
294	RP433	SG1	F5	須恵器	蓋	(140)			4		粗砂混	堅	「足」
295	RP432	SG1	F5	須恵器	坏	138	62	37	4	回転糸切り	緻密	堅	「足」
296	RP770	XO		須恵器	有台坏		42	22	5	回転糸切り	緻密	堅	「足」
297	RP430	SG1	F5	須恵器	有台坏	(140)	78	73	5	回転糸切り	細砂混	堅	「足」
298	RP256	SG1	F5	須恵器	有台坏	(144)	78	77	4	回転糸切り	緻密	堅	「大」
299	RP279	SG1	F5	須恵器	坏	(120)	74	28	3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「大」
300	RP319	SG1	F5	須恵器	坏	(134)	66	35	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「大」
301	RP510	SG1	F5	須恵器	坏	136	70	37	5	回転ヘラ切り	緻密	堅	「大」
302	RP570	SG1	F5	須恵器	坏		(80)		3	静止糸切り	細砂混	堅	「大」「□」
303	RP208	SG1	F4	須恵器	坏		78		4	回転ヘラ切り・ナデ	粗砂混	堅	「大」「万」
304	RP808	SG1	F3	須恵器	蓋				7		細砂混	堅	「中」
305	RP520	SG1	F5	須恵器	坏	(128)	56	37	4	回転糸切り	細砂混	堅	「鳥・人」
306	RP467	SG1	F5	須恵器	坏		62		5	回転糸切り	細砂混	堅	「土」
307	RP264	SG1	F3	須恵器	坏	142	72	35	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「得ヵ」
308	RP359	SG1	F5	須恵器	坏	150	66	42	4	回転糸切り	緻密	堅	「百」
309	RP768		表採	須恵器	坏		64		5	回転糸切り	緻密	堅	「百常」
310	RP217	SG1	F3	須恵器	坏		(70)		3	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅	「冨」
311	RP426	SG1	F5	須恵器	坏	(145)	(86)	36	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「冨」
312	RP290	SG1	F4	須恵器	坏	140	66	36	5	回転ヘラ切り・ケズリ	細砂混	堅	「冨」
313	RP536	SG1	F5	須恵器	坏	144	84	33	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「冨」
314	RP595	SG1	F5	須恵器	坏	138	80	34	5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「冨」
315	RP437	SG1	F5	須恵器	坏		80		3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「冨」
316	RP247	SG1	F4	須恵器	坏		80		5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「冨・守」
317	RP401	SG1	F5	須恵器	坏	135	64	35	4	回転糸切り	細砂混	堅	「並ヵ」 転用硯
318	RP304	SG1	F5	須恵器	坏	142	72		3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「万」
319	RP457	SG1	F5	須恵器	坏	137	74	34	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「万」
320	RP801	SG1	F5	須恵器	坏		(74)		6	回転ヘラ切り	緻密	堅	「万」
321	RP404	SG1	F5	須恵器	坏		78		3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「万人」
322	RP772	SG1	F3	須恵器	坏		78			回転ヘラ切り	細砂混	堅	「万人」
323	RP289	SG1	F4	須恵器	坏	144	68	32	5	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	「万人」
324	RP619	SG1	F5	須恵器	坏	140	86	37	4	回転ヘラ切り・ケズリ	細砂混	堅	「万人」 転用硯
325	RP312	SG1	F4	須恵器	坏		86		4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「万人・守」
326	RP639	SG1	F5	須恵器	有台坏	136	87	46	4	回転糸切り	粗砂混	堅	「万利」
327	RP213	SG1	F3	須恵器	有台坏		76		5	回転糸切り	細砂混	堅	「万利」
328	RP272	SG1	F4	須恵器	坏	144	70	39	4	回転糸切り	細砂混	堅	「万利」
329	RP781	SG1	F2	須恵器	坏		(66)		4	回転糸切り	細砂混	堅	「万利」
330	RP582	SG1	F5	須恵器	坏	142	66	39	4	回転糸切り	細砂混	堅	「万利」
331	ＲＰ１	SG1	F	須恵器	坏	136	54	38	4	回転糸切り	細砂混	堅	「野・八」 灯明皿
332	RP252	SG1	F3	須恵器	坏	(144)			4		緻密	堅	「立長」
333	RP601	SG1	F5Y	須恵器	蓋				7		細砂混	堅	「林」
334	RP688	SG1	F5	須恵器	坏		(82)		4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「本」
335	RP691	SG1	F5	須恵器	坏	(140)	(80)	48	5	回転糸切り	細砂混	堅	「林ヵ」 漆付着
336	RP565	SG1	F5	須恵器	坏	134	78	37	4	回転糸切り・ケズリ	細砂混	堅	側面「下」「下」底部「□」
337	RP626	SG1	F5	須恵器	坏	(150)	(84)	40	6	回転糸切り	粗砂混	堅	「○に丈」
338	RP327	SG1	F4	須恵器	坏	136	70	44	5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「○」
339	RP400	SG1	F5	須恵器	双耳坏	103	52	53	5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	「　」「　」「王」転用硯
340	RP439	SG1	Ｆ５	須恵器	蓋	(147)			4		細砂混	堅	文字不明
341	RP553	SG1	F5	須恵器	有台坏	(156)	94	63	5	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅	文字不明
342	RP5	SG1	F7	須恵器	有台坏	(136)	80	75	5	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
343	RP788	SG1	F5	須恵器	有台坏	(132)	(76)	42	4	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
344	RP791	SG1	F5	須恵器	有台坏	(126)	(70)	45	4	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
345	RP452	SG1	F5	須恵器	有台坏	122	76	48	4	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
346	RP443	SG1	F5	須恵器	有台坏	(123)	(78)		7	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
347	RP313	SG1	F4	須恵器	有台坏		(78)		6	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明　転用硯
348	RP779	SG1	F5	須恵器	有台坏		(80)		5	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明　転用硯
349	RP227	SG1	Ｆ３	須恵器	坏	104	56	33	3	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
350	RP166	SD13		須恵器	坏		(76)		6	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
351	RP214	SG1	F3	須恵器	坏	138	54	42	4	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
352	RP301	SG1	F3	須恵器	坏	(140)	66	39	4	回転糸切り	緻密	堅	文字不明

墨書土器・転用硯観察表４

番号	登録番号	出土地点	層位	器種	器形	口径	底径	器高	器厚	底部調整	胎土	焼成	釈文・備考
353	RP660	SG1	F5	須恵器	坏	140	70	42	5	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
354	RP289	SG1	F3	須恵器	坏	136	70	35	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
355	RP304	SG1	F5	須恵器	坏	140	66	40	4	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
356	RP605	SG1	F5	須恵器	坏	140	80	32	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
357	RP360	SG1	F5	須恵器	坏		78		4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
358	RP492	SG1	F5	須恵器	坏	140	68	32	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
359	RP757	SG1	F5Y	須恵器	坏	(138)	(80)	37	5	回転ヘラ切り・ケズリ	細砂混	堅	文字不明
360	RP778	SG1	F5Y	須恵器	坏		(72)		4	回転ヘラ切り	細砂混	軟	文字不明
361	RP459	SG1	F5	須恵器	坏	(118)	(64)	31	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
362	RP790	SG1		須恵器	坏	140	(74)	36	6	回転ヘラ切り	緻密	堅	文字不明
363	RP719	SG1		須恵器	坏	(148)		38	5	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
364	RP472	SG1	F5	須恵器	坏	139	56	44	4	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
365	RP560	SG1	F5	須恵器	坏	132	74	34	4	回転ヘラ切り・ケズリ	細砂混	堅	文字不明
366	RP640	SG1	F5	須恵器	坏	136	72	32	4	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅	文字不明
367	RP767	SG1		須恵器	坏	146	74	34	6	回転ヘラ切り・ケズリ	細砂混	堅	文字不明
368	RP420	SG1	F5	須恵器	坏		88		5	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅	文字不明
369	RP599	SG1	F5Y	須恵器	坏	(142)	(70)	33	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
370	RP10	SG1	F5	須恵器	坏	130	62	39	4	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
371	RP588	SG1	F5	須恵器	坏	132	66	34	5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
372	RP798	SG1	V	須恵器	坏		(70)		5	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
373	RP793	SG1	F5Y	須恵器	坏		(46)		3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
374	RP397	SG1	F5	須恵器	坏	138	66	33	4	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅	文字不明
375	RP524	SG1	F5	須恵器	坏	140	78	36	5	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
376	RP621	SG1	F5	須恵器	坏	133	54	38	5	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
377	RP682	SG1	F3	須恵器	坏	(134)	86	23	3	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	文字不明
378	RP617	SG1	F5	須恵器	坏	(150)	(84)	37	5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
379	RP733	SG1	F5Y	須恵器	坏	(136)	(90)	33	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
380	RP615	SG1	F5Y	須恵器	坏		(84)		6	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
381	RP634	SG1	F5	須恵器	坏	(120)	70		4	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅	文字不明
382	RP792	南壁 tr		須恵器	坏		(100)		4		細砂混	堅	文字不明
383	RP529	SG1	F3	須恵器	坏		(74)		4	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	文字不明
384	RP787	SG1	F3	須恵器	坏		(80)		4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
385	RP780	SG1	F4	須恵器	坏		(50)		4	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
386	RP796	SG1	F3	須恵器	坏				3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
387	RP806	SG1	F5	須恵器	坏	(122)			3		粗砂混	堅	文字不明
388	RP789	SG1	F3	須恵器	坏		(84)		6	回転ヘラ切り・ナデ	緻密	堅	文字不明
389	RP795	表土南辺		須恵器	坏		(72)		9	回転糸切り	粗砂混	堅	文字不明
390	RP799	SG1	F5Y	須恵器	坏		(100)		4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
391	RP804	SG1	F5Y	須恵器	坏		(69)		3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
392	RP488	SG1	F5	須恵器	坏		52		5	回転糸切り	緻密	堅	文字不明
393	RP777	中央区南		須恵器	坏		55		5	回転糸切り	細砂混	堅	文字不明
394	RP802	XO		須恵器	坏				5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	文字不明
395	RP797	SG1	F5Y	須恵器	皿		(100)		5	回転ヘラ切り・ナデ	細砂混	堅	文字不明
396	RP650	SG1	F5	土師器	坏	116	58	42	6	回転糸切り	細砂混	軟	文字不明
397	RP506	SG1	F5	須恵器	蓋				7		緻密	堅	転用硯
398	RP643	SG1	F5	須恵器	有台坏		88		5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	転用硯
399	RP408	SG1	F5	須恵器	有台坏	(148)	82	89	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	転用硯
400	RP756	SG1	F5Y	須恵器	有台坏	136	84	46	6	回転糸切り	細砂混	堅	転用硯
401	RP13	SG1	F5	須恵器	有台坏	139	86	38	5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	転用硯
402	RP237	SG1	F3	須恵器	有台坏		88		5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	転用硯
403	RP268	SG1	F3	須恵器	坏	146	90	32	3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	転用硯　ヘラ記号「一」
404	RP300	SG1	F3	須恵器	坏	(131)	67	34	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	転用硯
405	RP794	3 区南	表土	須恵器	有台坏	(114)	70		4	回転糸切り	細砂混	堅	転用硯
406	RP243	SG1	F4	須恵器	有台坏		84	15	6	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	転用硯
407	RP285	SG1	F3	須恵器	坏		80		3	回転ヘラ切り	細砂混	堅	転用硯
408	RP690	SG1	F5	須恵器	坏	(140)	(72)	37	5	回転ヘラ切り	細砂混	堅	転用硯
409	RP512	SG1	F5	須恵器	坏		(70)		5	回転ヘラ切り	粗砂混	堅	転用硯
410	RP445	SG1	F5	須恵器	坏	(132)	(72)	41	4	回転糸切り	粗砂混	堅	転用硯
411	RP500	SG1	F5	須恵器	坏	136	68	36	4	回転糸切り	細砂混	堅	転用硯
412	RP552	SG1	F5	須恵器	坏	(144)	88	35	4	回転ヘラ切り	細砂混	堅	転用硯

表３　古墳時代遺物観察表１

番号	登録番号	出土地点	器種	器形	口径	底経	器高	器厚	内面調整	外面調整	胎土	焼成	備考
413	ＲＰ 1442	ＳＴ 242　EP326	土師器	器台	(120)			4	ミガキ	ミガキ・ハケメ	緻密	堅	
414	ＲＰ 1533	ＳＴ 242　EP326	土師器	高坏	180			5	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
415	ＲＰ 1425	ＳＴ 242	土師器	高坏	(180)			5	ミガキ	ミガキ・ヘラナデ	緻密	堅	赤彩
416	ＲＰ 1537	ＳＴ 242　EP326	土師器	壺	(133)			4	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
417	ＲＰ 1376	ＳＴ 242　58-90 G	土師器	小型丸底鉢	(100)			4	ミガキ・ハケメ	ミガキ	細砂混	堅	
418	ＲＰ 1536	ＳＴ 242　EP326	土師器	小型丸底鉢	(130)			5	ミガキ	ミガキ	細砂混	堅	
419	ＲＰ 1435	ＳＴ 242　58-94 G	土師器	甕	(120)			7	ハケメ	ミガキ	緻密	堅	
420	ＲＰ 1420	ＳＴ 242　56-92 G	土師器	甕		(60)		5	ヘラナデ	ヘラナデ	緻密	堅	
421	ＲＰ 1424	ＳＴ 242　58-90 G	土師器	甕	(200)			5	ハケメ・ナデ		細砂混	堅	
422	ＲＰ 1433	ＳＴ 242　58-92 G	土師器	壺	(192)			8	ハケメ・ナデ	ハケメ・ナデ	粗砂混	堅	
423	ＲＰ 1532	ＳＴ 242　EP326	土師器	甕	(200)			4	ナデ	ハケメ	緻密	堅	刺突文
424	ＲＰ 1637	ＳＴ 250　SK387	土師器	ミニチュア		16		5	ハケメ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
425	ＲＰ 1329	ＳＴ 250　EP300	土師器	高坏	(142)			4	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
426	ＲＰ 1305	ＳＴ 250	土師器	高坏	(172)	90	135	5	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
427	ＲＰ 1636	ＳＴ 250　SK387	土師器	高坏	(96)			5	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	赤彩
428	ＲＰ 1135	ＳＴ 250　70-60 G	土師器	壺	80			6	ミガキ・ナデ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
429	ＲＰ 1133	ＳＴ 250	土師器	鉢	111	37	61	3	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
430	ＲＰ 1315	ＳＴ 250	土師器	甕	(150)			5	ハケメ・ヘラナデ	ハケメ	細砂混	軟	
431	ＲＰ 1209	ＳＴ 250　66-60 G	土師器	甕	(170)			6	ハケメ		細砂混	堅	
432	ＲＰ 1312	ＳＴ 250	土師器	甕	(180)			5	ハケメ・ナデ	ハケメ・ナデ	緻密	堅	
433	ＲＰ 1041	ＳＴ 265　72-56 G	土師器	器台	(76)			6	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
434	ＲＰ 1225	ＳＴ 265	土師器	壺	(120)			4	ハケメ	ミガキ	細砂混	軟	
435	ＲＰ 1516	ＳＴ 270　40-94 G	土師器	ミニチュア		18	39	4	ハケメ	ミガキ	緻密	堅	
436	ＲＰ 1565	ＳＴ 270　EK334	土師器	小型丸底鉢	(118)			4	ミガキ	ミガキ・ハケメ	緻密	堅	赤彩
437	ＲＰ 1340	ＳＴ 307　52-62 G	土師器	壺		40		5	ミガキ・ハケメ	ミガキ・ハケメ	緻密	堅	
438	ＲＰ 1618	ＳＴ 307	土師器	鉢		28		5	ナデ	ナデ	緻密	堅	赤彩
439	ＲＰ 1164	ＳＴ 307　52-62 G	土師器	高坏				5		ミガキ	緻密	堅	
440	ＲＰ 1539	ＳＴ 316	土師器	器台		106		5	ハケメ・ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
441	ＲＰ 1290	ＳＫ 253　60-56 G	土師器	壺				5	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	赤彩
442		ＳＸ 5　70-20 G	土師器	小型鉢	110			4	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	赤彩
443	ＲＰ 1139	ＳＸ 243　46-90 G	土師器	小型丸底鉢	96	20	65	4	ミガキ	ミガキ	細砂混	軟	
444	ＲＰ 1216	ＳＫ 264　74-40 G	土師器	壺	152			6	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
445	ＲＰ 1075	ＳＸ 243	土師器	甑	216	34	122	7	ハケメ・ヘラナデ	ハケメ・ヘラナデ	粗砂混	堅	
446	ＲＰ 1067	ＳＸ 244	土師器	甕	(179)	(72)	210	5	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
447	ＲＰ 1074	ＳＸ 244　66-44 G	土師器	甕	(180)	52		5	ヘラナデ	ハケメ	細砂混	堅	
448	ＲＰ 1572	ＳＸ 345　40-108 G	土師器	甕	190	60	238	5	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
449	ＲＰ 1129	ＳＸ 244　70-40 G	土師器	器台	90	110	78	6	ハケメ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
450	ＲＰ 1062	ＳＸ 244　68-44 G	土師器	高坏		66		6	ハケメ	ハケメ	粗砂混	軟	
451	ＲＰ 1055	ＳＸ 244　66-46 G	土師器	小型鉢	(78)	36	36	4	ハケメ	ケズリ	細砂混	軟	
452	ＲＰ 1062	ＳＸ 244　68-42 G	土師器	鉢	146			5	ミガキ・ハケメ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
453	ＲＰ 1069	ＳＸ 244　68-44 G	土師器	小型丸底鉢		34		4	ハケメ	ケズリ・ハケメ	緻密	堅	
454	ＲＰ 1051	ＳＸ 244　66-44 G	土師器	ミニチュア		28		5	ハケメ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
455		ＳＸ 244　70-42 G	土師器	鉢	(76)			6	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	
456	ＲＰ 1121	ＳＸ 244　78-42 G	土師器	鉢	(114)	32	(95)	5	ハケメ	ハケメ	細砂混	軟	
457	ＲＰ 1579	ＳＸ 345　40-108 G	土師器	器台		116	146	5	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
458	ＲＰ 1580	ＳＸ 345　40-108 G	土師器	異形器台	70	130	145	4	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
459	ＲＰ 1583	ＳＸ 345　36-108 G	土師器	甕	(194)			5	ハケメ・ナデ	ハケメ・ナデ	細砂混	堅	
460	ＲＰ 1583	ＳＸ 345　36-108 G	土師器	甕	(170)			5	ハケメ・ナデ	ハケメ	粗砂混	堅	
461	ＲＰ 1576	ＳＸ 345　40-108 G	土師器	甕		(54)		6		ハケメ	細砂混	堅	
462	ＲＰ 1189	ＳＤ 236　64-46 G	土師器	器台	64	96	83. 5	6	ミガキ	ミガキ	細砂混	堅	赤彩
463	ＲＰ 1173	ＳＤ 236	土師器	器台		(106)		4		ミガキ	緻密	軟	
464	ＲＰ 1184	ＳＤ 236	土師器	高坏				6	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
465	ＲＰ 1170	ＳＤ 236　74-46 G	土師器	小型丸底鉢	(100)			4	ハケメ・ナデ		緻密	軟	
466	ＲＰ 1185	ＳＤ 236	土師器	壺	(160)			9	ミガキ	ナデ	細砂混	堅	
467	ＲＰ 1174	ＳＤ 236　72-46 G	土師器	壺	(176)			6	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
468	ＲＰ 1169	ＳＤ 236	土師器	甕	(164)			7	ハケメ		粗砂混	堅	
469	ＲＰ 1212	ＳＤ 236　70-46 G	土師器	甕	(174)			5	ハケメ	ハケメ	細砂混	軟	煤付着
470	ＲＰ 1179	ＳＤ 236	土師器	甕	(150)			5	ハケメ	ハケメ	細砂混	軟	
471	ＲＰ 1194	ＳＤ 236　62-40 G	土師器	甕	(140)			5	ヘラナデ	ハケメ	細砂混	堅	

古墳時代遺物観察表２

番号	登録番号	出土地点		器種	器形	口径	底経	器高	器厚	内面調整	外面調整	胎土	焼成	備考
472	ＲＰ 1092	ＳＤ 236		土師器	壺	148	40	162	5	ハケメ	ハケメ・ミガキ	細砂混	堅	
473	ＲＰ 1174	ＳＤ 236		土師器	甕	(186)	70	230	7	ヘラナデ	ハケメ	細砂混	軟	
474	ＲＰ 1166	ＳＤ 236	76-44 G	土師器	甕		72		7	ケズリ	ケズリ	粗砂混	堅	
475	ＲＰ 1321	ＳＤ 261	50-64 G	土師器	壺	170			5	ハケメ	ハケメ・ミガキ	緻密	堅	
476	ＲＰ 1641	ＳＤ 261	50-66 G	土師器	壺				5	ハケメ	ヘラナデ	緻密	堅	
477	ＲＰ 1322	ＳＤ 261	50-64 G	土師器	壺	160			5	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
478	ＲＰ 1321	ＳＤ 261	50-64 G	土師器	壺				7		ミガキ・ヘラナデ	緻密	堅	
479	ＲＰ 1318	ＳＤ 261	48-60 G	土師器	甕	(150)			5	ハケメ	ハケメ	粗砂混	軟	
480	ＲＰ 1321	ＳＤ 261	50-64 G	土師器	鉢					ナデ	ケズリ	緻密	堅	
481	ＲＰ 1324	ＳＤ 261	50-64 G	土師器	壺		54		5	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	
482	ＲＰ 1321	ＳＤ 261	50-64 G	土師器	壺		28		5	ハケメ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
483	ＲＰ 1210	ＳＤ 251	70-56 G	土師器	器台		60		5		ハケメ	細砂混	堅	
484	ＲＰ 1562	ＳＤ 271	40-98 G	土師器	壺				5	ヘラナデ	ミガキ	緻密	堅	
485	ＲＰ 1292	ＳＤ 280	50-54 G	土師器	甕	203	68	278	8	ハケメ・ヘラナデ	ハケメ・ケズリ	細砂	堅	
486	ＲＰ 1293	ＳＤ 280	50-54 G	土師器	高坏	175			6	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
487		ＳＤ 323	48-92 G	土師器	ミニチュア		42	35	3	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
488	ＲＰ 1393	ＳＤ 325		土師器	高坏	(180)			6	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
489	ＲＰ 1184	ＳＤ 236		土師器	高坏	148			5	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
490	ＲＰ 1603	ＳＸ 327	40-100 G	土師器	壺	(112)			5	ミガキ	ミガキ・ヘラナデ	緻密	堅	
491	ＲＰ 1176	ＳＤ 236		土師器	甕		66		5	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
492	ＲＰ 1526	ＳＤ 327	54-90 G	土師器	甑		58		7	ヘラナデ	ヘラナデ・ハケメ	細砂混	軟	
493	ＲＰ 1594	ＳＤ 354	36-104 G	土師器	甕	132			5	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
494	ＲＰ 1604	ＳＤ 360	28-110 G	土師器	壺	(140)			7	ヘラナデ	ヘラナデ・ミガキ	緻密	堅	
495	ＲＰ 1599	ＳＤ 360	30-110 G	土師器	器台	86			5	ミガキ	ミガキ	細砂混	堅	
496		ＳＤ 346		土師器	甕	(150)			5	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
497		ＳＤ 393		土師器	甕	(186)			5	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
498	ＲＰ 1584	ＳＸ 345		土師器	甕		52		5	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
499	ＲＰ 1571	ＳＸ 345	40-108 G	土師器	壺	100	40	87	4	ヘラナデ・ハケメ	ヘラナデ	細砂混	軟	
500	ＲＰ 1581	ＳＸ 345	40-108 G	土師器	壺		82		6	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	
501	ＲＰ 1601	ＳＤ 366	52-96 G	土師器	ミニチュア	62	48	31	5	ハケメ	ナデ	緻密	堅	
502	ＲＰ 1569	ＳＤ 346	22-128 G	土師器	壺		35		5	ヘラナデ	ハケメ	緻密	堅	
503	ＲＰ 1632	ＳＤ 346	20-130 G	土師器	甕	(140)			5	ハケメ	ミガキ	細砂混	堅	
504		ＳＤ 365	SD374	土師器	鉢	104	26	44	5	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	
505	ＲＰ 1027	ＳＤ	44-108 G	土師器	小型丸底鉢	118		61	4	ヘラナデ・ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
506	ＲＰ 1592	ＳＤ 356	SD357	土師器	甕	(117)	(54)	144	7	ハケメ・ヘラナデ	ハケメ	細砂混	堅	
507	ＲＰ 1022	ＳＤ 325	30-102 G	土師器	小型丸底鉢	92		70	6	ミガキ	ハケメ	緻密	堅	
508	ＲＰ 1022	ＳＤ 325	30-102 G	土師器	甕	164	62	227	5	ハケメ	ハケメ・ケズリ	細砂混	堅	
509	ＲＰ 1392	ＳＤ 325	28-104 G	土製品					4		ケズリ・ナデ	細砂混	堅	
510	ＲＰ 1229	ＳＧ 1		土師器	高坏	117	122	98	5	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
511	ＲＰ 1280	ＳＧ 1	44-76 G	土師器	高坏	90			4	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
512	ＲＰ 1242	ＳＧ 1	48-78 G	土師器	高坏		108		5	ミガキ・ナデ	ミガキ	緻密	堅	
513	ＲＰ 1214	ＳＧ 1	58-68 G	土師器	器台	(90)			6	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
514	ＲＰ 1259	ＳＧ 1	48-78 G	土師器	器台	(100)			5		ミガキ	緻密	軟	赤彩
515	ＲＰ 1237	ＳＧ 1		土師器	高坏		90		5		ミガキ	緻密	堅	赤彩
516	ＲＰ 1236	ＳＧ 1		土師器	器台		120		4		ミガキ	緻密	堅	
517	ＲＰ 1235	ＳＧ 1		土師器	小型丸底鉢	102	22	69，5	4	ナデ	ケズリ・ミガキ	緻密	堅	
518	ＲＰ 1369	ＳＧ 1		土師器	小型丸底鉢		20		5	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
519	ＲＰ 1036	ＳＧ 1		土師器	鉢	(160)			6	ミガキ	ハケメ	緻密	堅	内黒
520	ＲＰ 1229	ＳＧ 1		土師器	丸底鉢	(168)			4	ヘラミガキ・ミガキ	ヘラミガキ	緻密	堅	赤彩
521	ＲＰ 1229	ＳＧ 1		土師器	壺	(180)			4	ミガキ・ナデ	ミガキ・ナデ	緻密	堅	赤彩
522	ＲＰ 1246	ＳＧ 1	48-80 G	土師器	甕	160			8	ハケメ・ナデ	ハケメ	粗砂混	軟	
523	ＲＰ 1249	ＳＧ 1	48-80 G	土師器	鉢		52		6	ハケメ	ミガキ	緻密	軟	
524	ＲＰ 1233	ＳＧ 1		土師器	壺		40		4	ハケメ・ナデ	ケズリ	粗砂混	堅	
525	ＲＰ 1287	ＳＧ 1	48-78 G	土師器	甕	(176)			7	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
526	ＲＰ 1268	ＳＧ 1	48-78 G	土師器	甕	(100)			5	ナデ	ナデ	緻密	堅	
527	ＲＰ 1230	ＳＧ 1		土師器	壺	(90)			6	ハケ・ナデ	ハケメ	緻密	堅	
528	ＲＰ 1366	ＳＧ 1		土師器	小型丸底鉢	97		79	5	ハケメ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
529	ＲＰ 1270	ＳＧ 1	46-78 G	土師器	壺		44		5	ハケメ	ハケメ	細砂混	軟	
530		ＳＧ 1	50-80 G	土師器	壺		(50)		5	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	

古墳時代遺物観察表３

番号	登録番号	出土地点		器種	器形	口径	底経	器高	器厚	内面調整	外面調整	胎土	焼成	備考
531	ＲＰ 1361	ＳＧ１		土師器	小型丸底鉢				5	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
532	ＲＰ 1264	ＳＧ１	58-78 G	土師器	鉢	(128)			4	ナデ	ナデ	緻密	堅	赤彩
533	ＲＰ 1362	ＳＧ１		土師器	小型丸底鉢				4	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
534	ＲＰ 1300	ＳＧ１	44-72 G	土師器	ミニチュア	30			4	指頭痕	指頭痕	緻密	堅	
535	ＲＰ 1244	ＳＧ１	48-80 G	土師器	甕		17		4	ハケメ	ケズリ	粗砂混	軟	
536	ＲＰ 1108	ＳＧ１	56-38 G	土師器	甕	218			5	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
537	ＲＰ 1285	ＳＧ１	44-76 G	土師器	甕	(152)			6	ハケメ	ハケメ・ミガキ	細砂混	軟	
538	ＲＰ 1234	ＳＧ１		土師器	甕				8	ハケメ	ハケメ	粗砂混	軟	
539	ＲＰ 1301	ＳＧ１	44-72 G	土師器	甕	116	36	120	5	ハケメ		細砂混	軟	
540	ＲＰ 1153	ＳＧ１	40-76 G	土師器	壺				7	ヘラナデ	ヘラナデ	細砂混	堅	
541	ＲＰ 1275	ＳＧ１	78-40 G	土師器	甕	(191)	80	271	7	ヘラナデ	ヘラナデ	細砂混	堅	
542	ＲＰ 1282	ＳＧ１	44-76 G	土師器	鉢		62		5	ハケメ・ミガキ	ハケメ	緻密	堅	
543	ＲＰ 1037	ＳＧ１		土師器	ミニチュア	(60)	30	35	6	指頭痕・ナデ	指頭痕	緻密	堅	
544	ＲＰ 1667	ＳＧ１	50-80 G	土師器	ミニチュア	48		27	4		指頭痕・ナデ	細砂混	軟	
545	ＲＰ 1219	ＳＧ１		土師器	ミニチュア	43	32	38	5	指頭痕	指頭痕	緻密	堅	
546	ＲＰ 1295	ＳＧ１	48-78 G	土師器	甕	204			5	ケズリ	ハケメ	細砂混	堅	
547	ＲＰ 140	ＳＧ２	35-70 G	土師器	鉢	204	44	83	6	ミガキ	ミガキ・ナデ	緻密	堅	
548	ＲＰ 14	ＳＧ２	35-70 G	土師器	鉢	(210)	40	100	7	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
549		ＳＧ２	10-120 G	土師器	鉢	(140)			4	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
550	ＲＰ 155	ＳＧ２	30-75 G	土師器	小型鉢		42		5	ハケメ・指頭痕	ハケメ	細砂混	堅	
551	ＲＰ 123	ＳＧ２	35-65 G	土師器	小型丸底鉢	(110)	26	56	4	ヘラナデ	ヘラナデ・ケズリ	細砂混	軟	
552	ＲＰ 124	ＳＧ２	35-65 G	土師器	小型鉢	(90)			5	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
553	ＲＰ 158	ＳＧ２	35-65 G	土師器	高坏	(116)			6	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
554	ＲＰ 113	ＳＧ２	25-80 G	土師器	丸底鉢	130			6	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	
555		ＳＧ２		土師器	小型鉢		(38)		5	ミガキ・ヘラナデ	ミガキ・ハケメ	緻密	堅	赤彩
556	ＲＰ 130	ＳＧ２	35-65 G	土師器	壺		(26)		5	ヘラナデ	ミガキ	緻密	堅	
557	ＲＰ 125	ＳＧ２	35-65 G	土師器	壺	(62)	40	137	7	ハケメ	ミガキ	細砂混	軟	
558	ＲＰ 160	ＳＧ２	35-65 G	土師器	丸底鉢	(124)			5	ハケメ・ナデ	ハケメ・ナデ	細砂混	軟	
559	ＲＰ 148	ＳＧ２	35-65 G	土師器	壺	84	34	92	6	ハケメ	ハケメ・ナデ	細砂混	堅	
560	ＲＰ 161	ＳＧ２	35-65 G	土師器	壺	(112)	54	146	7	ハケメ	ミガキ・ハケメ	緻密	堅	
561	ＲＰ 127	ＳＧ２	30-65 G	土師器	甕	128	40	143	6	ミガキ	ミガキ・ハケメ	緻密	堅	
562	ＲＰ 132	ＳＧ２	22-75 G	土師器	甕	(162)	60	234	8	ハケメ	ハケメ・ケズリ	細砂混	堅	
563	ＲＰ 123	ＳＧ２	35-65 G	土師器	甕	(170)	64	262	5	ハケメ・ヘラナデ	ハケメ・ヘラナデ	粗砂混	堅	分析資料
564	ＲＰ 131	ＳＧ２	35-65 G	土師器	甕				6	ヘラナデ	ヘラナデ	緻密	堅	
565	ＲＰ 151	ＳＧ２	30-65 G	土師器	壺		(56)		5	ヘラナデ	ヘラナデ	緻密	堅	
566	ＲＰ 1529	ＳＧ 271	42-96 G	土師器	甕	(178)			7	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
567	ＲＰ 123	ＳＧ２	35-65 G	土師器	甕	(160)			5	ハケメ・ヘラナデ	ハケメ	細砂混	堅	
568	ＲＰ 149	ＳＧ２	35-70 G	土師器	甕		(56)		6	ヘラナデ	ヘラナデ	細砂混	堅	
569	ＲＰ 126	ＳＧ２	30-65 G	土師器	壺		72		6	ヘラナデ	ヘラナデ・ケズリ	粗砂混	堅	分析資料
570	ＲＰ 129	ＳＧ２	30-65 G	土師器	壺		40		5	ヘラナデ	ヘラナデ	細砂混	軟	
571	ＲＰ 150	ＳＧ２	35-70 G	土師器	甕		62		6	ヘラナデ	ヘラナデ	細砂混	堅	
572	ＲＰ 24	ＳＧ２		土師器	壺		64		5	ヘラナデ	ヘラナデ	粗砂混	軟	
573	ＲＰ 1480		38-112 G	土師器	器台	(92)	58	72	4		ミガキ	緻密	軟	赤彩
574	ＲＰ 1019	3 区西	36-110 G	土師器	器台	(95)	64	83	5	ミガキ	ミガキ	緻密	軟	赤彩
575			24-122 G	土師器	高坏	80	110	86	6	ハケメ	ミガキ	細砂混	堅	
576	ＲＰ 1132		46-96 G	土師器	器台	(75)	95	79	7		ミガキ・ナデ	緻密	堅	
577	ＲＰ 96	1 区西	5-135 G	土師器	器台		75		5		ミガキ	緻密	堅	赤彩
578	ＲＰ 1034	3 区西	54-102 G	土師器	器台	(88)	(100)	(82)	5	ナデ	ミガキ・ナデ	緻密	堅	
579	ＲＰ 1106		54-40 G	土師器	器台	(73)	(108)	89	4	ハケメ	ミガキ	緻密	堅	
580	ＲＰ 1501		24-118 G	土師器	器台		118		6	ハケメ	ミガキ	細砂混	堅	赤彩
581			52-46 G	土師器	器台	(88)			4	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
582	ＲＰ 101	1 区西	5-135 G	土師器	器台		80		5	ヘラナデ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
583	ＲＰ 1137		48-96 G	土師器	器台				6	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
584	ＲＰ 1116		52-44 G	土師器	器台		86		6	ハケメ・ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
585	ＲＰ 146		30-65 G	土師器	高坏	113			5	ミガキ	ヘラナデ・ナデ	細砂混	堅	
586	ＲＰ 1275		78-40 G	土師器	高坏				5	ミガキ	ミガキ	細砂混	軟	
587	ＲＰ 59		10-125 G	土師器	高坏		154		8	ハケメ・ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
588	ＲＰ 1021	3 区西	30-110 G	土師器	高坏				6	ハケメ	ミガキ	細砂混	軟	
589	ＲＰ 1098		54-56 G	土師器	高坏	(170)	(130)	138	6	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	

古墳時代遺物観察表４

番号	登録番号	出土地点	器種	器形	口径	底経	器高	器厚	内面調整	外面調整	胎土	焼成	備考
590	ＲＰ 1521	44-108 G	土師器	小型丸底鉢	(90)	12	(46)	4	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
591	ＲＰ 78	10-120 G	土師器	小型丸底鉢	92	16	56	5	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
592	ＲＰ 1018	40-110 G	土師器	小型丸底鉢	(88)	20	56	3	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
593	ＲＰ 1485	34-110 G	土師器	小型丸底	106	24	59	6	ハケメ	ミガキ	細砂	堅	
594	ＲＰ 1026	42-104 G	土師器	小型丸底鉢	(100)			4	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
595	ＲＰ 1093	60-60 G	土師器	小型丸底鉢	(100)		64	5	ハケメ	ハケメ・ミガキ	緻密	堅	赤彩
596	ＲＰ 1131	46-94 G	土師器	小型丸底鉢	125	44	52	6	ミガキ・ナデ	ミガキ・ナデ	細砂混	堅	赤彩
597		20-105 G	土師器	小型丸底鉢	(134)			4	ハケメ・ミガキ	ミガキ・ナデ	細砂混	堅	
598	ＲＰ 1028 ３区西	48-104 G	土師器	小型丸底鉢		28		4	ハケメ	ミガキ	細砂混	堅	
599	ＲＰ 1558	16-134 G	土師器	鉢	(140)	28	69	4	ミガキ	ミガキ	細砂混	堅	
600	ＲＰ 1546	22-124 G	土師器	鉢	(140)			5	ミガキ・ナデ	ミガキ・ナデ	緻密	堅	赤彩
601	ＲＰ 1411	46-108 G	土師器	小型丸底鉢	96	30	48	6	ミガキ	ケズリ	緻密	堅	赤彩
602	ＲＰ 1522	44-108 G	土師器	小型丸底鉢		12		4	ハケメ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
603	ＲＰ 149	35-70 G	土師器	丸底鉢	120		79	5	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
604	ＲＰ 32　１区		土師器	鉢	103	32	49	5	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
605	ＲＰ 1548	22-124 G	土師器	鉢	100	35	41	6	ミガキ		緻密	堅	
606	ＲＰ 1419	40-108 G	土師器	小型丸底鉢	(100)	(32)		5	ヘラナデ	ヘラナデ・ミガキ	緻密	堅	
607	ＲＰ 1015	42-108 G	土師器	鉢		30	53	5	ハケメ	ミガキ	緻密	堅	
608	ＲＰ 1058	68-50 G	土師器	壺		24		5	ハケメ	ヘラナデ	緻密	堅	赤彩
609	ＲＰ 1523	44-108 G	土師器	鉢		44		5		ヘラナデ	緻密	堅	
610	ＲＰ 161	35-65 G	土師器	鉢	(137)	(44)	47	5	ハケメ	ミガキ	粗砂混	堅	
611	ＲＰ 1165	52-42 G	土師器	鉢		(38)	69	5	ミガキ・ナデ	ミガキ・ケズリ	緻密	堅	
612		60-44 G	土師器	鉢		28		4	ナデ	ミガキ・ハケメ	緻密	堅	
613	ＲＰ 31　１区		土師器	小型鉢	68	40	50	4	ハケメ・ナデ	ハケメ	細砂混	軟	
614	ＲＰ 1570	22-128 G	土師器	鉢		55		4	ハケメ	ハケメ・ヘラナデ	細砂混	堅	
615	ＲＰ 1544	24-124 G	土師器	鉢	168		105	5	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
616	ＲＰ 136	35-70 G	土師器	鉢	200	40	94	6	ミガキ	ミガキ	細砂混	軟	
617	ＲＰ 162	35-65 G	土師器	鉢	172	48	96	7	ヘラナデ	ヘラナデ・ミガキ	緻密	軟	
618	ＲＰ 1586		土師器	壺	(124)	(32)	215	6	ミガキ	ミガキ・ハケメ	細砂混	軟	
619	ＲＰ 1132	46-96 G	土師器	壺	124	60	168	5	ミガキ・ナデ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
620	ＲＰ 1398	48-106 G	土師器	壺	(106)	42	162	6	ハケメ・ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
621	ＲＰ 137　１区東	30-70 G	土師器	壺	(113)	24	158	5	ミガキ	ミガキ・ナデ	緻密	堅	
622	ＲＰ 1091	58-46 G	土師器	壺	136	42	185	6	ミガキ	ミガキ	緻密	軟	赤彩
623		50-50 G	土師器	壺	148			5	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
624	ＲＰ 1113	56-44 G	土師器	壺	(122)			6	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
625	ＲＰ 1111	52-40 G	土師器	壺	(170)			5	ハケメ・ミガキ	ハケメ	緻密	堅	
626	ＲＰ 1110	52-40 G	土師器	壺	(132)			6	ハケメ		細砂混	軟	赤彩
627	ＲＰ 1104	54-42 G	土師器	壺	(134)			7	ミガキ	ハケメ	緻密	堅	
628	ＲＰ 1549	22-126 G	土師器	壺				5	ハケメ・ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
629	ＲＰ 1481	36-112 G	土師器	壺		55		6	ハケメ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
630	ＲＰ 1042	60-56 G	土師器	壺		46		5	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	赤彩
631	ＲＰ 1105	54-40 G	土師器	壺				5	ヘラナデ	ミガキ	細砂混	軟	
632	ＲＰ 1068	66-44 G	土師器	壺		36		4	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	
633	ＲＰ 1416	40-108 G	土師器	壺				5	ヘラナデ	ミガキ	緻密	堅	
634	ＲＰ 1078	62-46 G	土師器	小型丸底壺		24		4	ハケメ・ナデ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
635		30-70 G	土師器	鉢		42		5	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
636	ＲＰ 1404	46-106 G	土師器	壺		42		5	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
637	ＲＰ 1124	80-40 G	土師器	壺	(162)			9			細砂混	軟	
638	ＲＰ 1557	16-132 G	土師器	壺				8	ハケメ	ハケメ	細砂混	軟	
639	ＲＰ 1640	46-62 G	土師器	壺	(174)			7	ハケメ		細砂混	軟	
640	ＲＰ 1121	78-42 G	土師器	壺				8	ハケメ	ナデ	細砂混	軟	
641	ＲＰ 1556	16-132 G	土師器	壺	(160)			6	ミガキ	ミガキ	粗砂混	堅	
642	ＲＰ 1381	56-90 G	土師器	壺	176			5	ハケメ・ナデ		細砂混	堅	
643	ＲＰ 1198	58-56 G	土師器	壺	(164)			5	ミガキ	ミガキ	粗砂混	堅	
644	ＲＰ 1046	56-58 G	土師器	壺	(154)			6	ヘラナデ	ヘラナデ	粗砂混	軟	
645	ＲＰ 1484	34-110 G	土師器	壺	(148)			4			緻密	堅	
646	ＲＰ 1077	62-46 G	土師器	壺	(234)			8	ハケメ		緻密	軟	赤彩
647	ＲＰ 1017	40-110 G	土師器	甕	(180)			7		ハケメ	細砂混	堅	
648	ＲＰ 1048	56-56 G	土師器	甕	(160)			7	ヘラナデ	ハケメ	粗砂混	堅	

古墳時代遺物観察表５

番号	登録番号	出土地点		器種	器形	口径	底経	器高	器厚	内面調整	外面調整	胎土	焼成	備考
649	R P 1261		50-78 G	土師器	壺	(200)			5	ミガキ		緻密	堅	赤彩
650	R P 1020		32-112 G	土師器	壺	(150)			7	ヘラナデ		粗砂混	堅	
651		3 区西	48-98 G	土師器	壺	(142)			8	ナデ	ナデ	細砂混	軟	
652	R P 1123		80-42 G	土師器	壺	104	30	106	6	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
653	R P 1391		32-98 G	土師器	壺		66		6	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
654	R P 1570		22-128 G	土師器	壺		40		4	ハケメ	ヘラナデ	緻密	堅	
655			58-44 G	土師器	壺		32		6	ハケメ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
656	R P 135		35-70 G	土師器	壺	165	104	378	10	ハケメ	ミガキ・ヘラナデ	細砂混	軟	
657	R P 1069		66-44 G	土師器	甕	124	84	312	5	ハケメ	ハケメ	緻密	軟	
658			54-40 G	土師器	壺	148			5	ミガキ・ヘラナデ	ハケメ	細砂混	堅	
659	R P 1145		54-102 G	土師器	壺	130	36	176	6	ハケメ・ミガキ	ミガキ	緻密	堅	
660	R P 1553		18-132 G	土師器	甕	(140)			6	ハケメ	ハケメ	粗砂混	軟	
661	R P 1101		56-42 G	土師器	甕	186			6	ハケメ		細砂混	堅	
662			58-44 G	土師器	甕	18			5	ハケメ	ハケメ	緻密	軟	
663	R P 1483		34-110G	土師器	甕				7	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
664	R P 159			土師器	壺	(136)	78	278	8	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
665			60-46 G	土師器	甕		70		5	ケズリ・ヘラナデ	ケズリ	細砂混	堅	
666	R P 1014	3 区西	46-108 G	土師器	甕	(144)			5	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
667	R P 1484		34-110 G	土師器	壺		66		6	ヘラナデ	ハケメ・ミガキ	細砂	堅	
668			38-76 G	土師器	壺		50		6	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
669	R P 1049		58-58 G	土師器	甕		70		5	ハケメ・ミガキ	ハケメ・ヘラナデ	緻密	軟	
670	R P 1095		54-50 G	土師器	甕		(68)		5	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
671	R P 77		10-120 G	土師器	甕	(196)			6	ハケメ・ヘラナデ	ハケメ・ヘラナデ	粗砂混	堅	
672	R P 1064		68-44 G	土師器	甕		62		5	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
673	R P 1525		22-124 G	土師器	鉢	140			5	ハケメ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
674	R P 1397		48-106 G	土師器	甕		40		6	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
675	R P 1395		50-104 G	土師器	甕		(46)		5		ヘラナデ	細砂混	堅	
676	R P 1095		56-50 G	土師器	甕		56		5	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
677	R P 67		5-135 G	土師器	甕	(160)			6	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
678	R P 1554		18-132 G	土師器	壺		94		5	ハケメ・ケズリ	ハケメ・ミガキ	細砂混	堅	
679	R P 1114		52-42 G	土師器	甕				9	ハケメ	ミガキ	細砂混	軟	
680	R P 1079		62-48 G	土師器	甕	134	48	159	5	ハケメ・ナデ	ハケメ	粗砂混	堅	
681	R P 1143		54-102 G	土師器	壺	164	52	178	7	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	
682	R P 1394		52-104 G	土師器	壺	110			4	ヘラナデ	ハケメ	細砂混	堅	
683	R P 1402		48-106	土師器	甕				9		ヘラナデ	緻密	堅	
684		3 区西		土師器	甕	(173)	70	268	7	ハケメ・ヘラナデ	ハケメ・ヘラナデ	細砂混	軟	
685	R P 1544		24-124 G	土師器	甕	(222)			6	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
686	R P 149		35-70 G	土師器	甕	(198)			5	ナデ	ハケメ	細砂混	堅	
687	R P 1484		34-110 G	土師器	甕	(180)	(62)	(220)	5	ハケメ・ヘラナデ	ハケメ・ケズリ	粗砂	軟	
688	R P 1126		78-40 G	土師器	甕	(142)	50	195	6	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
689	R P 1031		46-104 G	土師器	甕	(188)			7	ヘラナデ	ハケメ	細砂混	堅	
690				土師器	甕	190			5	ハケメ	ハケメ・ナデ	細砂混	堅	
691	R P 1052		44-108 G	土師器	甕	214	68	198	5	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
692	R P 1033	3 区西	38-110 G	土師器	甕	226	64	255	5	ハケメ	ハケメ	粗砂混	軟	
693	R P 1482		34-110	土師器	甕	194			5	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
694	R P 1071		66-44 G	土師器	甕	(190)			5	ヘラナデ	ヘラナデ	細砂混	堅	
695	R P 1127		78-40 G	土師器	甕	167	54	207	4	ハケメ	ヘラナデ	細砂混	軟	
696	R P 1542		24-124 G	土師器	甕	(182)			5	ハケメ・ヘラナデ	ハケメ	細砂混	堅	
697	R P 1567		24-126 G	土師器	甕	(200)			6	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
698	R P 1471		38-110 G	土師器	甕	185			5	ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
699	R P 1039	3 区東	60-60 G	土師器	甕	(186)			5	ハケメ・ナデ	ハケメ	細砂混	堅	
700	R P 1476		16-134 G	土師器	甕	(210)			4	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	煤付着
701	R P 1472		36-112 G	土師器	鉢	(108)			5		ミガキ	細砂混	堅	
702			16-134 G	土師器	鉢	114	58	98	6	ハケメ		細砂混	軟	
703	R P 1051		44-106 G	土師器	甕	(180)	60	152		ハケメ	ハケメ	細砂混	堅	
704	R P 1408			土師器	甕	(176)	66	278	6	ヘラナデ	ハケメ・ヘラナデ	細砂混	堅	
705	R P 67		5-135 G	土師器	甕	(154)			6	ハケメ・ナデ		粗砂混	軟	
706	R P 1400		44-106 G	土師器	甕	124	54	120	8	ハケメ	ハケメ・ケズリ	細砂混	堅	
707	R P 1120		80-42G	土師器	甕	210			5	ハケメ	ハケメ・ヘラナデ	粗砂混	堅	

古墳時代遺物観察表６

番号	登録番号	出土地点		器種	器形	口径	底経	器高	器厚	内面調整	外面調整	胎土	焼成	備考
708	R P 1083		62-48 G	土師器	ミニチュア	71	43	38	5	ハケメ	布圧痕・ヘラナデ	緻密	堅	
709	R P 1084		62-48 G	土師器	ミニチュア	(68)	34	(45)	5	ハケメ	布圧痕・ヘラナデ	緻密	堅	
710	R P 1082		62-48 G	土師器	ミニチュア	57	38	41	5	ハケメ	布圧痕・ヘラナデ	緻密	堅	
711	R P 1081		62-48 G	土師器	ミニチュア	62	43	35	4	ハケメ	布圧痕・ヘラナデ	緻密	堅	
712	R P 1080		62-48 G	土師器	ミニチュア	60	44	45	4	ハケメ	布圧痕・ヘラナデ	緻密	堅	
713	R P 1090		62-48 G	土師器	ミニチュア	72	44	43	5	ハケメ	布圧痕・ヘラナデ	緻密	堅	
714	R P 1089		62-48 G	土師器	ミニチュア	(68)	40	46	4	ハケメ	布圧痕・ヘラナデ	緻密	堅	
715	R P 1088		62-48 G	土師器	ミニチュア	(62)	42	39	5	ハケメ	布圧痕・ヘラナデ	緻密	堅	
716	R P 1087		62-48 G	土師器	ミニチュア	66	40	42	4	ハケメ	布圧痕・ハケメ	緻密	堅	
717	R P 1086		62-48 G	土師器	ミニチュア	62	44	41	6	ハケメ	布圧痕・ヘラナデ	緻密	堅	
718	R P 1085		62-48 G	土師器	ミニチュア	66	50	41	5	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	
719	R P 1477		22-118 G	土師器	鉢	94	58	53	6	ハケメ	ハケメ	粗砂混	堅	
720	R P 99		35-135 G	土師器	ミニチュア	(62)	23	31	2	ミガキ	ミガキ	緻密	堅	赤彩
721	R P 1485		34-110 G	土師器	ミニチュア		28		3	ヘラナデ	ヘラナデ	緻密	堅	赤彩
722			62-46 G	土師器	ミニチュア	(32)	(36)	29	7	ハケメ	ケズリ	細砂混	堅	
723	R P 1589		16-132 G	土師器	ミニチュア	38	36	21	4	ハケメ	ハケメ	緻密	堅	
724	R P 93	1 区西	5-135 G	土師器	ミニチュア		34		6		ハケメ	粗砂混	軟	
725	R P 1476		16-134 G	土師器	ミニチュア		24		3		指頭痕	緻密	堅	

表４　木製品計測表

番号	登録番号	出土地点	種別	長さ	幅	厚さ	備考
726	RW371	SG1	皿	口径 236	高 24	3	底径 114
727	RW384	SG1	皿			9	底径 132
728	RW2	SG1	皿			10	底径 136
729	RW352	SG1	皿			6	底径 118
730	RW1150	SG1	皿	口径 179	高 26	6	底径 138
731	RW363	SG1	椀	口径 136	高 58	7	底径 80
732	RW365	SG1	曲物	450	170	8	方形
733	RW369	SG1	曲物	径 214	54	3	円形
734	RW367	SG1	曲物	(160)	41	3	
735	RW387	SG1	板状品	(178)	22	3	
736		3 区東	板状品	(140)	21	2	
737		3 区東	棒状品	(208)	径 10		
738	RW364	SG1	板状品	(53)	8	3	穿孔
739		SG1	板状品	(91)	11	2	穿孔
740	RW370	SG1	不明品	143	64	32	
741	RW1665	EB294	礎板	330	86	35	
742	RW1665	EB294	礎板	392	130	46	
743	RW1314	ST250	杭	470	41	30	
744	RW385	SG1	槽	650	240	40	
745	RW1289	SG1	梯子	(700)	130	90	
746	RW236	SG1	瓢箪	径 80		3	
747	RW386	SG1	瓢箪	径 120		2	
748	RW1365	SG1	板状品	(166)	24	8	
749	RW1360	SG1	板状品	(134)	18	7	
750	RW1608	EB372	柱根	(350)	径 160		底面に繰り込み
751	RW1650	EB385	柱根	(520)	115	86	底面に繰り込み
752	RW1664	EB373	柱根	(944)	径 160		底面に繰り込み
753	RW1333	EB292	柱根	(170)	径 92		
754	RW1656	EB380	柱根	(618)	180	69	底面に繰り込み
755	RW1648	EB379	柱根	(690)	径 150		底面に繰り込み
756	RW1356	SG1	杭	(470)	100	60	
757	RW1662	EB404	柱根	(315)	径 130		
758	RW1647	EB378	柱根	(664)	径 170		
759	RW1605	EB263	横木	425	50	40	
760	RW1606	EB269	横木	350	40	30	
761	RW1649	EB379	横木	300	53	35	
762	RW1651	EB385	横木	370	65	60	
763	RW1609	EB372	横木	486	58	63	
764	RW1653	EB385	横木	583	122	63	
765	RW1654	EB385	横木	560	90	80	
766	RW1331	EB295	横木	410	径 100		
767	RW1655	EB385	横木	371	65	50	
768	RW1659	EB396	礎板	433	120	50	
769	RW1657	EB380	横木	405	65	67	
770	RW1661	EB381	礎板	372	145	56	
771	RW1660	EB383	礎板	362	130	56	
772	RW1666	EB373	横木	261	50	50	

表５　石製品計測表

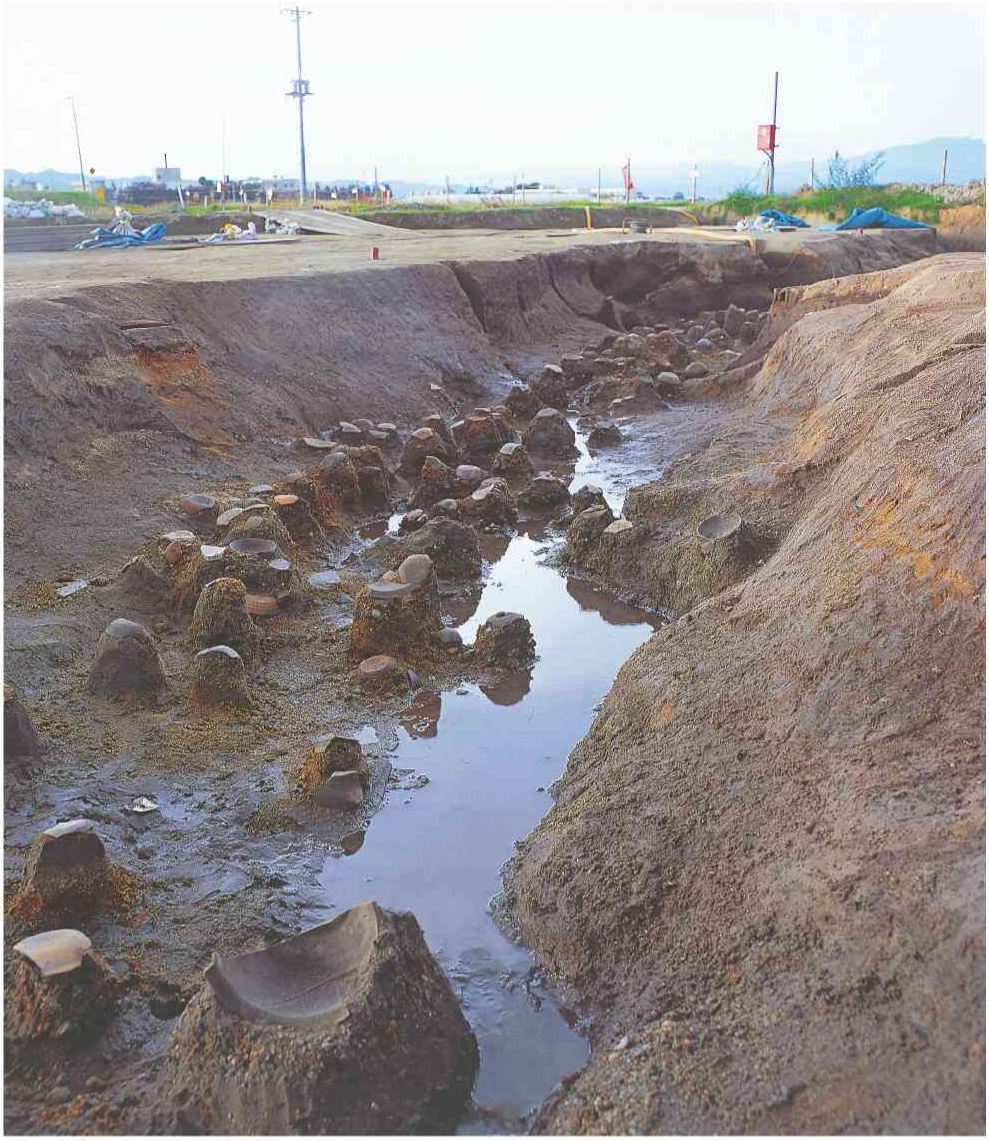
番号	登録番号	出土地点		種別	長さ	幅	厚さ
773	RQ1410	SD328	34-104G	石鏃	31	10.5	
774	R Q 1560		60-90 G	砥石	82	55	23
775	R Q 1506	S T 316		砥石	76	40	29
776		S G 1		砥石	45	43	10
777		S G 6	55-5 G	砥石	108	52	14
778			50-80 G	砥石	79	42	26
779		S G 2		砥石	129	74	33
780	R Q 95		5-135 G	砥石	139	104	34

引用文献

日本考古学協会　1993　『東日本における古墳出現過程の再検討』（日本考古学協会 1993 年度新潟大会シンポジウム２資料）日本考古学協会新潟大会実行委員会
阿子島功　茨木光裕ほか　1994　『嶋遺跡発掘調査概報』山形市教育委員会
須賀井新人ほか　1994　『今塚遺跡発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書第７集）財団法人山形県埋蔵文化財センター
植松暁彦　2001　『長表遺跡発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 87 集）財団法人山形県埋蔵文化財センター
阿子島功　2003　『梅野木前１遺跡物語（前編）』梅野木前１遺跡現地説明会資料
阿子島功　2004　『梅野木前１遺跡物語（前編）』梅野木前１遺跡現地説明会資料
髙桑弘美ほか　2004　『服部遺跡　藤治屋敷遺跡第２次発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 119 集）財団法人山形県埋蔵文化財センター
高橋敏　2004　『馬洗場Ｂ遺跡発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 123 集）財団法人山形県埋蔵文化財センター
尾形與典　長瀬えみ子　2004　『高擂南遺跡・菖蒲江１遺跡・菖蒲江２遺跡発掘調査報告書』（山形県埋蔵文化財センター調査報告書第 132 集）財団法人山形県埋蔵文化財センター

写真図版

1 次調査全景（北西から）



SG1 南端部遺物出土状況（南東から）

SG1 中央部遺物出土状況

２次調査全景（西から）

1 次調査 1 区東側完掘状況（南東から）

1 次調査 1 区西側完掘状況（北西から）

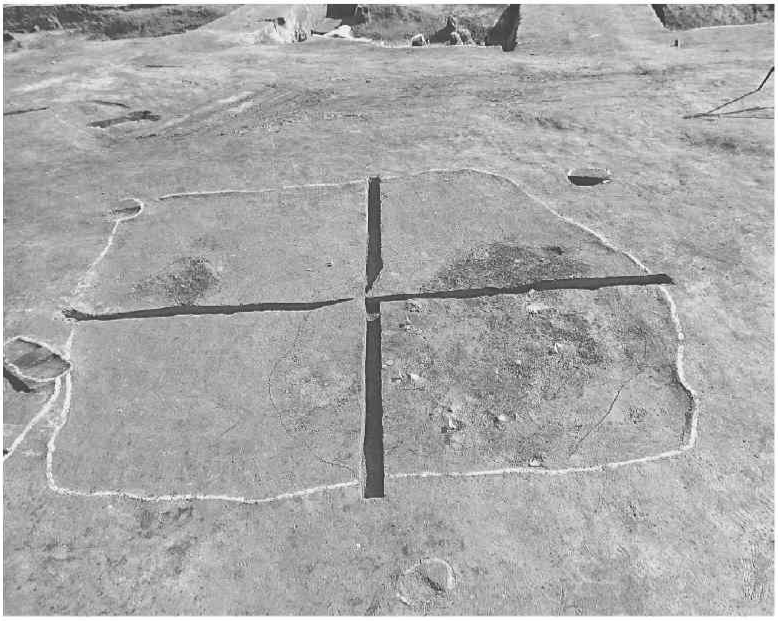
2 次調査完掘状況（東から）

2 次調査完掘状況（西から）

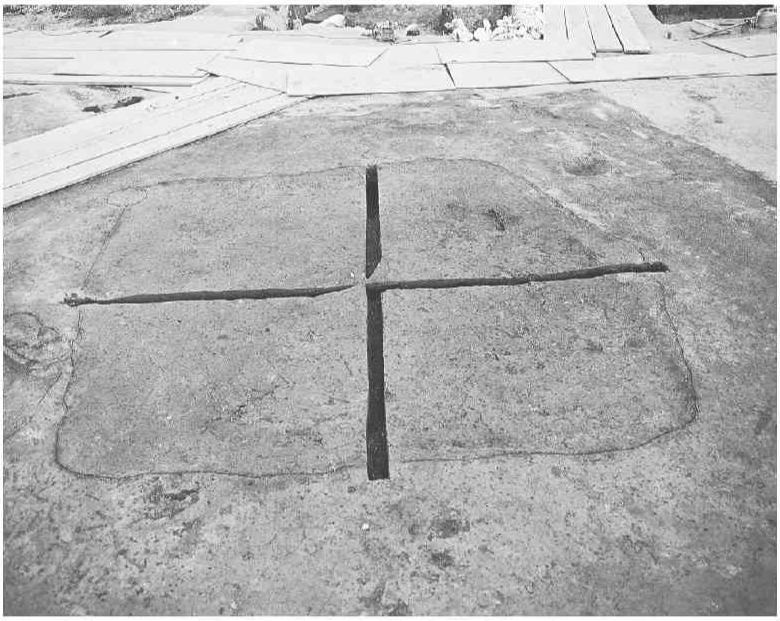
２次調査北壁土層断面（東から）

SG1 南壁土層断面（北東から）

１次調査１区西噴砂痕土層断面（南東から）



ST14 遺物出土状況（南西から）



ST14 床面検出状況（南西から）

ST14 完掘状況（北西から）

ST15 完掘状況（北から）

ST16 床面検出状況（北から）

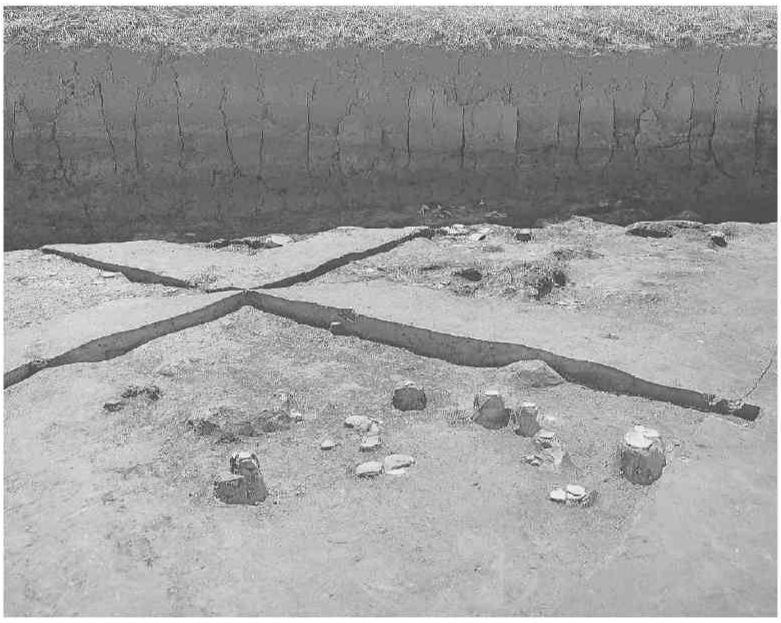
ST16 カマド土層断面（北東から）

ST17 完掘状況（南から）

ST17・SB120 完掘状況（西から）

ST19 完掘状況（南東から）

ST242 検出状況（北から）



ST242 遺物出土状況（東から）

ST242 完掘状況（北から）

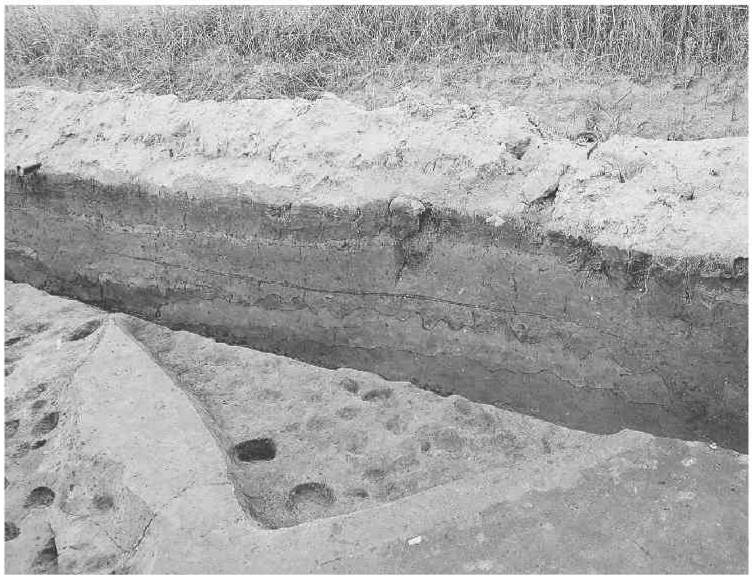
ST248 土層断面（南から）

ST250 半截状況（東から）

ST250 床面完掘状況（東から）

ST250 床面検出状況（南西から）

ST265 完掘状況（北から）



ST267 土層断面（北から）

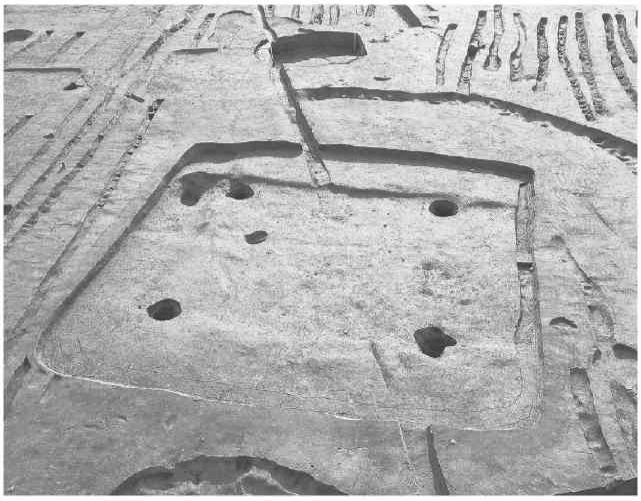
ST270・SD271 半截状況（南西から）

ST270 床面検出状況（南西から）

ST270 床面検出状況（東から）

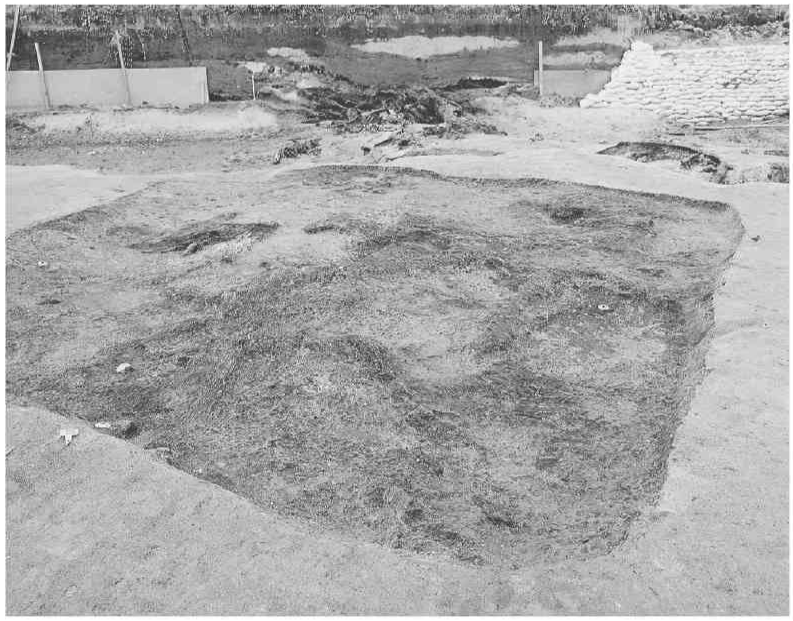
ST270 床面完掘状況（北から）

ST270 完掘状況（南西から）



ST270 完掘状況（北東から）

ST275 床面炭化物検出状況（東から）



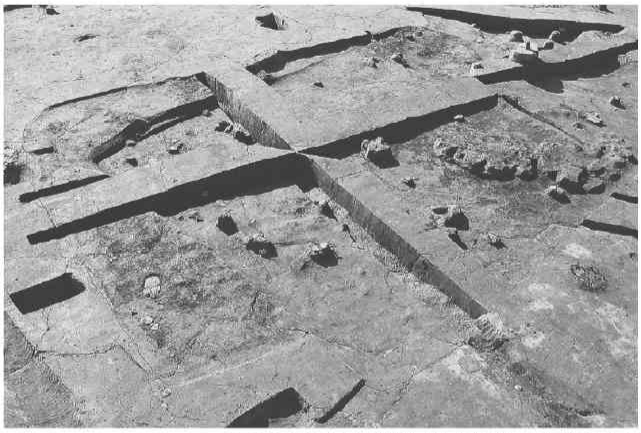
ST275 床面炭化物検出状況（北から）

ST275 床面検出状況（北西から）

ST276 炭面検出状況（北東から）

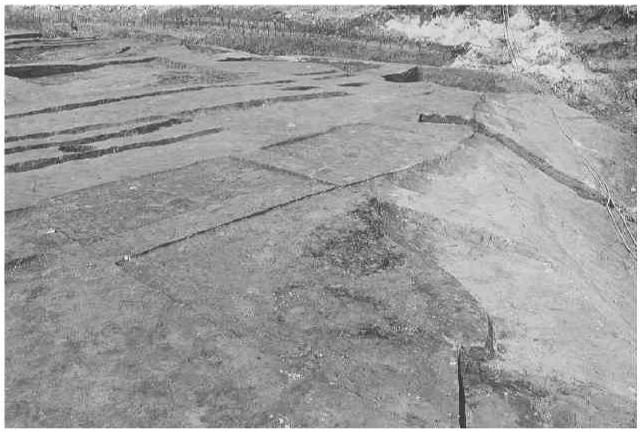
ST276 床面完掘状況（北東から）

ST306,ST307 炭面検出状況（北東から）



ST306,ST307 遺物出土状況（北東から）

ST306,ST307 床面検出状況（北東から）



ST314 土層断面（南から）

ST314 完掘状況（北東から）

ST314 完掘状況（南から）

ST314 ～ 317・ST270 検出状況（南西から）

ST314 ～ 317 作業風景（北から）

ST315 床面検出状況（南から）

ST315 完掘状況（南東から）

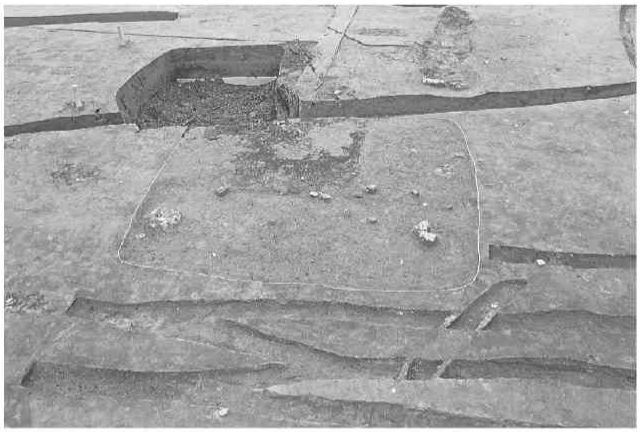
ST315 完掘状況（北西から）

ST315 完掘状況（南西から）

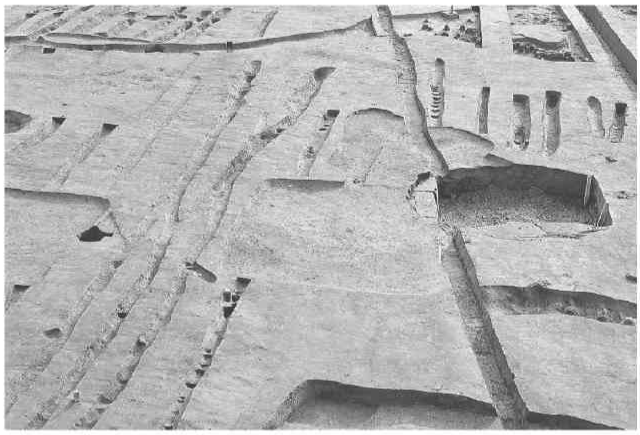
ST315 完掘状況（北から）

ST316 土層断面（南から）

ST316 床面検出状況（東から）



ST316 床面検出状況（北東から）

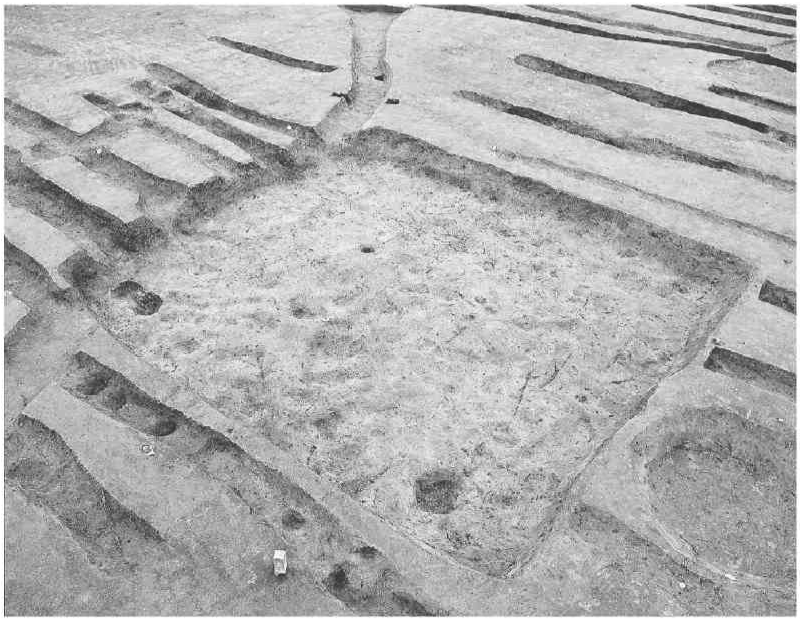


ST316 完掘状況（北から）

ST316 完掘状況（南東から）

ST317・SD320 炭面検出状況（東から）

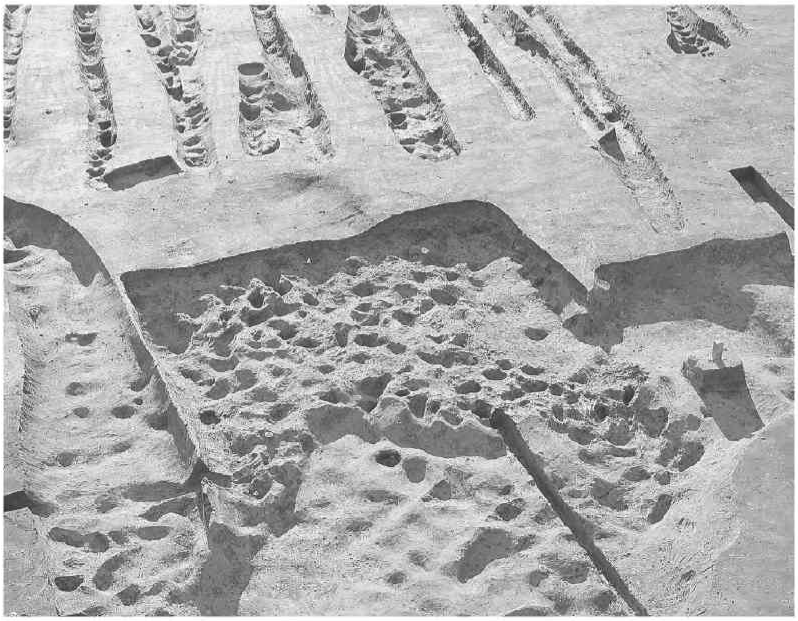
ST317 床面検出状況（南東から）



ST317 完掘状況（南東から）

ST324 半截状況（南から）

ST324 炭面検出状況（南西から）



ST324 完掘状況（北東から）

SB394-EB295 土層断面（南西から）

SB394-EB292 土層断面（東から）

SB394-EB249-RW1330 出土状況

SB394-EB263-RW1605 出土状況

SB394-EB269-RW1606 出土状況

SB394-EB308-RW1349 出土状況

SB394 完掘状況（東から）

SB406 完掘状況（北東から）

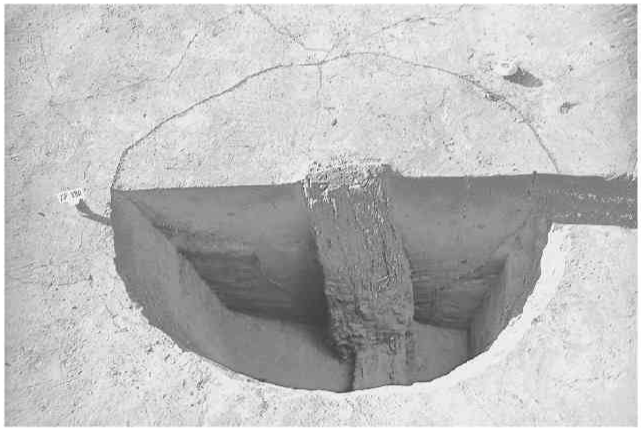
SB121 完掘状況（北東から）

SB122 完掘状況（南東から）

SB207 完掘状況（北西から）

SB209 完掘状況（北東から）

SB403 完掘状況（北東から）



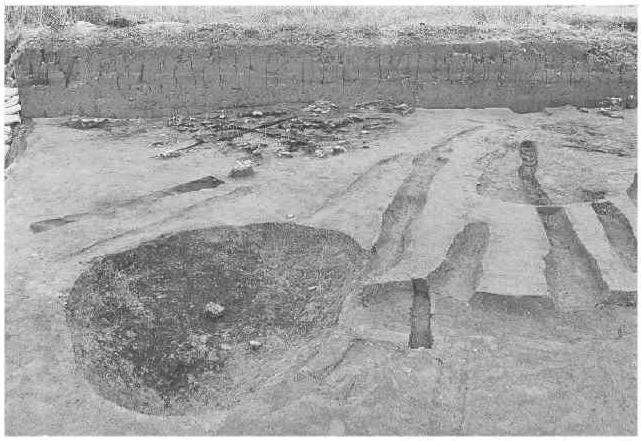
SB403,EB380 半截状況

SB403-EB372-RW1608,RW1609 出土状況

SP326 土層断面（西から）

SP326 遺物出土状況（北から）

SK320 炭面検出状況（南西から）



SK344 遺物出土状況（北から）

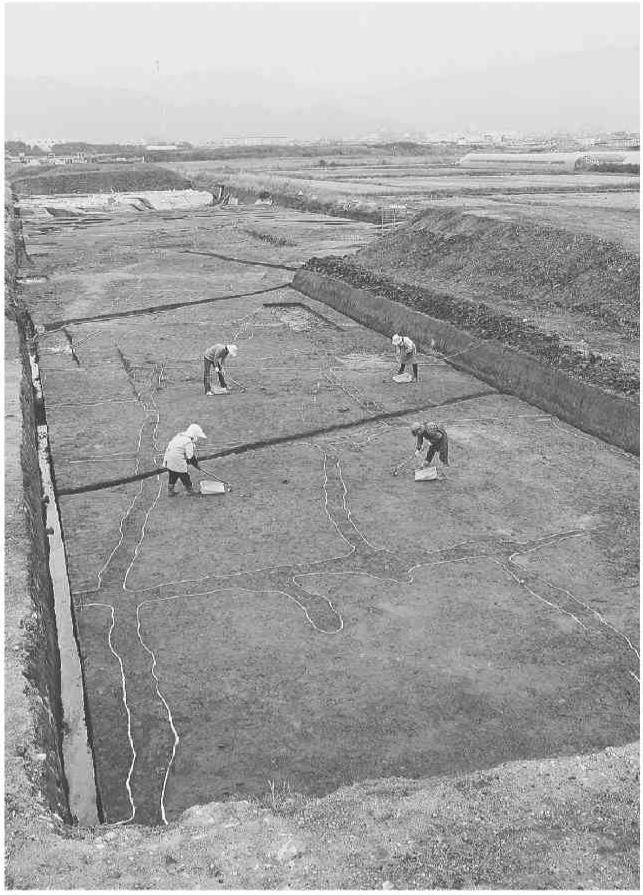
SX345 遺物出土状況（南西から）

SX345 遺物出土状況（南から）

SD13 土層断面（南西から）

SD72 完掘状況（南西から）

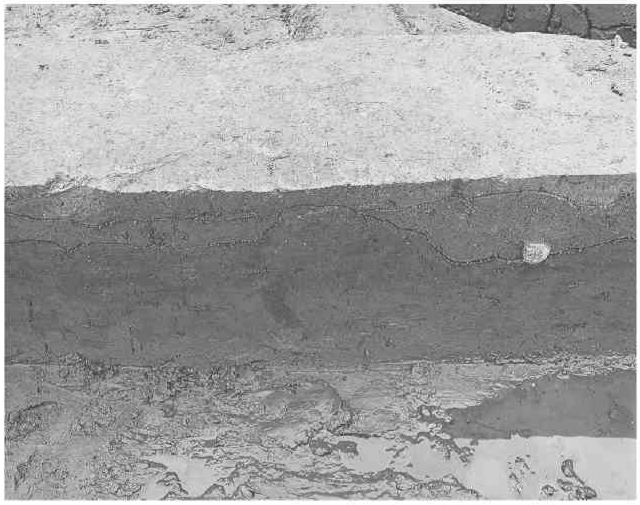
水田跡検出状況（北西から）



水田跡調査風景（北西から）

水田跡検出状況（北西から）

水田（田面）土層断面（北西から）



水田（畦畔）土層断面（北西から）

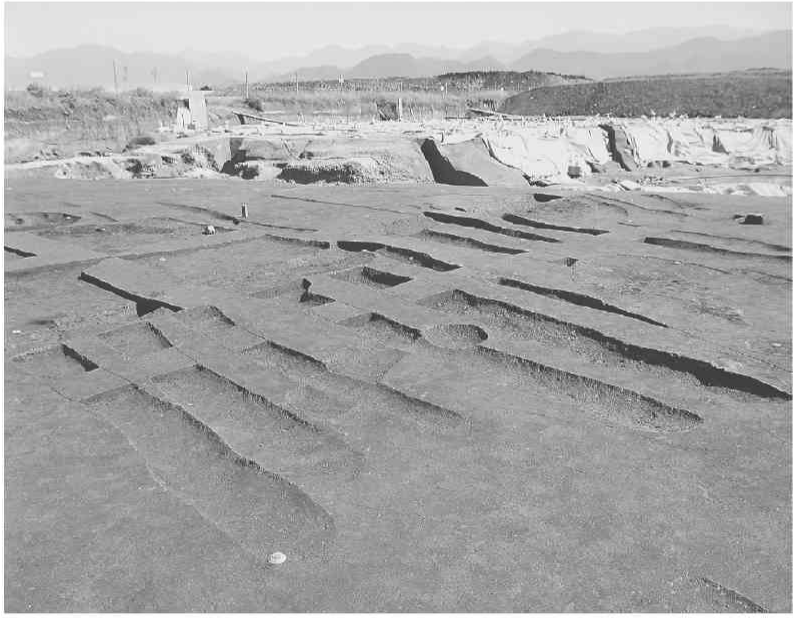
水田跡南水口検出状況（南西から）

水田跡北水口完掘状況（南から）

水田 ,SD346 完掘状況（北西から）

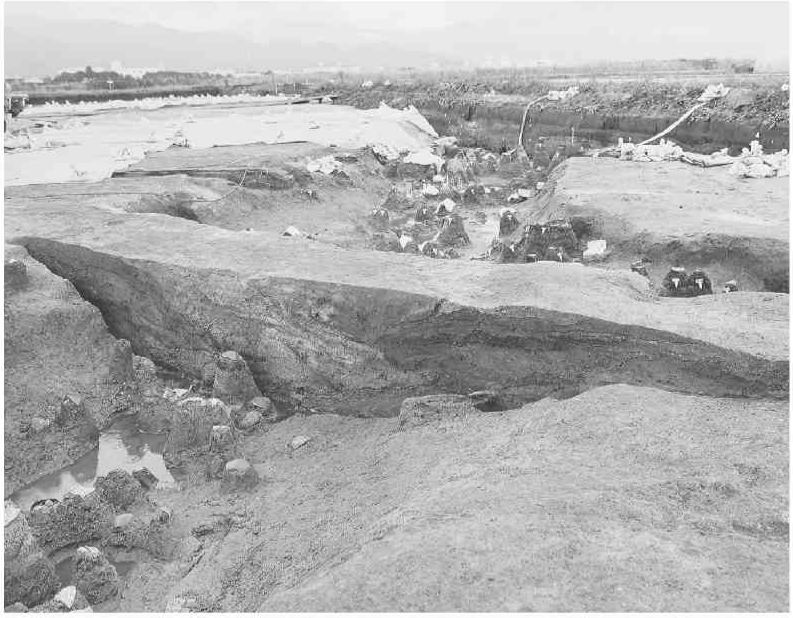
水田内足跡検出状況（北西から）

畝状遺構検出状況（南西から）



畝状遺構土層断面（南西から）

畝状遺構完掘状況（東から）



SG1 土層断面（北から）

SG1 土層断面（南から）

SG1 南端部遺物出土状況（南東から）

SG1 遺物出土状況（南から）

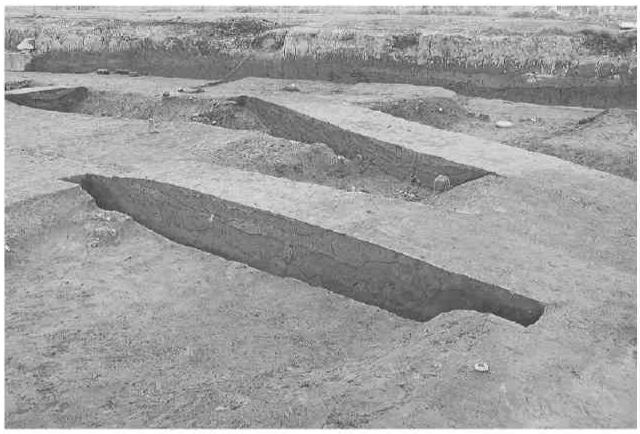
SG1 遺物出土状況（南西から）

SG1 完掘状況（南から）

SG1 完掘状況（北から）

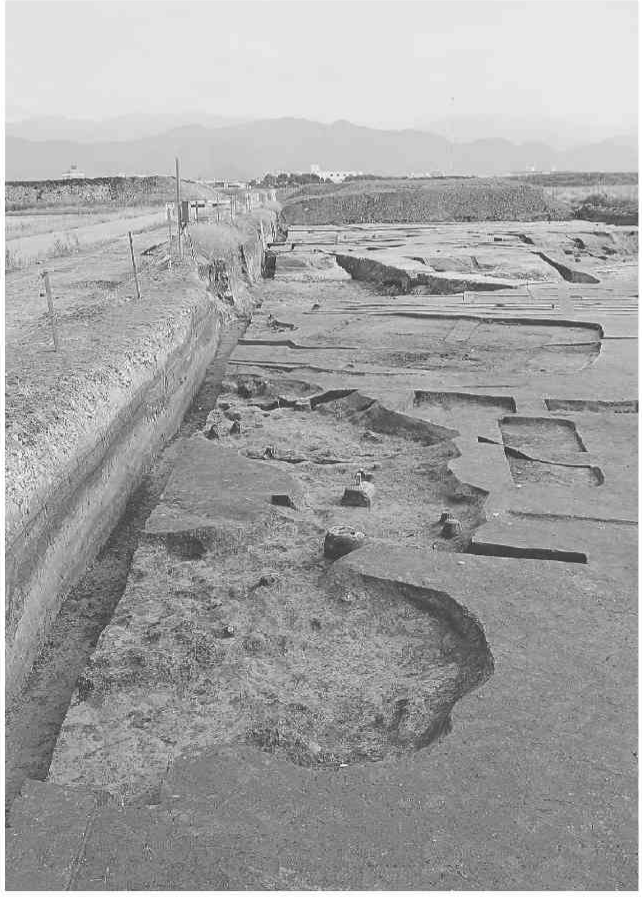
SG1 遺物出土状況（南東から）

SD374 遺物出土状況（南西から）



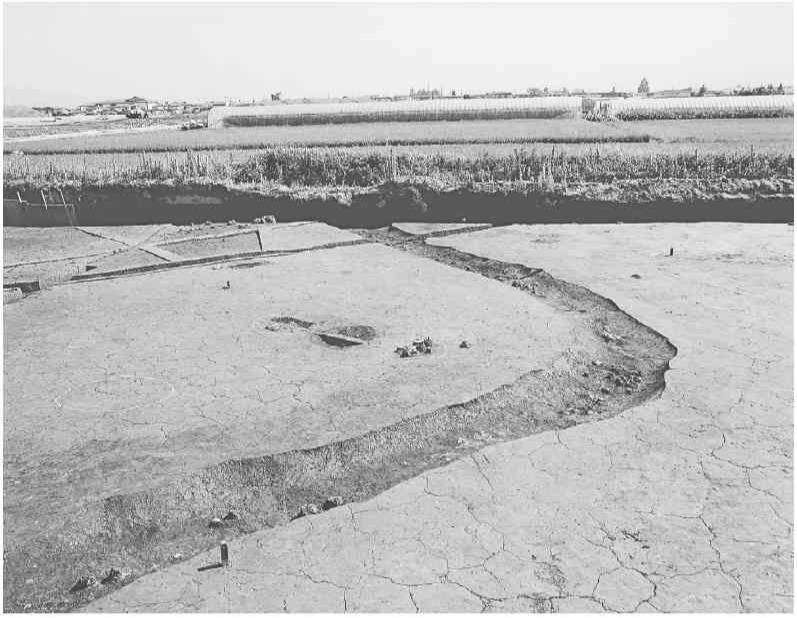
SD374 土層断面（南西から）

ST324・SD325・ST270・SD271 半截状況（西から）



SD324・SD325・ST270・SD271 完掘状況（西から）

SD236 付近遺物出土状況（北から）



SD236 遺物出土状況（北から）

ST242・SD327 遺物出土状況（北から）

SD245 完掘状況（南から）

SG1-RP643・644 出土状況

SG1-RP400 出土状況

SG1-RW386 出土状況

1 区　遺物出土状況

RP1068 出土状況

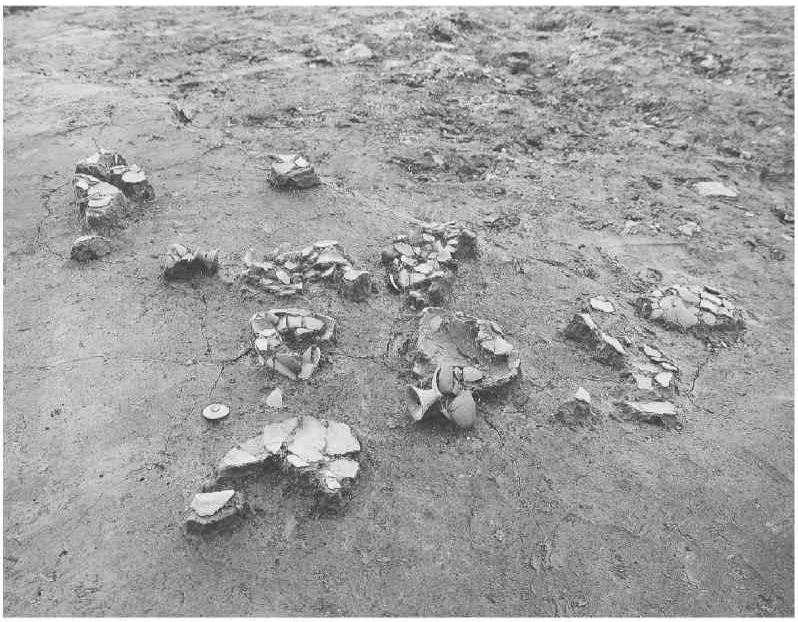
RP1069 出土状況

RP1080 ～ 1090 出土状況

RP1079 出土状況

RP1139・1140 出土状況

RP1275 出土状況



RP1091・1475 出土状況

8 ST15-RP183

10 ST16-RP340

27 SD13-RP171

12 ST17-RP378

14 ST17-RP193

20 ST19-RP257

21 ST19-RP259

22 ST80-RP334

23 ST80-RP338

24 ST80-RP337

48 SG1-RP011

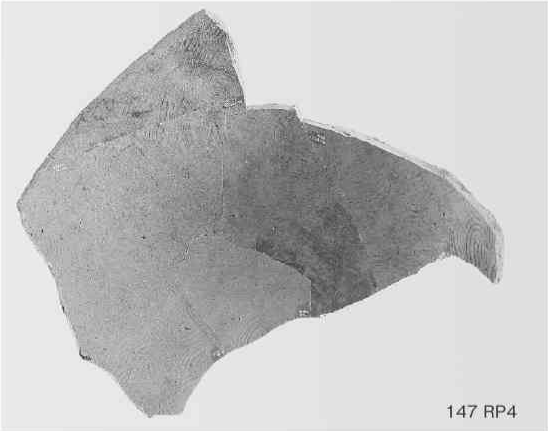
112 SG1-RP014

118 SG1-RP659

47 SG1-RP647

71 SG1-RP652

75 SG1-RP668



147 RP4

33 SG1-RP315

35 SG1-RP609

36 SG1-RP579

160 SG1-RP736

163 SG1-RP564

100 SG1-RP572

113 SG1-RP622

64 SG1-RP628

157 SG1-RP607

156 SG1-RP618

59 SG1-RP638

55 SG1-RP692

67 SG1

101 SG1-RP282

174 SG1-RP644

195 SG1-RP837

148 SG1-RP551

130 SG1-RP494

50 SG001-104-RP284

161 SG1-RP286

121 SG1-RP294

117 SG1-RP296

81 SG1-RP521

61 SG1-RP479

68 SG1-RP538

56 SG1-RP539

65 SG1-RP562

63 SG1-RP646

49 SG1-RP358

175 SG1-RP220

125 SG1-RP392

90 SG1-RP403

176 SG1-RP228

60 SG1-RP462

98 SG1

87 SG1-RP422

58 SG1-RP592

32 SG1-RP425

34 SG1-RP438

89 SG1-RP435

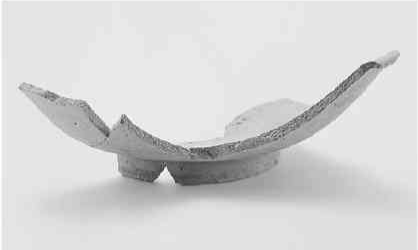
69 SG1-RP557

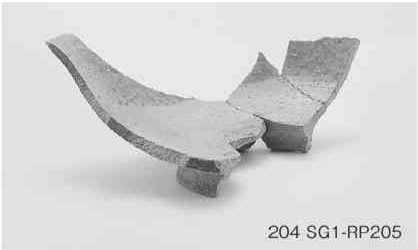
155 SG1-RP575

166 SG1-RP693

182 RP581

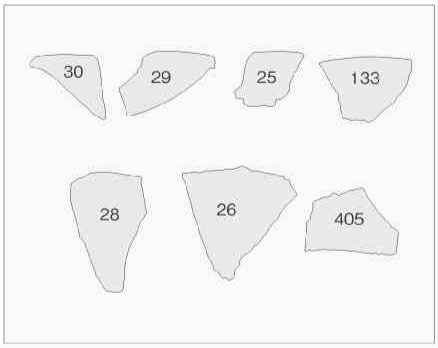
122 RP348

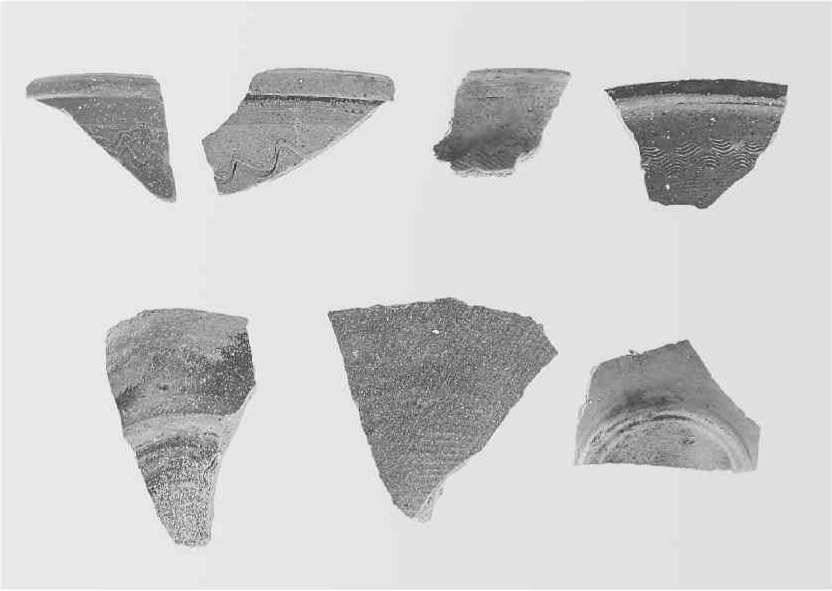


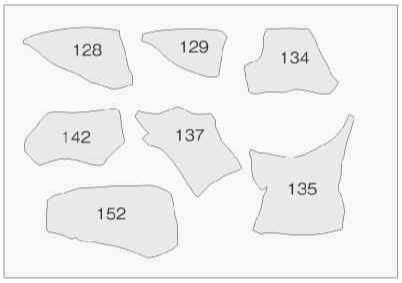

204 SG1-RP205

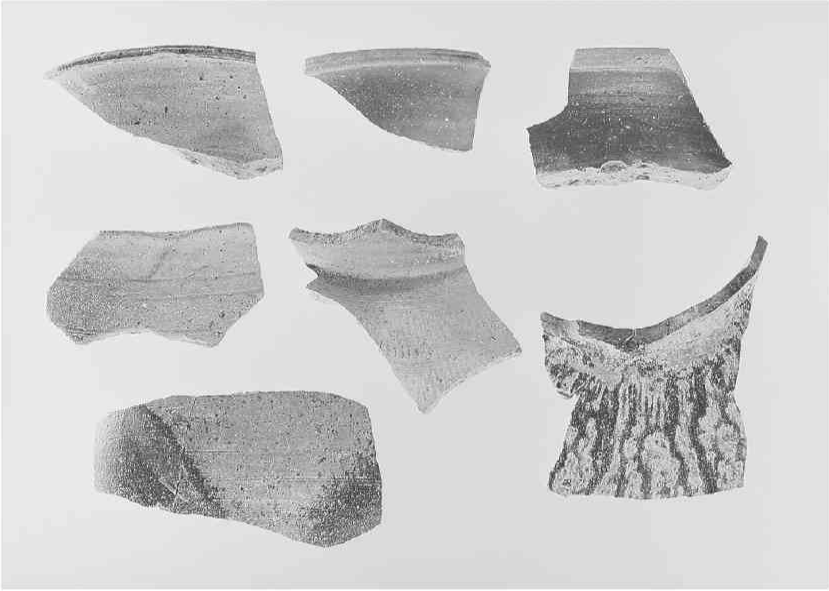
88 SG1-RP279

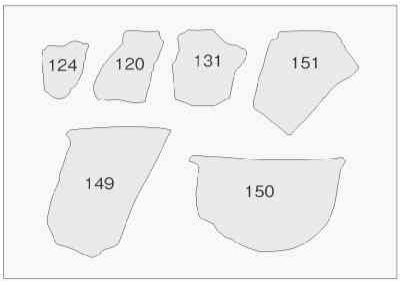
102 SG1-RP354

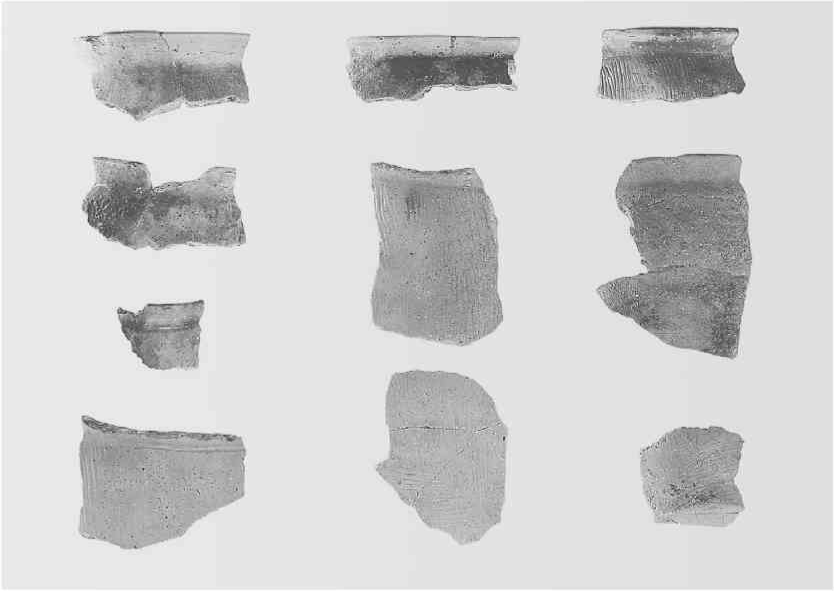

30
29
25
133
28
26
405

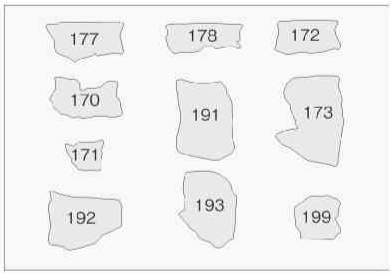


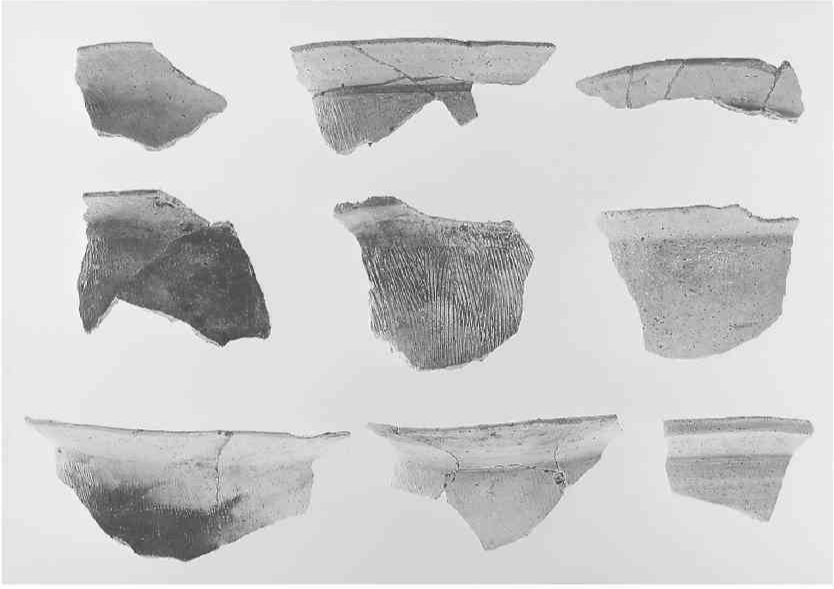

128
129
134
142
137
135
152

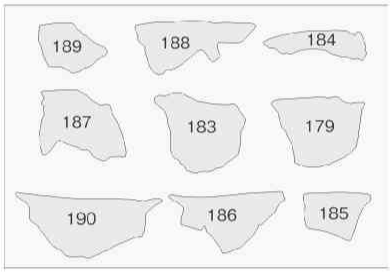


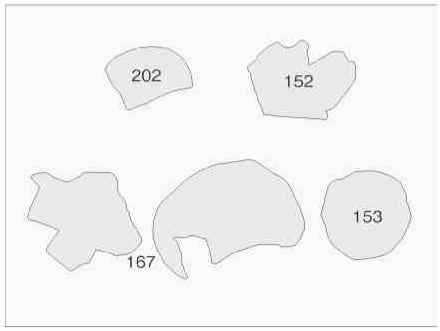

124
120
131
151
149
150

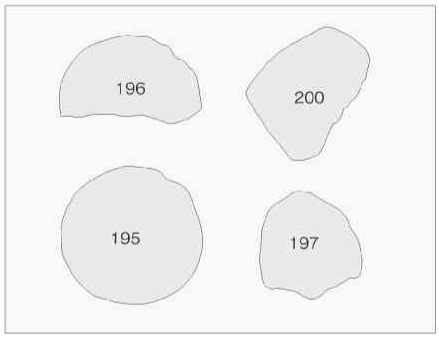


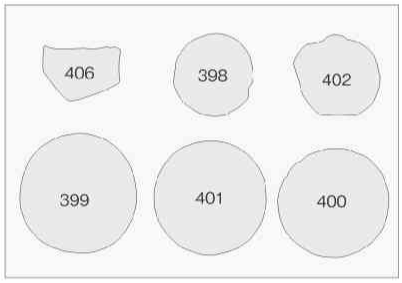

177
178
172
170
191
173
171
192
193
199

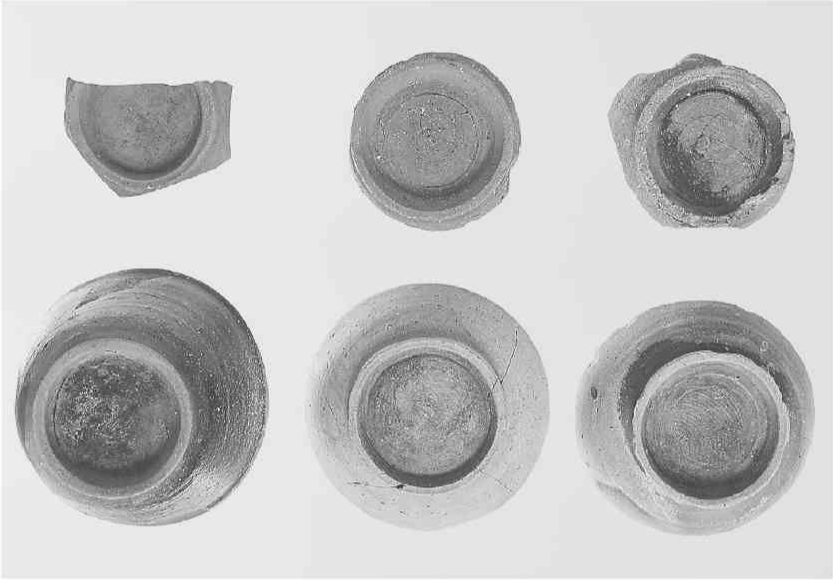


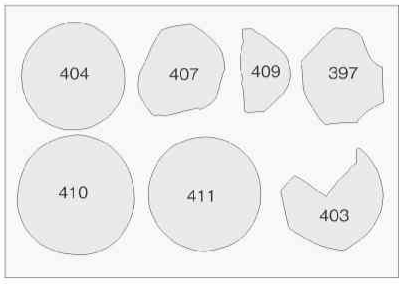

189
188
184
187
183
179
190
186
185

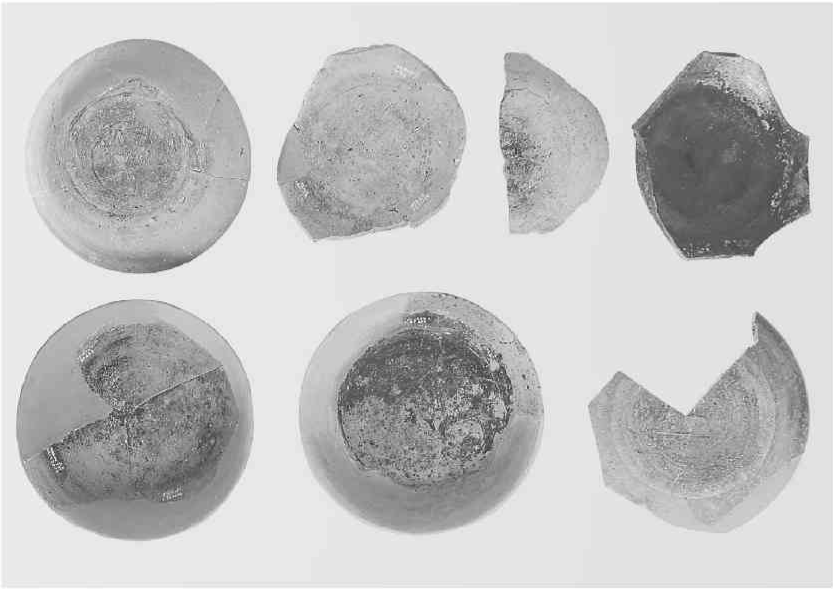

202
152
153
167


196
200
195
197


406
398
402
399
401
400




404
407
409
397
410
411
403



397 SG1-RP506

400 SG1-RP756

401 SG1-RP013

399 SG1-RP408

404 SG1-RP300

410 SG1-RP445

409 RP281

208 RP219

209 RP615

210 RP685

211 RP771

212 RP489

214 RP271

215 RP444

216 RP610

221 RP637

222 RP675

223 RP747

227 RP229

228 RP671

234 RP554

235 RP583

237 RP608

238 RP616

273 RP531

240 RP201

236 RP251

246 RP297

247 RP303

248 RP318

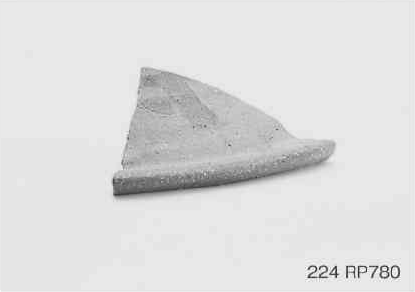
249 RP320

239 RP448

272 RP491

251 RP540

250 RP556


224 RP780

257 RP429

259 RP309

264 RP620

265 RP254

266 RP305

252 RP338

253 RP357

254 RP402

261 RP596

262 RP600

263 RP630

270 RP564

271 RP519

274 RP308

277 RP586

278 RP442

276 RP508

279 RP204

280 RP306

285 RP612

286 RP496

284 RP577

281 RP655

283 RP511

282 RP604

289 RP356

288 RP523

287 RP632

290 RP248

291 RP441

292 RP326

297 RP430

295 RP432

293 RP391

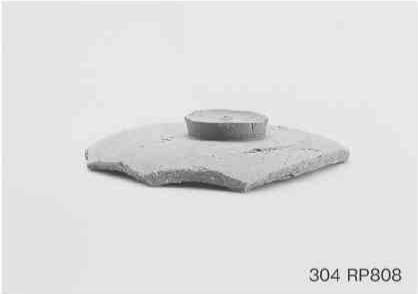
294 RP433

300 RP319

298 RP256

299 RP279

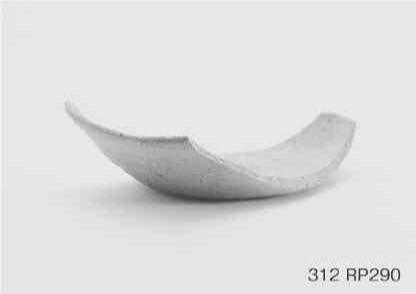
301 RP510


304 RP808

305 RP520

307 RP264

308 RP359


312 RP290

311 RP426

314 RP595

313 RP536

317 RP401

318 RP304

319 RP457

323 RP289

324 RP619

326 RP639

328 RP272

330 RP582

331 RP1

333 RP601

335 RP691

349 RP227

339 RP400

338 RP327

337 RP626

336 RP565

340 RP439

342 RP5

341 RP553

343 RP788

345 RP452

351 RP214

352 RP301

353 RP660

354 RP289

355 RP304

356 RP605

368 RP492

359 RP757

361 RP459

363 RP719

362 RP790

364 RP472

365 RP560

366 RP640

367 RP767

370 RP10

371 RP588

374 RP397

375 RP524

376 RP621

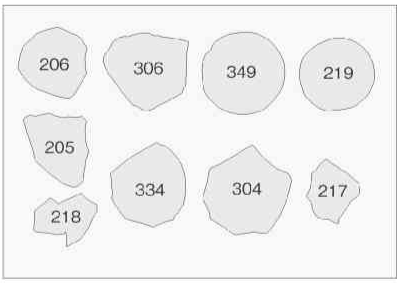
378 RP617

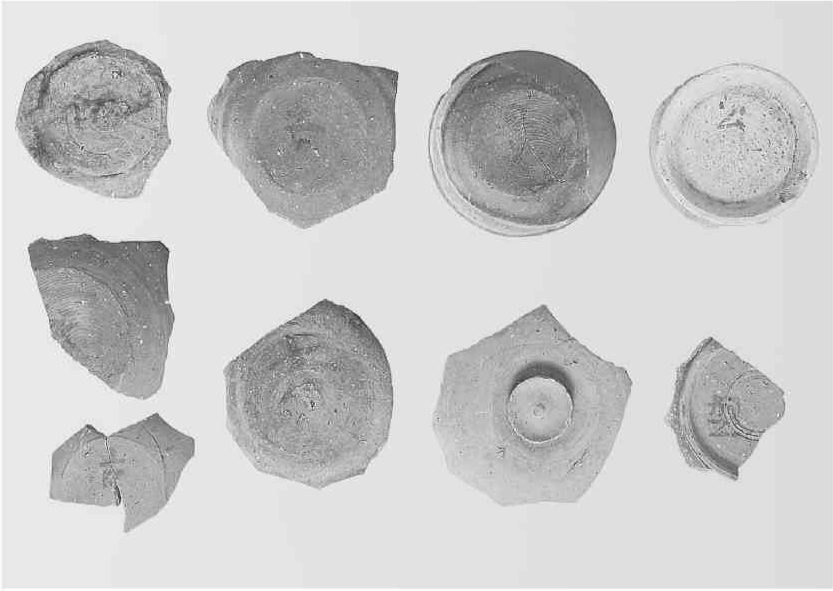
377 RP682

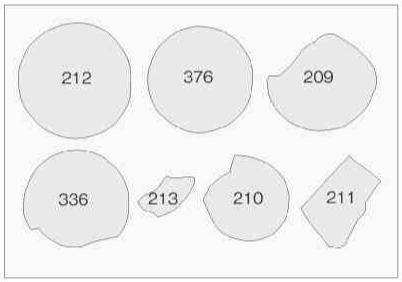
379 RP733

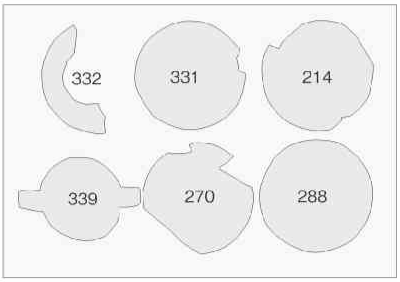
396 RP650

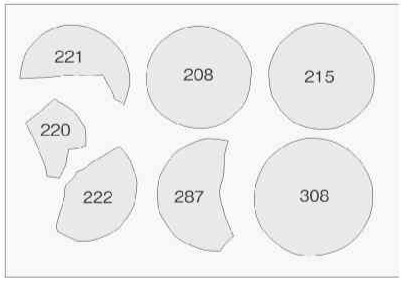
395 RP797

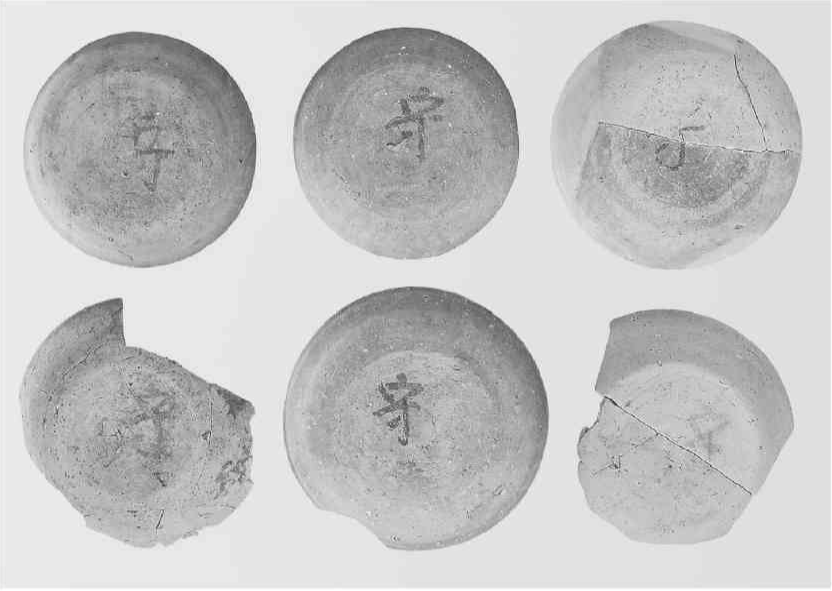

206
306
349
219
205
334
304
217
218

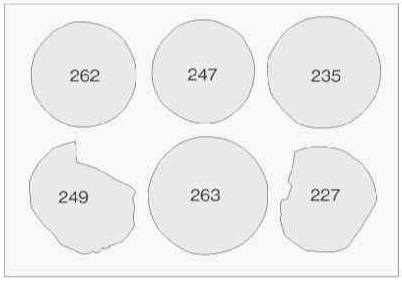


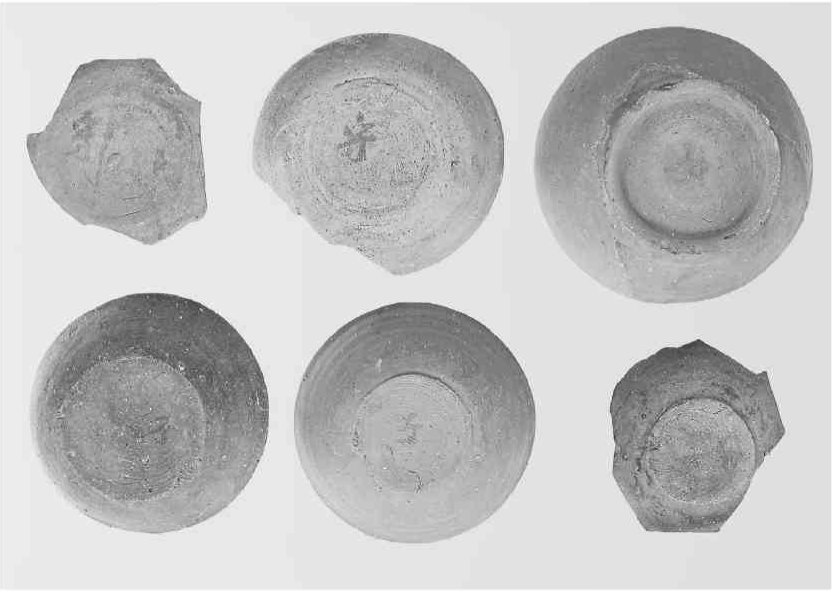

212
376
209
336
213
210
211

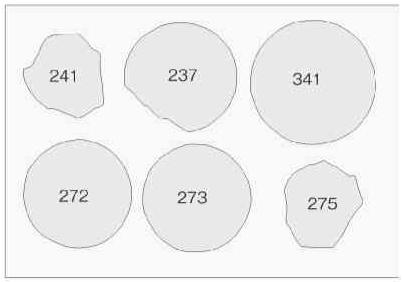

332
331
214
339
270
288

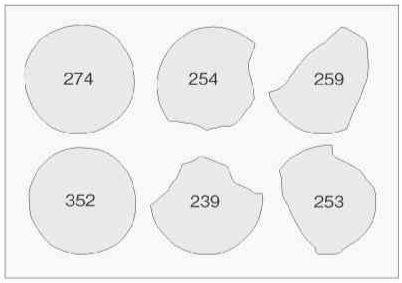

221
208
215
220
222
287
308

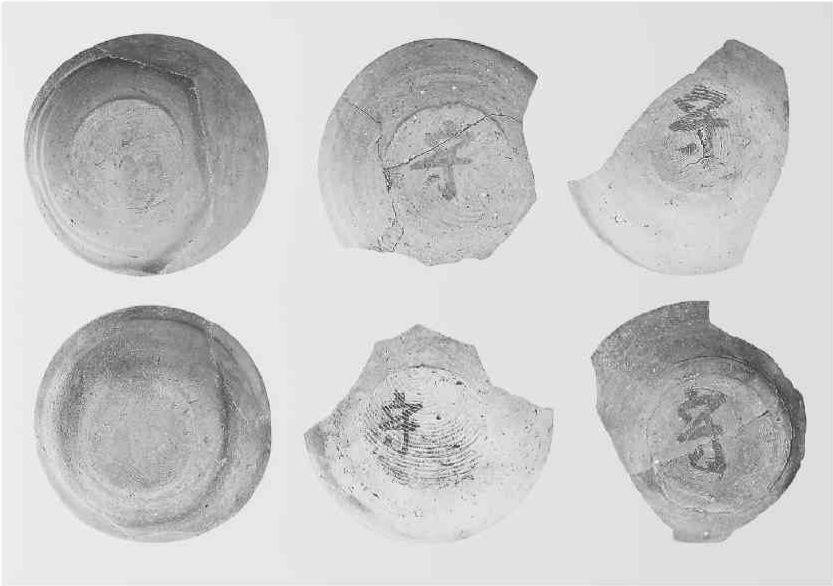


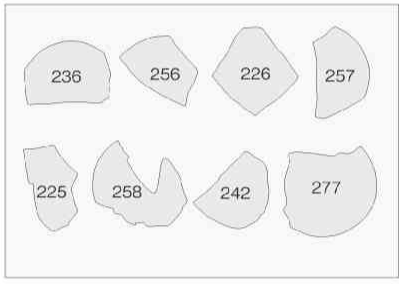

262
247
235
249
263
227

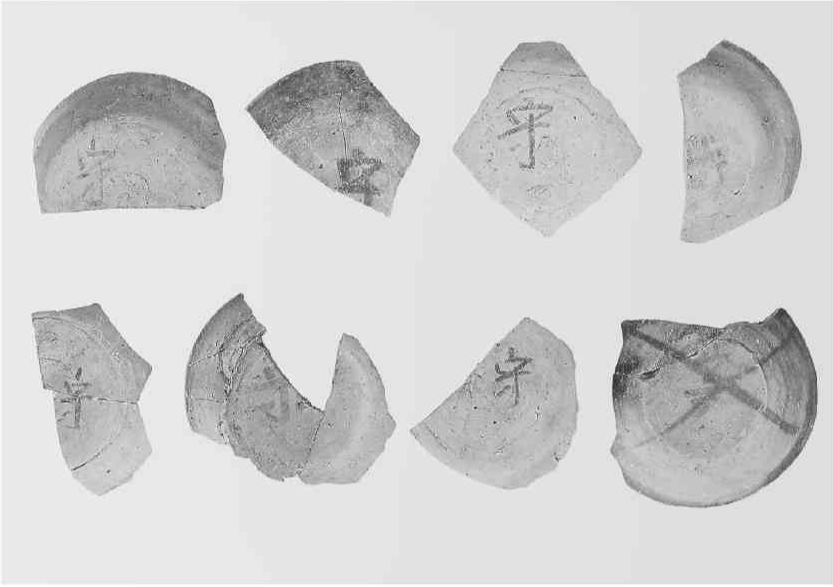


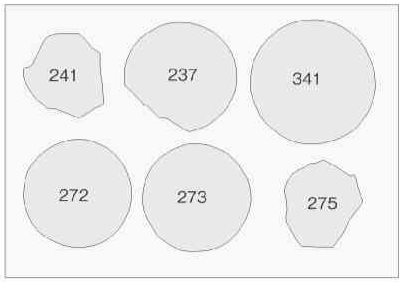

241
237
341
272
273
275

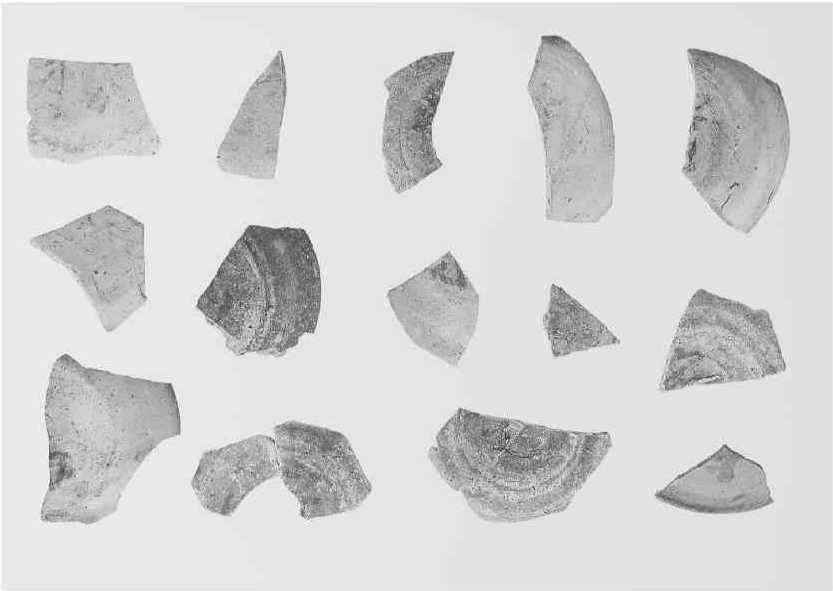

274
254
259
352
239
253

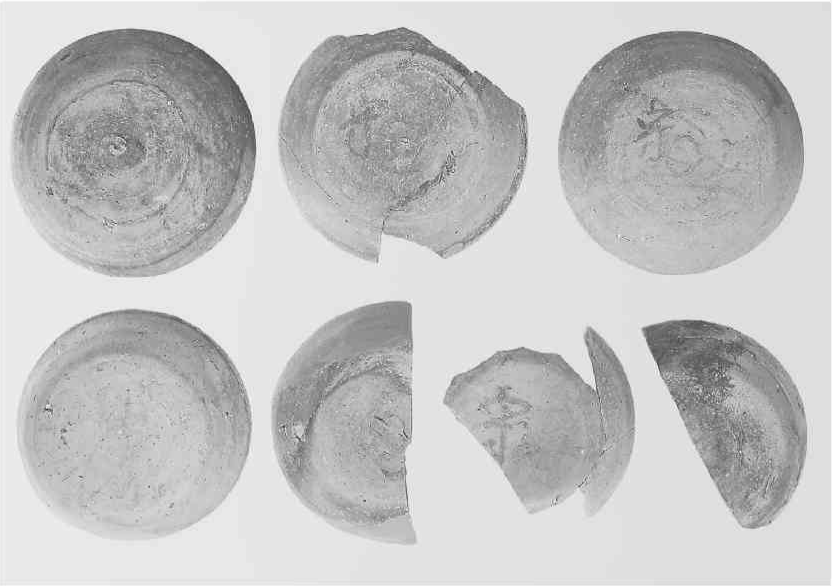


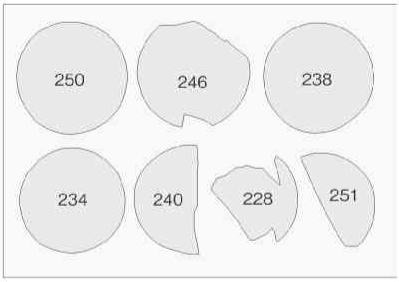

236
256
226
257
225
258
242
277

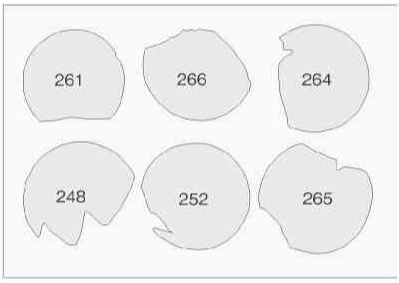


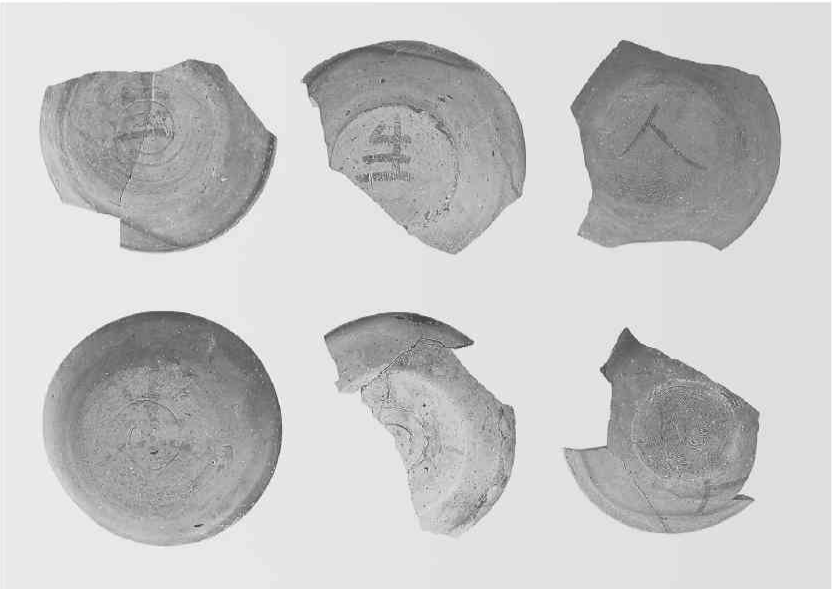

241
237
341
272
273
275

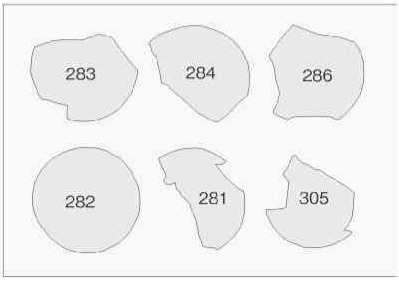


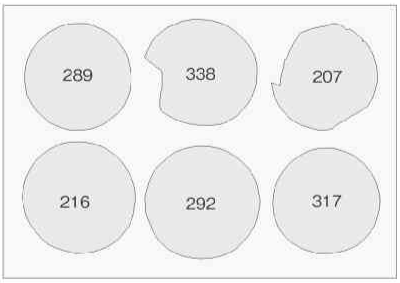


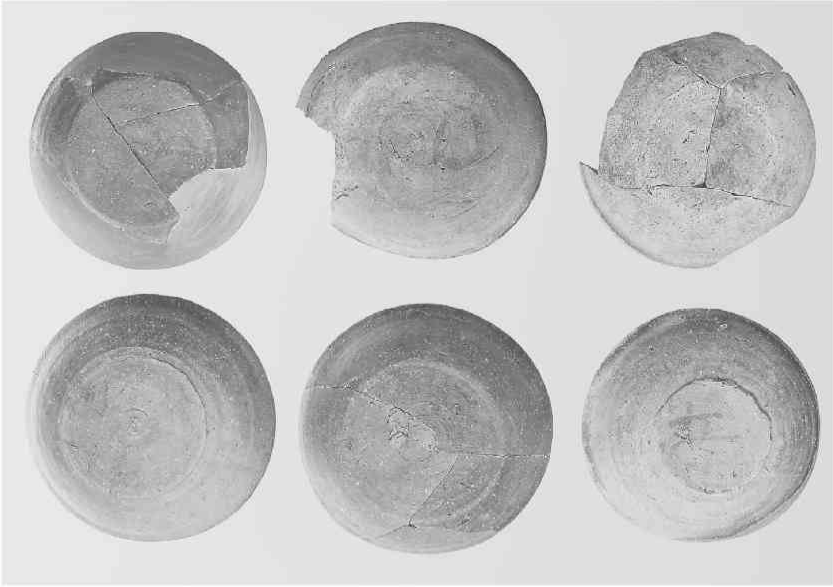

250
246
238
234
240
228
251

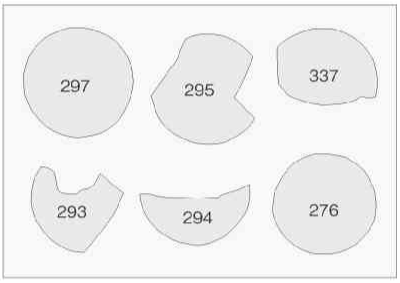

261
266
264
248
252
265

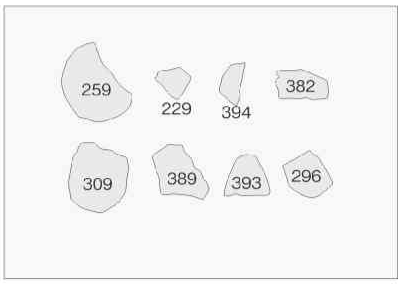


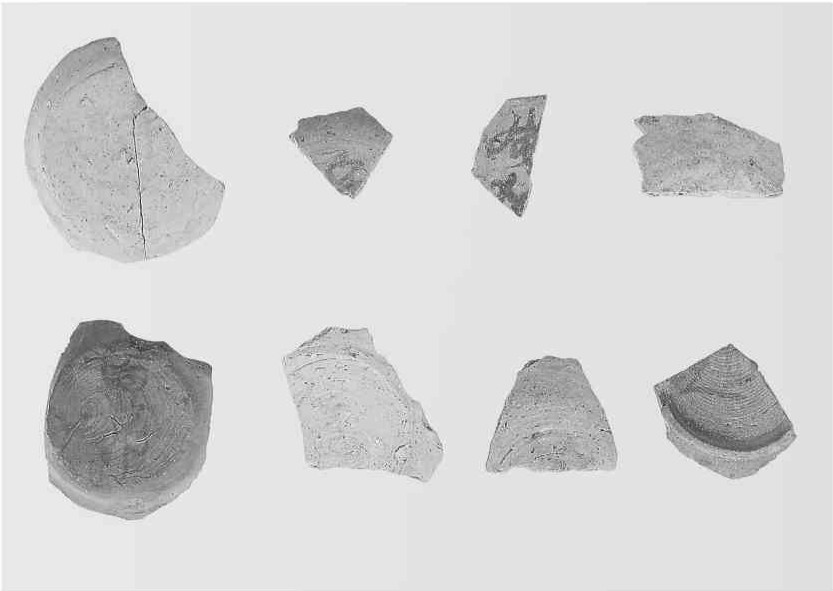

283
284
286
282
281
305

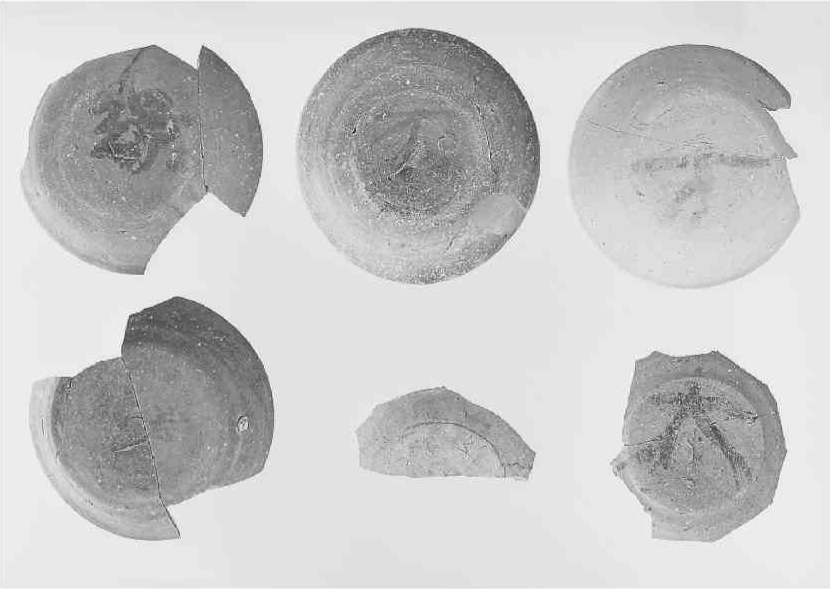

289
338
207
216
292
317

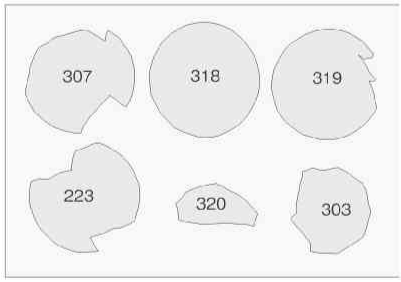


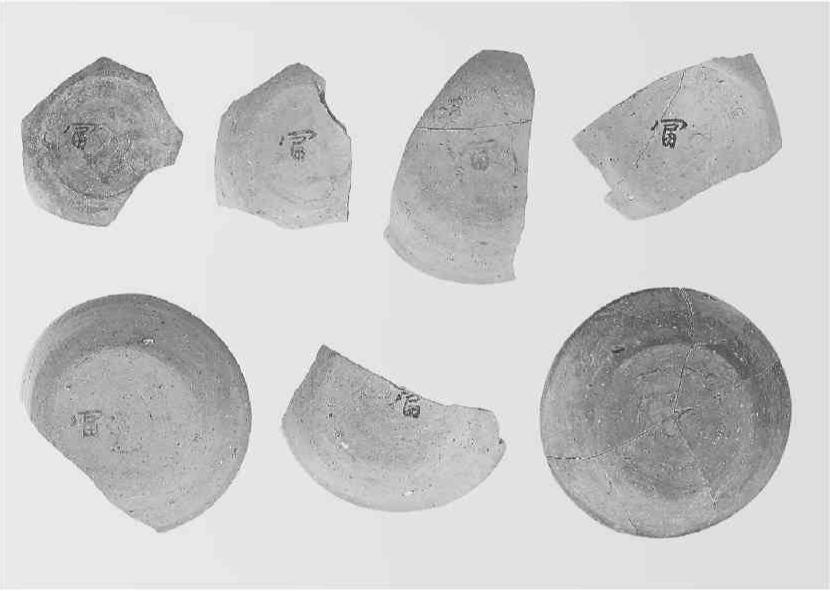

297
295
337
293
294
276

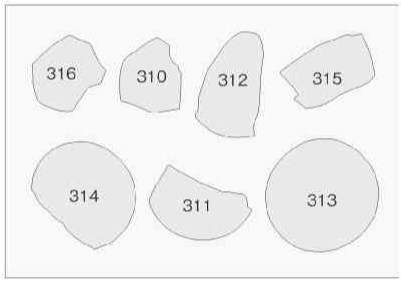

259
229
394
382
309
389
393
296

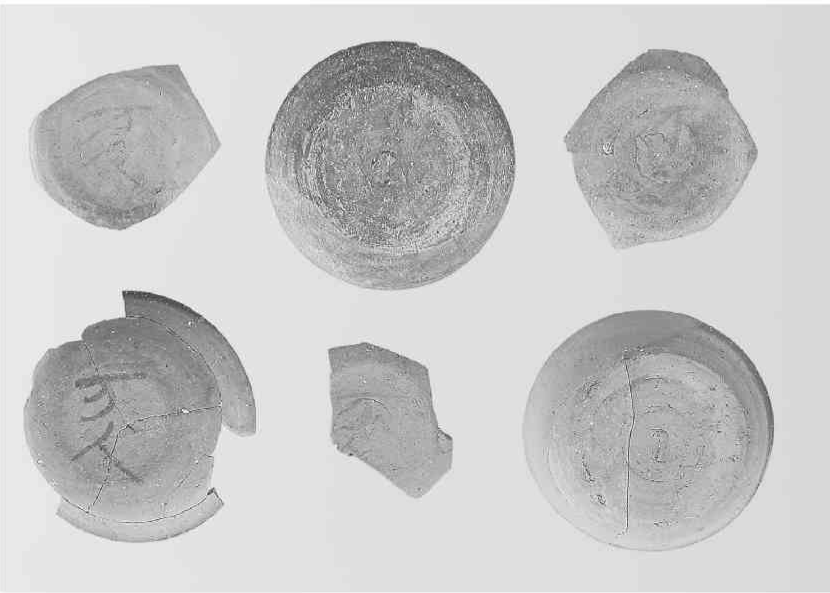


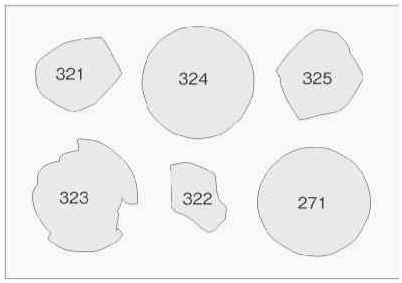


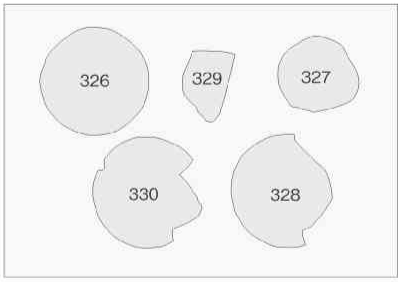

307
318
319
223
320
303

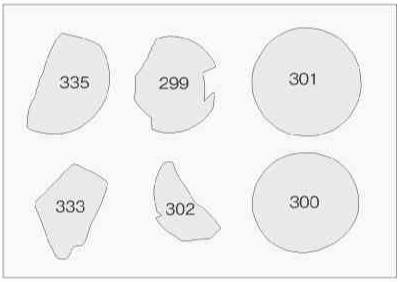


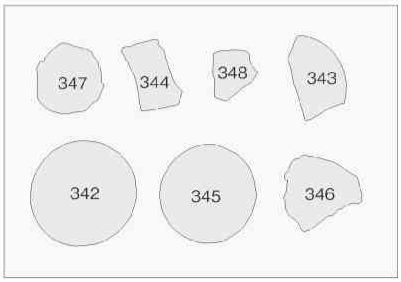

316
310
312
315
314
311
313

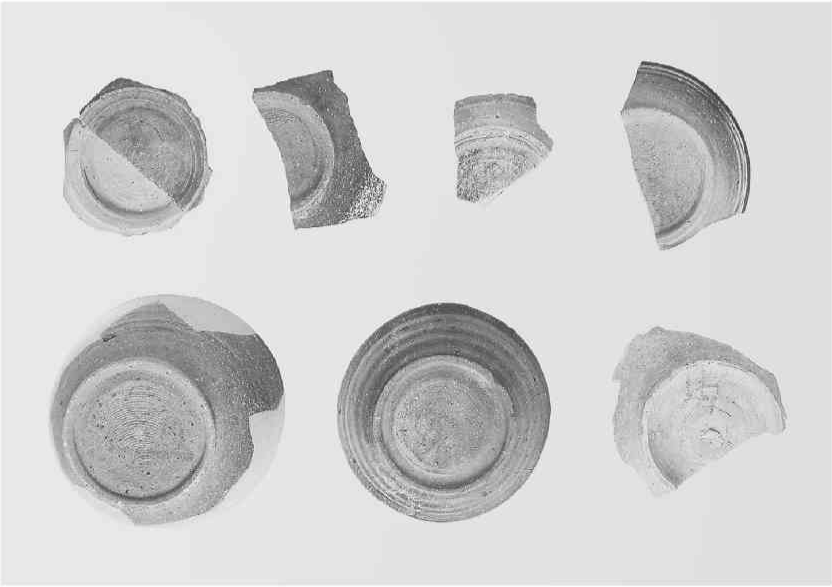


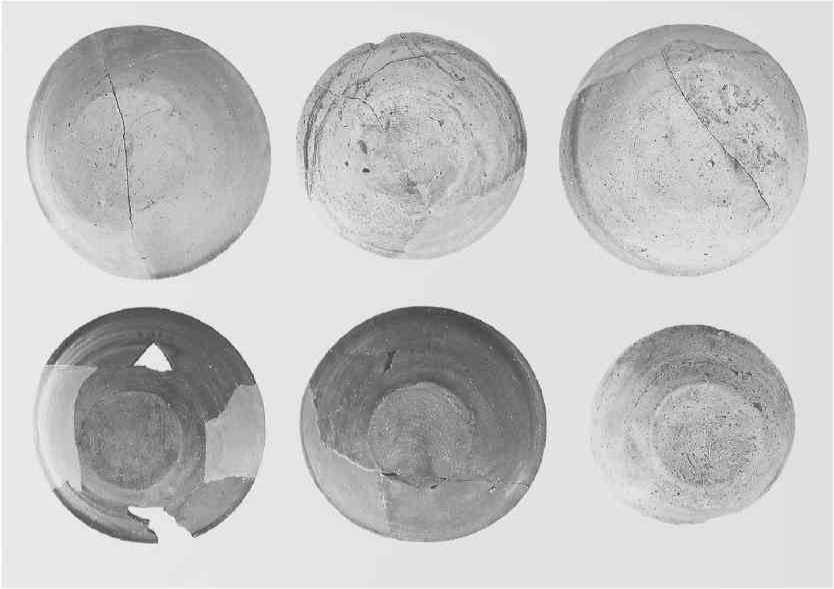

321
324
325
323
322
271

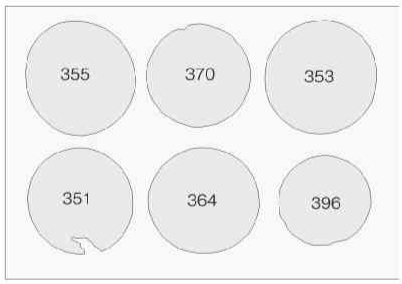

326
329
327
330
328

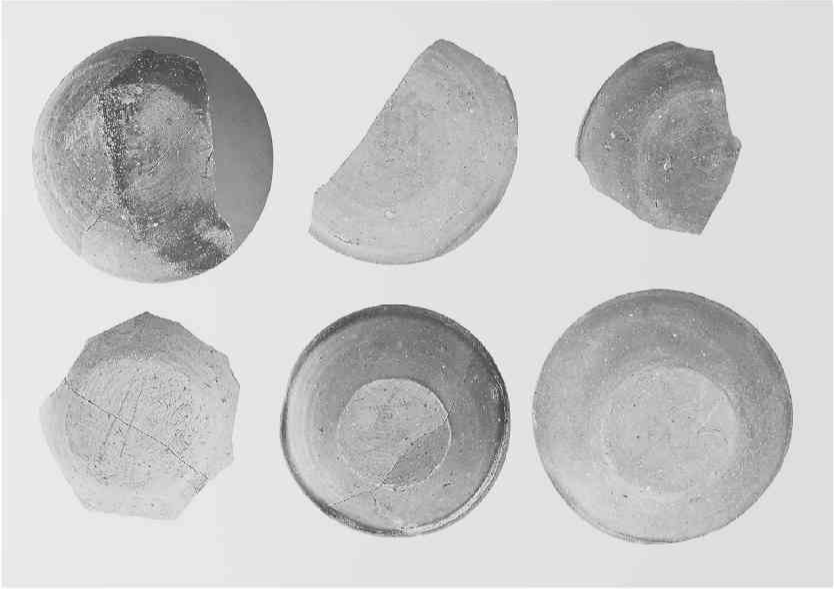

335
299
301
333
302
300

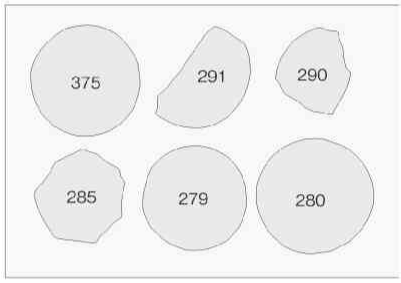

347
344
348
343
342
345
346

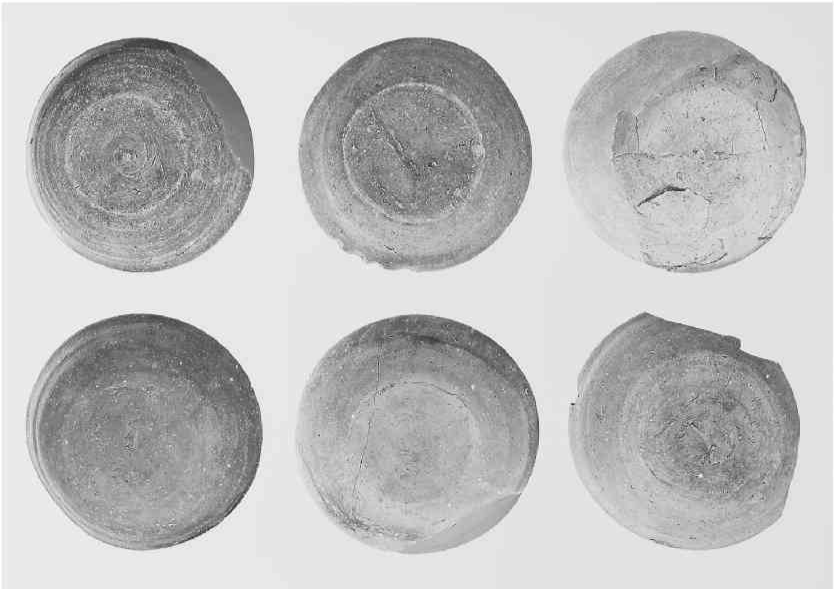


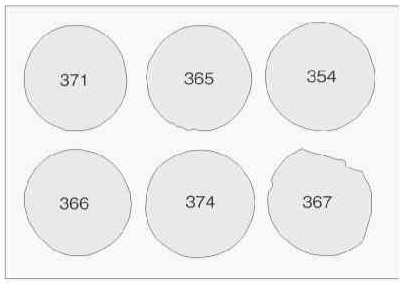


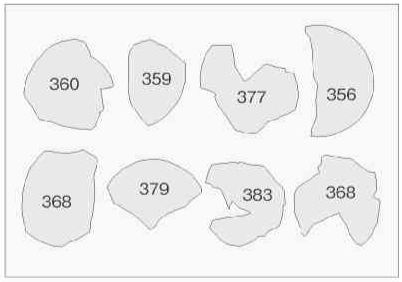

355
370
353
351
364
396

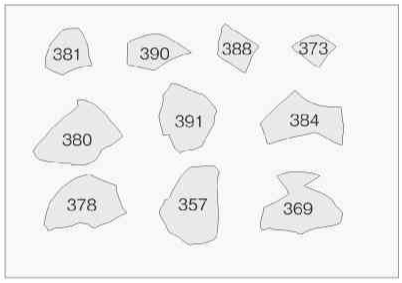


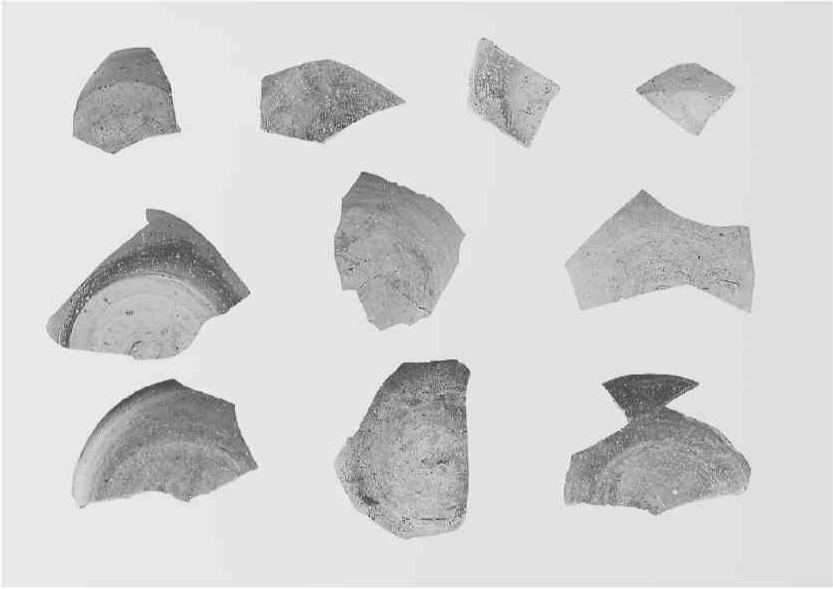

375
291
290
285
279
280

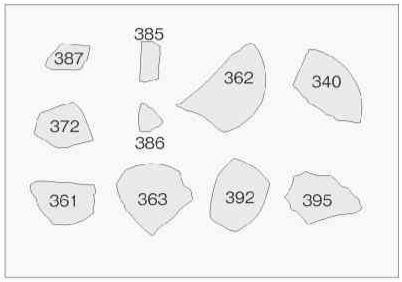


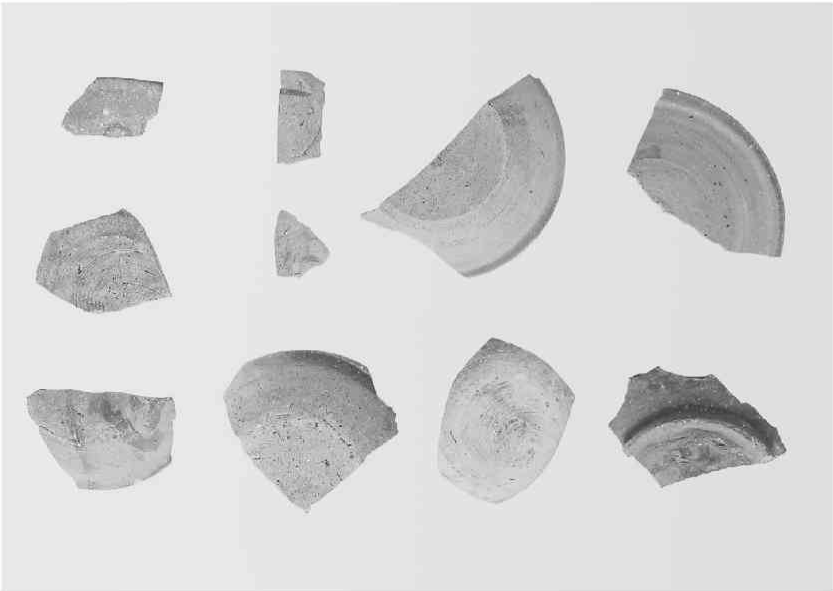

371
365
354
366
374
367


360
359
377
356
368
379
383
368


381
390
388
373
380
391
384
378
357
369




387
385
362
340
372
386
361
363
392
395



413 ST242-RP1442

414 ST242-RP1533

415 ST242-RP1425

416 ST242-RP1537

420 ST242-RP1420

419 ST242-RP1435

421 ST242-RP1424

424 ST250-RP1637

422 ST242-RP1433

426 ST250-RP1305

429 ST250-RP1133

430 ST250-RP1315

435 ST270-RP1516

438 ST307-RP1618

439 ST307-RP1164

437 ST307-RP1340

440 ST316-RP1539

444 SK264-RP1216

441 SK253-RP1290

443 SX243-RP1132

442 SX243

445 SX243-RP1075

449 SX244-RP1129

451 SX244-RP1055

453 SX244-RP1060

452 SX244-RP1066

454 SX244-RP1051

446 SX244-RP1067

447 SX244-RP1074

457 SX345-RP1579

458 SX345-RP1580

499 SX345-RP1571

500 SX345-RP1581

448 SX345-RP1572

459 SX345-RP1583

460 SX345-RP1583

461 SX345-RP1576

462 SD236-RP1189

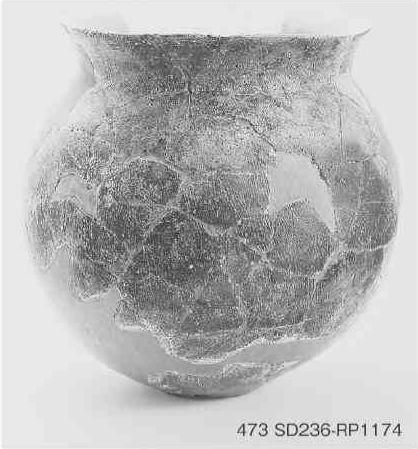
463 SD236-RP1173

474 SD236-RP1166

472 SD236-RP1092

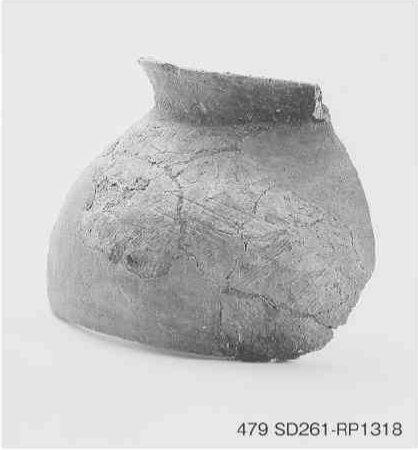
471 SD236-RP1194

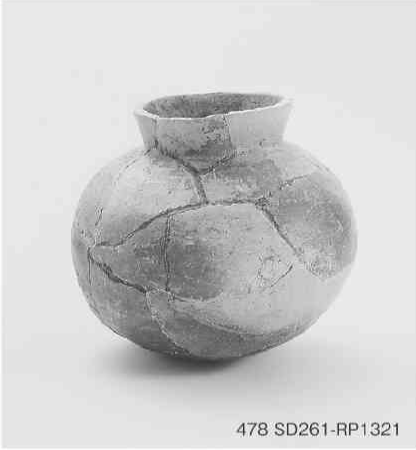
466 SD236-RP1185


473 SD236-RP1174

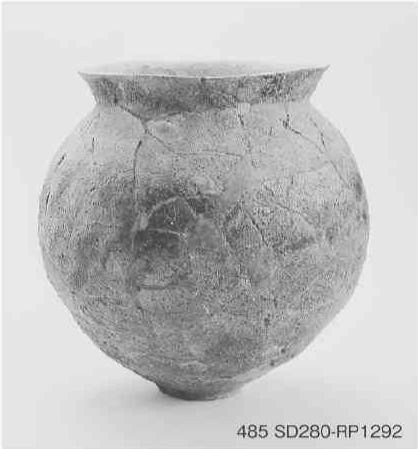
475 SD261-RP1321

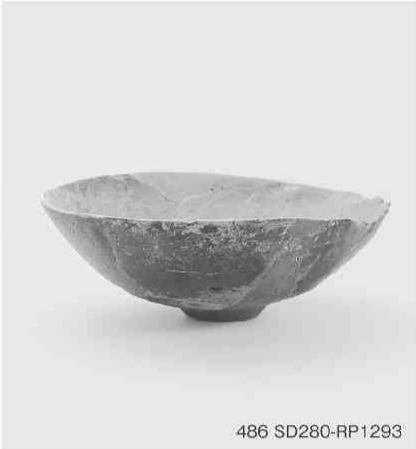
482 SD261-RP1321


479 SD261-RP1318


478 SD261-RP1321

484 SD271-RP1562


485 SD280-RP1292


486 SD280-RP1293

487 SD323

509 SD325-RP1392

508 SD325-RP1022

507 SD325-RP1022

509 SD325-RP1392

505 SD346-RP1027

502 SD346-RP1569

503 SD346-RP1632

504 SD374

506 SD356-RP1592

510 SG1-RP1229

501 SD366-RP1601

511 SG1-RP1280

516 SG1-RP1236

515 SG1-RP1237

512 SG1-1242

517 SG1-RP1235

528 SG1-RP1366

529 SG1-RP1270

520 SG1-RP1229

521 SG1-RP1229

518 SG1-RP1369

539 SG1-RP1301

537 SG1-RP1285

538 SG1-RP1234

541 SG1-RP1275

546 SG1-RP1295

540 SD346-RP1632

542 SG1-RP1282

543 SG1-RP1037

544 SG1-RP1667

547 SG2-RP140

548 SG2-RP141

545 SG1-RP1219

550 SG2-RP155

552 SG2-RP124

551 SG2-RP123

558 SG2-RP160

554 SG2-RP121

555 SG2

557 SG2-RP125

559 SG2-RP148

560 SG2-RP161

561 SG2-RP127

562 SG2-RP132

563 SG2-RP123

570 SG2-RP151

564 SG2-RP131

569 SG2-RP126

566 SD271-RP1529

589 RP1098

585 RP146

573 RP1480

574 RP1091

575

576 RP1132

578 RP1034

579 RP1106

604 RP32

605 RP1548

608 RP1058

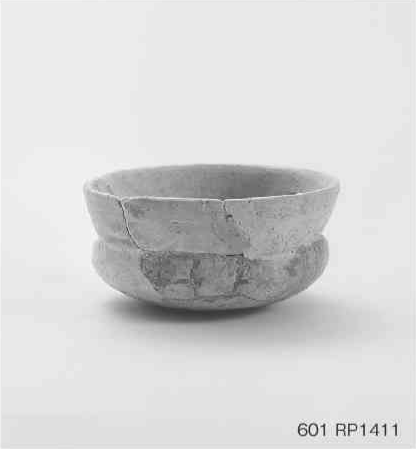
591 RP78

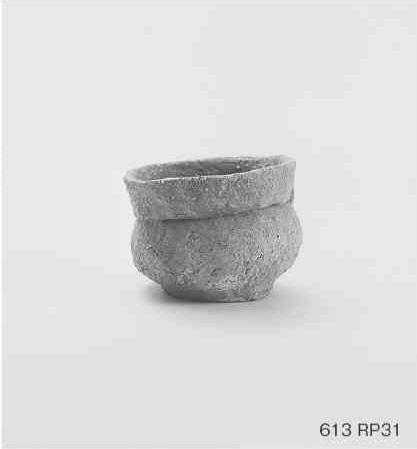
590 RP1521

592 RP1018

595 RP1485

600 RP1546

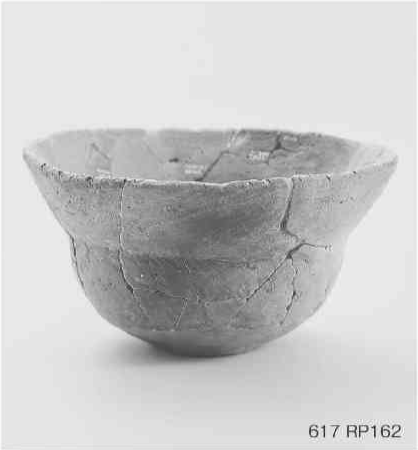

601 RP1411

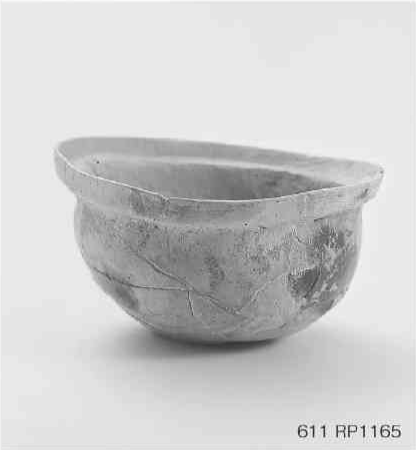

613 RP31

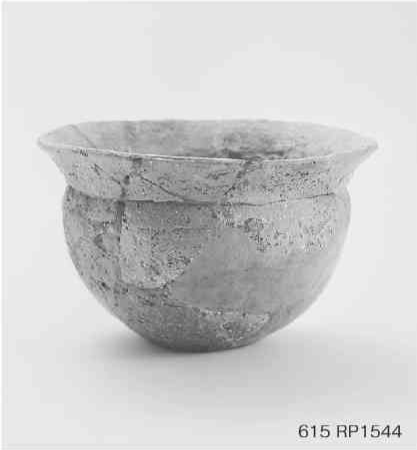
595 RP1093

616 RP136

603 RP149

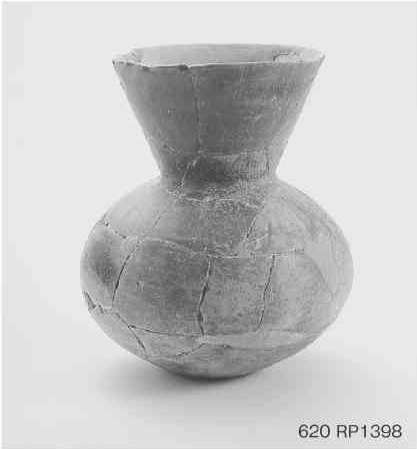

617 RP162


611 RP1165


615 RP1544

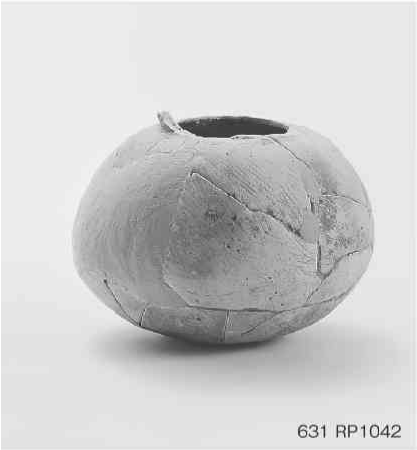
618 RP1586

619 RP1132


620 RP1398

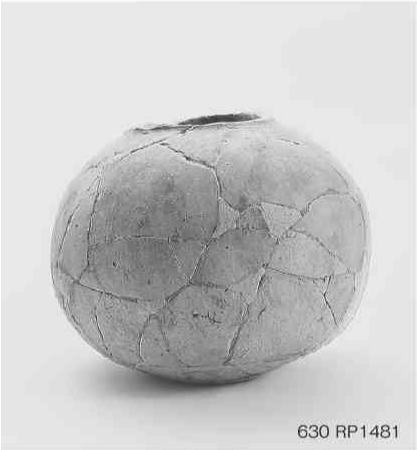
621 RP137

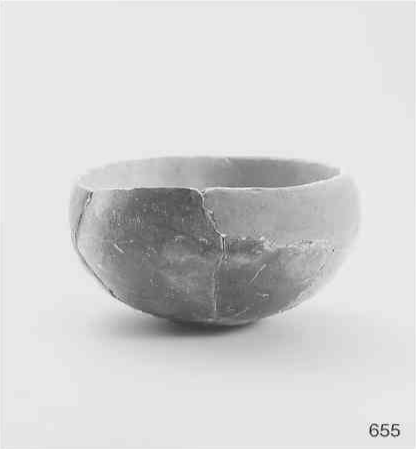
622 RP1091


631 RP1042

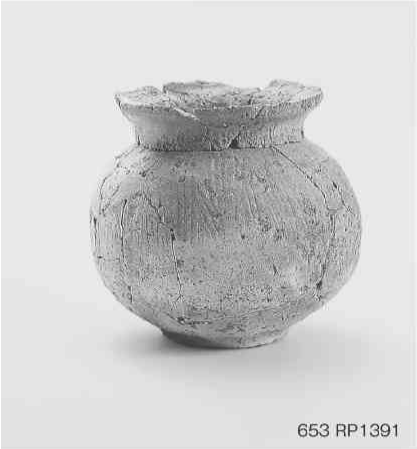
632 RP1068

634 RP1078


630 RP1481


655

652 RP1123


653 RP1391

647 SG1-RP1017

648 RP1048

656 RP135

658

660 RP1553

657 RP1069

663 RP1483

688 RP0149

664 RP0159

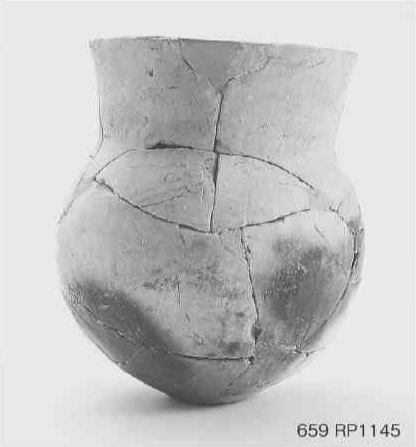
678 RP1554

667 RP1484

668 SG1

683 SD371-RP1402

666 RP1014


659 RP1145

701 RP1472

702

706 RP1400

697 RP1567

680 RP1079

689 RP1031

681 RP1143

691 RP1052

694 RP1071

698 RP1471

703 RP1051

693 RP1482

688 RP1126

690

692 RP1033

699 RP1039

695 RP1127

707 RP1120

704 RP1408

708 RP1083

709 RP1084

710 RP1082

711 RP1081

712 RP1080

713 RP1091

714 RP1089

715 RP1088

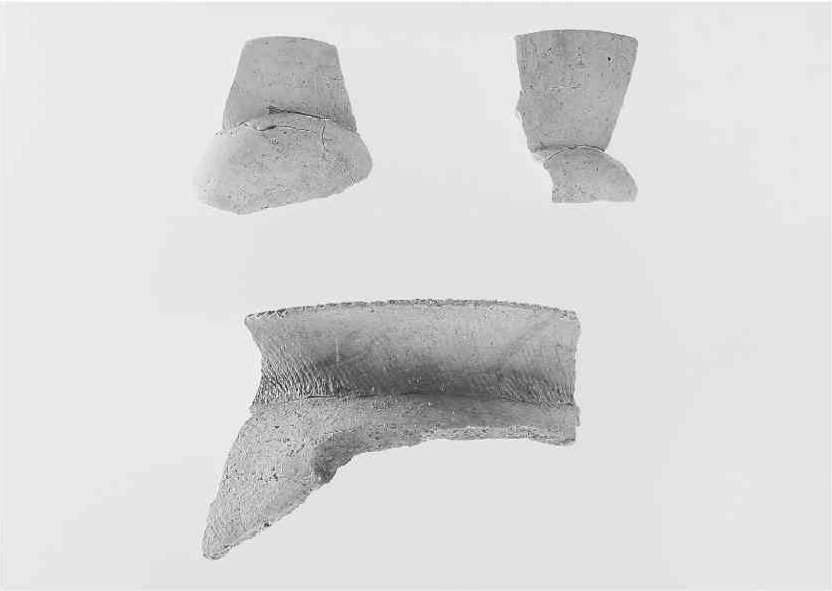
716 RP1087

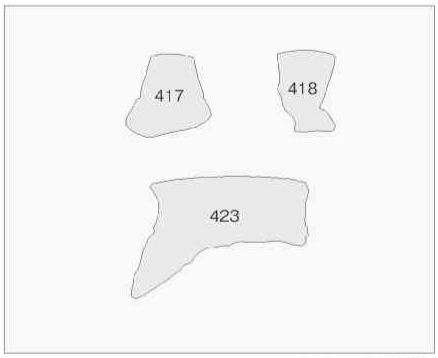
717 RP1086

718 RP1085

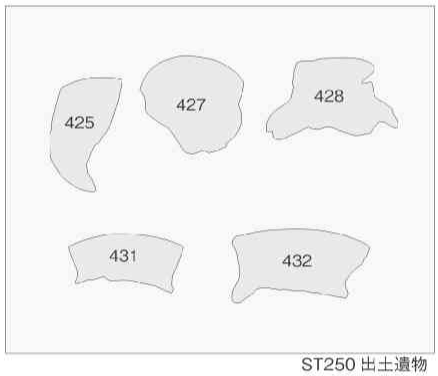
719 RP1477

708～718

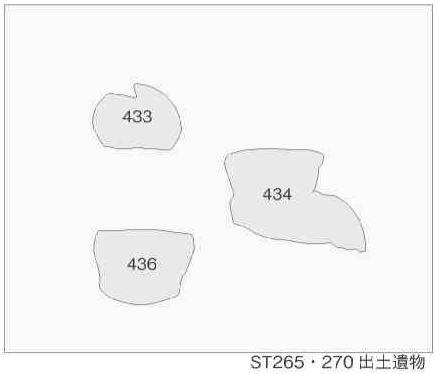




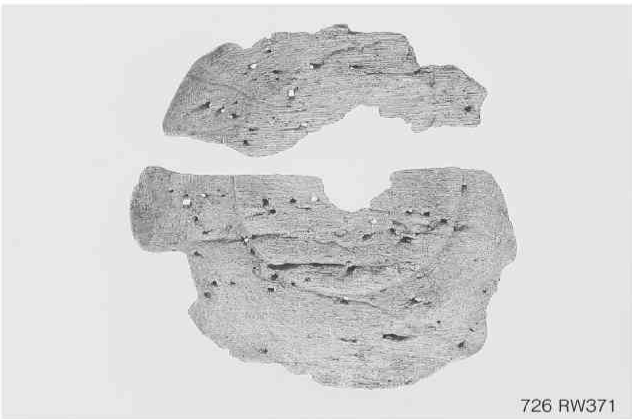
ST242 出土遺物



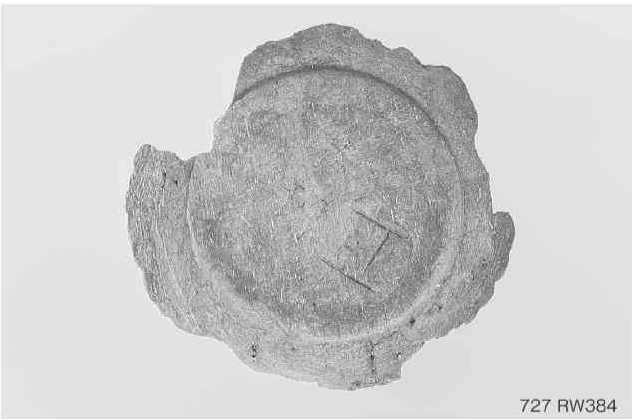
ST250 出土遺物



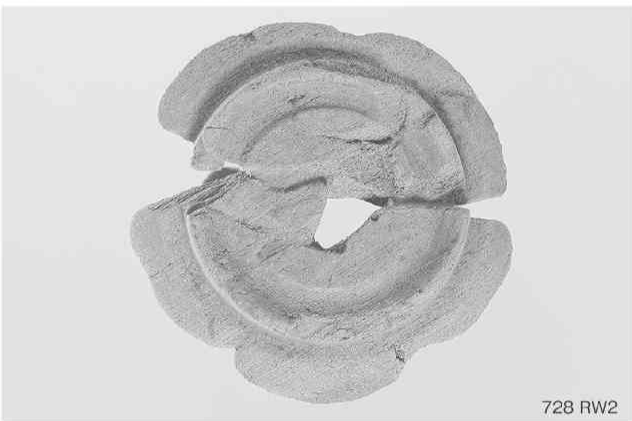
ST265・270 出土遺物



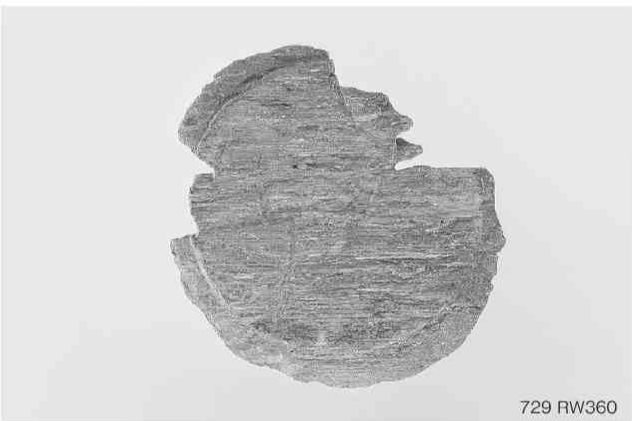
726 RW371



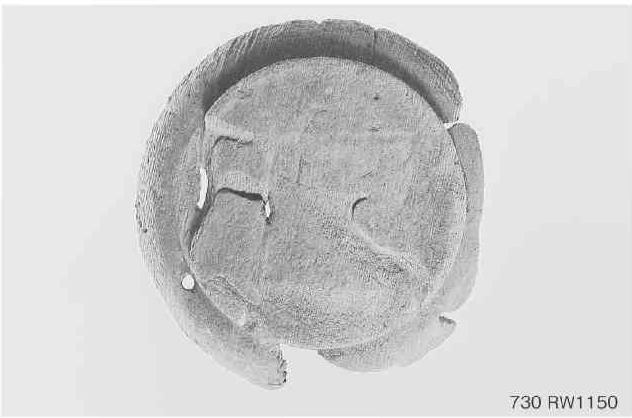
727 RW384



728 RW2

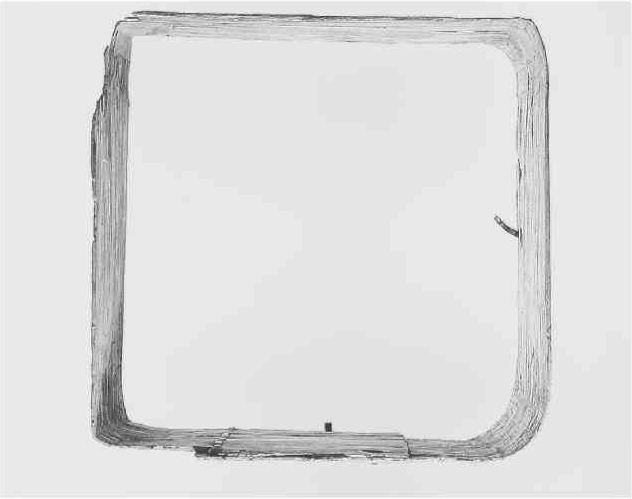


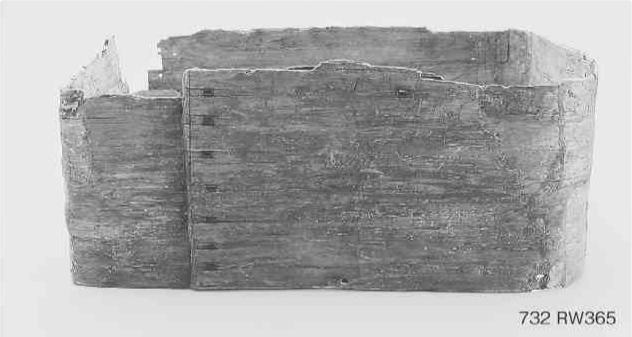
729 RW360



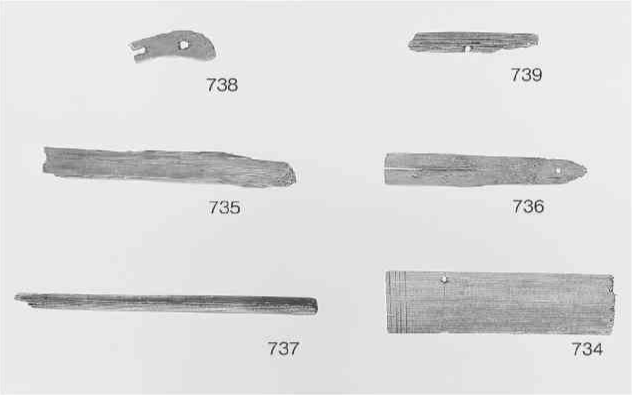
730 RW1150

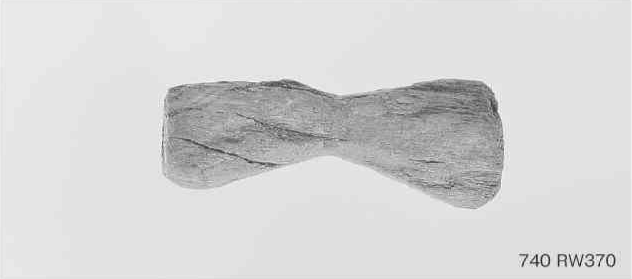
731 RW363



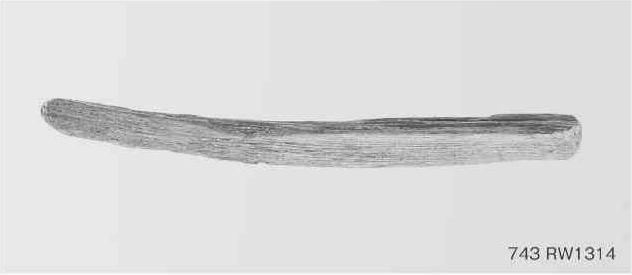


732 RW365

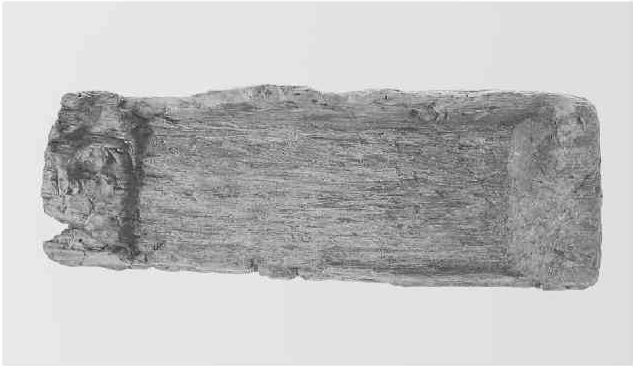


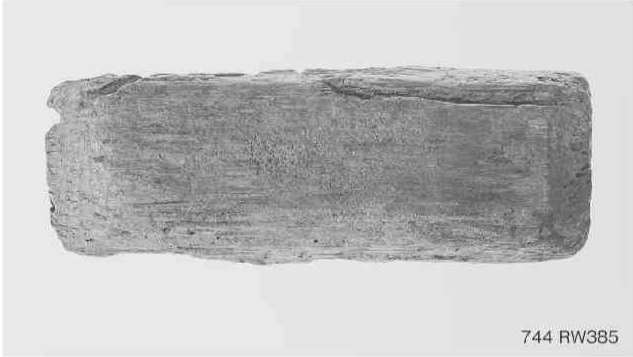


740 RW370

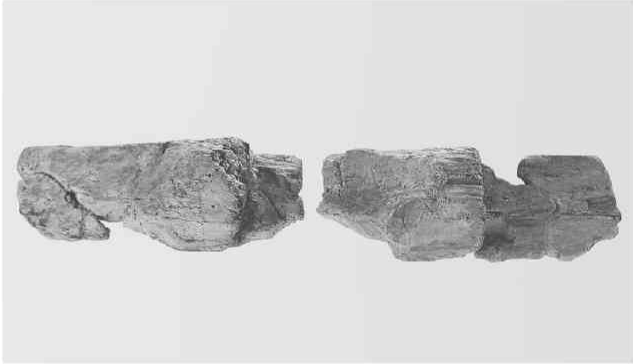


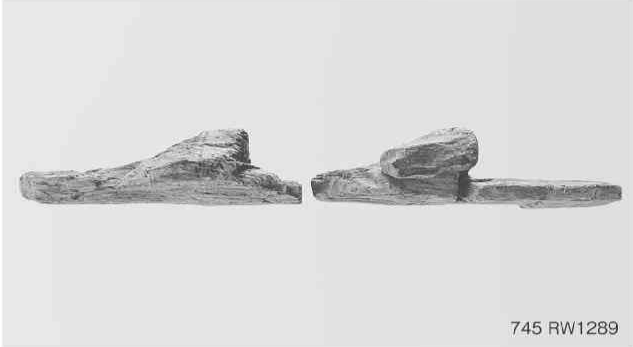
743 RW1314



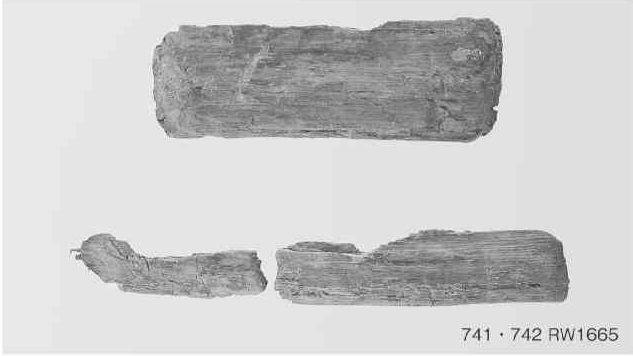


744 RW385





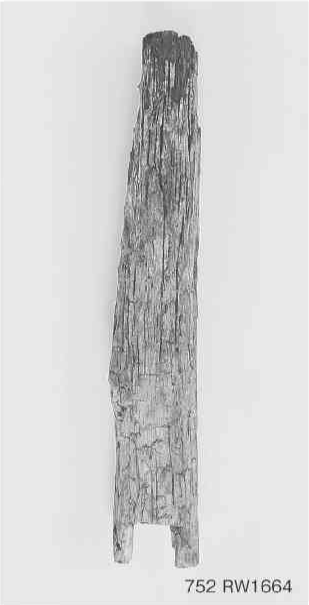
745 RW1289



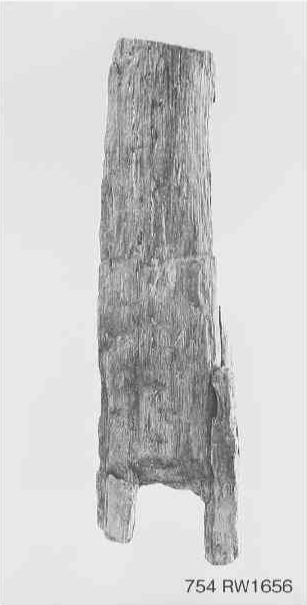
741・742 RW1665

750 RW1608

751 RW1650



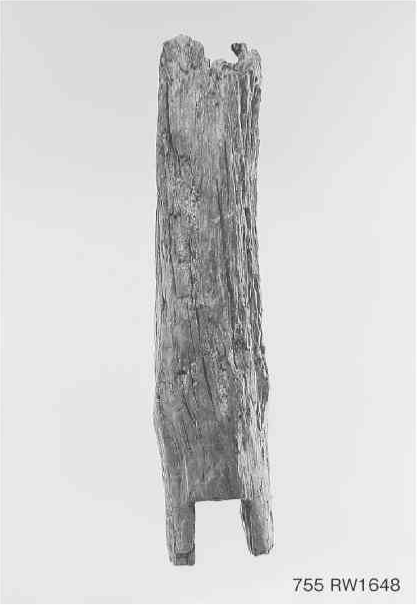
752 RW1664



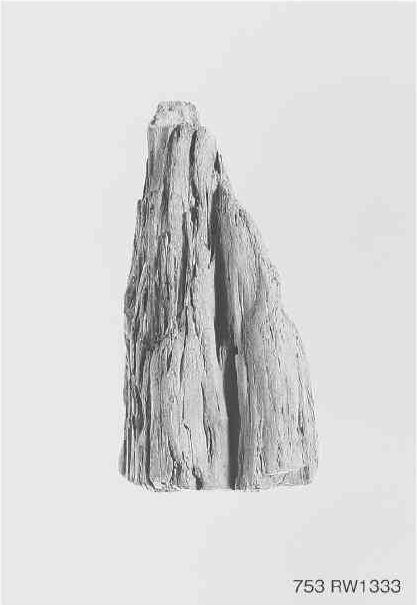
754 RW1656

758 RW1647

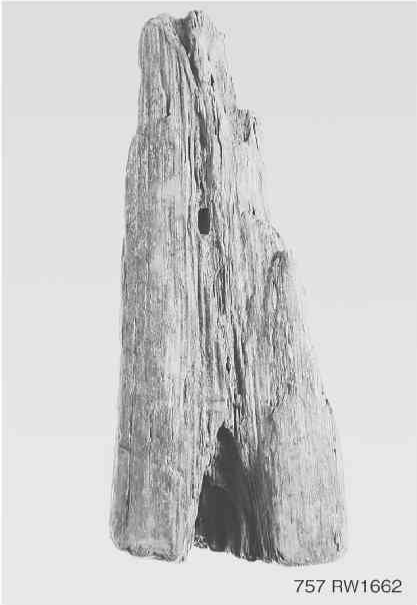
756 RW1356



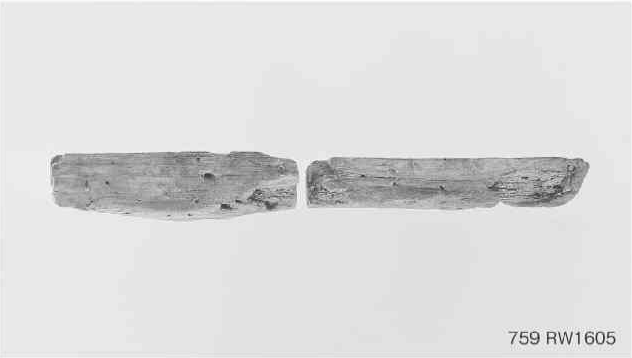
755 RW1648



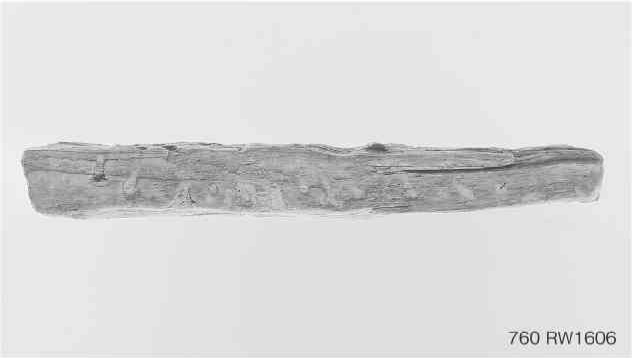
753 RW1333



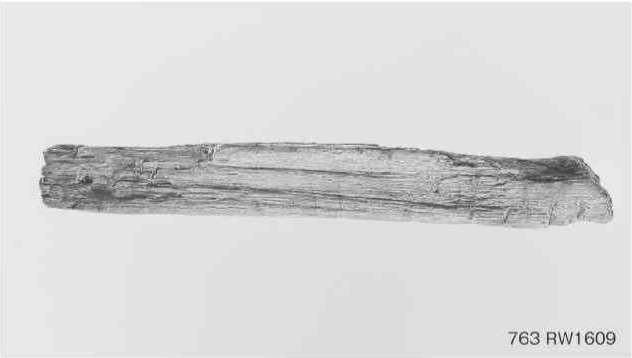
757 RW1662



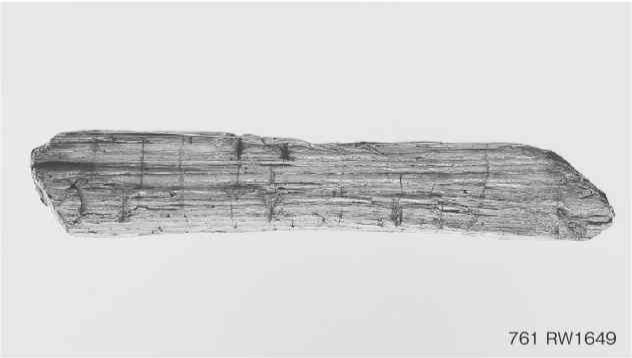
759 RW1605



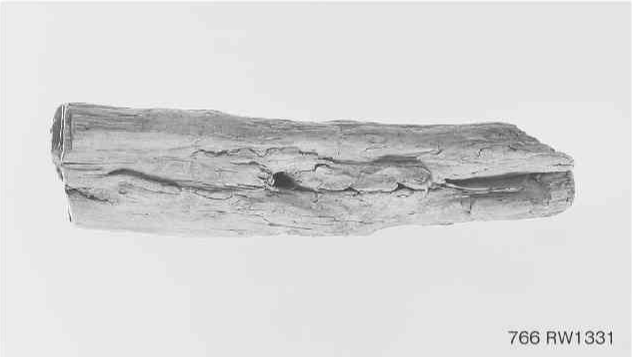
760 RW1606



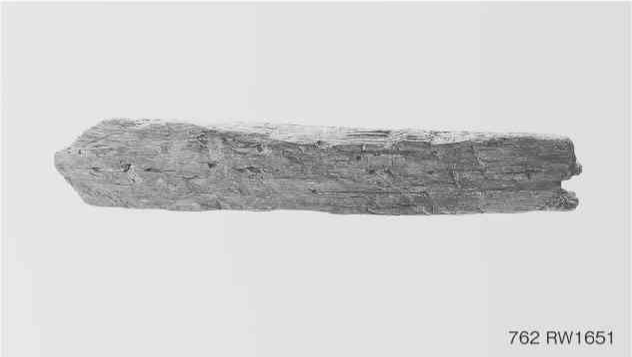
763 RW1609



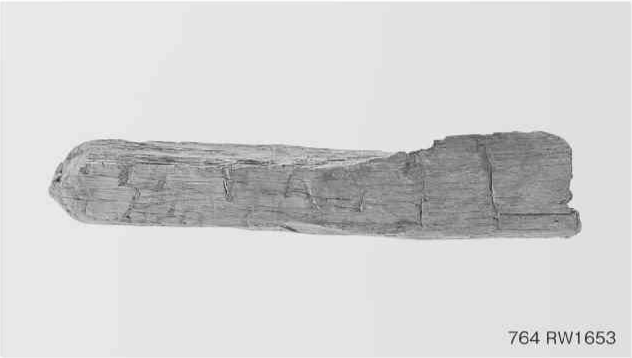
761 RW1649



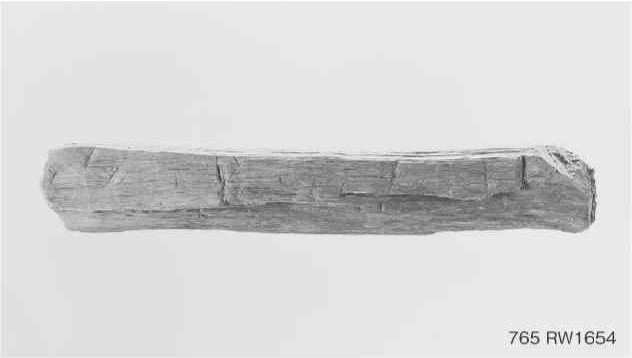
766 RW1331



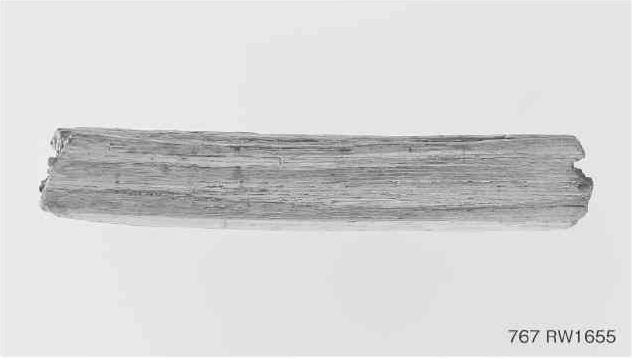
762 RW1651



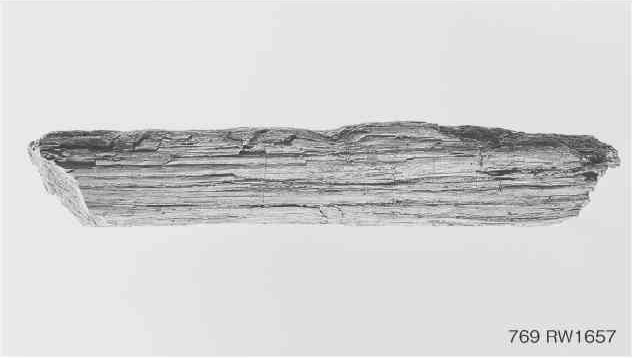
764 RW1653



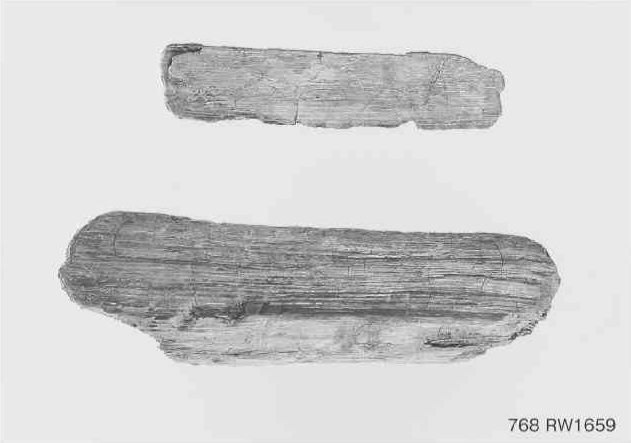
765 RW1654



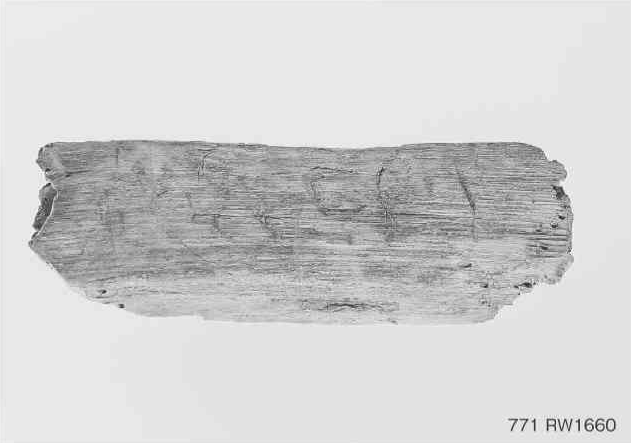
767 RW1655



769 RW1657



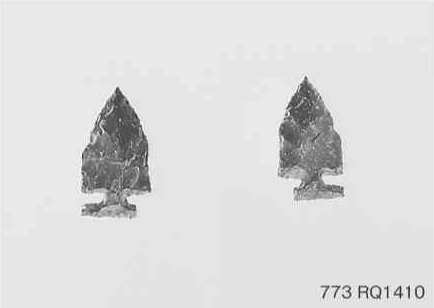
768 RW1659



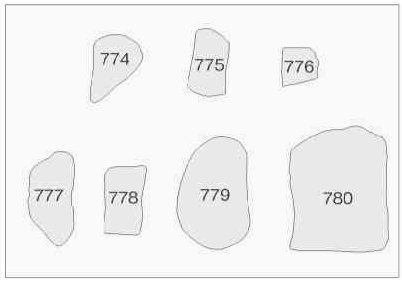
771 RW1660

770 RW1661

772 RW1666



773 RQ1410



報告書抄録

ふりがな	うめのきまえ1いせきはっくつちょうさほうこくしょ
書名	梅野木前1遺跡発掘調査報告書
副書名	
巻次	
シリーズ名	山形県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第160集
編著者名	伊藤邦弘　佐竹桂一　長瀬えみ子　小林　啓　深澤　篤
編集機関	財団法人山形県埋蔵文化財センター
所在地	〒999-0401　山形県上山市弁天二丁目15番1号
発行年月日	西暦2007年3月28日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
うめのきまえ 梅野木前1 いせき 遺跡	やまがたけんやまがたし 山形県山形市 おおあざえまた 大字江俣 あざうめのきまえ 字梅野木前	6201	平成3年度 新規登録	38°　17′　03″	140°　18′　55″	1次 20030804 ～ 20031107 2次 20040510 ～ 20041126	1次 3,250㎡ 2次 3,800㎡	緊急地方道路整備事業（一般県道大野目内表線）

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
うめのきまえ 梅野木前1 いせき 遺跡	集落跡	古墳時代	竪穴住居　16 掘立柱建物　3 水田跡 畑跡	土師器 木製品 石製品	古墳時代の集落と共に山形県内では現在のところ最古の水田跡を検出。 奈良・平安時代では、192点の墨書土器が出土した。
		奈良・平安時代	竪穴住居　7 掘立柱建物　5 河川跡 土坑	土師器　須恵器 墨書土器　灰釉陶器 木製品 石製品	（文化財認定箱数：276）

要約	遺跡は山形市街地北西部の水田中にあり、標高は約104mである。周辺は、馬見ヶ崎川扇状地の前縁帯にあたり、豊かな湧水に恵まれている。本遺跡は、この馬見ヶ崎川左岸の自然堤防上に立地する。 古墳時代前期の集落跡と、奈良・平安時代の集落跡が重なる複合遺跡である。古墳時代と奈良・平安時代の遺構検出面との間には、粗砂層や泥炭層からなる約70㎝堆積土があり、洪水などにより古墳時代の集落が埋没した後に発達した自然堤防上に奈良・平安時代の集落が造られた。 古墳時代には、外周溝を持つ竪穴住居も見られ、竪穴住居の周辺には畑跡と考えられる畝状の遺構が幾条も検出された。また、西側には当該期の水田跡が広がり、居住域と生産域が同時に発見されたことから、古墳時代の集落形態を知る好例といえる。 一方、奈良・平安時代では、竪穴住居や掘立柱建物などの遺構の他、調査区内を横断する河川跡から、「守」や「万利」などを始め192点の墨書土器と16点の転用硯が出土した。本遺跡の北方約1㎞に位置する今塚遺跡からは280点あまりの墨書土器が出土しており、関連がうかがえる。

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第160集

梅野木前1遺跡発掘調査報告書

2007年3月28日発行

発行　財団法人　山形県埋蔵文化財センター
〒999－3161　山形県上山市弁天二丁目15番1号
電話　023-672-5301
印刷　株式会社　大風印刷
〒990－2338　山形県山形市蔵王松ヶ丘1－2－6
電話　023－689－1111